

Panasonic®

LUMIX

S1H

取扱説明書

デジタルカメラ

DC-S1H

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを実施しました。

- 追加および変更した機能については、「ファームウェアアップデート」のページをお読みください。



クリックすると、「ファームウェアアップデート」に移動します。

DVQP2020ZD

F0919AR3110

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(20～25ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「ご愛用者登録」をお願いします。詳しくは、545ページをご覧ください。

保証書別添付

❖ 知りたいことの探し方

本書では、知りたいことを以下のページから探し出すことができます。

目次	→6
機能別目次	→16
各部の名前	→33
メニューガイド	→336
さくいん	→538

取扱説明書について

❖ 本書で使用する記号について

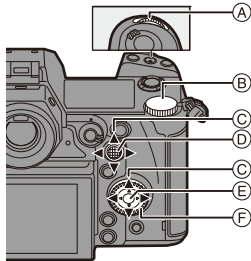
使用できる撮影モード、写真・動画の記号

本書では、機能説明の冒頭のアイコン(撮影モード、写真・動画)で、その機能が使用できる条件を示しています。黒いアイコンは使用可能な条件、グレーのアイコンは使用不可能な条件を表します。

例: **iA P A S M**   

操作記号

本書では、カメラの操作部を以下の記号を使って説明しています。

	①		前ダイヤル
	②		後ダイヤル
	③		カーソルボタンの上下左右 または ジョイスティックの上下左右
	④		ジョイスティックの中央押し
	⑤		[MENU/SET] ボタン
	⑥		コントロールダイヤル

- 操作部の操作方法については、[62](#)ページをお読みください。
- その他、カメラの画面に表示されるアイコンなどを説明に使用しています。
- 本書では、メニュー項目を選ぶ手順を次のように説明しています。
例) 写真メニュー(画質)の[写真画質]を[STD.]に設定する

 ⇒  ⇒  ⇒ [写真画質] ⇒ [STD.]を選ぶ

メニューの操作方法については、[72](#)ページをお読みください。

お知らせの分類記号

本書では、お知らせを以下の記号を使って分類して、記載しています。

	機能を使う前にご確認くださいこと
	上手に使うためのヒントや撮影のポイント
	仕様に関するお知らせや補足事項
	関連の深い情報とページ番号

-
- 本書はメニューの設定内容が初期設定になっていることを前提に説明しています。
また、使用する画面イラストは下記の設定を基本としています。
– [時計設定]の[表示形式]:[年.月.日]／[24時間]
 - 本書では別売の交換レンズ(S-R24105)を用いて説明しています。

章目次

安全上のご注意	20
1. はじめに	26
2. 準備	39
3. 基本操作	59
4. 画像の記録	80
5. フォーカス／ズーム	87
6. ドライブ／シャッター／手ブレ補正	117
7. 測光／露出／ISO感度	159
8. ホワイトバランス／画質	176
9. フラッシュ	196
10. 動画撮影	208
11. 特殊な動画撮影	253
12. 外部機器との接続(動画)	281
13. 画像の再生／編集	297
14. カメラのカスタマイズ	312
15. メニューガイド	336
16. Wi-Fi／Bluetooth	402
17. 他機器との接続	451
18. 資料	465

目次

 「安全上のご注意」を必ずお読みください(20～25 ページ)

取扱説明書について	3
章目次	5
機能別目次	16

1. はじめに 26

ご使用の前に	26
同梱品	28
使用できるレンズ	30
使用できるメモリーカード	31
各部の名前	33
カメラ	33
ファインダー／モニターの表示	37
ステータスLCDの表示	38

2. 準備 39

ショルダーストラップの取り付け	39
バッテリーの充電	40
チャージャーを使った充電	40
バッテリーの挿入	42
カメラにバッテリーを入れて充電する	44
電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電)	46
充電／給電についてのお知らせ	47
エコモード	49
カード(別売)の挿入	51
カードのフォーマット(初期化)	53
レンズの取り付け	54
モニターの向きと角度の調整	56
時計の設定(初めて電源を入れるとき)	57

3. 基本操作 59

撮影の基本操作	59
カメラの構え方	59
写真の撮影	60
動画の撮影	61
撮影モードの選択	61
カメラの設定操作	62
表示の設定	65
ファインダーの設定	65
モニターとファインダーの切り換え	66
情報表示の切り換え	67
ステータスLCDバックライトの点灯	69
クイックメニュー	70
コントロールパネル	71
メニューの操作方法	72
設定リセット	74
インテリジェントオートモード	75
タッチ撮影	78
タッチAF／タッチシャッター	78
タッチAE	79

4. 画像の記録 80

画像横縦比	80
画像サイズ	81
写真画質	82
ダブルスロット機能	83
フォルダー/ファイル設定	84
ファイル番号リセット	86

5. フォーカス／ズーム**87**

フォーカスモードの選択.....	87
AFを使う	88
AFカスタム設定(写真)	91
AFモードの選択.....	93
自動認識(顔・瞳・人体・動物)	94
追尾.....	97
225点	98
ゾーン(縦・横)／ゾーン(四角)／ゾーン(楕円).....	99
1点+補助／1点	101
ピンポイント	102
カスタム1～3.....	103
AFエリアの移動操作.....	105
タッチでのAFエリアの移動操作.....	106
タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作.....	108
縦/横位置フォーカス切換.....	109
MFで撮る	110
ズームを使って撮る	114
EXテレコン(写真)	115

6. ドライブ／シャッター／手ブレ補正 117

ドライブモードの選択.....	117
連写する	118
6K/4Kフォト撮影.....	121
6K/4K連写ファイルから写真を選ぶ	126
撮影後に写真を補正する(ポストリファイン)	127
写真を選ぶときの操作.....	128
インターバル撮影.....	132
コマ撮りアニメ撮影	135
インターバル／コマ撮りアニメの動画	138
セルフタイマー撮影	139
ブラケット撮影.....	141
フォーカスセレクト撮影.....	146
ピント位置を選んで写真を保存する	148
フォーカス合成.....	149
サイレントモード	151
シャッター方式	152
手ブレ補正	154
手ブレ補正の設定.....	155

7. 測光／露出／ISO感度 159

測光モード	159
プログラムAEモード.....	160
絞り優先AEモード.....	162
シャッター優先AEモード.....	164
マニュアル露出モード.....	166
プレビューモード.....	169
露出補正	170
ピントや露出の固定(AF／AEロック)	172
ISO感度.....	173
Dual Native ISO設定	175

8. ホワイトバランス／画質 176

ホワイトバランス(WB).....	176
ホワイトバランスの調整.....	178
フォトスタイル	180
フィルター設定	185
フィルターなし同時記録	190
ハイレゾモード	191
HLGフォト	194

9. フラッシュ 196

外部フラッシュ(別売)を使う.....	196
ホットシューカバールの取り外し.....	196
フラッシュの設定.....	198
フラッシュモード	198
デジタル赤目補正	200
発光モード、マニュアル発光量設定	201
フラッシュ光量調整	202
フラッシュシンクロ	203
露出補正連動	203
ワイヤレスフラッシュ撮影	204

10. 動画撮影

208

動画を撮る	208
クリエイティブ動画モード	211
動画撮影に適した表示	211
クリエイティブ動画で撮る	213
クリエイティブ動画の設定値	215
動画の記録	216
システム周波数	216
記録ファイル方式	217
動画画質	218
動画撮影範囲	227
タイムコード	229
タイムコードを設定する	229
外部機器とタイムコードを同期する	231
本機のタイムコードに外部機器を同期させる (TC OUT)	232
外部機器のタイムコードに本機を同期させる (TC IN)	233
AFを使う (動画)	235
AF 連続動作	235
AF カスタム設定 (動画)	236
動画の明るさ、色合い	237
輝度レベル設定	237
マスターペダスタル	238
白飛びを抑えて撮影する (二一)	239
ISO 感度設定 (動画)	241
音声の設定	242
録音レベル表示	242
音声入力ミュート	242
録音ゲイン切換	243
録音レベル設定	243
録音レベルリミッター	244
風音キャンセラー	244
主なアシスト機能	245
SS/ゲイン操作	245
WFM/ベクトルスコープ表示	247
スポット輝度メーター	249

ゼブラパターン表示	250
動画フレーム表示設定	251
カラーバー／テストトーン	252

11. 特殊な動画撮影

253

バリエアブルフレームレート	253
ハイフレームレート動画	256
フォーカストラッキング	257
ライブクロップ	260
Log 撮影する	263
V-Logビューアシスト	265
HLG動画	266
HLGビューアシスト	268
アナモフィック撮影	269
アナモフィック デスクイーズ表示	270
シンクロスキャン	272
ループ記録(動画)	274
動画分割記録	275
特殊な動画を撮影できる動画画質一覧	276

12. 外部機器との接続(動画)

281

HDMI機器(HDMI出力)	281
ケーブルホルダーを取り付ける	282
HDMI出力する映像	284
HDMI出力の画質(解像度、フレームレート)	286
ダウンコンバート設定	286
HDMI出力の設定	289
カメラの情報表示をHDMI出力する	289
外部レコーダーに制御情報を出力する	289
音声をダウンコンバートしてHDMI出力する	289
音声をHDMI出力する	290
外部マイク(別売)	291
XLRマイクロホンアダプター(別売)	293
ヘッドホン	295

13. 画像の再生／編集 297

写真の再生	297
動画の再生	299
写真の切り出し	301
表示方法の切り換え	302
拡大表示	302
サムネイル表示	303
カレンダー表示	304
グループ画像	305
画像の消去	306
RAW 現像	307
動画分割	311

14. カメラのカスタマイズ 312

Fn ボタン	313
ダイヤル動作切換	322
クイックメニューのカスタマイズ	324
カスタムモード	329
マイメニュー	333
カメラ設定の保存／読み込み	335

15. メニューガイド 336

メニュー一覧	337
写真メニュー	342
動画メニュー	355
カスタムメニュー	362
セットアップメニュー	382
再生メニュー	393
文字の入力	401

16. Wi-Fi／Bluetooth 402

スマートフォンと接続する	403
スマートフォンでカメラを操作する	414
カメラから画像を送る	424
Wi-Fi接続	438
送信設定、画像の選択	444
Wi-Fi設定メニュー	446

17. 他機器との接続 451

テレビで見る	452
パソコンに画像を取り込む	454
パソコンに画像をコピーする	454
ソフトウェアのインストール	457
レコーダーにダビングする	459
テザー撮影	460
ソフトウェアのインストール	460
パソコンからカメラを操作する	461
プリントする	462

18. 資料

465

別売品のご紹介	465
別売品を使う	467
バッテリーグリップ(別売)	467
シャッターリモコン(別売)	468
ACアダプター(別売)／DCカプラー(別売)	468
海外旅行先で使う	469
モニター／ファインダーの表示	471
撮影画面	471
再生画面	478
メッセージ表示	481
Q&A 故障かな?と思ったら	484
使用上のお願い	494
無線LAN使用上のお願い	502
バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間	504
カードの静止画撮影枚数、動画記録時間	506
初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧	511
各撮影モードで設定できる機能一覧	523
仕様	527
商標、ライセンス	535
さくいん	538
CLUB Panasonic で愛用者登録のご案内	545
保証とアフターサービス	546

機能別目次

電源

充電	→40
充電エラー	→42
	→45
バッテリー残量	→47
給電	→46
バッテリー情報	→388
省電力機能	→49
撮影可能枚数、撮影可能時間	→504

カード

使用できるカード	→31
フォーマット	→53
ダブルスロット機能	→83
記録先スロット	→83
再生カード切り換え	→298
	→303
フォルダー構造	→455
フォルダー/ファイル設定	→84
ファイル番号リセット	→86
文字入力	→401
撮影枚数、記録時間	→506

レンズ

取り付け	→54
レンズ情報	→158

基本設定

時計設定	→57
タイムゾーン	→391
電子音	→386
著作権情報	→382
設定リセット	→74

ファインダー

視度調整	→65
表示倍率	→65
アイセンサー	→66
アイセンサーAF	→367

表示

撮影画面	→471
再生画面	→478
ファインダー	→37
ステータスLCD	→38
コントロールパネル	→71
	→475
表示切り換え	→67
モニター/ファインダー調整	→384
モニター/ファインダー輝度	→384
表示速度	→383
水準器	→377
グリッドライン	→373
ヒストグラム	→373
オーバーレイ表示	→376
白飛び確認	→376
V-Logビューアシスト	→265
HLGビューアシスト	→268

AF / MF

フォーカスモード	→87
AF連続動作	→235
AFモードの選択	→93 →366
顔・瞳・人体認識	→94
動物認識	→95
動物追尾	→97
AF ON	→89
AFエリアの移動	→105
拡大表示	→90 →112
AF感度設定	→91 →236
AF / AEロック	→172
タッチAF	→78 →107
タッチパッドAF	→108
AF補助光	→346
MF	→110
MFガイド	→365
MFアシスト	→365
ピーキング	→347

手ブレ補正

手ブレ補正	→154
電子補正(動画)	→155
手ブレ補正ブースト(動画)	→157
アナモフィック(動画)	→157
レンズ情報	→158

ドライブ

ドライブモード	→117
連写	→118
6K/4Kフォト	→121
インターバル撮影	→132
コマ撮りアニメ撮影	→135

セルフタイマー	→139
フォーカスセレクト	→146

画質

画像サイズ	→81
写真画質	→82
RAW	→82
JPEG	→82
アスペクト比	→80
ホワイトバランス	→176
フォトスタイル	→180
フィルター設定	→185
色空間	→363
6K/4K フォトノイズ低減	→128
フリッカー軽減(写真)	→351
長秒ノイズ除去	→343
iダイナミックレンジ	→344
周辺光量補正	→345
回折補正	→345

写真撮影

撮影モード	→61
クイックメニュー	→70
ズーム	→114
EXテレコン(写真)	→115
ブラケット撮影	→141
バルブ撮影	→168
ハイレゾモード	→191
多重露出	→353
HLGフォト	→194
シャッター方式	→152
サイレントモード	→151
リモコン撮影	→468
画面表示	→471

露出

露出補正	→170
------	------

プログラムシフト	→161
プレビューモード	→169
測光モード	→159
AEロック	→172
ワンプッシュAE	→317
タッチAE	→79
ISO感度	→173
拡張ISO感度	→362
Dual Native ISO設定	→175

フラッシュ

外部フラッシュ	→196
発光モード	→201
フラッシュモード	→198
フラッシュ光量調整	→202
フラッシュシンクロ	→203
ワイヤレスフラッシュ設定	→204

動画撮影

動画撮影	→208
システム周波数	→216
動画撮影範囲	→227
クリエイティブ動画モード	→211
バリアブルフレームレート	→253
ハイフレームレート動画	→256
フォーカストラッキング	→257
ライブクロップ	→260
Log撮影(V-Log)	→263
HLG動画	→266
アナモフィック撮影	→269
ループ記録(動画)	→274
動画分割記録	→275
タリーランプ	→208
ダウンコンバート	→286
タイムコード	→229
リモコン撮影	→468

表示(動画)

SS/ゲイン操作	→245
WFM/ベクトルスコープ表示	→247
スポット輝度メーター	→249
ゼブラパターン表示	→250
動画フレーム表示	→251
カラーバー	→252

画質(動画)

記録ファイル方式	→217
動画画質	→218
解像度	→218
記録フレームレート	→218
ビットレート	→218
フリッカー軽減(動画)	→356
シンクロスキャン	→272

露出(動画)

露出設定	→209
	→215
Dual Native ISO設定	→175
輝度レベル	→237
マスターペダスタル	→238
ニー	→239
ゲイン	→245

音声

外部マイク	→291
XLRマイクロホンアダプター	→293
ヘッドホン	→295
音声モニタリング	→295
録音レベル表示	→242
ミュート	→242
録音ゲイン切換	→243
録音レベル設定	→243

ウインドカット	→244
アッテネーター	→244
テストトーン	→252

再生

オートレビュー	→372
写真の再生	→297
動画の再生	→299
サムネイル表示	→303
カレンダー表示	→304
拡大表示	→302
グループ画像	→305
6K/4K フォト保存	→126
テレビで見る	→452
消去	→306
画面表示	→478
スライドショー	→394

画像編集

RAW 現像	→307
プロテクト	→397
レーティング	→397
リサイズ	→398
回転	→398
動画分割	→311
コピー	→399

カスタマイズ

カスタムメニュー	→362
ファンクションボタン	→313
カスタム撮影モード	→329
マイメニュー	→333
クイックメニュー	→324
ダイヤル動作	→322
カメラ設定の保存	→335

他機器接続

パソコン	→454
プリンター	→462
テレビ	→452
HDMI 出力	→281 →453
デザー撮影	→460
ケーブルホルダー	→282

Wi-Fi / Bluetooth

Bluetooth 接続	→405
Wi-Fi 接続	→409 →438
Wi-Fi 設定	→446
スマートフォンアプリ 「LUMIX Sync」	→403
リモート撮影	→415
位置情報	→421
画像送信(スマートフォン)	→417 →427
画像送信(パソコン)	→430
画像送信(プリンター)	→432
画像送信(Web サービス)	→434
画像送信 (クラウド同期サービス)	→436
カメラ設定の保存	→423
LUMIX CLUB	→447

ソフトウェア

PHOTOfunSTUDIO	→457
SILKPIX	→458
LUMIX Tether	→460

メンテナンス

センサークリーニング	→392
ピクセルリフレッシュ	→391

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険



バッテリーパック*は、誤った使いかたをしない

(*以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ・ 指定外のものは使わない
- ・ 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- ・ 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ・ 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- ・ 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- ・ 落下や衝撃を与えない
- ・ バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

危険



バッテリーチャージャー*は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
(*以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーの充電は、本機専用のチャージャーまたは本体を使用する
指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを
起こし、けがをする原因になります。

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャー、ACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグがすぐ抜けるよう、ACアダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。



電源コードは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 無理に曲げない・ねじらない・引っ張らない
- 束ねたりしない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流 100 V ~ 240 V 以外)で使わない
- めれた手で抜き差ししない



警告



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない



指定したACアダプター、電源コード、USB接続ケーブルを使用する

指定以外のACアダプター、電源コード、USB接続ケーブルを使用すると発熱により、火災・感電・やけどの原因になります。



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

接触禁止

- 本体やチャージャー、ACアダプターには、金属部があります。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

警告



運転者などに向けて外部フラッシュを発光しない
事故の誘発につながります。



メモリーカード、ホットシューカバー、バッテリーグリップ接点
カバー、フラッシュシンクロ端子キャップは乳幼児の手の届く
ところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

• 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるお
それがあります。



ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

• 首に掛けての使用はしない



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*
の原因になります。

• 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けてい
る)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



航空機内ではBluetooth機能を停止させる

航空機内では電源を切る*

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

• Bluetooth機能は、電源を切っても機能が動く場合があります。

Bluetooth機能を停止させるためには、次の順で選択してください。

① セットアップメニュー(IN/OUT)の[Bluetooth]を選ぶ

② Bluetoothメニューから[Bluetooth]を選ぶ

③ ▲▼で[OFF]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

* やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能
を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使
用が禁止されている場合もありますので注意してください。



警告



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合がありますので、電源を切る
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から **15 cm** 以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。



注意



外部フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない
誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



外部フラッシュを人の目に近づけて発光しない
視力障害などの原因になることがあります。

・乳幼児を撮影するときは、1 m 以上離してください。

注意



外部フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所 (特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す

通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき



本機、ACアダプターの放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 本棚やラックの中など狭い空間に設置しない
- 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない
- 本機の吸気口、排気口をふさがない



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を痛める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。



低温下で長時間、直接触れて使用しない

寒冷地 (スキー場などの0℃以下の環境) で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。

- 長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。

1. はじめに

ご使用の前に

❖ カメラ／レンズのファームウェアについて

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを提供する場合があります。より快適な撮影のために、カメラ／レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることをお勧めします。

- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

- カメラ／レンズのファームウェアのバージョンは、カメラにレンズを取り付けて、セットアップメニュー（その他）の[バージョン表示]でご確認ください。
[バージョン表示]で、ファームウェアアップデートの実行もできます。（→ 392）
- 本書はカメラのファームウェアバージョンが1.0の状態の説明しています。

❖ カメラの取り扱いについて

カメラを使用するときは、落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えたりしないようお気をつけください。カメラおよびレンズの故障や破損の原因になります。

モニターに砂やほこり、液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- タッチ操作が誤認識される場合があります。

低温（－10℃～0℃）で使用する場合

- 推奨使用温度が－10℃までに対応した当社製レンズを取り付けてお使いください。

カメラのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器のため、故障や破損の原因になります。

電源OFF中にカメラを振ると、センサーが動いたり、「カタカタ」音がしたりします。ボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

❖ 防じん防滴について

本機の防じん防滴構造は、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるため、以下の注意事項をお守りください。

- 防じん防滴対応の当社製レンズを取り付けてください。
- カメラの扉部、端子キャップ、接点カバーなどは、しっかりと閉じてください。
- レンズやキャップを取り外したとき、扉を開けたときは、砂やほこり、水滴が内部に侵入しないようにしてください。
- 液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

❖ 露付き(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- 露付きが起こった場合は、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

❖ 必ず事前に試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に記録されていることを確かめてください。

❖ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で記録されなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。

❖ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があるためお気をつけください。

❖ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(→ [494](#))

同梱品

デジタルカメラボディ

(本書では**カメラ**と表記します)



付属品をご確認ください。

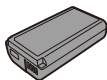
- 記載の品番は2019年8月現在のものです。変更されることがあります。



- ☐ **バッテリーパック**
DMW-BLJ31

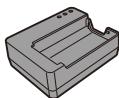
(本書では**バッテリー**と表記します)

- 充電してからお使いください。



- ☐ **バッテリーチャージャー***
DMW-BTC14

(本書では**チャージャー**と表記します)



- ☐ **ACアダプター**
DVLV1001Z

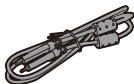
- 充電や電力の供給に使用します。



- ☐ **電源コード**
K2CA2YY00247



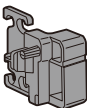
- ☐ **USB接続ケーブル(C-C)**
K1HY24YY0022



- ☐ **USB接続ケーブル(A-C)**
K1HY24YY0021



*1 DMW-BTC14(バッテリーチャージャー)は、ACアダプター、電源コードおよびUSB接続ケーブル(C-C)を含む別売品としてお買い求めいただけます。
バッテリーチャージャー単品をお買い求めの場合は、DVLV1004Zの品番でご注文ください。

- | | | | |
|---|---|--|---|
| ☐ BNC変換ケーブル
(TC IN/OUT専用)
K1TYYYY00286 |  | ☐ アイカップ*2
7YE1MC891Z |  |
| ☐ ケーブルホルダー
1QB1MC893Z |  | ☐ ホットシュー
カバー*2
DVYE1121Z |  |
| ☐ ショルダーストラップ
DVPW1020Z |  | ☐ バッテリーグリップ
接点カバー*2
DVKK1054Z |  |
| ☐ ボディキャップ*2
1HE1MC891Z |  | ☐ フラッシュシンクロ
端子キャップ*2
VKF5108 |  |

*2 お買い上げ時はカメラに装着されています。

- メモリーカードは別売です。
- 交換レンズは別売です。
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

使用できるレンズ

本機のレンズマウントはライカカメラ社 L-Mount 規格に準拠しています。同規格の 35 mm フルサイズ用交換レンズおよび APS-C サイズ用交換レンズを使用できます。

本機は 35 mm フルサイズ用交換レンズおよびスーパー 35 mm 用交換レンズのイメージサークルに応じたセンサー読み出しができます。

- APS-C サイズ用交換レンズ使用時は、スーパー 35 mm 用交換レンズと同じ範囲でセンサーから読み出します。
- 本書では、説明に使用する交換レンズを以下のように表記しています。

交換レンズの種類	本書の表記
35 mm フルサイズ用交換レンズ	フルサイズ用レンズ
スーパー 35 mm 用交換レンズ	スーパー 35 mm 用レンズ
APS-C サイズ用交換レンズ	APS-C 用レンズ

- レンズの種類を区別しないときは、**レンズ**と表記します。
- 本機との通信機能がないレンズを使用するときは、以下のメニューでレンズ情報を登録できます。本機の設定を、フルサイズ用またはスーパー 35 mm 用 / APS-C 用レンズに応じた設定に切り換えることができます。(→ 158)

[] → [] → [手ブレ補正] → [レンズ情報] → [Lens1] ~ [Lens12] → [イメージサークル]

[] → [] → [レンズ情報] → [Lens1] ~ [Lens12] → [イメージサークル]

❖ スーパー 35 mm 用 / APS-C 用レンズ使用時のお知らせ

スーパー 35 mm 用 / APS-C 用レンズを使用したときは、撮影範囲が狭くなることで以下の機能が使用できない、または動作が異なることがあります。

画像横縦比	→ 80	フィルター設定	→ 185
画像サイズ	→ 81	ハイレゾモード	→ 191
EX テレコン(写真)	→ 115	HLG フォト	→ 194
6K/4K フォト	→ 121	動画画質	→ 224
フォーカスセレクト	→ 146	動画撮影範囲	→ 227
シャッター方式	→ 152	多重露出	→ 353

- 本機に対応するレンズの最新情報は、カタログ / ホームページをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

使用できるメモリーカード

本機は、以下のメモリーカードを使用できます。

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードの総称をカードと表記します。

SDメモリーカード (512 MB～2 GB)	• 本機はUHS-I／UHS-II UHS Speed Class 3規格のSDHC／SDXCメモリーカードに対応しています。 • 本機はUHS-II Video Speed Class 90規格のSDHC／SDXCメモリーカードに対応しています。 • 左記の当社製カードで動作確認済みです。	
SDHCメモリーカード (4 GB～32 GB)		
SDXCメモリーカード (48 GB～128 GB)		

- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

❖ 本機で安定して使用できるカード

以下の機能を使う場合は、対応したSDスピードクラス、UHSスピードクラス、Videoスピードクラスのカードを使用してください。

- スピードクラスとは、連続的な書き込みのために必要な最低速度を保証するための規格です。

動画撮影

動画画質のビットレート	スピードクラス	表示の例
72 Mbps	Class 10 UHS Speed Class 1 以上 Video Speed Class 10 以上	CLASS 10 10 U V10
100 Mbps～200 Mbps	UHS Speed Class 3 Video Speed Class 30 以上	U3 V30
400 Mbps	Video Speed Class 60 以上	V60 V90

6K/4Kフォト／フォーカスセレクト

スピードクラス	表示の例
UHS Speed Class 3 Video Speed Class 30 以上	U3 V30



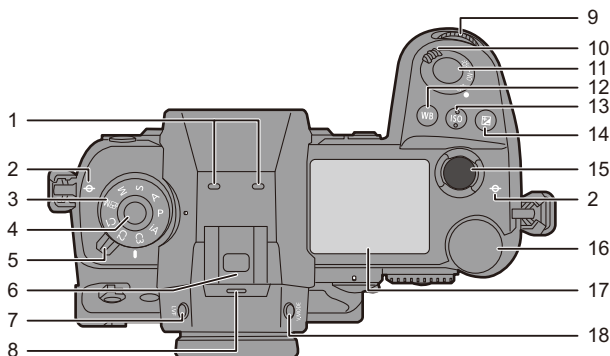
- カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去を禁止できます。
- 電磁波、静電気、カメラやカードの故障により、カードに記録されたデータが破損することがあります。大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。

書き込み禁止
スイッチ



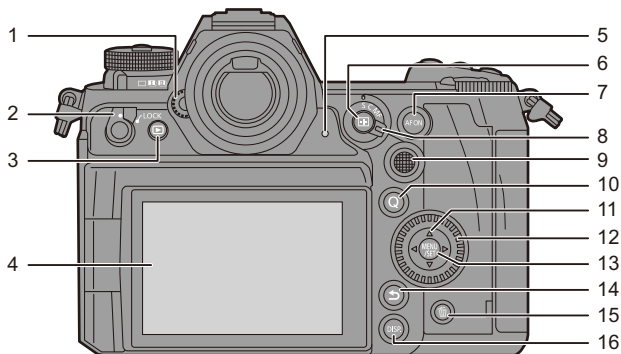
各部の名前

カメラ



1	ステレオマイク(→ 243) • マイクを指で塞がないでください。音声記録されにくくなります。
2	[ (撮影距離基準マーク)(→ 113)
3	モードダイヤル(→ 61)
4	モードダイヤルロックボタン(→ 61)
5	ドライブモードダイヤル(→ 117)
6	ホットシュー(ホットシューカバー) (→ 196)
7	[LVF] ボタン(→ 66)
8	スピーカー(→ 386)

9	前ダイヤル(→ 62)
10	電源スイッチ(→ 57) / [:  :] (ステータスLCDバックライト) (→ 69, 385)
11	シャッターボタン(→ 60)
12	[WB] (ホワイトバランス) ボタン(→ 176)
13	[ISO] (ISO感度) ボタン(→ 173)
14	[] (露出補正) ボタン(→ 170)
15	動画記録ボタン(→ 61, 208)
16	後ダイヤル(→ 62)
17	ステータスLCD(→ 38, 212, 385)
18	[V.MODE] ボタン(→ 65)

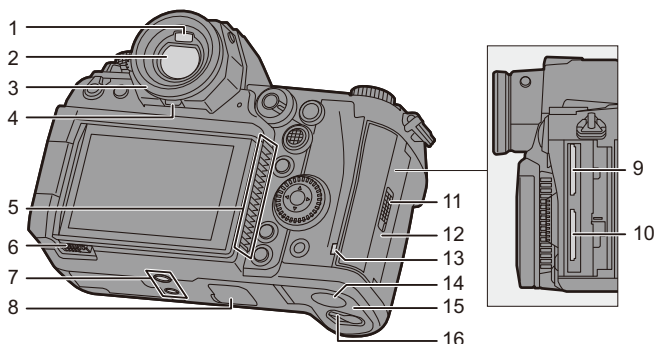


1	視度調整ダイヤル(→ 65)
2	操作ロックレバー(→ 64)
3	[](再生)ボタン(→ 297)
4	モニター(→ 37、471)／ タッチパネル(→ 64)
5	リアタリールンプ(→ 208)
6	[](AFモード)ボタン(→ 88)
7	[AF ON]ボタン(→ 89)
8	フォーカスモードレバー (→ 87、88、110)
9	ジョイスティック(→ 63)／ Fnボタン(→ 313) 中央:Fn8、▲:Fn9、▶:Fn10、 ▼:Fn11、◀:Fn12

10	[Q](クイックメニュー)ボタン (→ 70)
11	カーソルボタン(→ 63)／ Fnボタン(→ 313) ▲:Fn13、▶:Fn14、▼:Fn15、 ◀:Fn16
12	コントロールダイヤル(→ 63)
13	[MENU/SET]ボタン(→ 63、72)
14	[](戻る)ボタン(→ 73)
15	[](消去)ボタン(→ 306)
16	[DISP.]ボタン(→ 67)

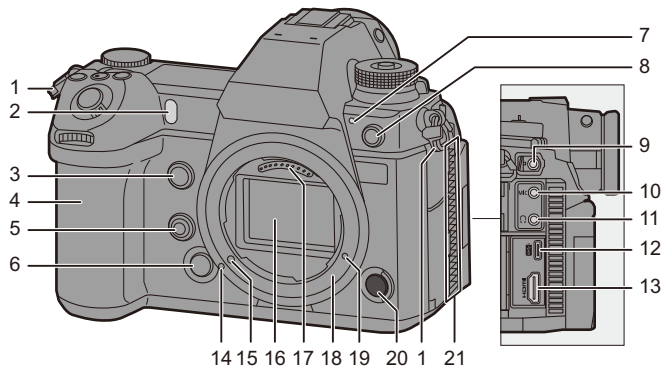


- 電源スイッチを[]にすると、以下のボタンが点灯します。点灯するタイミングは、カスタムメニュー(操作)の[ボタンイルミネーション]で変更できます。(→ 371)
- []ボタン／[Q]ボタン／[]ボタン／[]ボタン／[DISP.]ボタン



1	アイセンサー(→ 66)
2	ファインダー(→ 37、66、471)
3	アイカップ(→ 496)
4	アイカップロックレバー(→ 496)
5	吸気口 • 冷却用ファンの吸気口です。 • 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで本機の吸気口を塞がないでください。
6	モニターロックレバー(→ 56)
7	三脚取り付け部(→ 500) • ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できない場合や、カメラを傷つける場合があります。
8	バッテリーグリップ接点 (バッテリーグリップ接点カバー) (→ 467)
9	カードスロット1(→ 51)

10	カードスロット2(→ 51)
11	カード扉ロックレバー(→ 51)
12	カード扉(→ 51)
13	カードアクセスランプ(→ 52)
14	DCカプラー扉(→ 468) • ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC16)を使用してください。
15	バッテリー扉(→ 42)
16	バッテリー扉開閉レバー(→ 42)



1	ショルダーストラップ取り付け部 (→ 39)
2	セルフタイマーランプ (→ 139) / AF補助光ランプ (→ 346)
3	Fnボタン(Fn1) (→ 313)
4	グリップ
5	プレビューボタン (→ 169) / Fnボタン(Fn2) (→ 313)
6	レンズ取り外しボタン (→ 55)
7	フロントタリーランプ (→ 208)
8	フラッシュシンクロ端子(フラッシュシンクロ端子キャップ) (→ 197) • シンクロ電圧が250 V以下のフラッシュをご使用ください。 • 外部機器とタイムコードを同期する場合、付属のBNC 変換ケーブル(TC IN/OUT 専用)を接続します。(→ 229)

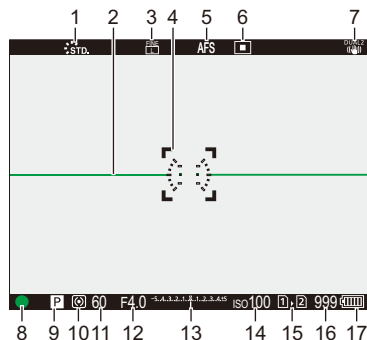
9	[REMOTE] 端子 (→ 468)
10	[MIC] 端子 (→ 291)
11	ヘッドホン端子 (→ 295)
12	USB 端子 (→ 44、451)
13	[HDMI] 端子 (→ 281、451)
14	レンズ取り付けマーク (→ 54)
15	レンズロックピン
16	センサー
17	接点
18	マウント
19	機能拡張用ねじ穴 • 将来的な機能拡張用のねじ穴です。
20	サブ動画記録ボタン (→ 61、208)
21	排気口 • 冷却用ファンの排気口です。 • 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで本機の排気口を塞がないでください。

ファインダー／モニターの表示

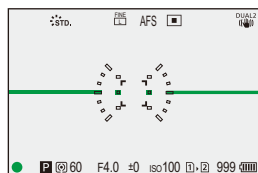
お買い上げ時、ファインダー／モニターには以下のアイコンが表示されます。

- ここに記載している以外のアイコンについては、[471](#)ページをお読みください。

ファインダー



モニター



1	フォトスタイル(→ 180)
2	水準器(→ 377)
3	写真画質(→ 82)／ 画像サイズ(→ 81)
4	AFエリア(→ 105)
5	フォーカスモード(→ 87 、 110)
6	AFモード(→ 93)
7	手ブレ補正(→ 154)
8	フォーカス(緑点灯)(→ 60 、 88)／ 記録動作表示(赤点灯)(→ 192 、 208)
9	撮影モード(→ 61)

10	測光モード(→ 159)
11	シャッタースピード(→ 60)
12	絞り値(→ 60)
13	露出補正値(→ 170)／ マニュアル露出アシスト(→ 167)
14	ISO感度(→ 173)
15	カードスロット(→ 51)／ ダブルスロット機能(→ 83)
16	静止画撮影枚数(→ 506)／ 連続撮影可能枚数(→ 119)
17	バッテリー残量(→ 47)

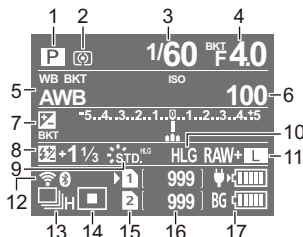


・[] ボタンを押すと、水準器の表示／非表示を切り換えることができます。

ステータスLCDの表示

写真撮影時は、以下の撮影設定を表示します。

- [M]モード(クリエイティブ動画モード)の表示については、[212](#)ページをお読みください。



1	撮影モード(→ 61)	9	フोटスタイル(→ 180)／ フィルター設定(→ 185)
2	測光モード(→ 159)	10	HLG フォト(→ 194)
3	シャッタースピード(→ 60)	11	写真画質(→ 82)／ 画像サイズ(→ 81)
4	絞り値(→ 60)／ 絞りブラケット(→ 143)	12	Wi-Fi／Bluetooth接続状態(→ 402)
5	ホワイトバランス(→ 176)／ ホワイトバランスブラケット (→ 145)	13	ドライブモード(→ 117)／ フォーカスセレクト(→ 146)／ ハイレゾモード(→ 191)
6	ISO感度(→ 173)／ Dual Native ISO 設定(→ 175)	14	AFモード(→ 93)
7	露出補正(→ 170)／ 露出ブラケット(→ 143)	15	カードスロット(→ 51)／ ダブルスロット機能(→ 83)
8	フラッシュ光量調整(→ 202)	16	静止画撮影枚数(→ 506)／ 連続撮影可能枚数(→ 119)
		17	バッテリー残量(→ 47)／給電(→ 46)



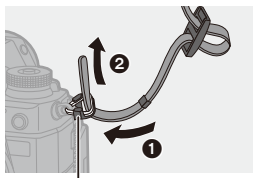
- ステータスLCDバックライトの点灯(→ [69](#))
- ステータスLCDの文字色、背景色やバックライトの点灯方法を変更できます：
[設定] → [表示] → [ステータスLCD](→ [385](#))

2. 準備

ショルダーストラップの取り付け

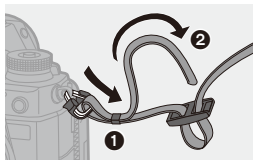
落下防止のため、以下の手順でショルダーストラップを取り付けてください。

- 1 ショルダーストラップ取り付け部に、ショルダーストラップを通す

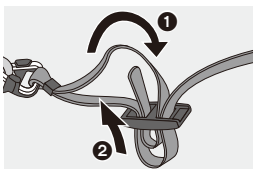


ショルダーストラップ取り付け部

- 2 ショルダーストラップの端をリングに通したあと、留め具に通す

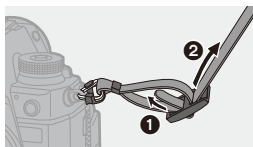


- 3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す



- 4 ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認する

• 反対側も、同じ手順で取り付けてください。



バッテリーの充電

バッテリーは付属のチャージャー、またはカメラ本体を使って充電できます。付属のUSB接続ケーブル(C-C)を使って、USB PD(USB Power Delivery)対応機器につないで充電することも可能です。

また、充電中にカメラの電源をオンにして撮影することもできます。

- 本機で使うことができるバッテリーはDMW-BLJ31です。(2019年8月現在)



- お買い上げ時、バッテリーは充電されていないため、充電してからお使いください。

チャージャーを使った充電

充電時間	約130分
------	-------

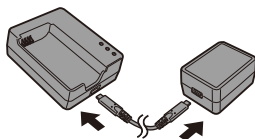
- 付属のチャージャーおよびACアダプターを使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。



- 充電には本機の付属品をお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

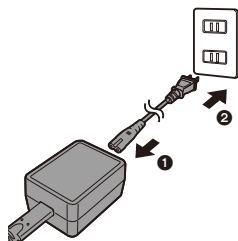
1 チャージャーとACアダプターをUSB接続ケーブル(C-C)でつなぐ

- プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)



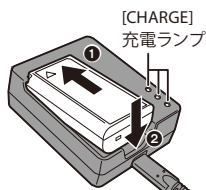
2 電源コードをACアダプターにつなぎ、電源コンセントに差し込む

- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。



3 バッテリーを差し込む

- バッテリーの端子部を奥にして、しっかりと押し込んでください。
- 充電ランプが点滅し、充電が始まります。



- 付属のUSB接続ケーブル(C-C)以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。故障の原因になります。

❖ 充電ランプの表示

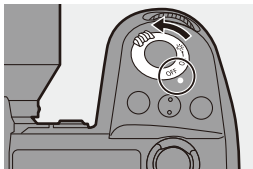
充電状態	0%～49%	50%～79%	80%～99%	100%
充電ランプ	点滅 CHARGE 50% 80% 100%	点灯 点滅 CHARGE 50% 80% 100%	点灯 点滅 CHARGE 50% 80% 100%	消灯 CHARGE 50% 80% 100%



- 充電完了後は、電源との接続を解除して、バッテリーを取り外してください。
- [50%]のランプが速く点滅するときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電してください。
 - チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。電源との接続を解除してから、汚れを乾いた布でふき取ってください。

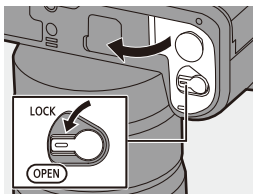
バッテリーの挿入

1 電源スイッチを[OFF]にする



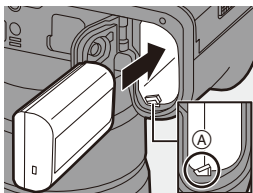
2 バッテリー扉を開く

- バッテリー扉開閉レバーをOPEN側にスライドします。



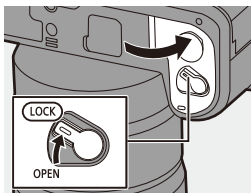
3 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部を奥にして、ロック音がするまでしっかりと押し込んでください。
- バッテリーに④のレバーがかかっていることを確認してください。



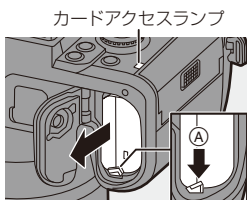
4 バッテリー扉を閉じる

- バッテリー扉を閉じて、バッテリー扉開閉レバーをLOCK側にスライドします。



❖ バッテリーの取り出し

- 1 電源スイッチを[OFF]にする
- 2 バッテリー扉を開く
 - カードアクセスランプの消灯を確認してから、バッテリー扉を開いてください。
- 3 ①のレバーを矢印の方向に押して、バッテリーを取り出す



- バッテリー扉の内側(ゴムパッキン)に異物が付着していないことを確認してください。
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。(カメラ内に挿入したまま長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後のバッテリーは、温かくなります。また使用中はカメラも温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出すためお気をつけください。

カメラにバッテリーを入れて充電する

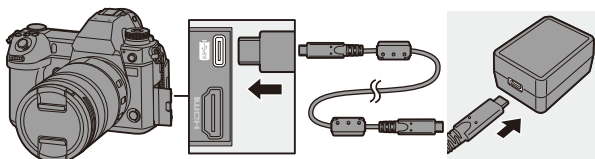
充電時間

約140分

- カメラ本体と付属のACアダプターを使用。カメラの電源がオフの状態。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温／低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

✏️ • 充電には本機の付属品をお使いください。

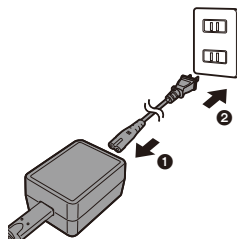
- 電源スイッチを[OFF]にする
- カメラにバッテリーを入れる
- カメラのUSB端子とACアダプターをUSB接続ケーブル(C-C)でつなぐ



- プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)

- 電源コードをACアダプターにつなぎ、電源コンセントに差し込む

- ステータスLCDに[CHARGE]が表示され、充電が始まります。充電が完了すると、[FULL]が表示されます。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。





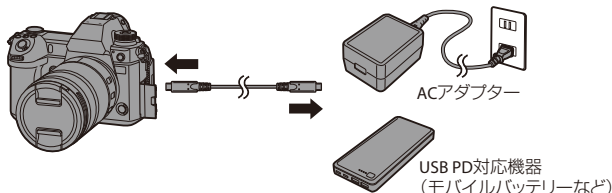
- USB機器(パソコンなど)とカメラをUSB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でつないでも充電できます。この場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 別売のバッテリーグリップ(DMW-BGS1)を使用しているときは、バッテリーグリップに入れたバッテリーも充電できます。



- 付属のUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 充電完了後は、電源との接続を解除してください。
- ステータスLCDに[ERROR]が表示されたときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電してください。
 - バッテリーの端子部が汚れています。バッテリーを取り出して汚れを乾いた布でふき取ってください。
- 電源スイッチを[OFF]にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

電力を供給しながらカメラを使う(給電／充電)

カメラ本体と付属のACアダプターで充電しているとき(→ 44)に電源をオンにすると、電力を供給(給電)しながら充電できます。撮影と同時に充電が可能です。USB PD(USB Power Delivery)対応機器とカメラを接続しても同じことができます。



- カメラにバッテリーを挿入してください。
- 付属のUSB接続ケーブル(C-C)で接続してください。
- USB PD対応機器(モバイルバッテリーなど)は、出力9V／3A(27W以上)のものを使用してください。
- 電源オン中の充電は、電源オフ中よりも充電時間が長くなります。



- USB PD対応のすべての機器との動作を保証するものではありません。
- USB PD非対応の機器(パソコンなど)と接続してカメラの電源をオンにした場合は、給電だけが行われます。
- 電源プラグを抜き差しする場合は、先にカメラの電源を切ってください。
- 使用状況によっては、バッテリー残量が減る場合があります。残量がなくなると、電源が切れます。
- 接続する機器の給電能力によっては、給電できない場合があります。

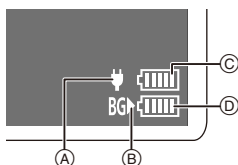


- USB給電をオフにできます:
[] → [] → [USB] → [USB給電](→ 387)

充電／給電についてのお知らせ

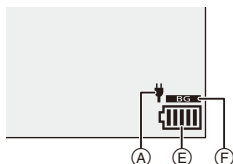
❖ 電源に関する表示

ステータスLCD表示



- Ⓐ USB接続ケーブルから電源供給中
- Ⓑ 電源の供給元
- Ⓒ カメラ本体のバッテリー残量
- Ⓓ バッテリーグリップのバッテリー残量
- Ⓔ バッテリー残量
- Ⓕ バッテリーグリップ側のバッテリーを使用中

モニター表示



	80%以上
	60%～79%
	40%～59%
	20%～39%
	19%以下
	残量不足 ・ バッテリーを充電または交換してください。

- 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。
- 充電中は、ⒸまたはⒹの残量のいちばん大きな目盛りが点滅します。
- 充電エラー時は、ステータスLCD表示のⒶのアイコンが点滅します。



- パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- ACアダプター、電源コード、およびUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)は、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- USB延長ケーブルや、USB変換アダプターは使用しないでください。
- ACアダプターは海外でも使用できます。(→ 469)
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。電源プラグを接続し直してください。
- キーボードやプリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。
- 接続したパソコンが休止状態になると、充電／給電が中止されることがあります。



- モニターのバッテリー残量表示を数値(%)に変更できます：

[] → [] → [バッテリー残量表示](→ 384)

- バッテリーの劣化度を確認できます：

[] → [] → [バッテリー情報](→ 388)

エコモード

一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。バッテリーの消費を抑えます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [エコモード]を選ぶ

スリープモード	スリープするまでの時間を設定します。	
スリープモード (Wi-Fi)	Wi-Fi切断後、15分でスリープするように設定します。	
LVF/モニター自動 OFF	ファインダー／モニターを消灯する時間を設定します。(電源は切りません)	
省電力ファイン ダー撮影	ファインダー／モニター自動切換で、撮影画面をモニターに表示しているときにスリープします。 • [スリープするまでの時間]を[OFF]に設定すると、[省電力ファインダー撮影]は働きません。	
	スリープする までの時間	スリープするまでの時間を設定します。
	動作する条件	スリープが働く画面を設定します。 [コントロールパネルのみ]: コントロールパネル(→ 67)を表示しているときだけスリープします。 [撮影待機中]: 撮影待機中はどの画面のときでもスリープします。

- [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影]から復帰する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
 - シャッターボタンを半押しする
 - 電源スイッチを[OFF]にしてから、もう一度[ON]にする
- [LVF/モニター自動OFF]から復帰するには、いずれかのボタンを押してください。



- 以下の場合、[エコモード]が働きません。
 - パソコンまたはプリンター接続中
 - 動画撮影／動画再生中
 - [6K/4Kプリ連写]撮影時
 - インターバル撮影中
 - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
 - [多重露出]撮影時
 - [フォーカストラッキング]撮影時
 - スライドショー中
 - HDMI出力して撮影中

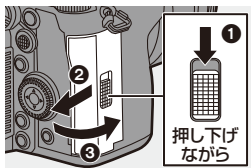
カード(別売)の挿入

本機はダブルスロット機能に対応しています。カードを2枚使用すると、リレー記録やバックアップ記録、振り分け記録ができます。

使用できるカードについて詳しくは、31ページをお読みください。

1 カード扉を開く

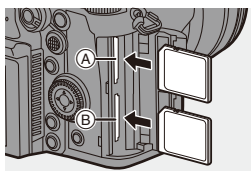
- カード扉ロックレバーを押し下げながら、カード扉を矢印の方向にスライドします。



2 カードを入れる

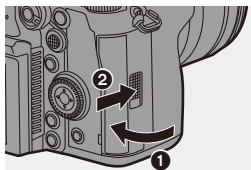
- (A) カードスロット1
- (B) カードスロット2

- カードの向きを図に合わせ、
「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。
- カードの接続端子部には触れないでください。



3 カード扉を閉じる

- カード扉を閉じて、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで確実に扉をスライドします。



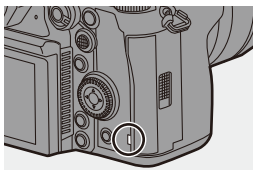
- ステータスLCDにカードが表示されます。



- カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定できます：
[] → [] → [ダブルスロット機能] (→ 83)

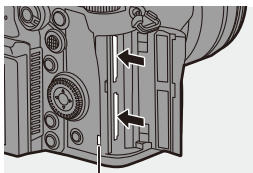
❖ カードアクセス中の表示

カードアクセス中は、カードアクセスランプが点灯します。



❖ カードの取り出し

- 1 カード扉を開く
 - カードアクセスランプの消灯を確認してから、カード扉を開いてください。
- 2 「カチッ」と音がするまでカードを押して、まっすぐ引き抜く



カードアクセスランプ



- カメラ使用後はカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はお気をつけください。
- アクセス中は、以下の操作をしないでください。カメラが正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります。
 - 電源を切る
 - バッテリーやカード、電源プラグを抜く
 - カメラに振動や衝撃、静電気を与える



- カードアクセスランプが点灯しないように設定できます：
[] → [] → [カードアクセスランプ] (→ 390)

カードのフォーマット(初期化)

カードの性能を最大限に発揮するために、使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。



- フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータのバックアップを取ってからフォーマットしてください。



⇒ [] ⇒ [] ⇒ [フォーマット]を選ぶ

設定: [スロット1] / [スロット2]



- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- 購入後一度もフォーマットしていないカードは、本機でフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。



- カードに保存したカメラの設定情報を残してカードをフォーマットできます:
[] ⇒ [] ⇒ [カメラ設定の保存/読み込み] ⇒ [カードフォーマット時に保持]
(→ 335)

レンズの取り付け

本機は、ライカカメラ社 L-Mount 規格レンズを取り付けることができます。
使用できるレンズについて詳しくは、30 ページをお読みください。

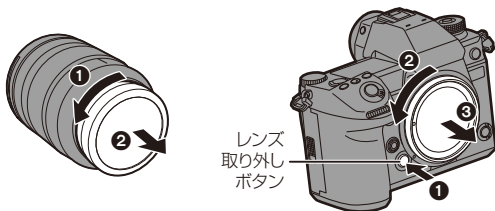


- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみやほこりが付着した場合は、495 ページをお読みください。
- レンズの交換は、レンズキャップを取り付けた状態で行ってください。

1 電源スイッチを [OFF] にする

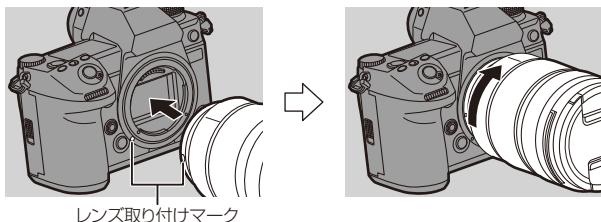
2 レンズリアキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外す

- ボディキャップを外すときは、レンズ取り外しボタンを押しながら回してください。



3 レンズとカメラのレンズ取り付けマークを合わせ、レンズを矢印の方向に回す

- 「カチッ」と音がするまで回して取り付けてください。

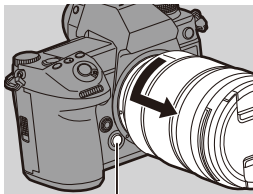




- 本機との通信機能がないレンズを取り付けた場合は、電源を入れたときにレンズ情報の確認メッセージが表示されます。[はい]を選ぶとレンズのイメージサークルや焦点距離などを登録できます。(→ 158)
- 確認メッセージを非表示にできます：
[⚙️] → [🔄] → [レンズ情報確認表示] (→ 381)
- レンズはまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込んで取り付けようとすると、カメラのレンズ取り付け部を傷つけるおそれがあります。

❖ レンズの取り外し

- ① 電源スイッチを[OFF]にする
- ② レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



レンズ取り外しボタン

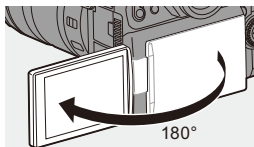


- レンズを取り外したあとは、ボディキャップとレンズリアキャップを必ず取り付けてください。

モニターの向きと角度の調整

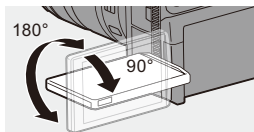
本機のモニターは、フリーアングルとチルトを組み合わせ、向きと角度を自由に調整できます。お買い上げ時はモニターが収納状態になっています。モニター面を表にしてからご使用ください。

1 モニターを開く

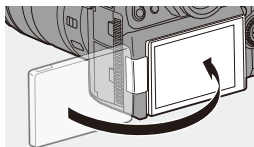


2 モニターを回転する

- レンズ側に180°、手前に90°回転できます。



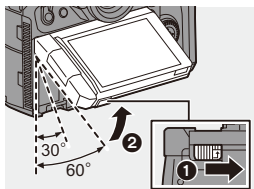
3 モニターを元の位置に閉じる



❖ チルト

モニターロックレバーを矢印の方向にスライドしながらモニターを押し上げてください。

- 本機のモニターは、2段階にチルトできます。
- 30°にチルトした状態でも、モニターを開くことができます。



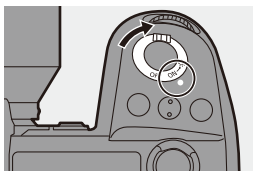
- 調整できる角度は目安です。
- モニターに指を挟まないようにご注意ください。
- モニターに無理な力を加えないでください。傷や故障の原因になります。
- カメラを使用しないときは、モニター面を内側にして閉じてください。

時計の設定 (初めて電源を入れるとき)

初めて電源を入れたときは、タイムゾーンと時計を設定する画面が表示されます。

正しい日時の情報を記録するために、ご使用の前に必ず設定してください。

1 電源スイッチを[ON]にする



2 [タイムゾーンを設定してください]と表示されたら、 または を押す

3 タイムゾーンを設定する

- ◀▶ でタイムゾーンを選び、 または  を押します。
- サマータイム [] (夏時間) を採用している場合は、▲ を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度 ▲ を押してください。



GMT(グリニッジ標準時)との時差

4 [時計を設定してください]と表示されたら、 または を押す

5 時計を設定する

- ◀▶ : 項目(年・月・日・時・分・秒)の選択
- ▲▼ : 数値の選択



表示順・時刻表示形式を設定する場合

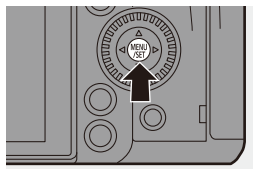
- ◀▶ で[表示形式]を選び、MENU/SET または ⌚ を押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



表示順 時刻表示形式

6 決定する

- MENU/SET または ⌚ を押します。



7 [時計を設定しました]と表示されたら、MENU/SET または ⌚ を押す

- 🔑 • 時計の設定をしないでカメラを使うと、2019年1月1日 0:00:00に設定されます。
- バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーをカメラに約24時間入れたままにしてください)
- ➡ • [タイムゾーン]、[時計設定]はメニューから変更できます：
 - [🔧] ➡ [📅] ➡ [タイムゾーン](➡ 391)
 - [🔧] ➡ [📅] ➡ [時計設定]

3. 基本操作

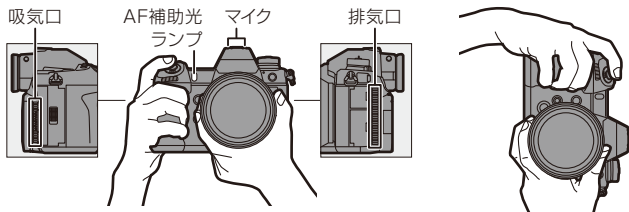
撮影の基本操作

カメラの構え方

手ブレを抑えるため、カメラが動かないように構えて撮影します。

両手でカメラを持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

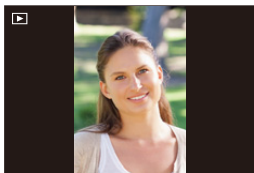
- 右手でカメラのグリップを包むようにしっかりと持ってください。
- 左手でレンズを下から支えてください。
- AF補助光ランプおよびマイクを指などで塞がないでください。
- 冷却用ファンの吸気口および排気口を手などで塞がないでください。



❖ 縦位置検出機能

縦に構えて撮影したことを検出する機能です。初期設定では、写真を自動で縦向きにして再生します。

- [縦位置自動回転]を[OFF]にすると、写真を回転せずに再生します。(→ [394](#))

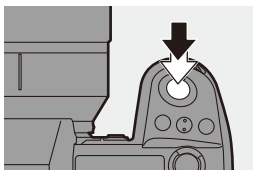


- カメラを大きく上や下に向けると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、縦向きに表示できません。
– 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]

写真の撮影

1 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押し(軽く押す)します。
- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(適正な露出が得られないときは、赤く点滅します)
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- [AF ON] ボタンを押しても同じ操作ができます。



シャッタースピード

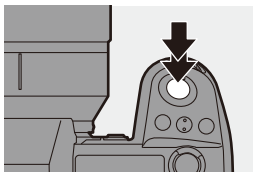


フォーカス表示

絞り値

2 撮影する

- シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)します。



- カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[オートレビュー]を設定すると、撮影した写真を自動で表示できます。写真を表示する時間もお好みで変更できます。(→ 372)

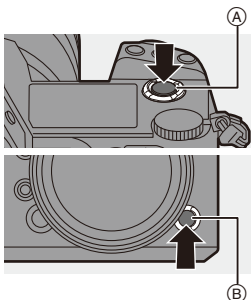


- 初期設定では、ピントが合うまで撮影できません。カスタムメニュー(フォーカス/リリース)の[フォーカス/リリース優先]を[バランス]または[リリース]にすると、ピントが合っていないでも撮影できます。(→ 364)

動画の撮影

1 撮影を開始する

- 動画記録ボタン①を押します。
- サブ動画記録ボタン②でも同じ操作ができます。
- 動画記録ボタンを押したあと、すぐに離してください。

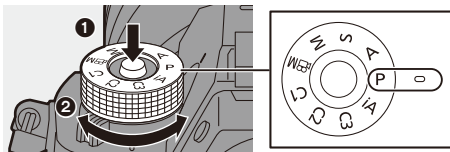


2 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタンを押します。
- サブ動画記録ボタンでも同じ操作ができます。

撮影モードの選択

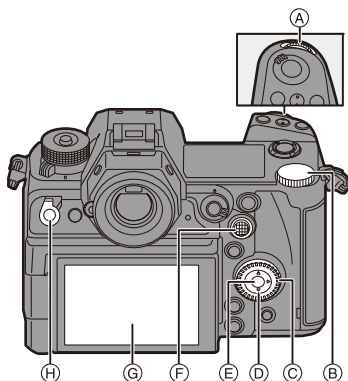
モードダイヤルロックボタンを押しながら①、
モードダイヤルを回す②



iA	インテリジェントオートモード(→ 75)
P	プログラムAEモード(→ 160)
A	絞り優先AEモード(→ 162)
S	シャッター優先AEモード(→ 164)
M	マニュアル露出モード(→ 166)
CM	クリエイティブ動画モード(→ 211)
C1 / C2 / C3	カスタムモード(→ 329)

カメラの設定操作

カメラの設定を変更するときは、以下の操作部を使って操作します。
誤操作を防ぐために、操作ロックレバーで操作を無効にできます。



①	前ダイヤル(→ 62)
②	後ダイヤル(→ 62)
③	コントロールダイヤル(→ 63)
④	カーソルボタン(→ 63)
⑤	[MENU/SET]ボタン(→ 63)
⑥	ジョイスティック(→ 63)
⑦	タッチパネル(→ 64)
⑧	操作ロックレバー(→ 64)

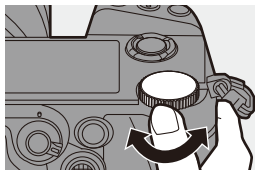
❖ 前ダイヤル(☀️)／後ダイヤル(☂️)

回す:項目や数値を選択します。

- [P]／[A]／[S]／[M]モードで撮影しているときは、絞りやシャッタースピードなどを設定します。

[ダイヤル設定]で操作方法を変更できます。

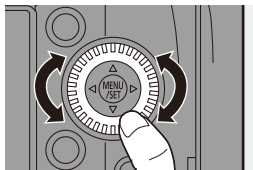
(→ 370)



❖ コントロールダイヤル()

回す: 項目や数値を選択します。

- 撮影時は、ヘッドホンの音量を調整します。
[ダイヤル設定]の[コントロールダイヤルの割当]で機能を変更できます。(→ 370)



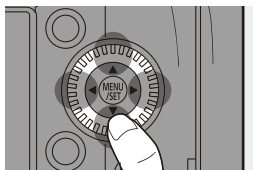
❖ カーソルボタン()

押す: 項目や数値を選択します。

❖ [MENU/SET]ボタン()

押す: 設定内容を決定します。

- 撮影時と再生時は、メニューを表示します。



❖ ジョイスティック(/)

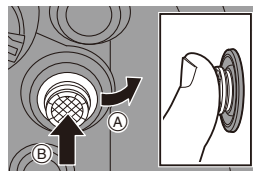
ジョイスティックは、上下左右斜めに傾ける8方向操作と、中央部分を押し込む操作ができます。

① 傾ける: 項目、数値の選択や、位置の移動をします。

- ジョイスティックの中央に指を当てて傾けます。
側面から押すと正しく動作しない場合があります。

② 押す: 設定内容を決定します。

- 撮影時は、AFエリアやMFアシストを移動します。
撮影時のジョイスティックの機能は、[ジョイスティック設定]で変更できます。
(→ 371)



❖ タッチパネル

画面に表示されるアイコンやスライドバー、メニューなどを指で触れて操作できます。

① タッチする

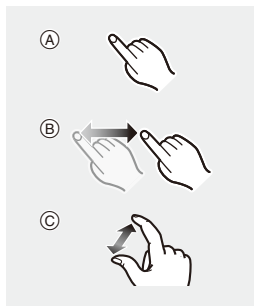
タッチパネルに触れて離す動作です。

② ドラッグする

タッチパネルに触れたまま指を動かす動作です。

③ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを2本の指で触れたまま、広げる(ピンチアウト)動作と縮める(ピンチイン)動作です。



- タッチパネルは、清潔で乾燥した指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。
(モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります)
- 以下の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - 手袋を着用している
 - タッチパネルがぬれている

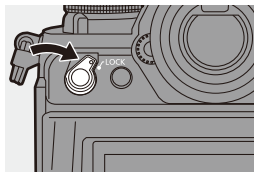


- タッチ操作を無効にできます：
[設定] → [表示] → [タッチ設定](→ 368)

❖ 操作ロックレバー

操作ロックレバーを[LOCK]に合わせると、以下の操作部を無効にできます。無効にする操作部は、カスタムメニュー(操作)の[ロックレバー設定]で設定できます。(→ 368)

- カーソルボタン
- [MENU/SET] ボタン
- ジョイスティック
- タッチパネル
- 前ダイヤル
- 後ダイヤル
- コントロールダイヤル



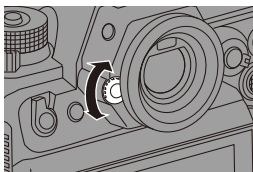
表示の設定

ファインダーの設定

❖ ファインダーの視度の調整

ファインダーをのぞきながら、視度調整ダイヤルを回す

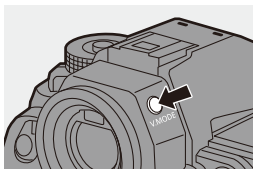
- ファインダー内の文字がはっきり見えるまで調整してください。



❖ ファインダー表示倍率の切り換え

[V.MODE] ボタンを押す

- ファインダーの表示倍率が3段階に切り換わります。

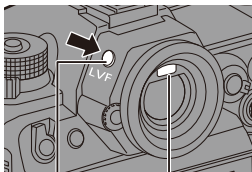


モニターとファインダーの切り換え

初期設定では、ファインダー／モニター自動切換が設定されています。ファインダーをのぞくとアイセンサーが働き、モニター表示からファインダー表示に切り換わります。

[LVF]ボタンで、ファインダー表示またはモニター表示に切り換えることができます。

[LVF]ボタンを押す

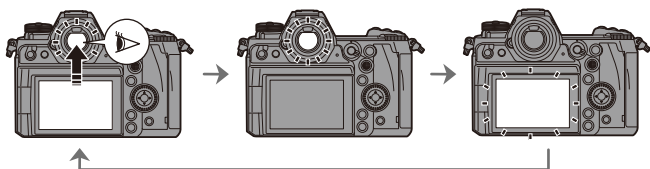


[LVF]ボタン アイセンサー

ファインダー／モニター
自動切換

ファインダー表示

モニター表示



- モニターをチルトした状態では、アイセンサーは働きません。
- 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく働かない場合があります。
- 動画再生中やスライドショー中は、ファインダー／モニター自動切換が働きません。



- ファインダーをのぞいたときにピントを合わせます：

[設定] ⇒ [AF] ⇒ [アイセンサーAF] (→ 367)

- アイセンサーの感度を変更できます：

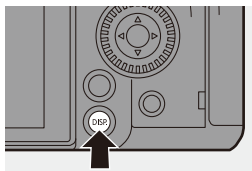
[設定] ⇒ [カメラ] ⇒ [アイセンサー] (→ 385)

情報表示の切り換え

撮影画面や再生画面の撮影情報(アイコン)を非表示にできます。
背面のモニターは、コントロールパネルを表示したり、消灯したりすることもできます。

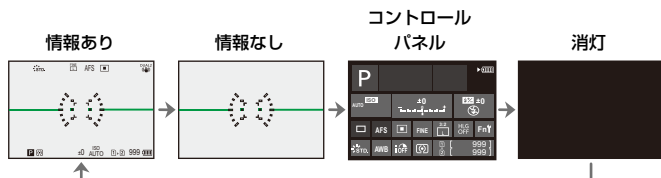
[DISP.]ボタンを押す

- 情報表示が切り換わります。

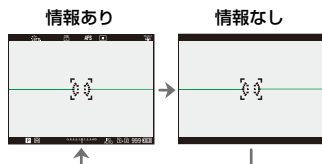


❖ 撮影画面

モニター



ファインダー



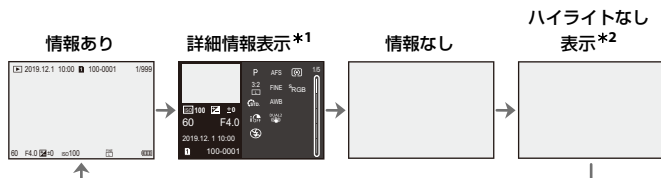


- [] ボタンを押すと、水準器の表示／非表示を切り換えることができます。
[水準器表示](→ 377)でも設定できます。



- コントロールパネルの操作(→ 71)
- コントロールパネル、消灯画面を非表示にできます：
[] → [] → [撮影画面の遷移(モニター)](→ 377)
- ライブビューと情報表示が重ならないように表示を変更できます：
[] → [] → [LVF/モニター表示設定](→ 375)

❖ 再生画面



*1 ▲▼を押すと、表示内容が切り換わります。(→ 480)

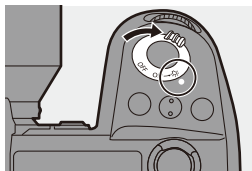
- 詳細情報表示
- ヒストグラム表示
- フォトスタイル表示
- ホワイトバランス表示
- レンズ情報表示

*2 カスタムメニュー(モニター/表示(写真))の[ハイライト表示]を[ON]にすると表示される、ハイライト表示のない画面です。この画面以外では、白飛びの起こっている部分が点滅表示されます。(→ 376)

ステータスLCDバックライトの点灯

電源スイッチを[]にする

- バックライトが点灯します。
- 電源スイッチを離すと、電源スイッチは [ON] の位置に戻ります。
- 一定時間カメラを何も操作しないとバックライトは消灯します。
- 初期設定では、イルミネーションボタンも点灯します。
- もう一度電源スイッチを[]にする、またはシャッターボタンを全押しすると、バックライトは消灯します。
- 以下の機能を使用中は、点灯しません。
 - 動画撮影、6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]
 - 連写撮影中
 - 再生
 - メニュー
 - クイックメニュー



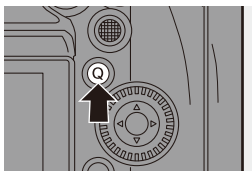
- ➡ • ステータスLCDの文字色、背景色やバックライトの点灯方法を変更できます：
[] ➡ [] ➡ [ステータスLCD](➡ 385)

クイックメニュー

撮影でよく使う機能を、メニュー画面を呼び出すことなく素早く設定できるメニューです。クイックメニューの表示方法や、表示する項目の変更もできます。

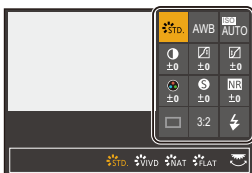
1 クイックメニューを表示する

- [Q] ボタンを押します。



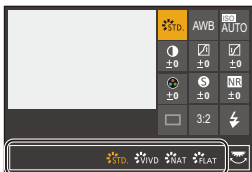
2 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼◀▶ を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。
- 設定ダイヤルを回しても選択できます。
- メニュー項目をタッチしても選択できます。



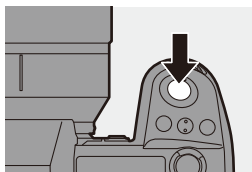
3 設定項目を選ぶ

- 設定ダイヤル または 設定ダイヤルを回します。
- 設定項目をタッチしても選択できます。



4 クイックメニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [Q] ボタンを押しても終了できます。



● 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。



● クイックメニューのカスタマイズができます：
[設定] → [設定] → [Q.MENU 設定] (→ 324)

コントロールパネル

現在の撮影設定をモニターで確認できる画面です。画面をタッチして、設定を変更することもできます。

[⌂M]モード(クリエイティブ動画モード)では、動画専用の表示に変わります。(→477)

1 コントロールパネルを表示する

- [DISP.]ボタンを数回押します。

2 項目をタッチする

- それぞれの項目の設定画面が表示されます。



3 設定を変更する

例)AFモードの変更

- 設定項目をタッチします。
- 設定の変更操作については、各項目の説明ページをお読みください。



4 [決定]をタッチする

❖ ダイヤルを使った直接変更

手順2～4は以下の操作でも変更できます。

- 1 ▲▼◀▶のいずれかを押して、項目を選択可能な状態にする
 - 選択中の項目が黄色で表示されます。
- 2 ▲▼◀▶を押して、項目を選ぶ
 - ☀ または ⚙ を回しても選択できます。
- 3 ☀ を回して、設定を変更する



●撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。

メニューの操作方法

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。

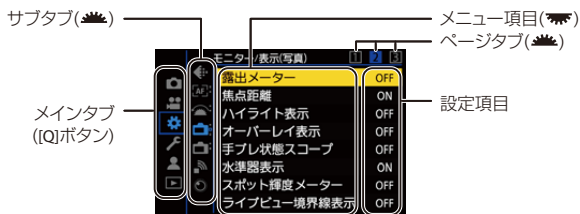
メニューの操作はカーソル、ジョイスティック、ダイヤル、タッチのどれでも可能です。

メニューの構成と操作部

メニュー画面を◀▶で移動することで、メニューを操作できます。

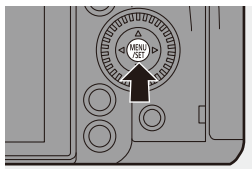
また、メインタブ、サブタブ、ページタブ、メニュー項目は、下図で示した操作部を使うと、メニューの各階層に移動しなくても操作できます。

- アイコンやメニュー項目、設定項目をタッチしても操作できます。



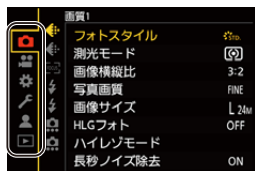
1 メニューを表示する

- を押します。



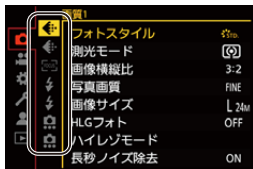
2 メインタブを選ぶ

- ▲▼でメインタブを選び、▶を押します。
- を回してメインタブを選び、 または を押しても同じ操作ができます。



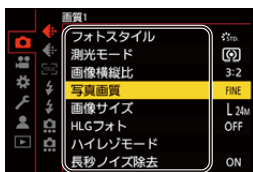
3 サブタブを選び

- ▲▼でサブタブを選び、▶を押します。
- を回してサブタブを選び、またはを押しても同じ操作ができます。
- ページタブがある場合は、ページタブ④が順に切り換わったあとに、次のサブタブに切り換わります。



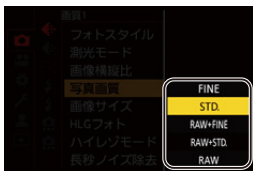
4 メニュー項目を選び

- ▲▼でメニュー項目を選び、▶を押します。
- を回してメニュー項目を選び、またはを押しても同じ操作ができます。



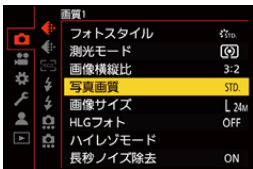
5 設定項目を選び決定する

- ▲▼で設定項目を選び、またはを押します。
- を回して設定項目を選び、またはを押しても同じ操作ができます。
- 設定項目の表示、選び方はメニュー項目によって異なります。



6 メニューを終了する

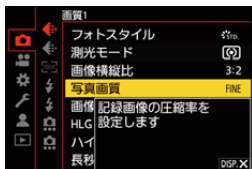
- シャッターボタンを半押しします。
- [>] ボタンを数回押しても終了できます。



➡ ● メニュー項目の詳細については、メニューガイドをお読みください。(➡ 336)

❖ メニュー項目や設定内容の説明を表示する

メニュー項目や設定項目を選択中に[DISP.]ボタンを押すと、メニューの説明が画面に表示されます。

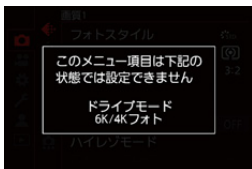


❖ グレーで表示されるメニュー項目

設定できないメニュー項目はグレーで表示されます。

グレーのメニュー項目を選択中に  または  を押すと、設定できない理由が表示されます。

- メニュー項目によっては、設定できない理由は表示されません。



設定リセット

以下のそれぞれの設定を、初期設定に戻します。

- 撮影設定
- ネットワーク設定 ([Wi-Fi設定]、[Bluetooth] の設定内容)
- セットアップ/カスタム設定 ([Wi-Fi設定]、[Bluetooth] 以外)

 ➡  ➡  ➡ [設定リセット] を選ぶ



- セットアップ/カスタム設定をリセットすると、再生メニューもリセットされます。
- 写真メニュー(その他(静止画))/動画メニュー(その他(動画))の[手ブレ補正]の[レンズ情報]は、セットアップ/カスタム設定をリセットすると初期設定に戻ります。
- フォルダー番号、時計はリセットされません。



- 初期設定とリセット対象の一覧(➡ 511)

インテリジェントオートモード

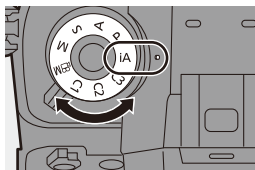
iA P A S M



[iA] モード(インテリジェントオートモード)は、カメラにおまかせで撮影できるモードです。

被写体や撮影状況に合わせてカメラがシーンを判別し、自動で最適な撮影設定をします。

1 モードダイヤルを [iA] に合わせる



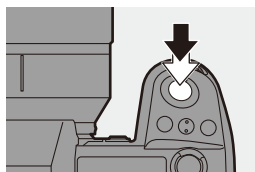
2 被写体に向けてカメラを構える

- カメラがシーンを判別すると、撮影モードのアイコンが変化します。(自動シーン判別)



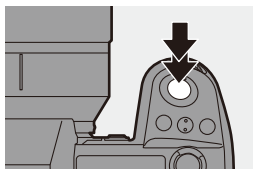
3 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- AFモードの[]が働き、人物や動物に合わせてAFエリアが表示されます。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。



- 逆光時に被写体が暗く写らないように、逆光補正が自動で働きます。

❖ 自動シーン判別の種類

📷: 写真撮影時に判別されるシーン

📹: 動画撮影時に判別されるシーン



📷📹: i 人物 & 動物



📷📹: i 人物 *1



📷📹: i 風景



📷📹: i マクロ



📷📹: i 夜景 & 人物 *2



📷📹: i 夜景



📷📹: i 料理



📷📹: i 夕焼け



📷📹: i ローライト



📷📹: iA

*1 動物認識を無効にしているときに判別されます。

*2 外部フラッシュ使用時に判別されます。



- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA](標準的な設定)で撮影します。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

❖ AFモード

AFモードを切り換える

- [] ボタンを押すごとに、AFモードが切り換わります。

 自動認識 (顔・瞳・人 体・動物)	人の顔、目、体(全身または上半身)、動物の体を認識してピントを合わせます。 •  を押すごとに、ピントを合わせる人や動物、目が切り換わります。タッチして切り換えることはできません。 • 動物認識の有効/無効は、[iA]モード以外で行った設定を引き継ぎます。	
 (追尾)	フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。 被写体に AF エリアを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにする • シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。	

- ➡ • AFモードについて詳しくは、94、97ページをお読みください。

❖ フラッシュ

フラッシュ撮影時は、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。スローシンクロ([iA], [iA^s])のときは、シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにお気をつけください。

-  • [iA], [iA^s]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- ➡ • 外部フラッシュについては、196ページをお読みください。

タッチ撮影

タッチAF／タッチシャッター

iA P A S M



タッチした位置にピントを合わせたり、シャッターを切ったりします。

- ❗ 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 368)

1 [AF]をタッチする

2 アイコンをタッチする

- タッチするたびに、アイコンが切り換わります。



☞ AF (タッチAF)	タッチした位置にピントを合わせます。
☞ (タッチシャッター)	タッチした位置にピントを合わせて撮影します。
☞ X (OFF)	—

3 (OFF以外に設定した場合) 被写体をタッチする



- 🔍 ● タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤色になったあと消えます。
- ➡ ● AFエリアの操作方法については、96ページの「AFエリアの移動画面での操作」をお読みください。
- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます：
[設定] ➡ [タッチ設定] ➡ [タッチAF] ➡ [AF+AE] (→ 106)

タッチAE

iA P A S M



タッチした位置に明るさを合わせます。
人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくできます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 368)

1 []をタッチする

2 [AE]をタッチする

- タッチAEの設定画面が表示されます。



3 明るさを合わせたい被写体を
タッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット]をタッチしてください。

4 [決定]をタッチする



❖ タッチAEの解除方法

[OFF AE]をタッチする



- 以下の機能を使用中は、タッチAEは使用できません。
- [ライブクロップ]



- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます(このとき、タッチAEは使用できません)：

[設定] ⇒ [] ⇒ [タッチ設定] ⇒ [タッチAF] ⇒ [AF+AE](→ 106)

4. 画像の記録

画像横縦比

iA P A S M 



画像の横縦比(アスペクト比)を選択できます。

 ➔  ➔  ➔ [画像横縦比]を選ぶ

4:3	4:3 モニターの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	16:9 テレビの横縦比
1:1	正方形横縦比
65:24	パノラマ撮影の横縦比
2:1	



- 以下の機能を使用中は、[16:9]と[1:1]は使用できません。
 - 6K フォト
 - [フォーカスセレクト]([6K 18M]設定時)
- 以下の機能を使用中は、[65:24]と[2:1]は使用できません。
 - [iA]モード
 - 連写
 - 6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [HLG フォト]
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]
 - [多重露出]
- スーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時は、[65:24]と[2:1]は使用できません。



- Fn ボタンに機能を登録できます：
[] ➔ [] ➔ [Fn ボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [画像横縦比](➔ 313)

画像サイズ

iA P A S M



写真の画像サイズを設定します。[画像横縦比]や使用するレンズによって、画像サイズは変わります。スーパー35 mm用／APS-C用レンズを使用しているときは、撮影範囲がスーパー35 mm用／APS-C用に切り換わり、画角が狭くなります。

→ → → [画像サイズ]を選ぶ

画像横縦比	画像サイズ			
	フルサイズ用レンズ使用時		スーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時	
4:3	L(21.5M)	5328×4000	L(9.5M)	3536×2656
	M(10.5M)	3792×2848	M(5M)	2560×1920
	S(5.5M)	2688×2016	S(2.5M)	1840×1376
3:2	L(24M)	6000×4000	L(10M)	3888×2592
	M(12M)	4272×2848	M(5M)	2784×1856
	S(6M)	3024×2016	S(2.5M)	1968×1312
16:9	L(20M)	6000×3368	L(9M)	4064×2288
	M(10M)	4272×2400	M(4.5M)	2816×1584
	S(5M)	3024×1704	S(2M)	1920×1080
1:1	L(16M)	4000×4000	L(7M)	2656×2656
	M(8M)	2848×2848	M(3.5M)	1920×1920
	S(4M)	2016×2016	S(2M)	1376×1376
65:24	L(13M)	6000×2208	—	
2:1	L(18M)	6000×3000	—	

• [EXテレコン(写真)]設定時は、[M]、[S]の画像サイズに[EX]が表示されます。



- 以下の機能を使用中は、[画像サイズ]は設定できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] – [ハイレゾモード]
 - [写真画質]の[RAW] – [多重露出]



• Fnボタンに機能を登録できます：

[] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [画像サイズ](→ 313)

写真画質

iA P A S M 



写真を保存するときの圧縮率を設定します。

 ➔  ➔  ➔ [写真画質] を選ぶ

設定	ファイル形式	設定内容
FINE	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
STD.		標準画質のJPEG画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合に便利です。
RAW+FINE	RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像([FINE]または[STD.])を同時に記録します。
RAW+STD.		
RAW	RAW	RAW画像を記録します。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。

- カメラでRAW画像を現像できます。(➔ 307)
- パソコンでRAWファイルの現像、編集をする場合は、ソフトウェア(市川ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。(➔ 458)
- [RAW]で撮影した写真は、再生時に最大倍率まで拡大表示できません。撮影後にカメラでピントを確認するときは、[RAW+FINE]または[RAW+STD.]で撮影してください。



- RAW画像は常に画像横縦比[3:2]の[L]サイズで記録されます。
- [RAW+FINE]、[RAW+STD.]の画像を本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[写真画質]は設定できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [ハイレゾモード]
 - [多重露出]



- Fnボタンに機能を登録できます：
[] ➔ [] ➔ [Fnボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [写真画質](➔ 313)

ダブルスロット機能

カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定します。

 →  →  → [ダブルスロット機能]を選ぶ

記録方法	 (リレー記録)	優先して記録するカードスロットを選択します。 [記録先スロット]: [1→2] / [2→1] カードの容量がいっぱいになったら、もう一方のカードスロットのカードに続けて記録します。
	 (バックアップ記録)	2枚のカードに同じ画像を記録します。
	 (振り分け記録)	画像の種類ごとに、記録するカードスロットを指定できます。 [JPEG/HLG フォト記録先] / [RAW 記録先] / [6K/4K フォト記録先] / [動画記録先]



リレー記録について

- 以下の動画は、別のカードに続けて記録できません。
 - [AVCHD] 動画
 - [ループ記録(動画)]

バックアップ記録について

- スピードクラス、容量が同じカードを使用することをお勧めします。
動画撮影時にカードのスピードクラスや容量が不足した場合は、両方のカード記録が停止します。
- 以下の動画は、バックアップ記録ができません。1枚のカードにだけ記録されます。
 - [AVCHD] 動画
 - [ループ記録(動画)]
- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画、6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]の撮影ができません。
 - SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードと、SDXCメモリーカード

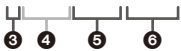


- Fn ボタンに [記録先スロット] を登録して、記録先スロットを切り換えることができます:

 →  → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [記録先スロット] (→ 313)

フォルダー/ファイル設定

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名		ファイル名	
100ABCDE		PABC0001.JPG	
			
❶	フォルダー番号(3桁、100～999)	❸	色空間[P]:sRGB、[_]:AdobeRGB)
❷	任意の5桁	❹	任意の3桁
		❺	ファイル番号(4桁、0001～9999)
		❻	拡張子

 →  →  → [フォルダー/ファイル設定]を選ぶ

フォルダー 選択 *	画像を保存するフォルダーを選択します。 • フォルダー名と、記録可能なファイル数が表示されます。	
新規フォルダー 作成	フォルダー番号を繰り上げて、新規フォルダーを作成します。 • カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。	
	OK	任意の5桁(上記❷)は変更せずに、フォルダー番号を繰り上げます。
	フォルダー 名変更	任意の5桁(上記❷)を変更します。フォルダー番号も繰り上がります。
ファイル名設定	フォルダー 番号連動	任意の3桁(上記❹)をフォルダー番号(上記❶)にします。
	ユーザー 設定	任意の3桁(上記❹)を変更します。

* [ダブルスロット機能]を[振り分け記録]に設定しているときは、[フォルダー選択(スロット1)]と[フォルダー選択(スロット2)]が表示されます。

- 文字の入力画面が表示されたら、401 ページの手順に従って文字入力してください。
設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、[_]



- 1つのフォルダーに**1000**ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に**0001**～**9999**の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
 - フォルダー内のファイル数が**1000**に達したとき
 - ファイル番号が**9999**に達したとき
- フォルダー番号が**100**～**999**のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- [ダブルスロット機能]の[バックアップ記録]を使用中は、[フォルダー選択]を設定できません。

ファイル番号リセット

フォルダー番号を更新し、ファイル番号を0001にリセットします。



⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ファイル番号リセット]を選ぶ

設定: [スロット1]/[スロット2]



- フォルダー番号が999になるとファイル番号リセットができなくなります。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- **フォルダー番号を100にリセットするには:**
 - ① [フォーマット]を実行し、カードを初期化する(→ 53)
 - ② [ファイル番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットする
 - ③ フォルダー番号のリセット画面で、[はい]を選ぶ

5. フォーカス／ズーム

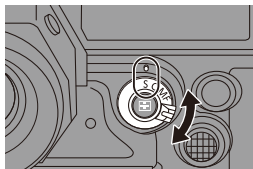
フォーカスモードの選択

iA P A S M



被写体の動きに合わせて、ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択できます。

フォーカスモードレバーを合わせる



S (AFS)	静止している被写体の撮影に適しています。 シャッターボタンを半押しすると、1回だけピントを合わせます。 シャッターボタンを半押ししている間はピントが固定されます。
C (AFC)	動いている被写体の撮影に適しています。 シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。 • 被写体の動きを予測しながらピントを合わせます。(動体予測)
MF	手動でピントを合わせます。ピントを固定したい場合や、AFを働かせたくない場合に使います。(→ 110)



- 以下の場合にシャッターボタンを半押しすると、[AFC]は[AFS]と同じ動作をします。
 - [M]モード
 - 低照度時
- 以下の機能を使用中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]
 - [ハイレゾモード]
- フォーカスセレクト撮影では設定できません。

AFを使う

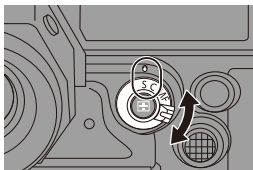
iA P A S M



AF(オートフォーカス)とは自動ピント合わせのことです。被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードとAFモードを選択してください。

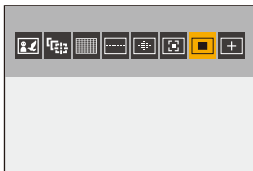
1 フォーカスモードを[S]または[C]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ 87)



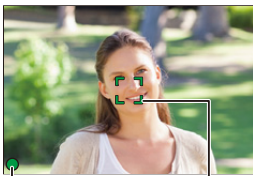
2 AFモードを選ぶ

- [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示し、 または で決定します。(→ 93)
- [] ボタンを押しても選択できません。
- [iA] モードでは、[] を押すごとに [] と [] が切り換わります。(→ 77)



3 シャッターボタンを半押しする

- AFが働きます。



フォーカスアイコン AFエリア

	ピント	
	合っている	合っていない
フォーカスアイコン	点灯	点滅
AFエリア	緑	赤
合焦音	ピピッ	—

低照度AF

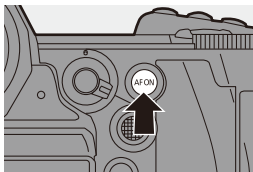
- 暗い環境では低照度AFが自動で働き、フォーカスアイコンが[]と表示されます。
- 通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

星空AF

- 低照度AFと判定したあとに夜空の星を検知した場合は、星空AFが働きます。ピントが合うとフォーカスアイコンが[]と表示され、ピントが合った場所にAFエリアが表示されます。
- 画面の端では、星空AFの検知ができません。

❖ [AF ON]ボタン

[AF ON]ボタンを押してもAFが働きます。



AFでピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体
- 非常に明るい被写体
- 濃淡のない被写体
- ガラス越しにある被写体
- 光るものの近くにある被写体
- 非常に暗い場所にある被写体
- 遠くと近くの被写体を同時に撮るとき

- AF-ONの動作を、近くの被写体を優先してAFが働くように変更できます。

誤ってピントが背景に合ってしまうときに便利な機能です：

[] ➔ [] ➔ [Fnボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [AF-ON:近側](➔ 313)

- AF-ONの動作を、遠くの被写体を優先してAFが働くように変更できます。

柵やネット越しに撮影するときに便利な機能です：

[] ➔ [] ➔ [Fnボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [AF-ON:遠側](➔ 313)



- [AFC]で撮影中に以下の操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
 - W端からT端にズームする
 - 被写体を遠くから近くに急に変える
- ピントを合わせたあとにズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じる場合があります。ピントを合わせ直してください。



- カメラのブレが小さくなると自動でピントを合わせる設定ができます：
[設定] → [AF] → [クイックAF](→ 367)
- シャッターボタン半押し時にAFが働かないように設定を変更できます：
[設定] → [AF] → [シャッター半押しリリース](→ 367)
- 合焦音の音量や音色を変更できます：
[設定] → [電子音] → [合焦音音量] / [合焦音音色](→ 386)

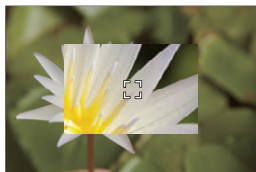
❖ AFエリアの位置を拡大表示する(AFポイントスコープ)

iA P A S M



AFモードが[]、[]、[]のときに、ピント位置を拡大表示します。
(それ以外のAFモードでは、画面中央が拡大表示されます)
ピントを確認したり、望遠鏡のように被写体を観察したりできます。

- Fnボタンに[AFポイントスコープ]を登録する(→ 313)
- Fnボタンを押したままにして、AFエリアの位置を拡大表示する
 - 拡大表示中にシャッターボタンを半押しすると、中央の小さなAFエリアでピントを合わせ直します。
 - 拡大表示中に または を回して、拡大倍率を調整できます。
 を使うとより細かく調整できます。



- 拡大表示中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
- 以下の機能を使用中は、AFポイントスコープは使用できません。
 - 動画撮影、[フォーカスセレクト]
 - [6K/4Kブリ連写]
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]
 - [フィルター設定]の[ジオラマ]
 - [多重露出]
 - [ライブクロップ]
 - [動画優先表示]



- 拡大画面の表示方法を変更できます：
[設定] → [AF] → [AFポイントスコープ設定](→ 367)

AFカスタム設定(写真)

iA P A S M



[AFC]で写真を撮影するときのAF動作の特性を、被写体や撮影状況に合わせて選択できます。

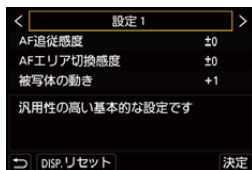
各特性は、さらに詳細なカスタマイズができます。

1 フォーカスモードをAFCにする (→ 87)

2 [AFカスタム設定(写真)]を設定する

● → → →

[AFカスタム設定(写真)]



設定 1	汎用性の高い基本的な設定
設定 2	被写体が一定方向に等速で進むシーンに適した設定
設定 3	被写体が前後左右に動き、障害物が入りやすいシーンに適した設定
設定 4	被写体の速度変化が大きいシーンに適した設定



- 以下の機能を使用中は、[AFカスタム設定(写真)]は使用できません。
- 6K/4Kフォト



- Fn ボタンに機能を登録できます：

→ → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [AFカスタム設定(写真)]
(→ 313)

❖ AFカスタム設定の調整

- ❶ ◀▶ でAFカスタム設定の種類を選ぶ
- ❷ ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する
 - 初期設定に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- ❸  または  を押す

AF 追従感度	被写体の動きに追従する感度を設定します。	
	+	被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。
	-	被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。カメラの前を障害物が横切った場合でも、意図しないピントの合わせ直しを防ぐことができます。
AF エリア 切換感度	被写体の動きに合わせてAFエリアを切り換える感度を設定します。 (225点のAFエリアを利用したAFモードのとき)	
	+	被写体がAFエリアから外れたとき、すぐにAFエリアを切り換え、ピントを合わせ続けます。
	-	AFエリアを緩やかに切り換えます。被写体の僅かな動きやカメラの前の障害物からの影響を受けにくくします。
被写体の動き	被写体の動きの速度変化に対して、動体予測が働くレベルを設定します。	
	• 設定値を大きくするほど、急な被写体の動きでも、ピントを合わせようとします。ただし、僅かな動きの影響を受けやすく、ピントが不安定になることがあります。	
	0	速度変化の少ない被写体に適しています。
	+1 +2	被写体の速度が変化する被写体に適しています。

AFモードの選択

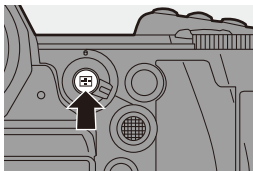
iA P A S M



被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 [AF-ON] ボタンを押す

- AFモードの選択画面が表示されます。



2 AFモードを選ぶ

- ◀▶ で項目を選び、MENU/SET または を押します。
- [AF-ON] ボタンを押しても選択できます。



	自動認識(顔・瞳・人体・動物)	→94
	追尾	→97
	225点	→98
	ゾーン(縦・横)	→99
	ゾーン(四角)*	→99
	ゾーン(楕円)	→99
	1点+補助	→101
	1点	→101
	ピンポイント	→102
	カスタム1*	
	カスタム2*	→103
	カスタム3*	

* 初期設定では表示されません。カスタムメニュー(フォーカス/リリース)の[AFモード表示の制限]で選択画面に表示する項目を設定できます。(→ 366)



- インターバル撮影では、[]は使用できません。
- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、[+]は使用できません。
- 以下の機能を使用しているときは、[] (顔認識) に固定されます。
 - [ライブクロップ]
- 以下の機能を使用しているときは、[] に固定されます。
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]
 - [フィルター設定]の[ジオラマ]
- フォーカスセレクト使用中は、AFモードを設定できません。



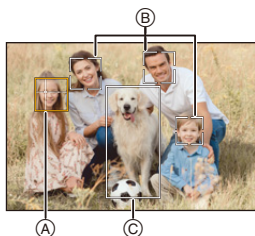
自動認識(顔・瞳・人体・動物)

人の顔、目、人の体(全身または上半身)を認識してピントを合わせます。また、初期設定では動物認識が働き、鳥、イヌ科(オオカミなどを含む)、ネコ科(ライオンなどを含む)の動物なども認識できます。

カメラが人の顔①、②や体、動物の体③を認識すると、AFエリアが表示されます。

黄色	ピントを合わせる対象のAFエリアです。カメラが自動で選びます。
白色	複数の被写体を認識すると表示されます。

- 瞳認識は黄色の枠内の目①に対して働きます。



- 人の目を認識した場合、カメラに近い側の目にピントを合わせます。露出は顔に合わせます。([測光モード]を[])に設定時)
- カメラが認識できる人の顔は、最大15人までです。
- カメラが認識できる人の体および動物の体は、合わせて最大3つまでです。
- 人や動物を認識できない場合は、[]の動作になります。

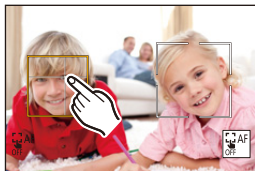
❖ ピントを合わせる人や動物、目の指定

ピントを合わせたい人や動物に白色のAFエリアが表示されているときに、黄色のAFエリアに変えることができます。

● タッチ操作

白色のAFエリアが表示されている人や動物、目をタッチする

- AFエリアが黄色に変わります。
- AFエリア以外をタッチすると、AFエリアの設定画面が表示されます。[決定]をタッチすると、タッチした位置に[■]のAFエリアが設定されます。
- 指定を解除するには、[AF OFF]をタッチしてください。



● ボタン操作

☺ を押す

- ☺ を押すごとに、ピントを合わせる人や動物、目が切り換わります。
- 指定を解除するには、[MENU/SET] を押してください。

❖ 動物認識の有効／無効

① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する

② [] を選び、▲ を押す

- 動物認識が無効になり、アイコンが[] になります。
- もう一度▲を押すと、動物認識が有効になります。

❖ 黄色いAFエリアの移動と大きさの変更

黄色のAFエリアを、白色のAFエリアの位置に移動して、入れ替えることができます。AFエリア以外の位置に移動した場合は、[■]のAFエリアが設定されます。

① [■] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する

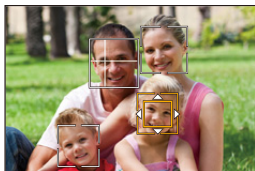
② [■] を選び、▼を押す

③ ▲▼◀▶でAFエリアを移動する

④ ☀ または ☂ を回してAFエリアの大きさを変更する

⑤ [MENU/SET] を押す

- ・撮影画面で [MENU/SET] を押す、または [AF OFF] をタッチすると、AFエリアの設定が解除されます。



AFエリアの移動画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	AFエリアの移動 ・ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
☀	ピンチアウト／ピンチイン	AFエリアを細かく拡大／縮小
☂	—	AFエリアを拡大／縮小
[DISP.]	[リセット]	1回目: AFエリアの位置を中央に戻す 2回目: AFエリアの大きさを初期設定に戻す

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。

追尾を開始する

- AFエリアに被写体を入れて、シャッターボタンを半押しします。シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。
- 追尾に失敗したときは、AFエリアが赤色で点滅します。
- [AFS]のときは、AFエリアの位置でピントを合わせます。追尾は働きません。



- [M]モード時、動画撮影中、および[6K/4K連写(S/S)]撮影中は、シャッターボタンを離しても追尾を維持します。追尾を解除するには、**MENU/SET** または  を押す、または  をタッチしてください。また、[AFS]でも追尾できます。



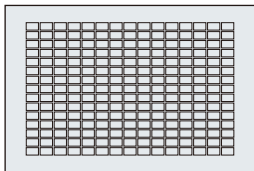
- [測光モード]を[☉]にすると、露出も合わせ続けます。
- 以下の場合、 は  の動作になります。
 - [フォトスタイル]の[モノクローム]／[L.モノクローム]／[L.モノクロームD]／[モノクローム(HLG)]
 - [フィルター設定]の[セピア]／[モノクローム]／[ダイナミックモノクローム]／[ラフモノクローム]／[シルキーモノクローム]／[ソフトフォーカス]／[クロスフィルター]／[サンシャイン]
 - 被写体が小さいとき

❖ AFエリアの移動

- 1  ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- 2  を選び、▼を押す
- 3 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - タッチしてもAFエリアを移動できます。
 - 位置を中央に戻すには[DISP.]ボタンを押してください。
- 4 **MENU/SET** を押す

■ 225点

225点からカメラが最適なAFエリアを選んでピントを合わせます。複数のAFエリアが選ばれるときは、選ばれたすべてのAFエリアでピントが合います。フォーカスモードを[AFC]にしているときは、225点のエリア内に被写体を入れて撮影すると、被写体にピントを合わせ続けることができます。



❖ [AFC]の開始位置を指定する

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、どのエリアで[AFC]を開始するかを指定できます。

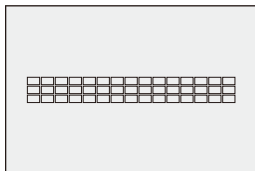
- ❶ フォーカスモードをAFCにする(→ 87)
- ❷ [AFCの開始位置指定(225点AF)]を[ON]に設定する
 - ⇒ ⇒ [] ⇒ [AFCの開始位置指定(225点AF)] ⇒ [ON]
- ❸ []ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- ❹ []を選び、▼を押す
 - 手順❶、❷を行ったあとは、アイコンが[]から[]に変わります。
- ❺ ▲▼◀▶でAFエリアを開始位置に移動する
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - タッチしてもAFエリアを移動できます。
 - 位置を中央に戻すには[DISP.]ボタンを押してください。
- ❻ を押す

ゾーン(縦・横) / ゾーン(四角) / ゾーン(楕円)

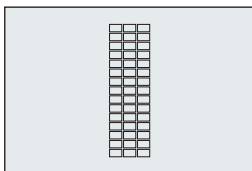
ゾーン(縦・横)

225点のAFエリアのうち、縦方向と横方向のゾーンでピント合わせができます。

横方向

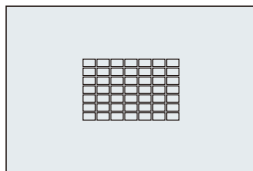


縦方向



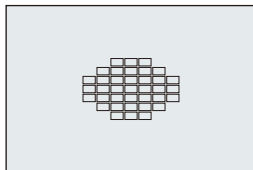
ゾーン(四角)

225点のAFエリアのうち、中央の四角いゾーンでピント合わせができます。



ゾーン(楕円)

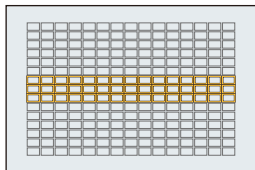
225点のAFエリアのうち、中央の楕円形ゾーンでピント合わせができます。



-  は初期設定では表示されません。カスタムメニュー(フォーカス/リリース)の[AFモード表示の制限]で[ゾーン(四角)]を[ON]に設定してください。
 (→ 366)

❖ AFエリアの移動と大きさの変更

- ① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- ② [], [] または [] を選び、▼を押す
- ③ ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
 - タッチしてもAFエリアを移動できます。
 - [] 選択中
 - ▲▼を押すと、横方向のAFエリアに切り換わります。
 - ◀▶を押すと、縦方向のAFエリアに切り換わります。
 - [] / [] 選択中
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- ④  または  を回してAFエリアの大きさを変更する
 - AFエリアをピンチアウト／ピンチインしても大きさを変更できます。
 - [DISP.]ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。
- ⑤  を押す



- 225点を利用したAFエリアの表示方法を変更できます：

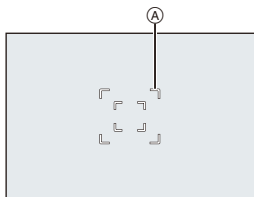
[] → [] → [AFエリア表示] (→ 374)

1点+補助 / 1点

1点+補助

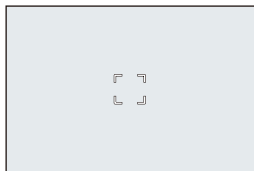
1点のAFエリア内で重点的にピントを合わせます。1点のAFエリアから被写体が外れた場合も、補助AFエリア①内でピントを合わせます。

- []では追従が難しい、動きのある被写体を撮影するときには有効です。



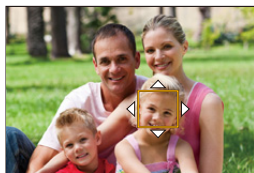
1点

ピント位置を指定します。



❖ AFエリアの移動と大きさの変更

- 1 [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- 2 [] または [] を選び、▼を押す
- 3 ▲▼◀▶ でAFエリアを移動する
- 4  または  を回してAFエリアの大きさを変更する
- 5  を押す



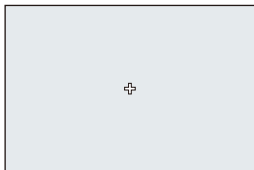
• AFエリアの詳細な操作方法については、96ページの「AFエリアの移動画面での操作」をお読みください。

• 1点のAFエリアの移動速度を変更できます：

[] → [] → [1点AF枠の移動速度] (→ 348)

[+] ピンポイント

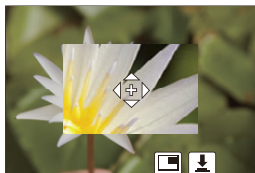
小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するために画面が拡大表示されます。



• フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、[+]は使用できません。

❖ AFエリアの移動

- ① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- ② [+] を選び、▼を押す
- ③ ▲▼◀▶で[+]の位置を決め、 または  を押す
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - 選んだ位置が拡大表示されます。
 - 画面の端にはAFエリアを移動できません。
- ④ ▲▼◀▶で[+]の位置を微調整する
- ⑤  または  を押す



拡大画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	[+]の移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト／ ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	—	画面を拡大／縮小
		拡大表示の切り換え(画面の一部／画面全体) 
[DISP.]	[リセット]	1回目:手順③の画面に戻す 2回目:AFエリアの位置を中央に戻す

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大できます。
- をタッチして写真を撮影できます。



- 以下の機能を使用中は、[+]が[]に切り換わります。
– 動画撮影、6K/4Kフォト



- 拡大画面の表示方法を変更できます：
[]⇒[]⇒[ピンポイントAF設定](→ 366)

C1

C2

C3

カスタム1～3

225点のAFエリアから、AFエリアの形状を自由に設定できます。設定したAFエリアを[C1]～[C3]に登録できます。設定した形状のまま、AFエリアの移動もできます。



- 初期設定では表示されません。カスタムメニュー(フォーカス/リリース)の[AFモード表示の制限]で[カスタム1]～[カスタム3]を[ON]に設定してください。(→ 366)

❖ AFエリアの形状の登録

- ① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- ② [] ~ [] のいずれかを選び、▲ を押す

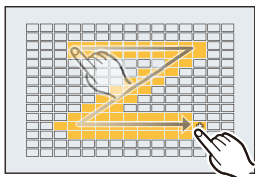


③ AFエリアを選ぶ

● タッチ操作

AFエリアにする部分をタッチする

- 連続した位置を選択するには、画面をドラッグしてください。
- 選択したAFエリアを解除するには、もう一度タッチしてください。



● ボタン操作

▲▼◀▶ でAFエリアを選び、 または  で設定する(繰り返す)

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 選択したAFエリアを解除するには、もう一度  または  を押してください。
- すべての選択を解除するには、[DISP.] ボタンを押してください。

④ [Q] ボタンを押す

❖ AFエリアの移動

- ① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- ② 形状を登録済みのAFモード([] ~ []) を選び、▼ を押す
- ③ ▲▼◀▶ でAFエリアを移動し、 を押す
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - [DISP.] ボタンを押すと、[+] の位置を中央に戻します。

AFエリアの移動操作

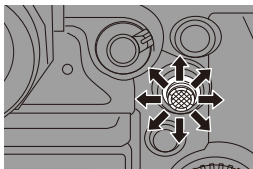
iA P A S M



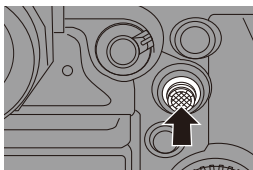
初期設定では撮影時にジョイスティックで直接AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

1 AFエリアを移動する

- 撮影画面でジョイスティックを傾けます。

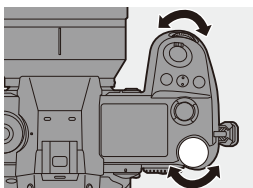


- を押すと、AFエリアの位置を初期設定の位置と設定した位置で交互に切り換えます。
[]では、ピントを合わせる人や動物、目を切り換えます。
[+]では、拡大画面を表示します。



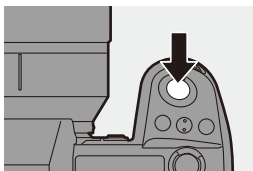
2 AFエリアの大きさを変更する

- または を回します。
- を使うとより細かく調整できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。
- 撮影画面に戻ります。



- [測光モード]が[☐]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。
- [F], [AF-ON], [+], [C1]～[C3]では、AFエリアの大きさは変更できません。
- []では、AFエリアの移動と大きさの変更はできません。
- [iA]モードでは、[]のAFエリアは移動できません。



- AFエリアのループ移動を設定できます：
[] ⇒ [AF] ⇒ [フォーカス枠のループ移動](→ 367)

タッチでのAFエリアの移動操作

モニターをタッチした位置にAFエリアを移動できます。AFエリアの大きさの変更もできます。

MENU/SET ⇒ [] ⇒ [] ⇒

[タッチ設定] ⇒ [タッチAF]を選ぶ

AF	タッチした被写体にピントを合わせます。
AF+AE	タッチした被写体にピントと明るさを合わせます。

- 初期設定は[AF]に設定されています。



❖ タッチした位置にピントを合わせる ([AF])

- ❶ 被写体をタッチする
 - タッチした位置にAFエリアが移動します。
- ❷ ピンチアウト／ピンチインしてAFエリアの大きさを変更する
 - [リセット]をタッチすると、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。
- ❸ [決定]をタッチする
 - []では、[終了]をタッチしてください。
 - []では、撮影画面で[]をタッチすると、AFエリアの設定が解除されます。

❖ タッチした位置にピントと明るさを合わせる ([AF+AE])

- ❶ 明るさを合わせたい被写体をタッチする
 - タッチした場所に[]と同じ働きのAFエリアが表示されます。AFエリアの中央には明るさを合わせる点が配置されます。
- ❷ ピンチアウト／ピンチインしてAFエリアの大きさを変更する
 - [リセット]をタッチすると、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。
- ❸ [決定]をタッチする
 - 撮影画面で[]([], []設定時は[])をタッチすると、[AF+AE]の設定が解除されます。



タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作

ファインダー表示中にモニターをタッチして、AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

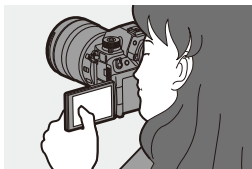
1 [タッチパッドAF]を設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒
[タッチ設定] ⇒ [タッチパッドAF] ⇒
[絶対位置] / [相対位置1] ~
[相対位置7]



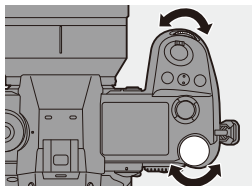
2 AFエリアを移動する

- ファインダー表示中にモニターをタッチします。



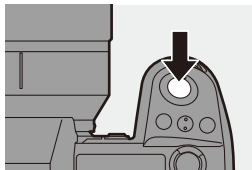
3 AFエリアの大きさを変更する

-  または  を回します。
-  を使うとより細かく調整できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。

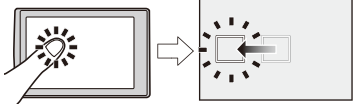
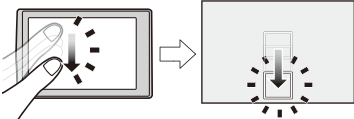


4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



❖ 設定項目(タッチパッドAF)

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーのAFエリアが移動します。 
相対位置1 ～ 相対位置7	タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーのAFエリアが移動します。ドラッグ操作を検知する範囲を選択します。  【相対位置1】(全域)／【相対位置2】(右半分)／【相対位置3】(右上)／ 【相対位置4】(右下)／【相対位置5】(左半分)／【相対位置6】(左上)／ 【相対位置7】(左下)
OFF	—

縦/横位置フォーカス切換

カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置を別々に記憶します。縦位置は左右の2種類を記憶します。



MENU/SET → **[設定アイコン]** → **【AF】** → **【縦/横位置フォーカス切換】**を選ぶ

ON	縦位置と横位置を別々に記憶します。
OFF	縦位置と横位置を同じ設定にします。



- MF時は、MFアシストの位置を記憶します。
- AFモードの**【AF-ON】**、**【C1】**～**【C3】**では働きません。

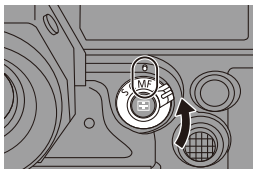
MFで撮る

iA P A S M



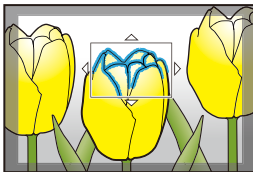
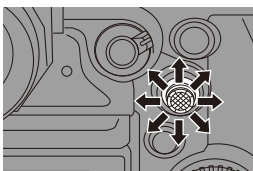
MF(マニュアルフォーカス)とは手動ピント合わせのことです。ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、AFを働かせたくない場合に使います。

1 フォーカスモードレバーを[MF]に合わせる



2 ピント位置を選ぶ

- ジョイスティックを傾けてピント位置を選びます。
- ピント位置を中央に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。



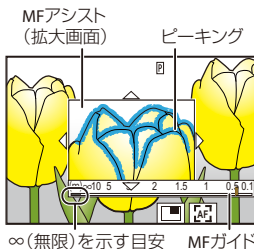
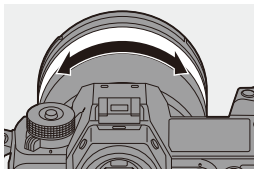
3 決定する

-  を押します。
- MFアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。



4 ピントを合わせる

- フォーカスリングを回します。
- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 撮影距離の目安が表示されます。(MFガイド)

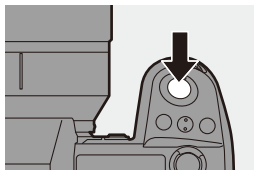


5 MFアシスト画面を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- を押しても同じ操作ができます。

6 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。



❖ MFアシスト画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト／ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	—	画面を拡大／縮小
		拡大表示の切り換え(画面の一部／画面全体) 
[DISP.]	[リセット]	1回目:MFアシストの位置を中央に戻す 2回目:MFアシストの拡大倍率を初期設定に戻す
[AF ON]		AFが働きます。

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～20倍に拡大できます。



- 撮影画面でフォーカスリングを回しても、MFアシスト画面を表示できます。フォーカスリングを回して拡大表示した場合は、操作をやめて一定時間が経過すると、アシスト画面を終了します。
- [] ボタンを押しても、MFアシスト画面を表示できます。
- MF時に[AF ON]ボタンを押すと、AFが働きます。
- 撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。MFや接写の目安にしてください。



- ピーキングの感度や表示方法を変更できます：
[] → [] → [ピーキング](→ 347)
- MFアシストの位置を縦位置と横位置で別々に記憶できます：
[] → [] → [縦/横位置フォーカス切替](→ 109)
- 拡大画面の表示方法を変更できます：
[] → [] → [MFアシスト](→ 365)
- MFガイドの表示単位を変更できます：
[] → [] → [MFガイド](→ 365)
- フォーカスリングの操作を無効にできます：
[] → [] → [フォーカスリングロック](→ 366)
- MFアシストのループ移動を設定できます：
[] → [] → [フォーカス枠のループ移動](→ 367)
- 電源を切ったときのピント位置を記憶します：
[] → [] → [レンズ位置メモリー](→ 381)
- ピントの移動量を設定できます：
[] → [] → [フォーカスリング制御](→ 381)

ズームを使って撮る

iA P A S M



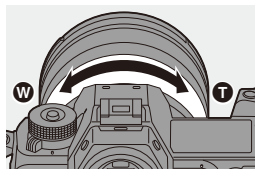
レンズの光学ズームを使って、望遠または広角にズーミングします。写真撮影時は、[EXテレコン(写真)]を使って、画質を劣化させることなく望遠効果を高めることができます。動画撮影時は、[動画撮影範囲]を使うと[EXテレコン(写真)]と同様の望遠効果を得ることができます。

• [動画撮影範囲]について詳しくは、[227](#)ページをお読みください。

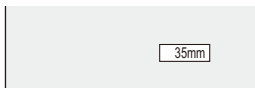
ズームリングを回す

T側：望遠

W側：広角



- ズームリングを回すと、焦点距離が撮影画面に表示されます。



• 焦点距離を非表示にできます：

[] → [] → [焦点距離](→ [376](#))

EXテレコン(写真)

iA P A S M



[EXテレコン(写真)]を使うと、画質を劣化させることなく光学ズームよりさらに拡大して撮ることができます。

- [EXテレコン(写真)]の最大倍率は、写真メニュー(画質)の[画像サイズ]によって異なります。
 - [EXM]に設定: 1.4倍
 - [EXS]に設定: 2.0倍(スーパー35 mm用/APS-C用レンズ使用時は、1.9倍)

1 [画像サイズ]を[M]または[S]に設定する

- → → → [画像サイズ] → [M]/[S]

2 [EXテレコン(写真)]を設定する

- → → → [EXテレコン(写真)]

ZOOM	ズーム倍率を変更できます。
TELE CONV.	ズーム倍率を最大に固定します。
OFF	—

❖ ズーム倍率を変更する

ボタン操作

- ① [EXテレコン(写真)]を[ZOOM]にする
 - → → → [EXテレコン(写真)] → [ZOOM]
- ② Fnボタンに[ズーム操作]を設定する(→ 313)
- ③ Fnボタンを押す
- ④ カーソルボタンでズーム操作する
 - ▲▶: T側(望遠)
 - ◀▼: W側(広角)
 - もう一度Fnボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。
 - 表示されるズーム倍率は目安です。



ズーム倍率

タッチ操作



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 368)

① [EXテレコン(写真)]を[ZOOM]にする

- MENU/SET → [カメラアイコン] → [EXテレコン(写真)] → [ZOOM]

② [◀]をタッチする

③ [T↕W]をタッチする



④ スライダーをドラッグして、ズーム操作する

T側: 望遠

W側: 広角

- タッチズーム操作を終了するには、もう一度[T↕W]をタッチしてください。



- Fnボタンに機能を登録できます:

[設定アイコン] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [EXテレコン(写真)](→ 313)

- Fnボタンで[EXテレコン(写真)]の設定画面を表示しているときに、[DISP]ボタンを押すと[画像サイズ]の設定を変更できます。



- 以下の機能を使用中は、[EXテレコン(写真)]は使用できません。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| - 6K/4Kフォト | - [フィルター設定]の[トイフォト]／[トイポップ] |
| - [画像横縦比]の[65:24]／[2:1] | - [フォーカスセレクト] |
| - [写真画質]の[RAW] | - [多重露出] |
| - [HLGフォト] | |
| - [ハイレゾモード] | |

6. ドライブ／シャッター／手ブレ補正

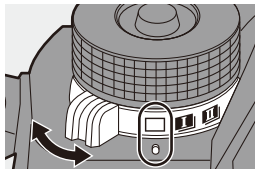
ドライブモードの選択

iA P A S M 



撮影状況に合わせて、ドライブモードを単写、連写などに切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す



	単写	シャッターを押すごとに1枚ずつ撮影します。
 / 	連写 (→118、121)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。 6K/4Kフォートの撮影もできます。
	インターバル／ コマ撮り撮影 (→132、135)	インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。
	セルフタイマー (→139)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

- ➔
- ドライブモードごとの詳細設定画面をFnボタンで呼び出すことができます：
[設定] ➔ [撮影] ➔ [Fn ボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [ドライブモード] ➔ [詳細設定]
 - 6K/4Kフォートの設定画面をFnボタンで呼び出すことができます：
[設定] ➔ [撮影] ➔ [Fn ボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [ドライブモード] ➔ [6K/4K フォト]

連写する

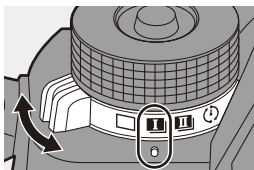
iA P A S M



シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
高画質で連写ができる[H]、[M]、[L]と、高速連写ができる[6K] (6K/4K フォト) から、撮影状況に合わせて連写設定を選択できます。

1 ドライブモードダイヤルを[I] (連写1) または[II] (連写2) に合わせる

- [I] と [II] のそれぞれに連写設定ができます。



2 連写速度を選ぶ

- MENU SET → [カメラアイコン] → [点アイコン] →
[連写1設定] / [連写2設定]
- 初期設定では [I] に [H] が、[II] に [6K] が設定されています。



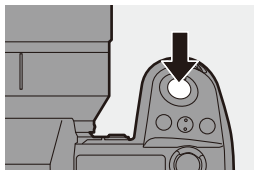
	6K/4K フォト撮影については、「6K/4K フォト撮影」をお読みください。(→ 121)
H	高速で連写します。
M	中速で連写します。
L	低速で連写します。

3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。



❖ 連写速度

	メカシャッター 電子先幕	電子シャッター	連写中の ライブビュー
[H](高速)	9 コマ/秒(AFS、MF) 6 コマ/秒(AFC)	9 コマ/秒(AFS、MF) 5 コマ/秒(AFC)	なし(AFS、MF) あり(AFC)
[M](中速)	5 コマ/秒	5 コマ/秒	あり
[L](低速)	2 コマ/秒	2 コマ/秒	あり

- [画像サイズ]やフォーカスモードなど、撮影時の設定によって、連写速度は低下する場合があります。

❖ 最大撮影可能コマ数

	写真画質	
	[FINE]、[STD.]	[RAW+FINE]、 [RAW+STD.]、[RAW]
[H](高速)	999 コマ以上	60 コマ以上
[M](中速)		
[L](低速)		

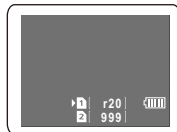
- 当社測定条件による撮影時。
撮影条件によっては最大撮影可能コマ数が少なくなる場合があります。
- 途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。

❖ 連続撮影可能枚数

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が撮影画面やステータスLCDに表示されます。

例) 20 枚のとき: [r20]

- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
[r0]と表示されると、連写速度が低下します。
- 撮影画面に[r99+]と表示されているときは、100枚以上の連写ができます。



❖ 連写時のピント

フォーカスモード	フォーカス/ リリース優先 (→ 364)	[H]	[M] / [L]
AFS	フォーカス	1コマ目のピントに固定	
	バランス		
	リリース		
AFC	フォーカス	予測ピント	常時ピント
	バランス	予測ピント	
	リリース		
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス	

- [AFC]で被写体が暗い場合は、ピントは1コマ目に固定されます。
- 予測ピント時は、連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。
- 常時ピント時は、連写速度が遅くなることがあります。

❖ 連写時の露出

フォーカスモード	[H]	[M] / [L]
AFS	1コマ目の露出に固定	1コマごとに露出を調整
AFC	1コマごとに露出を調整	
MF	1コマ目の露出に固定	



- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大撮影可能コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- シャッターボタンを押したまま連写するときは、シャッターリモコン(別売: DMW-RS2)の使用をお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、連写は動きません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]の[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ジオラマ] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン]
 - [フォーカスセレクト]
 - [多重露出]

6K/4Kフォト撮影

iA P A S M



6Kフォトでは30コマ/秒の高速連写を行い、連写ファイルから約1800万画素の写真を選び出し、保存できます。

4Kフォトでは60コマ/秒の高速連写を行い、約800万画素の写真を保存できます。

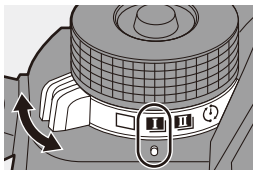
- 「6K PHOTO (6Kフォト)」は、6Kサイズ(横6,000×縦3,000前後)の映像が有する画素数(約18メガ)と同程度の有効画素数を持つ4:3、3:2の写真用横縦比の映像から、写真を選び出し、保存する高速連写機能です。



- 撮影時はUHS Speed Class 3以上のカードをお使いください。
- 撮影時に画角が狭くなります。(フルサイズ用レンズ使用時)

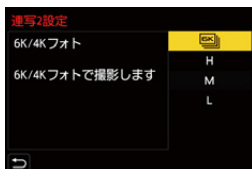
1 ドライブモードダイヤルを[I] (連写1)または[II] (連写2)に合わせる

- [I]と[II]のそれぞれに連写設定ができます。



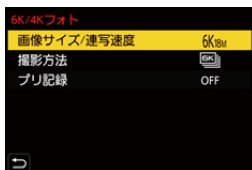
2 [6K/4Kフォト]を選ぶ

- MENU/SET → [カメラアイコン] → [連写設定] → [6K/4Kフォト]
- 初期設定では[II]に[6K/4K]が設定されています。



3 [画像サイズ/連写速度]を選ぶ

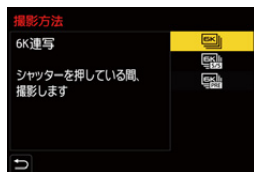
- MENU/SET → [カメラアイコン] → [6K/4Kフォト] → [画像サイズ/連写速度]



	画像サイズ	連写速度	動画画質*
6K 18M	[4:3]: 4992×3744	30 コマ/秒	[6K/200M/30p]
	[3:2]: 5184×3456		
4K H 8M	[4:3]: 3328×2496	60 コマ/秒	[4K/150M/60p]
	[3:2]: 3504×2336		
4K 8M	[16:9]: 3840×2160	30 コマ/秒	[4K/100M/30p]
	[1:1]: 2880×2880		

* [記録ファイル方式]が[MP4]の6K/4K連写ファイルとして保存します。

4 [撮影方法]を選ぶ



 6K/4K連写	動きの速い被写体のベストな瞬間をとらえたいとき シャッターボタンを押している間、連写します。	
	音声記録: なし	
 6K/4K連写(S/S) S/Sとは 「Start/Stop」の略 を表します。	いつ起こるかわからないシャッターチャンスをとら えたいとき シャッターボタンを押すと連写を開始します。もう一度 押すと、連写を終了します。開始音、終了音が鳴ります。	
	音声記録: あり*	
 6K/4Kプリ連写	シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき シャッターボタンを押した瞬間の前後約1秒を連写 します。シャッター音が1回だけ鳴ります。	
	記録時間: 約2秒	音声記録: なし

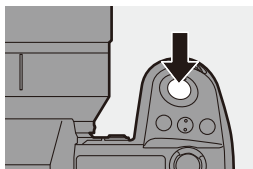
* カメラで再生する場合、音声は再生されません。

5 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

6 撮影する

- AFで撮影中は[AF連続動作]が働き、ピンントを合わせ続けます。



[6K/4K連写]

- 1 シャッターボタンを半押しする
 - 2 撮影する間、シャッターボタンを全押ししたままにする
- 全押しから約0.5秒後に撮影が開始されるため、早めに全押ししてください。



[6K/4K連写(S/S)]

- 1 シャッターボタンを全押しし、撮影を開始する
- 2 もう一度、シャッターボタンを全押しし、撮影を終了する

- 撮影中に[Q]ボタンを押すと、マーカールを付けることができます。(1回の撮影に最大40個まで)6K/4K連写ファイルから写真を選ぶときに、マーカールを付けた位置へスキップできます。



[6K/4Kプリ連写]

シャッターボタンを全押しする

- 撮影画面表示中は、AFが常に働きピンントを合わせ続けます。[M]モード以外では、露出も合わせ続けます。
- 被写体が中央にないときに、ピンントと露出を固定したい場合は、AF / AEロックをお使いください。(→ 172)



- 初期設定ではオートレビューが働き、連写ファイルから写真を選ぶ画面が表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ってください。
- 撮影した6K/4K連写ファイルから写真を選び保存する方法については、[126ページ](#)をお読みください。

❖ プリ記録(6K/4K連写、6K/4K連写(S/S))

シャッターボタンを全押しする約1秒前から記録し、シャッターチャンス
を逃すことを防ぎます。

 ➡  ➡  ➡ [6K/4Kフォト] ➡ [プリ記録]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

- [プリ記録]使用中は、撮影画面に[PRE]が表示されます。
- [プリ記録]使用中のAF動作や機能の制限は[6K/4Kプリ連写]と同じになります。



- 6K/4Kフォト撮影では、以下の設定範囲に変わります。
 - シャッタースピード: 1/30 ([4K H 8M]設定時は1/60) ~ 1/8000
 - [下限シャッター速度]: [1/500] ~ [1/30] ([4K H 8M]設定時は[1/60])
 - 露出補正: ±3 EV
- カードの種類によって、ファイルの保存方法が異なります。
 - SDHCメモリーカード:
ファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。
 - SDXCメモリーカード:
ファイルが分割保存されることはありません。
- [6K/4Kプリ連写]や[プリ記録]を設定しているときは、バッテリーの消費が早くなり、カメラの温度も上昇します。撮影するときだけ設定してください。
- 6K/4Kフォトでは、以下のメニューが固定されます。
 - [シャッター方式]: [電子シャッター]
 - [写真画質]: [FINE]
- 6K/4Kフォト撮影では、以下の機能は使用できません。
 - フラッシュ
 - [ブラケット]
 - プログラムシフト
 - AFモード([+])
 - MFアシスト([6K/4Kプリ連写]のみ)
- 極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

- 外部機器(テレビなど)とHDMI接続して6K/4Kフォトを撮影すると、以下の機能が制限されます。
 - 記録中はHDMI出力ができません。
 - [6K/4K プリ連写]は[6K/4K連写]に切り換わります。
 - [プリ記録]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、6K/4K フォトは働きません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]の[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - [フォーカスセレクト]
 - [多重露出]
- スーパー35 mm用/APS-C用レンズ使用時は、6Kフォトは使用できません。

6K/4K連写ファイルから写真を選ぶ

6K/4K連写ファイルから写真を選び保存できます。

- 6K/4Kフォト撮影後のオートレビューから続けて写真を選ぶ場合は、手順**2**または**3**から操作してください。

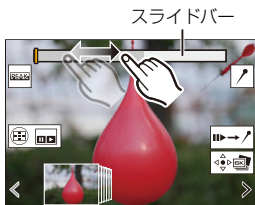
1 再生画面で6K/4K連写ファイルを選ぶ(→ 297)

- [▲] または [▲] アイコンが付いた画像を選び、▲ を押します。
- アイコン [▲]、[▲] をタッチしても同じ操作ができます。
- [6K/4Kプリ連写] で撮影した場合は、手順**3**へ進んでください。



2 おおまかにシーンを選ぶ

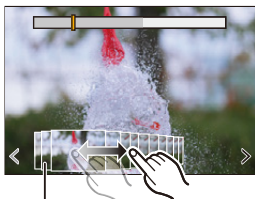
- スライドバーをドラッグします。
- スライドフォトセレクト画面での操作方は、128 ページをお読みください。
- [6K/4K連写] または [6K/4K連写 (S/S)] で撮影した場合は、[] をタッチすると、6K/4K連写再生画面でシーンを選ぶこともできます。(→ 130)



スライドフォトセレクト画面

3 保存するコマを選ぶ

- スライドフォトセレクトをドラッグします。
- ◀▶ を押しても、同じ操作ができます。
- 連続してコマ戻し／コマ送りするには、[<] / [>] をタッチし続けてください。



スライドフォトセレクト

4 写真を保存する

- []または[]をタッチします。
- 確認画面が表示されます。



- 写真はJPEG形式(写真画質[FINE])で保存されます。
- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報(Exif情報)が記録されます。

撮影後に写真を補正する(ポストリファイン)

❖ 写真のゆがみの補正(ローリングシャッター低減)

写真を保存するときに、電子シャッターによるゆがみ(ローリングシャッター)を補正します。

- ① 127ページ手順4の保存の確認画面で、[ローリングシャッター低減]をタッチする
 - 補正をしても効果がない場合は、補正できないことをお知らせするメッセージが表示されたあと、確認画面に戻ります。
- ② 補正効果を確認し、[保存]をタッチする
 - 補正あり／補正なしの写真を確認するには、[設定 / 解除]をタッチしてください。



- 補正すると画角が狭くなる場合があります。
- 被写体の動きによっては、補正結果が不自然になる場合があります。

❖ 高感度によるノイズの低減(6K/4Kフォトノイズ低減)

写真を保存するときに、高いISO感度によって発生したノイズを低減します。

 ➡  ➡  ➡ [6K/4Kフォトノイズ低減]を選ぶ

設定: [AUTO] / [OFF]

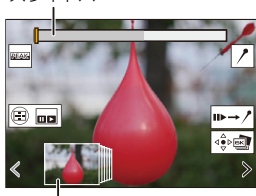


• [6K/4K フォト一括保存]で保存する写真には反映されません。

写真を選ぶときの操作

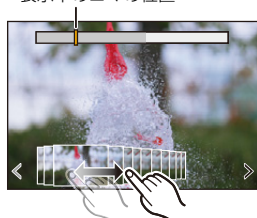
❖ スライドフォトセレクト画面での操作

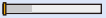
スライダー



スライドフォトセレクト

表示中のコマの位置



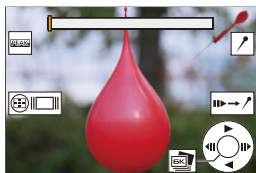
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
  / 	ドラッグ／ ＜ ＞	コマの選択 • スライドフォトセレクトを切り換えるには、端のコマを選択し、[＜]または[＞]をタッチしてください。
 長押し	＜ ＞ タッチし続ける	連続してコマ戻し／コマ送り
—	 タッチ／ドラッグ	表示するコマの選択
	ピンチアウト／ ピンチイン	表示の拡大／縮小

	—	拡大したままコマを選択(拡大表示中)
	ドラッグ	拡大表示位置の移動(拡大表示中)
[]		6K/4K連写再生画面を表示
—		マーカー操作への切り換え
—		マーカーの追加／削除
—		ピントが合っている部分に色を付けて表示(ピーキング) • [ON]／[OFF]が切り換わります。
		写真の保存

- マーカー操作中は、設定したマーカーや6K/4K連写ファイルの始めと終わりにスキップする操作が可能になります。[] をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
		次のマーカーへ移動
		前のマーカーへ移動

❖ 6K/4K連写再生画面での操作



一時停止中



連続再生中

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	—	連続再生／一時停止(連続再生中)
▼	—	連続戻し再生／一時停止(連続戻し再生中)
▶ / ◀ / ⚙	—	早送り再生／コマ送り(一時停止中)
◀ / ▶ / ⚙	—	早戻し再生／コマ戻し(一時停止中)
—	タッチ／ドラッグ	表示するコマの選択(一時停止中)
🔍	ピンチアウト／ピンチイン	表示の拡大／縮小(一時停止中)
🔍 / ⚙	—	拡大したままコマを選択(拡大表示中)
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動(拡大表示中)
[❶]	⏏	スライドフォトセレクト画面を表示(一時停止中)
—	⏏	マーカー操作への切り換え
—	📌 / ✂	マーカーの追加／削除
—	PEAK	ピントが合っている部分に色を付けて表示(ピーキング) • [ON]／[OFF]が切り換わります。
MENU / SET / ⚙	📷 / 📷	写真の保存(一時停止中)

- マーカー操作中は、設定したマーカーや6K/4K連写ファイルの始めと終わりにスキップする操作が可能になります。をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	—	次のマーカーへ移動
	—	前のマーカーへ移動



- パソコンで6K/4K連写ファイルから写真を選び保存する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。ただし、「PHOTOfunSTUDIO」では6K/4K連写ファイルを動画として扱うことはできません。
- 6K連写ファイルをパソコンで再生・編集するには、高性能なパソコン環境が必要です。カメラで写真を選び保存することをお勧めします。

❖ テレビ画面で写真を選び保存する

- 6K連写ファイルを、HDMI接続してテレビに表示する場合、[4K]の解像度で出力されます。
- [HDMI出力解像度(再生時)]を[AUTO]または[4K]の解像度に設定してください。
[] ⇒ [] ⇒ [テレビ接続設定] ⇒ [HDMI出力解像度(再生時)]
4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO]に設定してください。
- テレビに表示されるのは、6K/4K連写再生画面だけです。

❖ 6K/4Kフォト一括保存

6K/4K連写ファイルから、5秒分の写真を一括で保存できます。

① [6K/4Kフォト一括保存]を選ぶ

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [6K/4Kフォト一括保存]

② で6K/4K連写ファイルを選び、またはを押す

- 連写時間が5秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

③ 一括保存する最初のコマを選び、またはを押す

- 選択方法は、6K/4K連写ファイルから写真を選ぶ操作と同じです。
- 写真はJPEG形式で、1つの連写グループとして保存されます。



- Fnボタンに機能を登録できます：

[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [再生時設定] ⇒ [6K/4Kフォト一括保存]
(→ 313)

インターバル撮影

iA P A S M

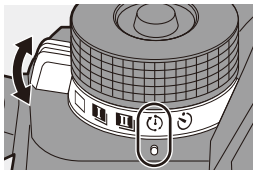


設定した撮影間隔で自動的に撮影します。時間経過を追って動植物などの被写体を撮影するのに適しています。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、グループ画像を動画にすることもできます。



- 時計が正しく設定されているか確認してください。(→ 57)
- 撮影間隔が長いときは、カスタムメニュー(レンズ/その他)の[レンズ位置メモリー]を[ON]に設定することをお勧めします。

1 ドライブモードダイヤルを[]に合わせる



2 [撮影方法]を[インターバル撮影]に設定する

-  → [] → [] → [インターバル/コマ撮り撮影] → [撮影方法] → [インターバル撮影]

インターバル/コマ撮り撮影

撮影方法	インターバル撮影
撮影間隔設定	ON
開始時刻	即時開始
撮影枚数	1
撮影間隔	1m00s
露出平滑化	OFF
終了予定 2019.12.1 10:00	

3 撮影の設定をする

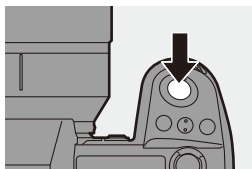
撮影方法	インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。	
撮影間隔設定	ON	次の撮影までの間隔を設定できます。
	OFF	撮影間隔を空けずに連続で撮影します。
開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影が始まります。
	開始時刻設定	設定した時刻から、撮影が始まります。
撮影枚数 撮影間隔	撮影枚数と撮影間隔を設定します。 • [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、[撮影間隔]が表示されません。	
露出平滑化	連続するコマで大きく明るさが変化しないように、自動で露出を調整します。	

4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

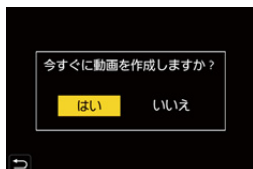
5 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- [開始時刻設定]を設定したときは、開始時刻までスリープ状態になります。
- 撮影待機中に一定時間何も操作しないと、スリープ状態になります。
- 撮影は自動で終了します。



6 動画を作成する(→ 138)

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。
[いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[インターバル動画作成]で、動画を作成できます。(→ 396)



❖ インターバル撮影中の動作

スリープ状態でシャッターボタンを半押しすると、電源が入ります。

- インターバル撮影中に[Q]ボタンを押すと、以下の操作ができます。

継続	撮影に戻ります。(撮影中のみ)
一時停止	撮影を中断します。(撮影中のみ)
再開	撮影を再開します。(一時停止中のみ) • シャッターボタンを押しても再開できます。
終了	インターバル撮影を終了します。



- 複数のカードに記録すると、1つの動画にできません。
- [HLGフォト]で撮影した写真は、動画にできません。
- 適正露出を優先するため、設定どおりの撮影間隔や撮影枚数で撮影されない場合があります。また、画面に表示される終了予定時刻どおりに終わらない場合があります。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源スイッチを[OFF]にしたとき
 電源スイッチを[OFF]にして、バッテリーやカードを交換できます。電源スイッチを[ON]にして、シャッターボタンを全押しすると、撮影が再開されます。(ただし、カードを交換したあとに撮影した画像は、別のグループ画像として保存されます)
- [M]モードでISO感度を[AUTO]以外に設定しているときは、[露出平滑化]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[インターバル撮影]は使用できません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フォーカスセレクト]
 - [多重露出]

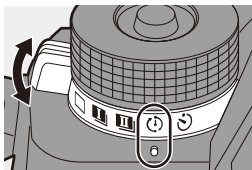
コマ撮りアニメ撮影

iA P A S M



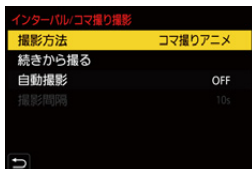
被写体を少しずつ動かしながら写真を撮影します。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、ストップモーション動画を作成できます。

1 ドライブモードダイヤルを[🔋]に合わせる



2 [撮影方法]を[コマ撮りアニメ]に設定する

- **MENU/SET** ➡ **[📷]** ➡ **[🔋]** ➡
[インターバル/コマ撮り撮影] ➡
[撮影方法] ➡ [コマ撮りアニメ]



3 撮影の設定をする

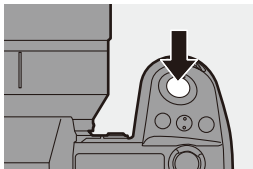
撮影方法	インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。	
続きから撮る	撮影済みのコマ撮り画像に、続けて撮影できます。 ● 画像を選択したあと、手順 5 へ進んでください。	
自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。
	OFF	1コマずつ手で写真を撮影します。
撮影間隔	[自動撮影]の撮影間隔を設定します。	

4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

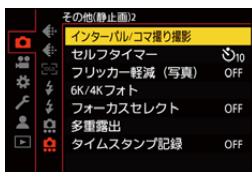
5 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 被写体を少しずつ動かしながら、撮影を繰り返してください。
- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 撮影中に[▶]ボタンを押すと、コマ撮りした画像を再生できます。不要な画像は[🗑️]ボタンを押して消去してください。撮影画面に戻るには、もう一度[▶]ボタンを押してください。



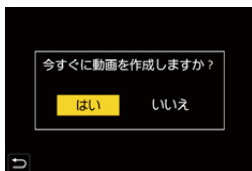
6 撮影を終了する

- [MENU/SET] を押し、写真メニューから [インターバル/コマ撮り撮影] を選んで終了します。



7 動画を作成する(→ 138)

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。[いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[コマ撮りアニメ作成]で、動画を作成できます。(→ 396)





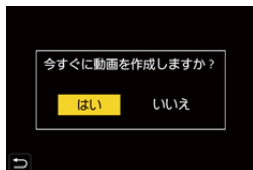
- [HLGフォト]で撮影した写真は、動画にできません。
- 最大9999コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。
- 適正露出を優先するため、フラッシュ撮影したときなどは、設定どおりの撮影間隔で自動撮影されない場合があります。
- 1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。
- 以下の機能を使用中は、[コマ撮りアニメ]は使用できません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フォーカスセレクト]
 - [多重露出]

インターバル／コマ撮りアニメの動画

インターバル撮影、コマ撮り撮影後に、続けて動画を作成できます。

- 撮影については、以下をお読みください。
 - インターバル撮影：→132
 - コマ撮り撮影：→135
- 動画の作成は、再生メニューの[インターバル動画作成](→396)、[コマ撮りアニメ作成](→396)からでも可能です。

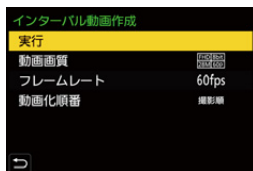
1 撮影後に表示される確認画面で、 [はい]を選ぶ



2 動画の作成方法を設定する

3 [実行]を選ぶ

- [MP4]の記録ファイル方式で動画が作成されます。



実行	動画を作成します。	
動画画質	動画の画質を設定します。	
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。 数字が大きいくほど滑らかな動画になります。	
動画化順番	撮影順	撮影した順番で画像をつなぎます。
	逆順	撮影した順番とは逆の順番で画像をつなぎます。



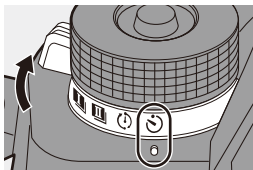
- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定すると、動画は作成できません。
- 記録時間が29分59秒を超える動画は作成できません。
- 以下の場合は、ファイルサイズが4GBを超える動画は作成できません。
 - SDHCメモリーカードを使用し、4Kの[動画画質]に設定
 - FHDの[動画画質]に設定

セルフタイマー撮影

iA P A S M



1 ドライブモードダイヤルを[⌚]に合わせる



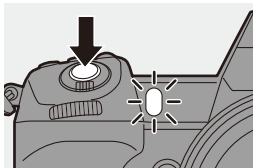
2 構図を決め、ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。



3 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- セルフタイマーランプが点滅後、シャッターが切れます。



❖ セルフタイマーの時間を設定する

 →  →  → [セルフタイマー]を選ぶ

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。 シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。



- セルフタイマー撮影をするときは、三脚の使用をお勧めします。



- 以下の機能を使用中は、は使用できません。
 - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]
 - [ブラケット]
 - [多重露出]
- 以下の機能を使用中は、セルフタイマーは動きません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フォーカスセレクト]

ブラケット撮影

iA P A S M



シャッターボタンを押すと、露出、絞り、フォーカス、またはホワイトバランス(調整値または色温度)の設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影できます。



- 絞りブラケットは以下の場合に選択できます。
 - [A]モード
 - [M]モード(ISO感度を[AUTO]に設定したとき)
- ホワイトバランス(色温度)ブラケットは、ホワイトバランスを[K_1],[K_2],[K_3],[K_4]に設定したときに選択できます。

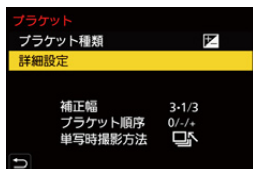
1 [ブラケット種類]を設定する

- → → →
[ブラケット] → [ブラケット種類]



2 [詳細設定]を設定する

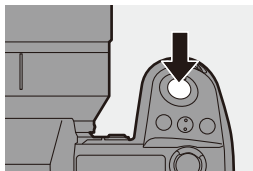
- [詳細設定]については、各ブラケットのページをお読みください。



3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 ピントを合わせて撮影する



❖ 設定項目(ブラケット種類)

 露出ブラケット	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。(→ 143)
 絞りブラケット	シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。(→ 143)
FOCUS フォーカスブラケット	シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。(→ 144)
WB  ホワイトバランス ブラケット	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ 145)
WB  ホワイトバランス (色温度)ブラケット	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの色温度を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ 145)
OFF	—

❖ ブラケットの解除方法

手順1で[OFF]に設定する。



- [画像横縦比]を[65:24]／[2:1]に設定しているときは、露出ブラケットだけが使用できます。
- 以下の機能を使用中は、ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケットは使用できません。
 - [iA]モード
 - 連写
 - [写真画質]の[RAW+FINE]、[RAW+STD.]、[RAW]
 - [HLG フォト]
 - [フィルター設定]
- 以下の機能を使用中は、ブラケット撮影は使用できません。
 - 6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]の[ラフモノクローム]／[シルキーモノクローム]／[ジオラマ]／[ソフトフォーカス]／[クロスフィルター]／[サンシャイン]
 - [多重露出]



- Fnボタンに機能を登録できます：
[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [ブラケット](→ 313)

❖ 詳細設定(露出ブラケット)

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 [3・1/3](3枚撮影・1/3 EV幅)～[7・1](7枚撮影・1 EV幅)
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法	[□]: シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。 []: 1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。 - 設定枚数分がすべて撮影されるまで[BKT]アイコンが点滅します。 - 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連写されます。

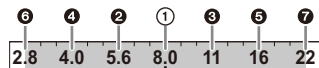


- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

❖ 詳細設定(絞りブラケット)

撮影枚数	[3]／[5]: 開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。 [ALL]: すべての絞り値で撮影。
------	---

開始位置をF8.0に設定しているときの例

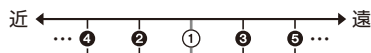


①1枚目、②2枚目、③3枚目・・・⑦7枚目

❖ 詳細設定(フォーカスブラケット)

補正幅	ピント合わせの幅を設定します。 ピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置が近い場合は短く、遠い場合は長くなります。
撮影枚数	撮影枚数を設定します。 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連写されます。
ブラケット順序	[0/-/+]: 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。 [0/+]: 開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

[ブラケット順序]: [0/-/+] 設定時の例



[ブラケット順序]: [0/+] 設定時の例



① 1 枚目、② 2 枚目...⑤ 5 枚目...



• フォーカスブラケット撮影した写真は、1つのグループ画像として表示されます。

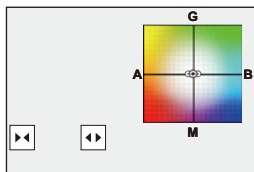
❖ 詳細設定(ホワイトバランスブラケット)

☀️、☂️ または 🌀 を回して補正幅を設定し、**MENU/SET** または 🌀 を押す

右回し:横方向([A]~[B])

左回し:縦方向([G]~[M])

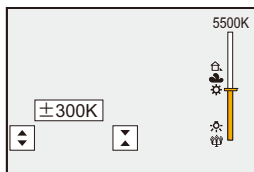
- [↔️] / [↕️] / [↗️] / [↘️] をタッチしても補正幅を設定できます。



❖ 詳細設定(ホワイトバランス(色温度)ブラケット)

☀️、☂️ または 🌀 を回して補正幅を設定し、**MENU/SET** または 🌀 を押す

- [↕️] / [↘️] をタッチしても補正幅を設定できます。



フォーカスセレクト撮影

iA P A S M



自動でピント位置を変化させながら、6K/4K フォトと同じ画質の連写をします。撮影後にピント位置を選んで写真を保存できます。フォーカス合成で、複数のピント位置の合成もできます。

動きのない被写体に適した機能です。



自動でピントをずらしながら 6K/4K フォト連写



合わせたいピント位置をタッチ



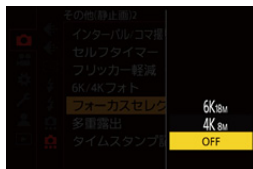
お好みのピント位置の写真が完成



- 撮影時は UHS Speed Class 3 以上のカードをお使いください。
- 撮影時に画角が狭くなります。(フルサイズ用レンズ使用時)
- 撮影後にフォーカス合成する場合は、三脚の使用をお勧めします。

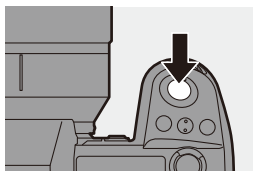
1 [フォーカスセレクト]の画質を設定する

- → → →
[フォーカスセレクト] →
[6K 18M] / [4K 8M]



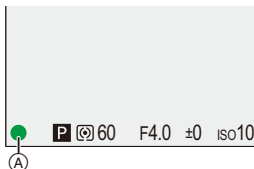
2 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。



3 構図を決めて、ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- AFが働き、画面内のピント位置を検出します。(画面の端を除く)
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示(A)が点滅し、撮影できません。
- 撮影が終わるまで、被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- ピント位置を自動で変化させながら撮影します。アイコン(B)が消えると、撮影は自動で終了します。
- [記録ファイル方式]が[MP4]の動画で記録されます。(音声は記録されません)
- 初期設定ではオートレビューが働き、ピント位置を選ぶ画面が表示されます。
(→ 148)



- 6K/4Kフォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニューに制限があります。
- フォーカスセレクト撮影では、フォーカスに関する設定ができません。
- スーパー35 mm用 / APS-C用レンズ使用時は、[6K 18M]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[フォーカスセレクト]は使用できません。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]の[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ジオラマ] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン]
 - [多重露出]



- Fnボタンに機能を登録できます：
[設定] → [撮影設定] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [フォーカスセレクト]
(→ 313)

ピント位置を選んで写真を保存する

1 再生画面でフォーカスセレクト画像を選ぶ(→ 297)

- [▲📷]アイコンが付いた画像を選び、▲を押します。
- アイコン[▲📷]をタッチしても同じ操作ができます。



2 ピント位置をタッチする

- ピントが合うと緑色の枠が表示されます。
- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合は、赤い枠が表示されます。写真は保存できません。
- 画面の端は選べません。



3 写真を保存する

- [📷📄]をタッチします。
- 写真はJPEG形式で保存されます。

❖ ピント位置選択中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶ / 🌅 / 🌀	タッチ	ピントの位置の選択 ● 拡大表示中は選択できません。
🌅		表示の拡大 ● 拡大表示中は、スライダーをドラッグし、ピントを微調整できます。(◀▶でも同じ操作ができます)

		表示の縮小(拡大表示中)
[		フォーカス合成操作への切り換え(→ 149)
—		ピントが合っている部分に色を付けて表示(ピーキング) • [ON]/[OFF]が切り換わります。
		写真の保存



- テレビに画像を表示して、ピント位置を選ぶことはできません。

フォーカス合成

複数のピント位置を合成することで、手前から奥までピントの合った写真を保存できます。



近い ← ピント → 遠い

1 148ページ手順2のピント位置を選ぶ画面で、[][]をタッチする

- [] ボタンを押しても、同じ操作ができます。



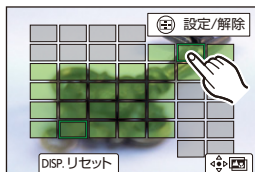
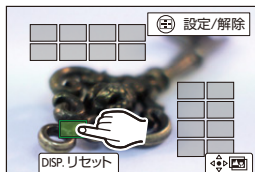
2 合成方法を選ぶ

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を1枚の写真に合成します。



3 ([指定範囲合成]選択時) ピント位置をタッチする

- 2点以上の位置を選んでください。選択した点には緑色の枠が表示されます。
- 選択した2点の間で、ピントの合う範囲が緑色で表示されます。
- 選択できない範囲はグレーで表示されます。
- 選択を解除するには、緑色の枠が付いた点をもう一度タッチしてください。
- 連続した位置を選択するには、画面をドラッグしてください。



4 写真を保存する

- [設定/解除] をタッチします。

❖ [指定範囲合成]選択中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
  /  / 	タッチ	位置の選択
[設定/解除]	[設定/解除]	位置の設定/解除
[DISP.]	[全範囲]	すべての位置を選択(位置の選択前)
	[リセット]	すべての選択を解除(位置の選択後)
 / 		写真の合成・保存



- 写真はJPEG形式(写真画質[FINE])で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報(Exif情報)も記録されます。
- 手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角が僅かに狭くなります。
- 撮影中に被写体が動いた場合や、被写体間の距離の差が大きい場合、不自然な写真に合成される場合があります。

サイレントモード

iA P A S M 



カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。

スピーカーからの音声は消音に、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。

- 以下の設定が固定されます。
 - [フラッシュモード]: [🔇] (発光禁止)
 - [AF補助光]: [OFF]
 - [シャッター方式]: [電子シャッター]
 - [タリーランプ設定]: [OFF]
 - [電子音音量]: [🔇] (OFF)
 - [合焦音音量]: [🔇] (OFF)
 - [電子シャッター音音量]: [🔇] (OFF)
 - [カードアクセスランプ]: [OFF]

 ➡ [📷] ➡ [🔇] ➡ [サイレントモード] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- [ON] に設定していても、以下の機能は点灯／点滅します。
 - セルフタイマーランプ
 - ステータスLCDバックライト
 - イルミネーションボタン
- 本機能のご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。



- Fn ボタンに機能を登録できます:
[⚙️] ➡ [🔇] ➡ [Fn ボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [サイレントモード]
(➡ 313)

シャッター方式

iA P A S M 



写真撮影時のシャッター方式を選びます。

 →  →  → [シャッター方式]を選ぶ

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。
メカシャッター	メカシャッター方式で撮影します。
電子先幕	電子先幕方式で撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式で撮影します。
電子シャッター + NR	電子シャッター方式で撮影します。遅いシャッタースピードで撮影したときは、撮影後にシャッターを閉じて長秒ノイズ除去を行います。 • 長秒ノイズ除去中は、次の撮影ができません。

	メカシャッター方式	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	露光の開始と終了をメカシャッターで行う方式	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式	露光の開始と終了を電子的に行う方式
フラッシュ	✓	✓	—
シャッター速度	B(バルブ、最大約30分間)*1、60秒～1/8000秒	B(バルブ、最大約30分間)*1、60秒～1/2000秒	B(バルブ、最大約60秒間)*1、60秒～1/8000秒
シャッター音	メカシャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音*2

*1 [M]モード時に設定できます。

*2 セットアップメニュー(IN/OUT)の[電子音]の[電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。(→ 386)

- 電子先幕方式は、メカシャッター方式に比べ、シャッターによる振動が少ないため、シャッターブレを抑えることができます。
- 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。



- シャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押した数秒後にシャッターを切る設定ができます：

[] ➡ [] ➡ [シャッターディレイ](➡ 350)



- 画面に[]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
- 電子シャッターで動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、電子シャッターで撮影すると、横しみが記録されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しみが軽減されることがあります。
- [サイレントモード]使用中は、[シャッター方式]は[電子シャッター]に固定されます。
- スーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時は、電子先幕が使用できません。



- Fnボタンに機能を登録できます：

[] ➡ [] ➡ [Fnボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [シャッター方式](➡ 313)

手ブレ補正

iA P A S M



本機は、ボディ内手ブレ補正、レンズ内手ブレ補正が使用できます。2つの手ブレ補正を効果的に組み合わせたDual I.S.方式のうち、補正効果の高いDual I.S.2に対応しています。さらに動画撮影時には、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使用できます。

レンズと手ブレ補正の組み合わせ(2019年8月現在)

装着するレンズによって、使用できる手ブレ補正は異なります。

装着するレンズ	使用できる手ブレ補正	アイコンの例
手ブレ補正機能のある当社製レンズ	ボディ+レンズ (Dual I.S.2)	DUAL2 ()
手ブレ補正機能のある他社製レンズ	ボディまたはレンズ	BODY / LENS () / ()
手ブレ補正機能のないレンズ	ボディ	BODY ()
本機との通信機能がないレンズ	ボディ	BODY ()

- ・5軸ハイブリッド手ブレ補正(→ 155)は、どのレンズでも使用できます。

❖ 手ブレ補正を使う

- ・O.I.S.スイッチのあるレンズを使用するときは、レンズ側でスイッチを[ON]にしてください。
- ・本機との通信機能がないレンズを使用する場合は、カメラの電源を入れたときに、レンズ情報の確認メッセージが表示されます。

手ブレ補正機能を正しく動作させるには、レンズに合わせてイメージサークル、焦点距離、手ブレ補正範囲を設定する必要があります。メッセージに従って設定してください。メニューでも設定できます。(→ 158)



- ・シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に手ブレ警告アイコン[()]が表示される場合があります。表示されたときは、三脚やセルフタイマー、シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使用することをお勧めします。
- ・三脚を使用するときは、手ブレ補正機能をオフにすることをお勧めします。



- ・手ブレ補正が働いているときに、振動や動作音がすることがありますが故障ではありません。
- ・以下の機能を使用中は、手ブレ補正機能は使用できません。
- [ハイレゾモード]



- 本機との通信機能がないレンズを使用する場合、電源を入れたときに表示されるレンズ情報の確認メッセージを非表示にできます：

[] → [] → [レンズ情報確認表示] (→ 381)

- 基準点を表示して、手ブレ状態を確認できます：

[] → [] → [手ブレ状態スコープ] (→ 376)

手ブレ補正の設定

撮影状況に合わせて、手ブレ補正の動作を設定します。



→ [] → [] → [手ブレ補正] を選ぶ

動作設定	撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ)を設定します。(→ 156)	
ボディ/レンズ選択	BODY () (ボディ)	ボディ内手ブレ補正を使用します。
	LENS () (レンズ)	レンズ内手ブレ補正を使用します。
	• 手ブレ補正機能のある他社製レンズを使用しているときに設定できます。	
動作開始設定	常時	常に手ブレ補正が働きます。
	半押し	シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正が働きます。
電子補正(動画)	動画撮影中の上下、左右、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレをレンズ、ボディ、電子式を組み合わせで補正します。(5軸ハイブリッド手ブレ補正) • [電子補正(動画)]が働いているときは、撮影画面の[]が[]に切り換わります。 • [ON]に設定すると、画角が狭くなる場合があります。	
手ブレ補正ブースト(動画)	動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。(→ 157)	
アナモフィック(動画)	アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることができます。(→ 157)	
レンズ情報	本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、レンズの情報を登録します。(→ 158)	



- 以下の機能を使用中は、[動作開始設定]は[常時]に固定されます。
 - [ボディ/レンズ選択]の[
 - [M]モード
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
- 以下の機能を使用中は、[電子補正(動画)]は使用できません。
 - 6K動画／5.9K動画／5.4K動画
 - [バリアブルフレームレート]
 - [ライブクロップ]



- Fn ボタンに[電子補正(動画)]を登録できます：
[] ➔ [] ➔ [Fn ボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [電子補正(動画)](➔ 313)

❖ 動作設定

撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ)を設定します。

 通常	上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。通常の撮影に適しています。
 流し撮り(オート)	流し撮りの方向を自動で検出し、上下、または、左右の動きに対する手ブレを補正します。流し撮りに適しています。
 流し撮り(左右)	上下の動きに対する手ブレを補正します。左右方向に流し撮りするときに適しています。
 流し撮り(上下)	左右の動きに対する手ブレを補正します。上下方向に流し撮りするときに適しています。
OFF	手ブレ補正機能をOFFにします。

- 使用するレンズや[ボディ/レンズ選択]の設定により、使用できる動作設定は異なります。
- 手ブレ補正機能のある他社製レンズを使用し、[ボディ/レンズ選択]を[]に設定しているときは、[流し撮り(オート)]は表示されません。流し撮りの方向に合わせて[流し撮り(左右)]または[流し撮り(上下)]に設定してください。
- O.I.S.スイッチのあるレンズ使用時は、カメラの動作設定で[OFF]に設定できません。レンズ側でスイッチを[OFF]にしてください。
- 以下の機能を使用中は、[動作設定]は[](通常)に切り換わります。
 - [M]モード
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]



- Fn ボタンに機能を登録できます：
[] ➔ [] ➔ [Fn ボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [手ブレ補正](➔ 313)

❖ 手ブレ補正ブースト(動画)

動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。

設定: [ON] / [OFF]

- [手ブレ補正ブースト(動画)]が働いているときは、撮影画面に[- 撮影中に構図を変える場合は、設定を[OFF]にしてからカメラを動かしてください。
撮影中に[OFF]に切り換えるには、Fnボタンをお使いください。(→ 313)
- 焦点距離が大きくなるほど、補正効果は弱くなります。



- [ボディ/レンズ選択]を[



- Fnボタンに機能を登録できます:
[[手ブレ補正ブースト(動画)](→ 313)

❖ アナモフィック(動画)

アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることができます。

設定: [(A2.0)](2.0×) / [(A1.8)](1.8×) / [(A1.5)](1.5×) / [(A1.33)](1.33×) /
[(A1.30)](1.30×) / [OFF]

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて、設定してください。
- [アナモフィック(動画)]が働いているときは、[(A2.0)]や[(A2.0)]のように、設定した倍率が撮影画面の手ブレ補正アイコンに表示されます。



- [手ブレ補正ブースト(動画)]設定時は、[手ブレ補正ブースト(動画)]が優先されます。
- 以下の機能を使用中は、[アナモフィック(動画)]は[OFF]に固定されます。
– [ボディ/レンズ選択]の[- レンズの手ブレ補正機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、レンズの手ブレ補正機能をオフにしてください。

❖ レンズ情報

本機との通信機能がないレンズの情報を登録します。

登録したレンズ情報に応じて、ボディ内手ブレ補正が動作します。

本機の設定を、フルサイズ用またはスーパー35 mm用／APS-C用レンズに応じた設定に切り換えることができます。(→ 30)

▲▼で使用するレンズ情報を選び、

 または  を押す

- 初期設定では、焦点距離 24 mm から 135 mm の 6 本のレンズ情報が登録されています。
レンズ情報は 12 本まで登録できます。



レンズ情報の登録、変更、消去

- ▲▼でレンズ情報を選び、[DISP.] ボタンを押す
 - 未登録のレンズ情報を選択した場合は、 または  を押して手順③に進んでください。
- ▲▼で[編集]または[消去]を選び、 または  を押す
 - [消去]を選ぶと、レンズ情報が消去されます。
 - 使用中のレンズ情報は消去できません。
- レンズ情報を入力する
 - 登録済みのレンズ情報の場合は、レンズ情報が変更されます。
- (未登録のレンズ情報選択時)[DISP.] ボタンを押して、レンズ情報を登録する

イメージサークル	レンズのイメージサークルを選びます。 [FULL]:フルサイズ用レンズ [S35mm]:スーパー35 mm用／APS-C用レンズ
焦点距離	焦点距離を入力します。  を回すと、ライブビュー映像を拡大表示できます。
手ブレ補正範囲	手ブレ補正によってケラレが発生しないように、手ブレ補正の補正範囲を設定します。 [70%]／[80%]／[90%]／[100%]  を回して補正範囲を選び、 または  を押して決定します。 ▲▼◀▶で四隅を選択すると、ボディ内手ブレ補正が働き、ケラレの有無が確認できます。ケラレが発生したときは、小さい範囲に設定し直してください。
レンズ名	レンズ名を登録します。 - 文字の入力方法については、401 ページをお読みください。 - 入力できる文字数は最大 30 文字です。

7. 測光／露出／ISO感度

測光モード

iA P A S M 



明るさを測る方式を切り換えることができます。

 → [カメラアイコン] → [測光モードアイコン] → [測光モード]を選ぶ

 (マルチ測光)	画面全体の明るさの配分を評価して、露出が最適になるように測光する方式です。
 (中央重点)	画面中央部に重点を置いて測光する方式です。
 (スポット)	スポット測光ターゲット周辺の極めて狭い部分を測光する方式です。 • AFエリアを移動すると、スポット測光ターゲットも合わせて移動します。
 (ハイライト重点)	白飛びしないように、画面のハイライト部分に重点を置いて測光する方式です。舞台撮影などに適しています。



スポット測光ターゲット

- ➡
- Fnボタンに機能を登録できます：
[設定アイコン] → [露出アイコン] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [測光モード](→ 313)
 - 適正露出の基準値を調整できます：
[設定アイコン] → [測光モードアイコン] → [基準露出レベル調節](→ 363)

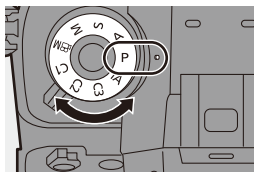
プログラムAEモード

iA P A S M



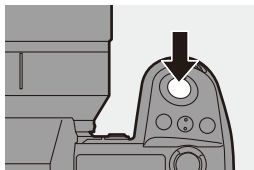
[P]モード(プログラムAEモード)では、被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動で設定します。同じ露出のままではシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトもできます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる



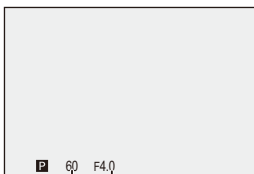
2 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。



- 適正な露出が得られないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

3 撮影する



シャッター スピード 絞り値

❖ プログラムシフト

カメラが自動で設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。

より背景をぼかす(絞り値を小さくする)、動きを表現する(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

① シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。(約10秒間)

② 数値が表示されている間に、 または を回す

- 撮影画面にプログラムシフトアイコンが表示されます。

③ 撮影する



プログラムシフトアイコン

プログラムシフトの解除方法

- 電源スイッチを[OFF]にする
- プログラムシフトアイコンが消えるまで、 または  を回す



- 以下の機能を使用中は、プログラムシフトは使用できません。
 - フラッシュ
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
 - [> [> [ダイヤル設定] > [F/SSダイヤルの割当] / [F/SSダイヤルの回転] (→ 370)
 - 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：[> [> [露出メーター] (→ 375)

絞り優先AEモード



[A]モード(絞り優先AEモード)では、絞り値を設定して撮影できます。シャッタースピードはカメラが自動で設定します。



絞り値が小さい

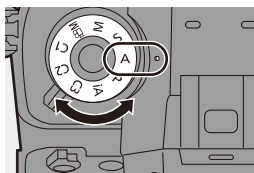
背景をぼかしやすくなります。



絞り値が大きい

背景までピントが合った状態にしやすいです。

1 モードダイヤルを[A]に合わせる

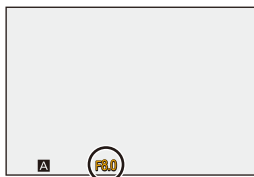
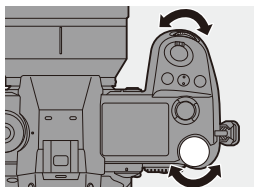


2 絞り値を設定する

- または を回します。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。



❖ 被写界深度の性質

絞り値	小さい	大きい
レンズの焦点距離	望遠	広角
被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)	浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいとき	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいとき



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ 169)
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を[A]以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。



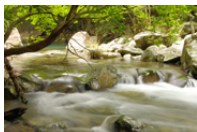
- ダイヤルの動作をカスタマイズできます:
[設定] → [ダイヤル設定] → [F/SSダイヤルの割当] / [F/SSダイヤルの回転](→ 370)
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます:[設定] → [露出メーター](→ 375)

シャッター優先AEモード



[S]モード(シャッター優先AEモード)では、シャッタースピードを設定して撮影できます。

絞り値はカメラが自動で設定します。

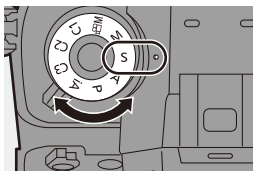


シャッタースピードが遅い
動きを表現しやすくなります。



シャッタースピードが速い
動きを止めやすくなります。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

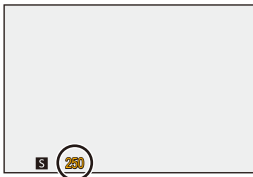
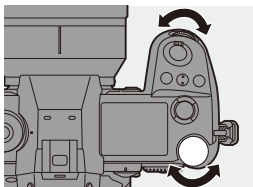


2 シャッタースピードを設定する

- または を回します。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。





- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ 169)
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- フラッシュ発光時は、1/320秒より速いシャッタースピードには設定できません。(→ 199)



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
[] → [] → [ダイヤル設定] →
[F/SSダイヤルの割当] / [F/SSダイヤルの回転](→ 370)
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます:[] → [] → [露出メーター](→ 375)

マニュアル露出モード

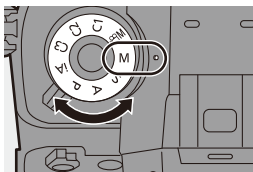
iA P A S M



[M]モード(マニュアル露出モード)では、絞り値とシャッタースピードを手動で設定して撮影します。

初期設定では、ISO感度が[AUTO]に設定されています。そのため、絞り値とシャッタースピードに応じてISO感度が設定されます。ISO感度[AUTO]設定時は露出補正も使用できます。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

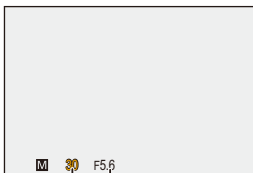
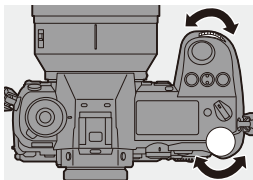


2 絞り値とシャッタースピードを設定する

- を回して絞り値を、 を回してシャッタースピードを設定します。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。



シャッター 絞り値
スピード

❖ 設定可能なシャッタースピード(秒)

メカシャッター	B(バルブ、最大約30分間)、60～1/8000
電子先幕	B(バルブ、最大約30分間)、60～1/2000
電子シャッター	B(バルブ、最大約60秒間)、60～1/8000



- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ 169)
[M]モードで常にプレビューモードが働くように設定できます：
[] → [] → [常時プレビュー(Mモード)](→ 372)
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を[A]以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。
- フラッシュ発光時は、1/320秒より速いシャッタースピードには設定できません。(→ 199)



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
[] → [] → [ダイヤル設定] →
[F/SSダイヤルの割当]／[F/SSダイヤルの回転](→ 370)
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：[] → [] → [露出メーター](→ 375)

❖ マニュアル露出アシスト

ISO感度を[AUTO]以外に設定したときに、マニュアル露出アシスト(例：1)が撮影画面に表示されます。

現在の露出値と、カメラが測光した適正露出(± 0)との差を確認できます。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

❖ B(バルブ)

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約30分間)

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景、星空の撮影で、長時間シャッターを開いておきたいときに使います。



- バルブ撮影中は、三脚やシャッターリモコン(別売:DMW-RS2)の使用をお勧めします。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、写真メニュー(画質)の[長秒ノイズ除去](→ 343)を[ON]にして撮影することをお勧めします。



- 以下の機能を使用中は、バルブは使用できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - [ブラケット]
 - [ハイレゾモード]

プレビューモード

iA P A S M



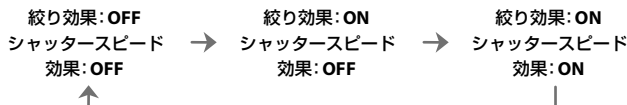
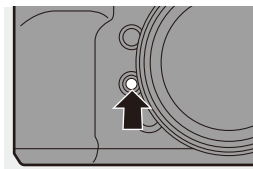
実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、絞り効果を撮影画面で確認できます。

また、絞り効果に加えてシャッタースピード効果も同時に確認できます。

- [プレビュー]を登録したFnボタンで操作します。初期設定では[Fn2]ボタンに登録されています。Fnボタンについては、[313ページ](#)をお読みください。

プレビューボタンを押す

- ボタンを押すごとに、効果の確認画面が切り換わります。



- プレビューモード中でも撮影できます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/8000秒です。
- [6K/4K プリ連写]撮影では、プレビューモードは使用できません。

露出補正

iA P A S M



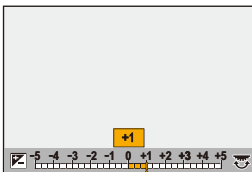
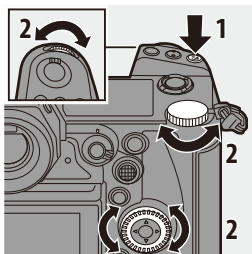
カメラが決めた適正露出では明るすぎたり暗すぎたりする場合に露出補正できます。

露出補正できる範囲は、1/3 EVステップ、 ± 5 EVです。動画撮影、6K/4Kフォト撮影、フォーカスセレクト撮影では、 ± 3 EVの範囲になります。

1 [] ボタンを押す

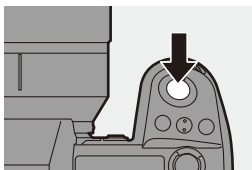
2 露出を補正する

- 、 または  を回します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。





- [M]モードでは、ISO感度を[AUTO]に設定すると露出補正できます。
- [露出補正連動]を[ON]に設定した場合は、露出補正值に応じてフラッシュの発光量が自動で調整されます。
- 露出補正值が ± 3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押し、またはAEロックすると、撮影画面に反映されます。
- 設定した露出補正值は、電源を切っても記憶しています。



- 適正露出の基準値を調整できます：
[設定] → [露出] → [基準露出レベル調節] (→ 363)
- 電源を切ると露出補正值をリセットするように設定できます：
[設定] → [露出] → [露出補正リセット] (→ 363)
- [設定] ボタンの動作を変更できます：
[設定] → [WB/ISO/露出補正ボタン] (→ 369)
- 露出補正画面で露出ブラケットの設定とフラッシュ発光量の調整ができます：
[設定] → [WB/ISO/露出補正画面の操作] (→ 369)

ピントや露出の固定(AF / AEロック)

iA P A S M



撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。
画面の端にピントを合わせたいときや逆光時に便利です。

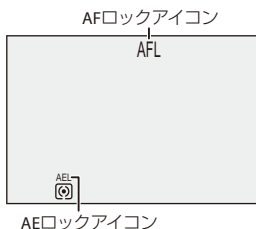
1 Fn ボタンに[AE LOCK]、[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]を登録する(→ 313)

- [Fn3]～[Fn7]には登録できません。

AE LOCK	露出を固定します。
AF LOCK	ピントを固定します。
AF/AE LOCK	ピントと露出を固定します。

2 ピントや露出を固定する

- Fn ボタンを押したままにします。
- ピントがロックされると、AFロックアイコンが表示されます。
- 露出がロックされると、AEロックアイコンが表示されます。



3 Fn ボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを全押しします。



- AEロック中でも、プログラムシフトを設定できます。



- Fn ボタンを押し続けなくても、ロックを維持するようになります：
[設定] → [AF] → [AF/AEロック維持](→ 364)

ISO 感度

iA P A S M

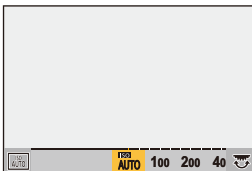
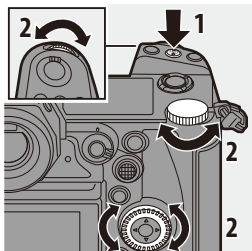


光に対する感度 (ISO 感度) を設定できます。初期設定では、1/3 EVごとに 100～51200 の範囲で設定できます。本機は、ベース感度を切り換えて高感度、低ノイズの撮影ができる Dual Native ISO に対応しています。必要に応じてベース感度を固定することもできます。

1 [ISO] ボタンを押す

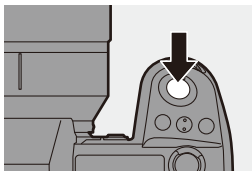
2 ISO 感度を選ぶ

- 、 または を回します。
- [ISO] ボタンを押しても選択できます。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



ISO 感度の性質

ISO 感度を上げると、暗い場所でもシャッタースピードを速くして、手ブレや被写体ブレを防ぐことができます。ただし、ISO 感度が高いほど、撮影した画像のノイズも多くなります。

❖ 設定項目(ISO感度)

AUTO	明るさに応じて、自動でISO感度を調整します。 - 写真撮影時: 最大6400^{*1} - 動画撮影時: 最大6400^{*2}
100～51200	それぞれのISO感度に固定します。 - 写真メニュー(画質)の[Dual Native ISO設定]の設定により、使用できるISO感度の範囲が変わります。(→ 175) - カスタムメニュー(画質)の[拡張ISO感度](→ 362)を[ON]にすると、下限値50から上限値204800までISO感度を拡張できます。

*1 初期設定。[ISO感度設定(写真)]によって上限を変更できます。

*2 初期設定。[ISO感度設定(動画)]によって上限を変更できます。

- 以下の機能を使用中は、設定できるISO感度に制限があります。
 - [ハイレゾモード]: 上限3200まで
 - [フィルター設定]の[ハイダイナミック]: 下限400、上限6400まで
 - [フィルター設定]の[ハイダイナミック]以外: 上限6400まで
 - [多重露出]: 下限100、上限6400まで
 - [フォトスタイル]の[シネライク D2]、[シネライク V2]: 下限200([拡張ISO感度]設定時: 100)まで
 - [フォトスタイル]の[709ライク]: 下限100まで
 - [フォトスタイル]の[V-Log]: 下限640([拡張ISO感度]設定時: 320)、上限51200まで
 - [フォトスタイル]の[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]、[2100ライク(HLG)]: 下限400まで



- ISOオートの上限と下限を設定できます:
 - [カメラアイコン] → [ISO感度設定(写真)](→ 343)
 - [動画カメラアイコン] → [ISO感度設定(動画)](→ 241)
- ISO感度の設定値の刻みを変更できます:
 - [設定アイコン] → [ISO感度ステップ](→ 362)
- 設定できるISO感度の範囲を拡張できます:
 - [設定アイコン] → [拡張ISO感度](→ 362)
- ISOオート時のシャッタースピードの下限を設定できます:
 - [カメラアイコン] → [下限シャッター速度](→ 344)
- [ISO]ボタンの動作を変更できます:
 - [設定アイコン] → [WB/ISO/露出補正ボタン](→ 369)
- ISO感度の設定画面でISOオートの上限を設定できます:
 - [設定アイコン] → [ISO感度画面の操作](→ 369)
- 動画撮影時の感度の単位をdBに切り換えることができます:
 - [動画カメラアイコン] → [SS/ゲイン操作](→ 245)

Dual Native ISO 設定

ベース感度を自動切換するか、固定するかを設定します。



⇒ [カメラアイコン] ⇒ [設定アイコン] ⇒ [Dual Native ISO 設定] を選ぶ

自動切換	明るさに応じて、自動でベース感度を切り換えます。	
	設定できるISO感度	AUTO / 100～51200 [拡張ISO感度] 設定時: AUTO / 50～204800
低感度	ベース感度を低感度用に設定します。	
	設定できるISO感度	AUTO / 100～800 [拡張ISO感度] 設定時: AUTO / 50～800
高感度	ベース感度を高感度用に設定します。	
	設定できるISO感度	AUTO / 640～51200 [拡張ISO感度] 設定時: AUTO / 320～204800



- 以下の場合、[Dual Native ISO 設定]は[自動切換]に固定されます。
 - [フォトスタイル]を[V-Log]にして[ハイレゾモード]設定時

8. ホワイトバランス／画質

ホワイトバランス(WB)

iA P A S M



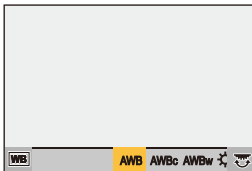
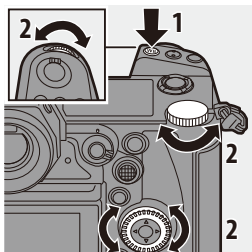
ホワイトバランス(WB)は、被写体を照らす光の色の影響を補正する機能です。白いものを白く、見た目に近い色に補正します。

通常はオート([AWB]、[AWBc]または[AWBw])で適切なホワイトバランスが得られます。画像の色合いが思ったとおりにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに設定してください。

1 [WB]ボタンを押す

2 ホワイトバランスを選ぶ

- 、 または を回します。
- [WB]ボタンを押しても選択できます。



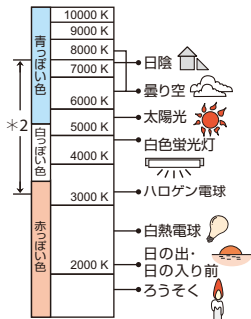
3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



❖ 設定項目(ホワイトバランス)

AWB	オート
AWBc	オート(白熱電球下で赤みを抑えます)
AWBw	オート(白熱電球下で赤みを残します)
	晴天
	曇天
	晴天の日陰
	白熱灯
	フラッシュ ^{*1}
~	セットモード1~4(→ 178)
~	色温度1~4(→ 178)



*1 動画撮影、6K/4Kフォト撮影、フォーカスセレクト撮影では、[AWB]と同じ動作をします。

*2 [AWB]が動く範囲



• 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。[AWB]、[AWBc]、[AWBw]、 ~ をご使用ください。



• [フィルター設定]使用中は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。



• Fnボタンにホワイトバランスの設定項目を登録できます：

[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [ホワイトバランス](→ 313)

• [WB]ボタンの動作を変更できます：

[] ⇒ [] ⇒ [WB/ISO/露出補正ボタン](→ 369)

❖ ホワイトセット登録([]～[])

撮影場所の光源下で白いものを撮影して、白く写るようにホワイトバランスを調整します。

- ① [WB]ボタンを押し、[]～[]のいずれかを選ぶ
- ② ▲を押す
- ③ 画面中央の枠内に白いものを映し、 または  を押す
 - ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。

❖ 色温度設定([]～[])

ホワイトバランスの色温度を数値で設定します。

- ① [WB]ボタンを押し、[]～[]のいずれかを選ぶ
- ② ▲を押す
 - 色温度の設定画面が表示されます。
- ③ ▲▼で色温度を選び、 または  を押す
 - 、 または  を回すと、ホワイトバランス(色温度)ブラケットの設定ができます。(→ 145)

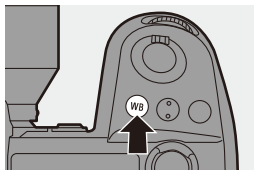


- 2500K～10000Kまで設定できます。

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないときに、色合いを調整できます。

1 [WB]ボタンを押す



2 ホワイトバランスを選び、▼を押す

- 調整画面が表示されます。

3 色合いを調整する

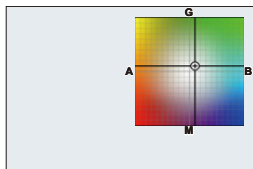
◀:[A](アンバー:オレンジ系)

▲:[G](グリーン:緑系)

▶:[B](ブルー:青系)

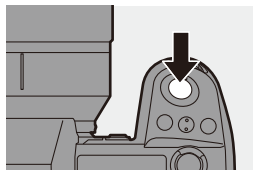
▼:[M](マゼンタ:赤系)

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも調整できます。
- グラフをタッチしても調整できます。
- 調整していない状態に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- 、 または  を回すと、ホワイトバランスブラケットの設定ができます。
(→ 145)



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



- ホワイトバランスを調整すると、撮影画面のアイコンが調整した色に変わります。G方向に調整すると[+]が表示され、M方向に調整すると[-]が表示されます。

フोटスタイル

iA P A S M



被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。フोटスタイルごとに画質調整ができます。

→ → → [フोटスタイル]を選ぶ

STD. スタンダード	標準的な設定
VIVID ヴィヴィッド	彩度とコントラストが高めの鮮やかな設定
NAT ナチュラル	コントラストが低めの柔らかな設定
FLAT フラット	彩度とコントラストが低めの誇張を抑えた設定
LAND 風景	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した設定
PORT 人物	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した設定
MONO モノクローム	色味を抜いた単色の設定
L.MONO L.モノクローム	階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ設定
L.MONO D L.モノクロームD	ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ設定
CINED2 シネライク D2	ダイナミックレンジを優先したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定 • 動画編集時の処理に適しています。
CINEV2 シネライク V2	コントラストを重視したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定
709L 709ライク	Rec.709相当のガンマカーブで、高輝度部分を圧縮(二)して白飛びを抑える設定 • Rec.709とは「ITU-R Recommendation BT.709」の略称で、ハイビジョン放送の規格です。
V-Log V-Log	ポストプロダクション処理を前提としたガンマカーブの設定 • ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げるができます。
2100 2100ライク(HLG)*1	HLG方式の動画を撮影するための設定
MY MY PHOTO STYLE 1*2 ~ MY PHOTO STYLE 10*2	フोटスタイルを好みに合わせて画質調整し、マイフोटスタイルとして登録できます。(→ 183)

- *1 [M]モードで10 bitの[動画画質]に設定しているときだけ選択できます。(→ 218)
- *2 初期設定では[MY PHOTO STYLE 4]までが表示されています。[フォトスタイル設定]の[フォトスタイル表示の制限]で、メニューに表示する項目を設定できます。(→ 362)

- [HLG フォト]を設定しているときは、以下の項目になります。

 スタンダード(HLG)	[HLG フォト]の標準的な設定
 モノクローム(HLG)	[HLG フォト]のモノクロ設定



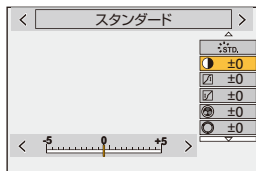
- [iA]モード時は、他の撮影モードと動作が異なります。
 - [スタンダード]、[モノクローム]に設定できます。
 - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード]にリセットされます。
 - 画質調整できません。
- [フォトスタイル]を以下に設定したときは、使用できるISO感度の範囲が変化します。
 - [シネライク D2]、[シネライク V2]: 下限200([拡張ISO感度]設定時:100)まで [Dual Native ISO 設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
- ISO感度が変化する場合は、必要に応じて露出を設定し直してください。
- [709ライク]ではニーモードを設定できます。詳しくは、239ページをお読みください。
- [フィルター設定]使用中は、[フォトスタイル]は使用できません。



- Fnボタンに機能を登録できます：
 - [設定] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [フォトスタイル](→ 313)
- フォトスタイルの詳細な設定ができます：
 - [設定] → [フォトスタイル設定](→ 362)

❖ 画質調整

- 1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 ▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で調整する
 - 調整した項目に[*]が表示されます。
- 3  または  を押す
 - 画質調整すると、撮影画面のフォトスタイルアイコンに[*]が表示されます。



設定項目(画質調整)

	コントラスト* ¹	画像の明暗差を調整します。
	ハイライト* ¹	明部の明るさを調整します。
	シャドウ* ¹	暗部の明るさを調整します。
	彩度* ²	色の鮮やかさを調整します。
	色調* ³	青み、黄色みを調整します。
	色相* ²	赤を基準とした場合、紫／マゼンタ方向または黄色／緑方向に色相を回転させ、全体の色合いを調整します。
	フィルター効果* ³	黄 コントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。
		オレンジ コントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。
		赤 コントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
		緑 人物の肌や唇を落ち着いた色にします。 緑の葉を明るくし、強調します。
		OFF —
	粒状* ⁴	弱／中／強 粒状感の強弱を設定します。
		OFF —
	シャープネス	画像の輪郭を調整します。
	ノイズリダクション	ノイズリダクションの効果を調整します。 ・効果を強めた場合、解像感が僅かに低下する場合があります。
	Dual Native ISO 設定* ⁵	Dual Native ISOを設定します。(→ 175)

ISO	ISO感度*5	ISO感度を設定します。(→ 173)
WB	ホワイトバランス*5	ホワイトバランスを設定します。(→ 176) ・[WB]選択中に[]ボタンを押すと、ホワイトバランスの設定画面が表示されます。もう一度[]ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

- *1 [709ライク]、[V-Log]、[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]、[2100ライク(HLG)]選択中は調整できません。
- *2 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]、[V-Log]、[モノクローム(HLG)]以外を選択中に使用できます。
- *3 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]、[モノクローム(HLG)]選択中に使用できます。
- *4 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]選択中に使用できます。
- *5 [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択中に、以下を設定すると使用できます。
 ⇒  ⇒ [フォトスタイル設定] ⇒ [マイフォトスタイル設定] ⇒ [調整項目の追加] ⇒ [ISO感度]／[ホワイトバランス] ⇒ [ON]



- ・[粒状]の効果は、撮影画面では確認できません。
- ・以下の機能を使用中は、[粒状]は使用できません。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]

❖ 設定をマイフォトスタイルに登録する



- 1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 画質を調整する
 - ・マイフォトスタイルでは、画質調整のいちばん上にフォトスタイルの種類が表示されます。ベースとなるフォトスタイルを選択してください。
- 3 [DISP.]ボタンを押す
- 4 ([MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択時)
 ▲▼ で[現在の設定を登録]を選び、 または  を押す
- 5 ▲▼ で登録先の番号を選び、 または  を押す
 - ・確認画面が表示されます。
 確認画面で[DISP.]ボタンを押すと、マイフォトスタイルの名前を変更できます。
 入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。
 文字の入力方法については、401 ページをお読みください。



- ・[HLGフォト]使用中は、マイフォトスタイルを登録できません。

❖ マイフォトスタイルの登録内容の変更

- ❶ [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]のいずれかを選ぶ
- ❷ [DISP.] ボタンを押し、項目を設定する

登録された設定の呼出

現在の設定を登録

名称変更

デフォルトに戻す

フィルター設定

iA P A S M

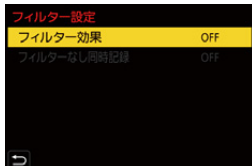


画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。

フィルターごとに効果を調整できます。また、効果のない写真も同時に撮影できます。

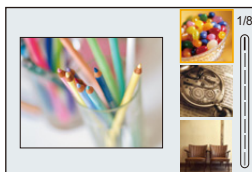
1 [フィルター効果]を設定する

- → → →
[フィルター設定] →
[フィルター効果] → [設定]



2 フィルターを選ぶ

- ▲▼で選択し、 または を押します。
- 作例写真をタッチしても選択できます。
- [DISP.] ボタンを押すと、通常表示、ガイド表示、一覧表示の順に画面が切り換わります。ガイド表示では、各フィルターの説明が表示されます。



❖ フィルター効果の調整

フィルター効果の調整ができます。

- 1 フィルターを選ぶ
 - 2 撮影画面で [WB] ボタンを押す
 - 3 、 または を回して設定する
- 撮影画面に戻るには、もう一度 [WB] ボタンを押してください。
 - フィルター効果を調整すると、撮影画面のフィルターアイコンに [*] が表示されます。

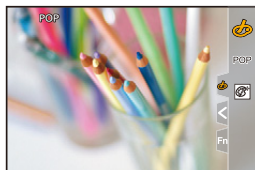


フィルター	調整できる項目
ポップ	鮮やかさ
レトロ	色合い
オールドデイズ	コントラスト
ハイキー	色合い
ローキー	色合い
セピア	コントラスト
モノクローム	色合い
ダイナミックモノクローム	コントラスト
ラフモノクローム	粒子感
シルキーモノクローム	ボケ具合
インプレッシブアート	鮮やかさ
ハイダイナミック	鮮やかさ
クロスプロセス	色合い
トイフォト	色合い
トイポップ	周辺光量が落ちる範囲
ブリーチバイパス	コントラスト
ジオラマ	鮮やかさ
ソフトフォーカス	ボケ具合
ファンタジー	鮮やかさ
クロスフィルター	 : 輝きが短い／輝きが長い
	 : 輝きが少ない／輝が多い
	 : 輝きを左に回転／輝きを右に回転
ワンポイントカラー	残す色の量
サンシャイン	色合い

❖ タッチ操作でフィルターを設定する

- ❗ 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 368)

- 1 [] をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする
[] : フィルターの入/切
[POP] : フィルター
[] : フィルター効果の調整



- 📌 • ホワイトバランスは[AWB]に、フラッシュは[] (発光禁止) に固定されます。
- ISO感度の上限は6400になります。
- [ハイダイナミック]設定時は、ISO感度の下限は400に、上限は6400になります。
[Dual Native ISO設定]の[低感度]や[高感度]で利用できるISO感度の範囲も変化します。
– [低感度]: AUTO/400～3200 (ベース感度 400)
– [高感度]: AUTO/2500～6400 (ベース感度 2500)
ISO感度が変化する場合は、必要に応じて露出を設定し直してください。
- フィルターによっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- 以下の機能を使用中は、[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]は使用できません。
– [M]モード
- スーパー35 mm用/APS-C用レンズ使用時は、[トイフォト]/[トイポップ]は使用できません。
- [動画撮影範囲]が[S35mm]または[PIXEL/PIXEL]のときは、[トイフォト]/[トイポップ]で動画撮影ができません。
- 以下の機能を使用中は、[フィルター効果]は使用できません。
– [ハイレゾモード]
– [多重露出]

- ➡ • Fnボタンにフィルターの入/切操作を登録できます：
[] ➡ [] ➡ [Fnボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [フィルター効果] (→ 313)
- Fnボタンで[フィルター効果]の設定画面を表示しているときに[DISP.]ボタンを押すと、フィルター選択画面が表示されます。

❖ ぼかし方の設定(ジオラマ)

- ① [フィルター効果]を[ジオラマ]に設定する
- ② ▲を押して設定画面を表示する
 - []をタッチしたあと、[]をタッチしても表示できます。
- ③ ▲▼または◀▶でぼかさない部分を移動する
 - 画面をタッチしても、ぼかさない部分を移動できます。
 - []をタッチしても、ぼかす向きを切り換えることができます。
- ④ 、 または  を回してぼかさない部分の大きさを変更する
 - 画面をピンチアウト／ピンチインしても、拡大／縮小できます。
 - ぼかさない部分の設定を初期設定に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- ⑤  または  を押して決定する



- 動画に音声は記録されません。
- システム周波数を[59.94Hz(NTSC)]に設定したときは、記録される動画の長さが実際の記録時間の約1/10になります。表示される動画記録時間は約10倍になります。
システム周波数を[50.00Hz(PAL)]または[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、約1/8になります。表示される動画記録時間は約8倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

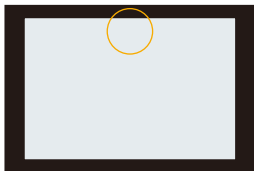
❖ 残す色の設定(ワンポイントカラー)

- ① [フィルター効果]を[ワンポイントカラー]に設定する
- ② ▲を押して設定画面を表示する
 - [👁️]をタッチしたあと、[✍️]をタッチしても表示できます。
- ③ ▲▼◀▶で枠を移動し、残す色を選ぶ
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - 画面をタッチしても、残す色を選択できます。
 - 枠を中央に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- ④  または  を押して決定する



❖ 光源の位置と大きさの設定(サンシャイン)

- ① [フィルター効果]を[サンシャイン]に設定する
- ② ▲を押して設定画面を表示する
 - [👁️]をタッチしたあと、[⊗]をタッチしても表示できます。
- ③ ▲▼◀▶で光源の中心の位置を移動する
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - 画面をタッチしても、光源の位置を移動できます。
- ④ 、 または  を回して光源の大きさを調整する
 - ピンチアウト/ピンチインしても拡大/縮小できます。
 - 光源の設定を初期設定に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- ⑤  または  を押す



フィルターなし同時記録

iA P A S M 



フィルター効果を加えていない写真を同時に撮影できます。



[フィルター設定] ➡ [フィルターなし同時記録] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- 以下の機能を使用中は、[フィルターなし同時記録]は使用できません。
 - 連写
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [写真画質]の[RAW+FINE]、[RAW+STD.]、[RAW]
 - [ブラケット]

ハイレゾモード

iA P A S M



複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。動きのない被写体の撮影に適しています。

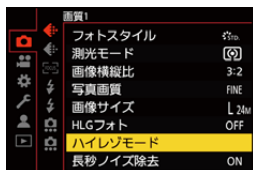
合成後の写真は、画像サイズが最大96 MのRAWファイルで保存されます。



- カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。
- 手ブレ補正機能は自動でオフになります。

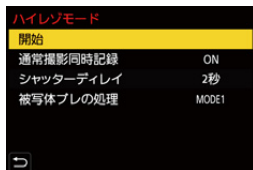
1 [ハイレゾモード]を設定する

- → → →
[ハイレゾモード]



2 ハイレゾモードを開始する

- [開始]を選び、 または を押します。



3 構図を決めて、カメラを固定する

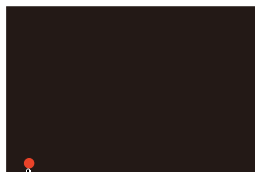
- ブレを検知すると、ハイレゾモードアイコンが点滅します。

ハイレゾモードアイコン



4 撮影する

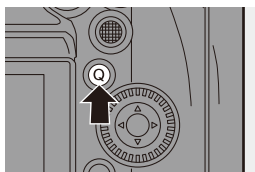
- シャッターボタンを全押しします。
- 初期設定では[シャッターディレイ]が働くため、シャッターボタンを押してからシャッターが切れるまでに間が空きます。
- 撮影中は画面が黒くなります。
- 記録動作表示(赤)が点滅します。点滅中は、カメラを動かさないでください。
- 撮影後の合成処理が終わると続けて撮影できます。



記録動作表示

5 [ハイレゾモード]を終了する

- [Q]ボタンを押します。



❖ 設定項目(ハイレゾモード)

開始	ハイレゾモードを開始します。
通常撮影同時記録	[ON]にすると、合成前の写真を同時に撮影できます。1枚目の写真を[画像サイズ]の[L]で保存します。
シャッターディレイ	シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。
被写体ブレの処理	被写体が動いた場合の補正方法を設定します。 [MODE1] : ハイレゾモードの効果を優先するため、被写体ブレが残像のように見えます。 [MODE2] : 被写体ブレの残像を抑えますが、補正した範囲ではハイレゾモードの効果は得られません。

❖ 合成後の写真画質／画像サイズ

- [写真画質]は[RAW]で記録されます。
- [ハイレゾモード]で撮影したRAW画像は、再生メニューの[RAW現像]では現像できません。ソフトウェア「SILKYPiX Developer Studio」をお使いください。(→ 458)
- 画像サイズは[画像横縦比]の設定により変わります。

画像横縦比	画像サイズ
4:3	10656×8000(85 M)
3:2	12000×8000(96 M)
16:9	12000×6736(81 M)
1:1	8000×8000(64 M)



- [ハイレゾモード]では、以下の設定で撮影されます。
 - シャッター方式:[電子シャッター]に固定
 - 最小絞り値:F16
 - シャッタースピード:1秒～1/8000秒
 - ISO感度:最大3200
- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、[AFS]に切り換わります。
- 極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- オートレビュー時は、合成後の画像が表示されます。
- カメラで再生する場合は、画像の端は拡大表示できません。
- 本機以外では、[ハイレゾモード]で撮影した画像を再生できない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、[ハイレゾモード]は使用できません。
 - インターバル撮影
 - [フィルター設定]
 - コマ撮りアニメ
 - [多重露出]
- スーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時は、[ハイレゾモード]撮影できません。



- Fnボタンに機能を登録できます:
 [設定] ➡ [Fnボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [ハイレゾモード](→ 313)

HLGフォト

iA P A S M



HLG方式のダイナミックレンジの広い写真を撮影します。白飛びしやすいまぶしい光や黒つぶれしやすい暗部を、肉眼で見たようなこまやかで豊かな色彩で記録できます。

撮影した写真は、HLG方式に対応した機器(テレビなど)にHDMI出力することで観賞できます。また、HSP形式に対応した機器では、画像を直接再生できます。

- 「HLG(ハイブリッドログガンマ)」とは、HDRに関する国際標準規格(ITU-R BT.2100)の方式です。
- 「HSP」とは、HLG方式の動画技術を利用したHDR写真の方式です。拡張子「.HSP」で保存されます。

→ → → [HLG フォト] を選ぶ

設定項目	画像横縦比			
	4:3	3:2	16:9	1:1
Full-Res.	5312×3984	5984×4000	5888×3312	4000×4000
4K-Res.	2880×2160	3232×2160	3840×2160	2144×2144
OFF	—			

- 「画像横縦比」の[65:24]、[2:1]は選択できません。
- 「フォトスタイル」は[スタンダード(HLG)]または[モノクローム(HLG)]から選択できます。(→ 180)
- 「写真画質」(→ 82)や「画像サイズ」(→ 81)の設定に応じたJPEG画像やRAW画像が同時に記録されます。
[HLG フォト]で撮影したRAW画像は、[RAW現像](→ 307)を使うとHLG形式で保存できます。

❖ [HLG フォト]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は400になります。

- 「Dual Native ISO設定」の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
- ISO感度が変化する場合は、必要に応じて露出を設定し直してください。



- 本機のモニター／ファインダーは、HLG方式での表示に対応していません。カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[モニター]で、確認用に変換した映像を、本機のモニター／ファインダーに表示できます。(→ 268)



- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[HDMI]で、確認用に表示する映像の変換方法を設定できます。(→ 268)
- スーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時は、[Full-Res.]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[HLG フォト]は使用できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]
 - [多重露出]



- Fn ボタンに機能を登録できます：
[] ⇒ [] ⇒ [Fn ボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [HLG フォト](→ 313)

9. フラッシュ

外部フラッシュ(別売)を使う

iA P A S M



ホットシューにフラッシュライト(別売:DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L、DMW-FL70)を装着すると、フラッシュ撮影が可能になります。フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続して、市販の外部フラッシュを使用することもできます。また、ワイヤレスフラッシュ撮影に対応した外部フラッシュを本機に装着すると、離れた位置にある外部フラッシュをワイヤレスで制御することもできます。



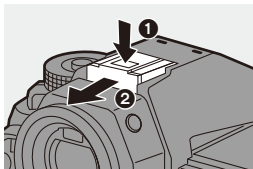
- ケラレを防止するために、レンズフードを取り外してください。
- 以下の機能使用中は、フラッシュ撮影できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - 電子シャッター、[サイレントモード]、[ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]

ホットシューカバーの取り外し

フラッシュライト(別売)を取り付ける前に、ホットシューカバーを取り外してください。

フラッシュライトの取り付け方について詳しくは、フラッシュライトの取扱説明書をお読みください。

ホットシューカバーを矢印①の方向に押しながら、矢印②の方向に引いて取り外す



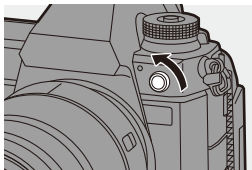
❖ フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続する

フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続して、市販の外部フラッシュを使用できます。



- シンクロ電圧が250 V以下の外部フラッシュをご使用ください。
- シンクロケーブルは3 m未満のものをご使用ください。

- 1 フラッシュシンクロ端子キャップを、矢印の方向に回して取り外す
 - フラッシュシンクロ端子キャップをなくさないようにお気をつけください。
- 2 シンクロケーブルをフラッシュシンクロ端子に接続する
 - 端子には、ケーブルの抜け落ちを防止するロックねじが付いています。
 - 接続については、シンクロケーブルの取扱説明書をお読みください。



- フラッシュシンクロ端子に極性はありません。シンクロケーブルの極性に関係なく、そのまま使用できます。
- [M]モードでは、フラッシュシンクロ端子を外部機器とのタイムコード同期に使用します。(→ 231) [M]モードに設定したときは、フラッシュシンクロ端子に外部フラッシュを接続しないでください。本機の故障の原因になります。

❖ フラッシュ撮影時のお知らせ



- フラッシュに物を近づけないでください。熱や光で変形、変色することがあります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中はフラッシュが発光せずに撮影されます。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- 市販の外部フラッシュを使用する場合、極性が逆のもの、またはカメラとの通信機能のあるものは使用しないでください。カメラを故障させる原因になる場合や、正常に動作しない場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

フラッシュの設定

iA P A S M

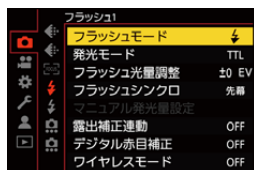


カメラからフラッシュの発光を制御するためのフラッシュ機能を設定できます。

フラッシュモード

フラッシュの発光方法を設定します。

MENU SET → [カメラ] → [フラッシュ] →
[フラッシュモード]を選ぶ



⚡ (強制発光) ⚡☉ (赤目軽減強制発光)	フラッシュが強制的に発光します。逆光下や蛍光灯などの照明下での撮影に適しています。
⚡S (スローシンクロ) ⚡S☉ (赤目軽減スローシンクロ)	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景も明るく写します。 • シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。
ⓧ (発光禁止)	フラッシュは発光しません。



- フラッシュは2回発光します。特に[⚡☉]、[⚡S☉]設定時は、発光間隔が長くなります。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。
- 以下を設定しているときは、[⚡☉]、[⚡S☉]は使用できません。
 - [発光モード]: [マニュアル]
 - [フラッシュシンクロ]: [後幕]
 - [ワイヤレスモード]: [ON]
- 外部フラッシュ側の設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できないことがあります。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。



• Fn ボタンに機能を登録できます:

[] → [] → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [フラッシュモード]
(→ 313)

❖ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(✓: 設定可、-: 設定不可)

撮影モード					
P / A	✓	✓	✓	✓	✓
S / M	✓	✓	-	-	✓



• [iA] モード時は、[] または [] に設定できます。[] では、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。

❖ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
	1/60 秒*1 ~ 1/320 秒*2
	1 秒 ~ 1/250 秒

*1 [S] モード時は 60 秒、[M] モード時は B (バルブ) になります。

*2 [P] / [A] モード時は 1/250 秒までの設定になります。

• シャッタースピードを 1/320 秒に設定したときは、ガイドナンバーが低下する場合があります。

デジタル赤目補正

[フラッシュモード]を[]または[]に設定しているときに、赤目を自動で検出して画像データを補正します。



→ [] → [] → [デジタル赤目補正]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- [ON]に設定すると、フラッシュアイコンに[]が表示されます。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- [HLGフォト]使用中は、[デジタル赤目補正]は使用できません。

発光モード、マニュアル発光量設定

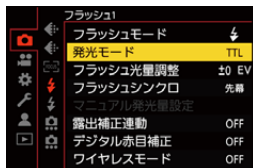
フラッシュの発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。



- 発光モード、発光量を本機で設定できるのは、フラッシュライト(別売:DMW-FL70)だけです。

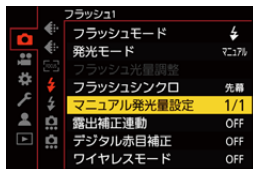
1 発光モードを設定する

- → →
[発光モード]



TTL	フラッシュの発光量をカメラが自動で設定します。
マニュアル	フラッシュの発光量を手動で設定します。 [TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンでも、意図通りの撮影ができます。 - 撮影画面のフラッシュアイコンに発光量([1/1])などが表示されます。

2 ([マニュアル]設定時) [マニュアル発光量設定]を選び、 または を押す



3 ◀▶ で発光量を設定し、 または を押す

- [1/1](フル発光)～[1/64]の範囲で、1/3段ごとに設定できます。

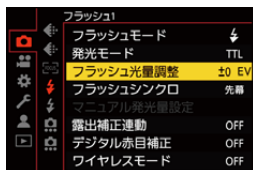


フラッシュ光量調整

TTLの発光モードでフラッシュ撮影するときに、フラッシュの発光量を調整できます。

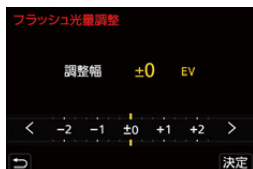
1 [フラッシュ光量調整]を選ぶ

-  →  →  →
[フラッシュ光量調整]



2 ◀▶ で発光量を調整し、 または を押す

- -3 EV～+3 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。



- 撮影画面に  が表示されます。
- ワイヤレスフラッシュ撮影時のフラッシュ光量調整については、[206ページ](#)をお読みください。
- 以下を設定しているときは、[フラッシュ光量調整]は使用できません。
 - [発光モード]: [マニュアル]
 - [ワイヤレスモード]: [ON]

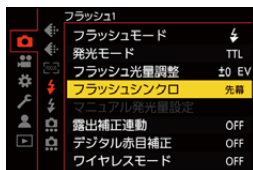


- Fnボタンに機能を登録できます:
[] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [フラッシュ光量調整]
(→ [313](#))

フラッシュシンクロ

夜間、動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に写ります。[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定すると、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させることで、光の軌跡が被写体の後方に写り、躍動感のある写真を撮影できます。

MENU/SET → [カメラ] → [閃光] →
[フラッシュシンクロ]を選ぶ



先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
後幕	被写体の後方に光源が写り、躍動感が出ます。	



- [後幕]設定時は、撮影画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- [ワイヤレスモード]を[ON]に設定しているときは、[先幕]に固定されます。
- シャッタースピードが速いときは、効果が十分に得られないことがあります。

露出補正連動

露出補正量(→ 170)に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。

MENU/SET → [カメラ] → [閃光] → [露出補正連動]を選ぶ
設定: [ON] / [OFF]

ワイヤレスフラッシュ撮影

iA P A S M



別売のフラッシュライト(DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L、DMW-FL70)を使って、ワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つの発光グループとカメラのホットシューに装着したフラッシュの発光を別々に制御できます。

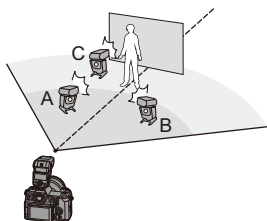
- フラッシュライト(別売:DMW-FL70)は、本機のホットシューに装着し、通信発光にだけ使用できます。

❖ ワイヤレスフラッシュの設置

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラに向けて設置してください。

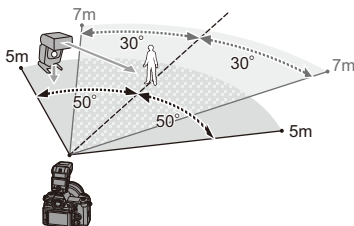
設置例

発光グループA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合



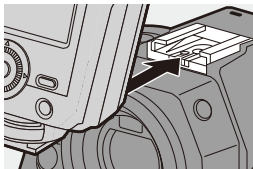
設置範囲

DMW-FL360L 装着時



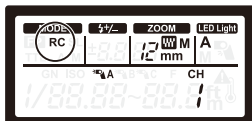
- 設置範囲はカメラを横に構えて撮影する場合の目安です。範囲は周辺的环境により異なります。
- ワイヤレスフラッシュの設置台数は、1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎると、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディフューザーなどで減光したりすると、影響を緩和できます。(→ 207)

1 カメラに外部フラッシュを取り付ける(→ 196)



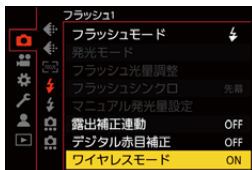
2 ワイヤレスフラッシュの設定を[RC]モードにして配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。



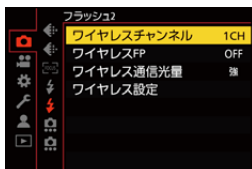
3 カメラのワイヤレスフラッシュ機能を有効にする

- MENU/SET → [カメラアイコン] → [ワイヤレスフラッシュアイコン] → [ワイヤレスモード] → [ON]



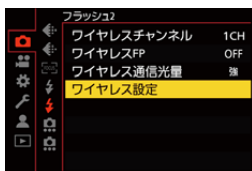
4 [ワイヤレスチャンネル]を設定する

- ワイヤレスフラッシュ側と同じチャンネルを選びます。



5 [ワイヤレス設定]を設定する

- 発光モードと発光量を設定します。



❖ 設定項目(ワイヤレス設定)

- テスト発光するには、[DISP.]ボタンを押してください。



外部 フラッシュ *1	発光モード	[TTL]: カメラが自動で発光量を設定します。 [AUTO]*2: 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 [マニュアル]: 外部フラッシュの発光量を手動で設定します。 [OFF]: 外部フラッシュは通信発光だけ行います。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を設定します。 • [1/1](フル発光)～[1/128]*3まで、1/3段ごとに設定できます。
Aグループ／ Bグループ／ Cグループ	発光モード	[TTL]: カメラが自動で発光量を設定します。 [AUTO]*1: ワイヤレスフラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 [マニュアル]: ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で設定します。 [OFF]: 設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を設定します。 • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

*1 [ワイヤレスFP]を設定したときは選択できません。

*2 フラッシュライト(別売: DMW-FL200L、DMW-FL70)使用時は設定できません。

*3 フラッシュライト(別売: DMW-FL70)使用時は[1/64]までの設定になります。



- Fnボタンに機能を登録できます：

[] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [ワイヤレスフラッシュ設定]
(→ 313)

❖ ワイヤレスFP

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光(フラッシュが高速で発光を繰り返すこと)し、速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。



→ [] → [] → [ワイヤレスFP]を選ぶ

設定：[ON]／[OFF]

❖ ワイヤレス通信光量

通信発光の強さを設定します。



→ [] → [] → [ワイヤレス通信光量]を選ぶ

設定：[強]／[中]／[弱]

10. 動画撮影

動画を撮る

iA P A S M 

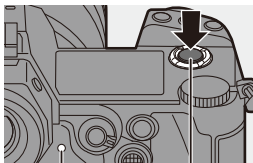


本機は、最大6K(5952×3968)解像度の動画撮影が可能です。また、システム周波数の切り換えや、AVCHD／MP4／MOVの3種類の記録ファイル方式に対応しています。

動画撮影専用の[M]モード(クリエイティブ動画モード)では、すべての動画機能が使用できます。

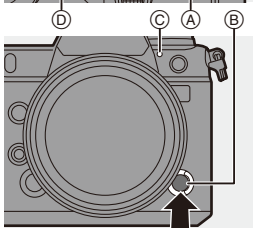
1 撮影を開始する

- 動画記録ボタン(A)を押します。
- サブ動画記録ボタン(B)でも同じ操作ができます。
- 動画記録ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、フロントタリーランプ(C)およびリアタリーランプ(D)が点灯します。



2 撮影を終了する

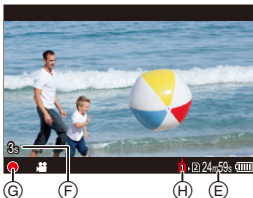
- もう一度、動画記録ボタン(A)を押します。
- サブ動画記録ボタン(B)でも同じ操作ができます。



❖ 動画撮影中の画面表示

ライブビューの画角が動画撮影用に変わり、動画記録時間(E)と記録経過時間(F)が表示されます。(h:時間、m:分、s:秒)

- 動画の記録中は、記録動作表示(G)とカードアクセス表示(H)が赤く点灯します。





- AFで動画撮影中にピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。

❖ 動画撮影中の露出制御

絞り値、シャッタースピード、ISO感度、Dual Native ISO設定は、以下の設定で動画撮影されます。

撮影モード	絞り値、シャッタースピード、ISO感度、Dual Native ISO設定
iA	シーンに合わせてカメラが自動で設定します。(→ 76)
P / A / S / M	カスタムメニュー(画質)の[P/A/S/M動画の露出自動制御]によって切り換わります。初期設定は[ON]に設定されています。(→ 363) [ON]: カメラが自動で設定した値で撮影します。 [OFF]: 手動で設定した値で撮影します。
M	手動で設定した値で撮影します。

❖ ファイル分割

記録ファイル方式	動画画質	ファイル分割
AVCHD	すべて	ファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。再生するときは、ファイルを連続して再生できます。
MP4	FHD	連続記録時間が30分、またはファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。
	4K	SDHCメモリーカード使用時: 連続記録時間が30分、またはファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。
MOV	すべて	SDXCメモリーカード使用時: 連続記録時間が3時間4分、またはファイルサイズが96 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。



- 動画撮影中にバッテリーやカードの残量が少なくなると、タリーランプが長い間隔で点滅します。バッテリーやカードの残量がなくなると、動画撮影を停止し、タリーランプが短い間隔で点滅します。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- レンズの動作音(AFや手ブレ補正)が動画に記録される場合があります。
- 撮影終了時の動画記録ボタンやサブ動画記録ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
 - 3秒ほど長めに撮影し、再生メニュー(画像の編集)の[動画分割]で動画の終わりの部分を分割する
 - シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使って撮影する
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく表示されることがありますが、異常ではありません。
- 対応機器で再生しても、画質や音質が悪くなる、撮影情報が正しく表示されない、再生できないといった現象が起こることがあります。このような場合は本機で再生してください。
- 以下の条件でカメラの温度が上昇すると、[△]が表示され撮影が停止する場合があります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
 - 動画を連続で撮影中
 - 周囲の温度が高い
- 以下の機能を使用中は、動画撮影はできません。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [フィルター設定]の[ラフモノクローム]／[シルキーモノクローム]／[ソフトフォーカス]／[クロスフィルター]／[サンシャイン]
 - [HLGフォト]
 - [フォーカスセレクト]



- 撮影画面、ステータスLCDの表示やライブビューの画角を、[M]モードと同じように動画撮影に適したものに切り換えることができます：
 - [設定] → [カメラ] → [動画優先表示](→ 379)
- 点灯するタリーランプを変更できます。タリーランプが点灯しないように設定することもできます：
 - [設定] → [無線] → [タリーランプ設定](→ 380)
- 撮影画面に動画記録中であることを示す赤色の枠を表示できます：
 - [設定] → [カメラ] → [動画記録中の赤枠表示](→ 380)

クリエイティブ動画モード

iA P A S M 

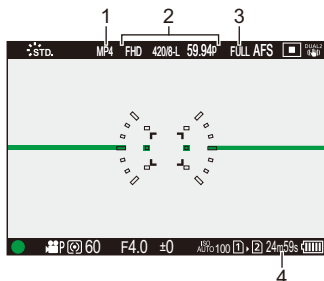


[]モード(クリエイティブ動画モード)は、すべての動画機能が使用できる、動画撮影専用の撮影モードです。[]モードでは、撮影画面とステータスLCDが動画撮影に適した表示に切り換わります。シャッターボタンで動画撮影の開始と終了ができます。露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。露出やホワイトバランスなどを、写真撮影時と分けて設定できます。

動画撮影に適した表示

❖ 撮影画面

撮影画面の以下の部分が、動画撮影に適した表示に切り換わります。



1 記録ファイル方式(→ 217)

2 動画画質(→ 218)

3 動画撮影範囲(→ 227)

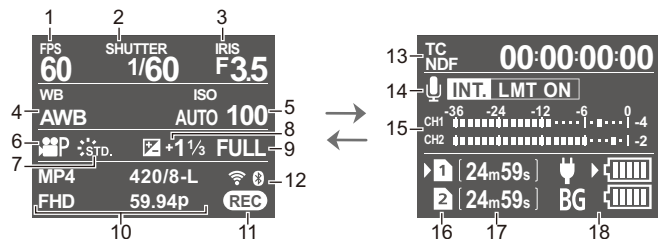
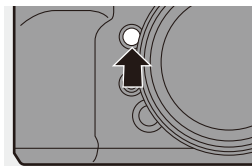
4 動画記録時間(→ 507)

- お買い上げ時の表示例です。ここに記載している以外のアイコンについては、[471](#)ページをお読みください。

❖ ステータスLCD

ステータスLCDの情報表示を2種類から切り換えます。

- [ステータスLCD切換(動画)]を登録したFnボタンで操作します。初期設定では[Fn1]ボタンに登録されています。Fnボタンについては、[313](#)ページをお読みください。



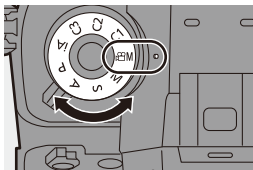
1	記録フレームレート(→ 218)／ バリエーションフレームレート(→ 253)
2	シャッタースピード(→ 60)
3	絞り値(→ 60)
4	ホワイトバランス(→ 176)
5	ISO感度(→ 173)／ Dual Native ISO 設定(→ 175)
6	動画露出設定(→ 213)
7	フォトスタイル(→ 180)／ フィルター設定(→ 185)
8	露出補正(→ 170)
9	動画撮影範囲(→ 227)

10	記録ファイル方式(→ 217)／ 動画画質(→ 218)
11	記録動作表示(→ 208)
12	Wi-Fi／Bluetooth 接続状態(→ 402)
13	タイムコード(→ 229)
14	内蔵マイク／外部マイク(→ 242 , 291) ／XLRマイクアダプター設定(→ 293)／ 録音レベルリミッター(→ 244)
15	録音レベル(→ 242)
16	カードスロット(→ 51)／ ダブルスロット機能(→ 83)
17	動画記録時間(→ 507)
18	バッテリー残量(→ 47)／給電(→ 46)

- ➡ • [iA]／[P]／[A]／[S]／[M]モードでも、[M]モードと同じように、動画撮影に適した表示に切り換えることができます：
[設定] ➡ [動画優先表示] (→ [379](#))

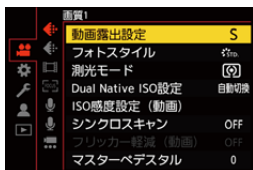
クリエイティブ動画で撮る

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



2 露出モードを設定する

-  → [] → [] → [動画露出設定] → [P]/[A]/[S]/[M]
- [P]/[A]/[S]/[M]モードと同じ露出操作ができます。



3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

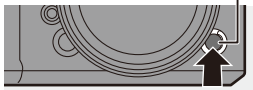
4 撮影を開始する

- シャッターボタン(A)、動画記録ボタン(B)、またはサブ動画記録ボタン(C)を押します。



5 撮影を終了する

- もう一度シャッターボタン、動画記録ボタン、またはサブ動画記録ボタンを押します。



- Fnボタンに機能を登録できます：

[] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [動画露出設定](→ 313)

❖ 動画撮影中の操作

露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー（操作）の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 368)

①  をタッチする

② アイコンをタッチする

F	絞り値
SS	シャッタースピード
	露出補正

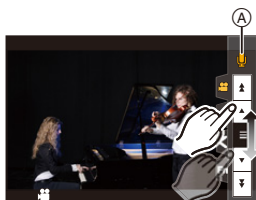
ISO / GAIN	ISO感度 / ゲイン (dB)
	録音レベル設定

③ スライダーをドラッグして設定する

[▼] / [▲]: ゆっくり設定を変える

[▼] / [▲]: 速く設定を変える

- アイコン(A)をタッチすると手順②の画面に戻ります。



クリエイティブ動画の設定値

iA P A S M



初期設定では[]モードで変更した露出やホワイトバランスなどの設定は、[P]／[A]／[S]／[M]モードでの写真撮影にも反映されます。[クリエイティブ動画の設定値]メニューで、動画撮影時と写真撮影時の設定を分けることができます。

➡ ➡ ➡ [クリエイティブ動画の設定値]を選ぶ

絞り値/SS/ISO/露出補正	[]: []モードと[P]／[A]／[S]／[M]モードの撮影設定が連動します。 • []モードと[P]／[A]／[S]／[M]モードで同じ設定を使いたいときに選びます。
ホワイトバランス	
フォトスタイル	
測光モード	[]: []モードと[P]／[A]／[S]／[M]モードの撮影設定を個別に設定します。 • []モードと[P]／[A]／[S]／[M]モードの設定を分けたいときに選びます。
AFモード	

動画の記録

動画撮影時の設定について説明します。



「4. 画像の記録」では、写真と動画のどちらにも働く機能を説明しています。併せてお読みください。

– ダブルスロット機能: →83

– ファイル番号リセット: →86

– フォルダー/ファイル設定: →84

システム周波数



本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。

初期設定では、お買い上げの地域のテレビ放送方式に合ったシステム周波数が設定されています。



⇒ [] ⇒ [] ⇒ [システム周波数] を選ぶ

59.94Hz(NTSC)	放送方式がNTSCの地域向けのシステム周波数
50.00Hz(PAL)	放送方式がPALの地域向けのシステム周波数
24.00Hz(CINEMA)	映画制作用のシステム周波数



- 設定変更後は、カメラの電源を入れ直してください。
- お住まいの地域の放送方式と異なるシステム周波数で記録すると、テレビで動画を正常に再生できない場合があります。放送方式に詳しくない方や、映画用の動画制作をしない方は、お買い上げ時の設定で使用することをお勧めします。
- 設定を変更したあとは、別のカードに入れ替え、本機でフォーマットすることをお勧めします。
 - 1枚のカードに、システム周波数の異なる[AVCHD]動画は記録できません。
 - [記録ファイル方式]が[MP4]または[MOV]のときは、[システム周波数]の設定と異なるシステム周波数で撮影した動画を本機で再生できません。

記録ファイル方式

iA P A S M 



撮影する動画の記録ファイル方式を設定します。

 ➔  ➔  ➔ [記録ファイル方式]を選ぶ

AVCHD	ハイビジョンテレビでの再生に適したデータ形式です。
MP4	パソコンでの再生に適したデータ形式です。
MOV	映像編集に適したデータ形式です。

➔ • Fnボタンに機能を登録できます：
 [] ➔ [] ➔ [Fnボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [動画記録ファイル方式](➔ 313)

動画画質



撮影する動画の画質を設定します。選択できる画質は、[システム周波数]、[記録ファイル方式]の設定によって異なります。[動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。
[動画画質]の設定には、条件に合う項目だけを表示する[絞り込み](→ 225)や、よく使う動画画質を登録する[マイリスト登録](→ 226)も利用できます。

→ → → [動画画質] を選ぶ

- ビットレートが72 Mbps以上の動画を撮影するには、対応したスピードクラスのカードが必要です。使用できるカードについて詳しくは、32ページをお読みください。

❖ 記録ファイル方式:[AVCHD]

- YUV、ビット数、映像圧縮: 4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット: Dolby Audio™ (2ch)

(A): 記録フレームレート

(B): ビットレート

(C): ビデオ圧縮方式 (AVC: H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B) (Mbps)	(C)
	FULL	S35	P/P					
FHD/28M/60p *1	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	28	AVC
FHD/17M/60i	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94i	17	AVC
FHD/24M/30p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94i*2	24	AVC
FHD/24M/24p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	24	AVC

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	(A)	(B) (Mbps)	(C)
	FULL	S35	P/P					
FHD/28M/50p *1	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	28	AVC
FHD/17M/50i	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00i	17	AVC
FHD/24M/25p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00i*3	24	AVC

*1 AVCHD Progressive *2 センサー出力: 29.97 fps *3 センサー出力: 25.00 fps

❖ 記録ファイル方式:[MP4]

- YUV、ビット数、映像圧縮
 - [10bit]の動画画質: 4:2:0、10 bit、Long GOP
 - [8bit]の動画画質: 4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット: AAC (2ch)

Ⓐ: 記録フレームレート

Ⓑ: ビットレート

Ⓒ: ビデオ圧縮方式 (HEVC: H.265/HEVC、AVC: H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数: [59.94Hz(NTSC)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	Ⓐ	Ⓑ (Mbps)	Ⓒ
	FULL	S35	P/P					
4K/10bit/100M/60p		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	100	HEVC
4K/8bit/100M/30p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	100	AVC
4K/10bit/72M/30p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	72	HEVC
4K/8bit/100M/24p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	100	AVC
4K/10bit/72M/24p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	72	HEVC
FHD/8bit/28M/60p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	28	AVC
FHD/8bit/24M/24p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	24	AVC
FHD/8bit/20M/30p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	20	AVC

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	Ⓐ	Ⓑ (Mbps)	Ⓒ
	FULL	S35	P/P					
4K/10bit/100M/50p		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	100	HEVC
4K/8bit/100M/25p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	100	AVC
4K/10bit/72M/25p	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	72	HEVC
FHD/8bit/28M/50p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	28	AVC
FHD/8bit/20M/25p	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	20	AVC

❖ 記録ファイル方式:[MOV]

- YUV、ビット数、映像圧縮
 - [422/10-I]の動画画質:4:2:2、10 bit、ALL-Intra
 - [422/10-L]の動画画質:4:2:2、10 bit、Long GOP
 - [420/10-L]の動画画質:4:2:0、10 bit、Long GOP
 - [420/8-L]の動画画質:4:2:0、8 bit、Long GOP
- 音声フォーマット:LPCM(2ch)

Ⓐ:記録フレームレート

Ⓑ:ビットレート

Ⓒ:ビデオ圧縮方式(**HEVC**:H.265/HEVC、**AVC**:H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	Ⓐ	Ⓑ (Mbps)	Ⓒ
	FULL	S35	P/P					
6K/24p/420/10-L	✓			5952×3968	3:2	23.98p	200	HEVC
5.9K/30p/420/10-L	✓			5888×3312	16:9	29.97p	200	HEVC
5.9K/24p/420/10-L	✓			5888×3312	16:9	23.98p	200	HEVC
5.4K/30p/420/10-L	✓			5376×3584	3:2	29.97p	200	HEVC
4K-A/48p/420/10-L		✓	✓	3328×2496	4:3	47.95p	200	HEVC
4K-A/30p/422/10-I		✓	✓	3328×2496	4:3	29.97p	400	AVC
4K-A/30p/422/10-L		✓	✓	3328×2496	4:3	29.97p	150	AVC
4K-A/30p/420/8-L		✓	✓	3328×2496	4:3	29.97p	100	AVC
4K-A/24p/422/10-I		✓	✓	3328×2496	4:3	23.98p	400	AVC
4K-A/24p/422/10-L		✓	✓	3328×2496	4:3	23.98p	150	AVC
4K-A/24p/420/8-L		✓	✓	3328×2496	4:3	23.98p	100	AVC
C4K/60p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	200	HEVC
C4K/60p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	59.94p	150	AVC
C4K/48p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	47.95p	200	HEVC
C4K/30p/422/10-I	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	400	AVC
C4K/30p/422/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	150	AVC
C4K/30p/420/8-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	29.97p	100	AVC
C4K/24p/422/10-I	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	150	AVC
C4K/24p/420/8-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	23.98p	100	AVC

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	Ⓐ	Ⓑ (Mbps)	Ⓒ
	FULL	S35	P/P					
4K/60p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	200	HEVC
4K/60p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	59.94p	150	AVC
4K/48p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	47.95p	200	HEVC
4K/30p/422/10-I	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	400	AVC
4K/30p/422/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	150	AVC
4K/30p/420/8-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	29.97p	100	AVC
4K/24p/422/10-I	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	400	AVC
4K/24p/422/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	150	AVC
4K/24p/420/8-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/120p/420/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	119.88p	150	HEVC
FHD/60p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	200	AVC
FHD/60p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	AVC
FHD/60p/420/8-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94p	100	AVC
FHD/60i/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94i	100	AVC
FHD/60i/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	59.94i	50	AVC
FHD/48p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	47.95p	100	HEVC
FHD/30p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	200	AVC
FHD/30p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	AVC
FHD/30p/420/8-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	29.97p	100	AVC
FHD/24p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	AVC
FHD/24p/420/8-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	23.98p	100	AVC

Ⓐ:記録フレームレート

Ⓑ:ビットレート

Ⓒ:ビデオ圧縮方式(**HEVC**:H.265/HEVC、**AVC**:H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]								
動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	Ⓐ	Ⓑ (Mbps)	Ⓒ
	FULL	S35	P/P					
5.9K/25p/420/10-L	✓			5888×3312	16:9	25.00p	200	HEVC
5.4K/25p/420/10-L	✓			5376×3584	3:2	25.00p	200	HEVC
4K-A/50p/420/10-L		✓	✓	3328×2496	4:3	50.00p	200	HEVC
4K-A/50p/420/8-L		✓	✓	3328×2496	4:3	50.00p	150	AVC
4K-A/25p/422/10-I		✓	✓	3328×2496	4:3	25.00p	400	AVC
4K-A/25p/422/10-L		✓	✓	3328×2496	4:3	25.00p	150	AVC
4K-A/25p/420/8-L		✓	✓	3328×2496	4:3	25.00p	100	AVC
C4K/50p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	200	HEVC
C4K/50p/420/8-L		✓	✓	4096×2160	17:9	50.00p	150	AVC
C4K/25p/422/10-I	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	400	AVC
C4K/25p/422/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	150	AVC
C4K/25p/420/8-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	25.00p	100	AVC
4K/50p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	200	HEVC
4K/50p/420/8-L		✓	✓	3840×2160	16:9	50.00p	150	AVC
4K/25p/422/10-I	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	400	AVC
4K/25p/422/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	150	AVC
4K/25p/420/8-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/100p/420/10-L	✓	✓		1920×1080	16:9	100.00p	150	HEVC
FHD/50p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	200	AVC
FHD/50p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	AVC
FHD/50p/420/8-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00p	100	AVC
FHD/50i/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00i	100	AVC
FHD/50i/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	50.00i	50	AVC
FHD/25p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	200	AVC
FHD/25p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	AVC
FHD/25p/420/8-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	25.00p	100	AVC

①:記録フレームレート

②:ビットレート

③:ビデオ圧縮方式(**HEVC**:H.265/HEVC、**AVC**:H.264/MPEG-4 AVC)

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]								
動画画質	動画撮影範囲			解像度	横縦比	①	② (Mbps)	③
	FULL	S35	P/P					
6K/24p/420/10-L	✓			5952×3968	3:2	24.00p	200	HEVC
5.9K/24p/420/10-L	✓			5888×3312	16:9	24.00p	200	HEVC
4K-A/48p/420/10-L		✓	✓	3328×2496	4:3	48.00p	200	HEVC
4K-A/24p/422/10-I		✓	✓	3328×2496	4:3	24.00p	400	AVC
4K-A/24p/422/10-L		✓	✓	3328×2496	4:3	24.00p	150	AVC
4K-A/24p/420/8-L		✓	✓	3328×2496	4:3	24.00p	100	AVC
C4K/48p/420/10-L		✓	✓	4096×2160	17:9	48.00p	200	HEVC
C4K/24p/422/10-I	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	400	AVC
C4K/24p/422/10-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	150	AVC
C4K/24p/420/8-L	✓	✓	✓	4096×2160	17:9	24.00p	100	AVC
4K/48p/420/10-L		✓	✓	3840×2160	16:9	48.00p	200	HEVC
4K/24p/422/10-I	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	400	AVC
4K/24p/422/10-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	150	AVC
4K/24p/420/8-L	✓	✓	✓	3840×2160	16:9	24.00p	100	AVC
FHD/48p/420/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	48.00p	100	HEVC
FHD/24p/422/10-I	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	200	AVC
FHD/24p/422/10-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	AVC
FHD/24p/420/8-L	✓	✓	✓	1920×1080	16:9	24.00p	100	AVC

• 本書では、動画の解像度に応じて以下のように表記します。

- 6K(5952×3968)の動画:**6K動画**
- 5.9K(5888×3312)の動画:**5.9K動画**
- 5.4K(5376×3584)の動画:**5.4K動画**
- 4K-A(3328×2496)の動画:**アナモフィック(4:3)動画**
- C4K(4096×2160)の動画:**C4K動画**
- 4K(3840×2160)の動画:**4K動画**
- フルハイビジョン(1920×1080)の動画:**FHD動画**



- 本機はVBR記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動で変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、動画記録時間は短くなります。
- ALL-Intraの動画や4:2:2、10 bitの動画は、映像制作用のパソコン編集を前提とした動画です。
- スーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時は、6K、5.9K、5.4Kの[動画画質]に設定できません。
- 以下の機能を使用中は、[8bit]のFHD動画だけ選択できます。
－ [フィルター設定]の[ジオラマ]



- Fnボタンに機能を登録できます：
[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [動画画質設定](→ 313)
- [システム周波数]、[記録ファイル方式]、[動画撮影範囲]、[動画画質]の設定の組み合わせをマイリストに登録できます。(→ 226)

❖ 絞り込み

[記録ファイル方式]を[MOV]に設定したときは、フレームレート、画素数(解像度)、圧縮形式(YUV、ビット数、映像圧縮)などを指定して、条件に合う動画画質だけを表示できます。

- 1 [動画画質]の設定画面で[DISP.]ボタンを押す
- 2 ▲▼で項目を選び、 または  を押す
 - ・設定: [フレームレート]/[画素数]/[圧縮形式]/[バリエーションフレームレート]/[ハイブリッドログガンマ]
- 3 ▲▼で絞り込む条件を選び、 または  を押す
- 4 [DISP.]ボタンを押して決定する
 - ・[動画画質]の設定画面に戻ります。



絞り込みの解除方法

手順③で、[すべて]を選ぶ

- ・以下の操作をした場合も、絞り込みが解除されます。
 - [システム周波数]の変更
 - [動画画質(マイリスト)]から動画画質を選択



- ・絞り込みを使って動画画質を変更すると、現在の絞り込み条件を記憶します。

❖ マイリスト登録

動画画質を選んでマイリストに登録します。登録した動画画質は[動画画質(マイリスト)]から設定できます。

[動画画質]の設定画面で[Q]ボタンを押す

- 以下の設定も同時に登録されます。
 - [システム周波数]
 - [記録ファイル方式]
 - [動画撮影範囲]



マイリストから設定する、消去する

① [動画画質(マイリスト)]を選ぶ

- ⇒ ⇒ ⇒ [動画画質(マイリスト)]

② ▲▼で項目を選び、 または を押す

- システム周波数の異なる設定項目は選択できません。
- マイリストから消去するには、項目を選んで[Q]ボタンを押してください。



- 登録できる動画画質は12種類までです。



- Fnボタンに機能を登録できます：

[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [動画画質(マイリスト)]
(→ 313)

動画撮影範囲

iA P A S M 



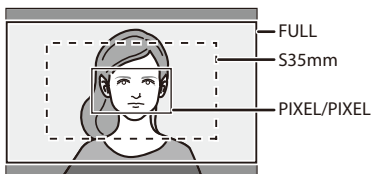
動画撮影時の撮影範囲を設定します。撮影範囲によって画角も変わります。撮影範囲を狭くすると、画質を劣化させることなく望遠効果を高めることができます。

 →  →  → [動画撮影範囲] を選ぶ

項目	設定内容	画角	望遠効果
FULL	フルサイズ用レンズのイメージサークルに応じた範囲で撮影します。	広い	なし
S35mm	スーパー35 mm用レンズのイメージサークルに応じた範囲で撮影します。	↑ ↓	↑ ↓
PIXEL/PIXEL	センサーの1ピクセルを動画の1ピクセルにして記録します。[動画画質](→ 218)の解像度に応じた範囲で撮影します。	狭い	高い

- [動画画質]の設定によって、選択できる[動画撮影範囲]の設定項目が異なります。詳しくは、218ページをお読みください。
- 以下の場合は、[FULL]に設定できません。
 - スーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時
 - [レンズ情報]の[イメージサークル]を[S35mm]に設定時
- [ライブクロップ]設定時は、[FULL]に固定されます。ただし、以下の場合は[S35mm]に固定されます。
 - 59.94pまたは50.00pの[動画画質]に設定時

撮影範囲(例:FHD動画)



- [M]モード以外の撮影モードで撮影範囲を確認するには、カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[動画優先表示]を[ON]に設定してください。(→ [379](#))

タイムコード

iA P A S M



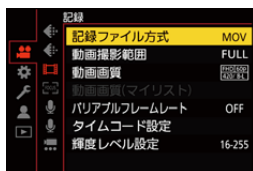
[記録ファイル方式]を[AVCHD]または[MOV]に設定したときは、動画撮影時にタイムコードが自動で記録されます。[MP4]では、タイムコードは記録されません。

タイムコードを設定する

タイムコードの記録や表示、出力を設定します。

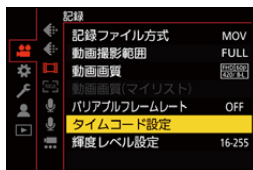
1 [記録ファイル方式]を[AVCHD]または[MOV]に設定する

- → → →
[記録ファイル方式] →
[AVCHD] / [MOV]



2 [タイムコード設定]を選ぶ

- → → →
[タイムコード設定]



タイムコード表示	撮影画面／再生画面にタイムコードを表示します。	
カウントアップ方式	レックラン	動画記録中だけタイムコードをカウントします。
	フリーラン	動画記録停止中や電源OFF中もタイムコードをカウントします。
	● 以下の機能を使用中は、[カウントアップ方式]は[レックラン]に固定されます。 － [バリアブルフレームレート]	

タイムコード 値設定	リセット	00:00:00:00(時:分:秒:フレーム)に設定します。
	手動入力	時:分:秒:フレームを手動で入力します。
	現時刻	時:分:秒を現在の時刻に設定し、フレームを00に設定します。
タイムコード モード	DF	ドロップフレーム。記録時間とタイムコードの誤差を補正して記録します。 • 秒とフレームの間が"."で表示されます。 例)00:00:00.00
	NDF	ノンドロップフレーム。ドロップフレームせずにタイムコードを記録します。 • 秒とフレームの間が":"で表示されます。 例)00:00:00:00
	- 以下の機能を使用中は、[タイムコードモード]は[NDF]に固定されます。 - [システム周波数]の[50.00Hz(PAL)]、[24.00Hz(CINEMA)] - 47.95pまたは23.98pの[動画画質]	
HDMIタイム コード出力	[M]モードで撮影中に、HDMI出力する映像にタイムコードの情報を付け加えて出力します。 - 再生中も、モードダイヤルを[M]に合わせるとタイムコードをHDMI出力できます。セットアップメニュー(IN/OUT)の[テレビ接続設定]の[HDMI出力解像度(再生時)]を[AUTO]に設定してください。(→ 389) - 接続する機器によっては機器の画面が黒くなる場合があります。	
外部タイム コード設定	タイムコードの入力、出力に対応した外部機器とタイムコードの初期値を同期します。(→ 231)	
	タイムコード同期	タイムコード信号の入力(→ 233)、出力(→ 232)を選びます。
	タイムコード出力基準	タイムコード信号を出力するタイミングを設定します。(→ 232)

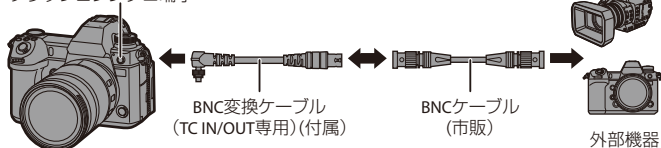
外部機器とタイムコードを同期する

iA P A S M



タイムコード信号の入力、出力に対応した外部機器とタイムコードの初期値を同期します。

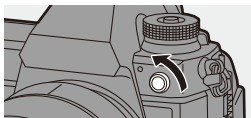
フラッシュシンクロ端子



❖ タイムコード同期の準備

[M]モードで[カウントアップ方式]を[フリーラン]にしたときに、外部機器とタイムコードの初期値を同期できます。

- 1 モードダイヤルを[M]に合わせる
- 2 [カウントアップ方式]を[フリーラン]に設定する
 - → [] → [] → [タイムコード設定] → [カウントアップ方式] → [フリーラン]
- 3 フラッシュシンクロ端子キャップを、矢印の方向に回して取り外す
 - フラッシュシンクロ端子キャップをなくさないようにお気をつけください。
- 4 BNC変換ケーブル(TC IN/OUT 専用)を差し込み、矢印の方向にロックねじを回して取り付ける
- 5 BNC変換ケーブル(TC IN/OUT 専用)と外部機器をBNCケーブルで接続する



- 付属のBNC変換ケーブル(TC IN/OUT 専用)以外は使用しないでください。
- BNCケーブルは2.8 m未満のものを使用してください。
- BNCケーブルは、5C-FB 相当の二重シールドのものをお勧めします。

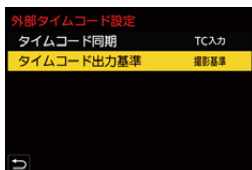
本機のタイムコードに外部機器を同期させる(TC OUT)

本機のタイムコード信号(LTC信号)に合わせて、外部機器のタイムコードの初期値を同期させます。

1 タイムコード同期の準備をする (→ 231)

2 [タイムコード出力基準]を選ぶ

- **MENU/SET** → [人] → [] →
[タイムコード設定] →
[外部タイムコード設定] →
[タイムコード出力基準]



撮影基準	撮影する映像に合わせて、タイムコード信号を出力します。
HDMI基準	外部機器(外部レコーダーなど)とHDMI接続しているときに、HDMIの映像に合わせてタイムコード信号を少し遅らせて出力します。

3 [タイムコード同期]を[TC出力]に設定する

- **MENU/SET** → [人] → [] → [タイムコード設定] →
[外部タイムコード設定] → [タイムコード同期] → [TC出力]
- [動画画質]の記録フレームレートと[タイムコードモード](DF/NDF)の設定に合わせて、タイムコード信号を出力します。

4 外部機器でタイムコードを同期させる

❖ タイムコード信号の再出力

以下のように設定しておくで、BNCケーブルで外部機器と接続するだけでタイムコード信号(LTC信号)を出力できます。

- [M]モード
- [タイムコード設定]の[カウントアップ方式]:[フリーラン]
- [タイムコード設定]の[外部タイムコード設定]の[タイムコード同期]:[TC出力]

外部機器のタイムコードに本機を同期させる(TC IN)

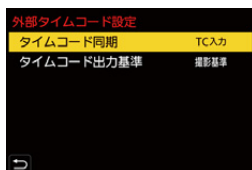
外部機器のタイムコード信号(LTC 信号)に合わせて、本機のタイムコードの初期値を同期させます。

- 事前に[システム周波数](→ 216)、[動画画質](→ 218)、[タイムコードモード](→ 230)を外部機器に合わせてください。

1 タイムコード同期の準備をする (→ 231)

2 [タイムコード同期]を [TC入力]に設定する

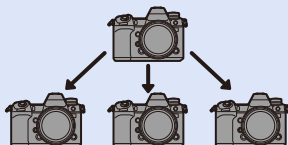
-  →  →  →
[タイムコード設定] →
[外部タイムコード設定] →
[タイムコード同期] →
[TC入力]



3 外部機器でタイムコード信号を出力する

- 外部機器のタイムコードのカウント方法をフリーランに設定し、出力します。
- 外部機器のタイムコードに同期すると、本機がスレーブ状態になり、画面に表示されるタイムコードの[TC]が[**TC**]に切り換わります。

-  複数の本機を同期させると、タイムコードと露光タイミングを同期し、カメラ間の露光開始タイミングを合わせることができます。
- 露光タイミングが同期できるのは、[タイムコード同期]を[TC入力]にしたあとの初回だけです。



❖ スレープ状態の維持／解除／復帰

BNC ケーブルを取り外しても、本機のスレープ状態は維持されます。

- 以下の操作をすると、スレープ状態が解除されます。
 - 電源スイッチの操作
 - 撮影モードの切り換え
 - [システム周波数]の変更
 - [バリアブルフレームレート]の設定
 - 記録フレームレートが47.95p／23.98pの[動画画質]とそれ以外の[動画画質]の間で変更
 - [タイムコード設定]の以下の設定項目を変更
[カウントアップ方式]、[タイムコード値設定]、[タイムコードモード]、
[タイムコード同期]
- スレープ状態に復帰するには、以下のように設定した状態で、BNCケーブルで外部機器と接続し直してください。
接続するだけでタイムコード信号(LTC信号)の入力ができます。
 - [⌚]モード
 - [タイムコード設定]の[カウントアップ方式]:[フリーラン]
 - [タイムコード設定]の[外部タイムコード設定]の[タイムコード同期]:[TC入力]



- 本機と外部機器のシステム周波数が異なる場合でも、タイムコードの初期値が同期することがあります。カウントアップすることにタイムコードがずれるため、お気をつけください。

AFを使う(動画)

動画撮影時のAFについて説明します。

- ➡ • 「5. フォーカス／ズーム」では、写真と動画のどちらにも働く機能を説明しています。併せてお読みください。
- フォーカスモードの選択: ➡ 87
 - AFモードの選択: ➡ 93
 - AFエリアの移動操作: ➡ 105
 - MFで撮る: ➡ 110
 - ズームを使って撮る: ➡ 114

AF連続動作

iA P A S M



動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。

➡ ➡ ➡ [AF連続動作] を選ぶ

MODE1	撮影中だけ自動でピントを合わせ続けます。
MODE2	撮影待機中と撮影中にピントを合わせ続けます。 • [P]／[A]／[S]／[M]モードで撮影待機中にピントを合わせ続けるには、カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[動画優先表示]を[ON]に設定してください。
OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。

- [iA]モードでは、[AF連続動作]の設定にかかわらず、撮影待機中に自動でピントを合わせます。
- 撮影環境や使用しているレンズによっては、動画撮影中にAFの動作音が記録されることがあります。動作音が気になる場合は、[AF連続動作]を[OFF]に設定して撮影してください。
 - 動画撮影中にズーム操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
 - 以下の機能を使用中は、[MODE1]は[MODE2]に切り換わります。
 - HDMI出力
 - 以下の場合、撮影待機中に[MODE2]は働きません。
 - プレビューモード時
 - 低照度時

AFカスタム設定(動画)

iA P A S M



[AF連続動作]を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。

➡ ➡ ➡ [AFカスタム設定(動画)]を選ぶ

ON	下記の設定を有効にします。	
OFF	下記の設定を無効にします。	
設定	AF駆動速度	[+]側: 速いスピードでピントを合わせます。 [-]側: 緩やかなスピードでピントを合わせます。
	AF追従感度	[+]側: 被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 [-]側: 被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。

➡ • Fnボタンに機能を登録できます:
 [設定] ➡ [Fnボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [AFカスタム設定(動画)]
 (➡ 313)

動画の明るさ、色合い

動画撮影時の明るさ、色合いの設定について説明します。

- ➡ • 「7. 測光／露出／ISO感度」、「8. ホワイトバランス／画質」では、写真と動画のどちらにも働く機能を説明しています。併せてお読みください。
- 測光モード: ➡159
 - 露出補正: ➡170
 - ピントや露出の固定(AF／AEロック): ➡172
 - ISO感度: ➡173
 - ホワイトバランス(WB): ➡176
 - フォトスタイル: ➡180
 - フィルター設定: ➡185

輝度レベル設定

iA P A S M



動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

➡ ➡ ➡ [輝度レベル設定] を選ぶ
設定: [0-255]／[16-235]／[16-255]

- 10 bit の[動画画質]に設定しているときは、設定項目が[0-1023]、[64-940]、[64-1023]に切り換わります。
- [記録ファイル方式]を[AVCHD]に設定しているときは、[0-255]に設定できません。
 - [フォトスタイル]を[V-Log]に設定しているときは、[0-255]([0-1023])に固定されます。
 - [フォトスタイル]を[2100ライク(HLG)]に設定しているときは、[64-940]に固定されます。

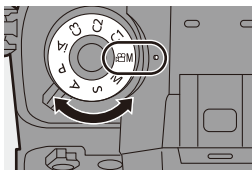
マスターペDESTAL

iA P A S M



映像の基準となる黒を調整します。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

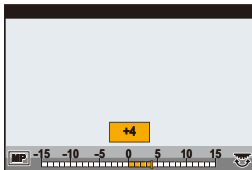


2 [マスターペDESTAL]を選ぶ

- MENU/SET → [人] → [⬅] →
[マスターペDESTAL]

3 マスターペDESTALを調整する

- [太陽]、[雨] または [歯] を回します。
- -15～+15の範囲で設定できます。



- 以下の機能を使用中は、[マスターペDESTAL]は使用できません。
- [フォトスタイル]の[V-Log]

白飛びを抑えて撮影する(二)

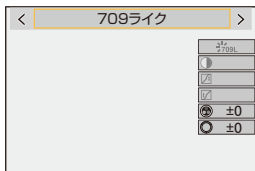
iA P A S M



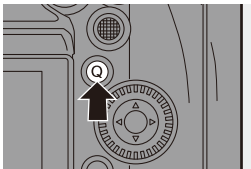
[フォトスタイル]を[709ライク]に設定すると、ニーを調整して白飛びを抑えた撮影ができます。

1 [フォトスタイル]を[709ライク]に設定する

- ⇒ ⇒ ⇒
[フォトスタイル] ⇒ [709ライク]

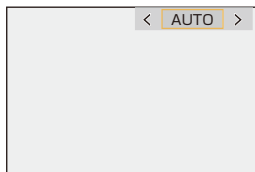


2 [Q]ボタンを押す



3 ニー設定を選ぶ

- ◀▶ で設定項目を選びます。



AUTO	自動で高輝度部分の圧縮レベルを調整します。
MANUAL	手動でニーマスターポイントとニーマスタースロープを調整します。 ▲▼で項目を選び、◀▶で調整する [POINT]: ニーマスターポイント [SLOPE]: ニーマスタースロープ ●  を回すとニーマスターポイントを、 を回すとニーマスタースロープを調整できます。 ● 以下の範囲で設定できます。 - ニーマスターポイント: 80.0 ~ 107.0 - ニーマスタースロープ: 0 ~ 99
OFF	—

4 決定する

-  または  を押します。

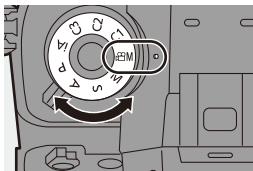
ISO感度設定(動画)

iA P A S M



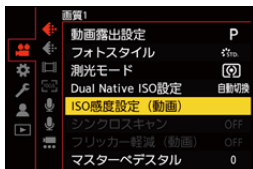
ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



2 [ISO感度設定(動画)]を設定する

- → → →
[ISO感度設定(動画)]



❖ 設定項目(ISO感度設定(動画))

ISOオート下限設定	ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限を設定します。 • 100～25600の範囲で設定できます。
ISOオート上限設定	ISO感度[AUTO]時のISO感度の上限を設定します。 • AUTO、200～51200の範囲で設定できます。

音声の設定

iA P A S M



録音レベル表示

録音レベルを撮影画面に表示します。

→ → → [録音レベル表示]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

• [録音レベルリミッター]が[OFF]のとき、[録音レベル表示]は[ON]に固定されます。

• Fn ボタンに機能を登録できます:
[] → [] → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [録音レベル表示] (→ 313)

音声入力ミュート

音声入力をミュートにします。

→ → → [音声入力ミュート]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

• 撮影画面にが表示されます。

• Fn ボタンに機能を登録できます:
[] → [] → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [音声入力ミュート]
(→ 313)

録音ゲイン切換

音声入力のゲインを切り換えます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [録音ゲイン切換]を選ぶ

標準	標準の入力ゲイン設定です。(0 dB)
低	音量が大きい環境で、音声入力を抑えて記録します。(−12 dB)



- ・[マイク端子]を[LIN]にして、外部音声機器を接続しているときは、[録音ゲイン切換]は使用できません。

録音レベル設定

録音レベルを手動で調整します。

① [録音レベル設定]を選ぶ

- ・  ⇒  ⇒  ⇒ [録音レベル設定]

② ◀▶ で録音レベルを調整し、 または を押す

- ・ MUTE、−18 dB〜+12 dBの範囲で1 dBごとに調整できます。
- ・ 表示されるdB値は目安です。



- ・ [MUTE]に設定すると、撮影画面にが表示されます。



- ・ Fnボタンに機能を登録できます：

[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [録音レベル設定] (→ 313)

録音レベルリミッター

録音レベルを自動で調整し、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [録音レベルリミッター]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



• Fn ボタンに機能を登録できます:

[] ⇒ [] ⇒ [Fn ボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [録音レベルリミッター]
(⇒ 313)

風音キャンセラー

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

 ⇒  ⇒  ⇒ [風音キャンセラー]を選ぶ

強	強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減します。
標準	音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減します。
OFF	—



• 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。



• [風音キャンセラー]は、内蔵マイクにだけ働きます。外部マイク接続時は[風音低減]が表示されます。(⇒ 292)

主なアシスト機能

撮影時に便利な主なアシスト機能について説明します。

- ➡ • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))には、センターマーカなどの表示アシスト機能があります。詳しくは、[378](#)ページをお読みください。

SS/ゲイン操作



シャッタースピードやゲイン(感度)の設定値の単位を切り換えます。

➡ ➡ ➡ [SS/ゲイン操作] を選ぶ

秒/ISO	シャッタースピードを秒、ゲインをISOの単位で設定します。
角度/ISO	シャッタースピードを角度、ゲインをISOの単位で設定します。 • 11°～358°の範囲で角度を設定できます。([シンクロスキャン]を[OFF]に設定時)
秒/dB	シャッタースピードを秒、ゲインをdBの単位で設定します。 • 0 dBは以下のISO感度に相当します。 – [Dual Native ゲイン設定]を[自動切換]、[低感度]に設定時:100 – [Dual Native ゲイン設定]を[高感度]に設定時:640

- [SS/ゲイン操作]を[秒/dB]に設定したときは、以下のようにメニュー名が切り換わります。
- [Dual Native ISO設定]➡[Dual Native ゲイン設定]
 - [ISO感度設定(動画)]➡[ゲイン設定]
 - [ISOオート下限設定]➡[オートゲイン下限設定]
 - [ISOオート上限設定]➡[オートゲイン上限設定]
 - [拡張ISO感度]➡[拡張ゲイン設定]
 - [ISO感度画面の操作]➡[ゲイン設定画面の操作]

❖ ゲイン(感度)の設定範囲

[SS/ゲイン操作]を[秒/dB]に設定時、ゲイン(感度)は以下の範囲で設定できます。

Dual Native ゲイン設定	拡張ゲイン設定	ゲイン(感度)の設定範囲
自動切換	OFF	AUTO、0dB ~ 54dB
	ON	AUTO、-6dB ~ 66dB
低感度	OFF	AUTO、0dB ~ 18dB
	ON	AUTO、-6dB ~ 18dB
高感度	OFF	AUTO、0dB ~ 38dB
	ON	AUTO、-6dB ~ 50dB

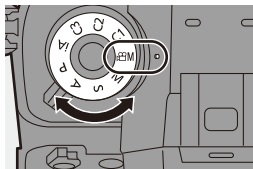
WFM/ ベクトルスコープ表示

iA P A S M 



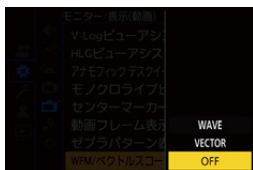
撮影画面にウェーブフォーム、ベクトルスコープを表示します。ウェーブフォームは、表示サイズを変更できます。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



2 [WFM/ ベクトルスコープ表示]を設定する

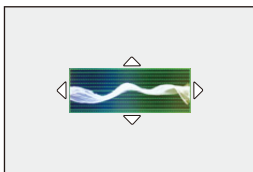
-  →  →  →
[WFM/ ベクトルスコープ表示]



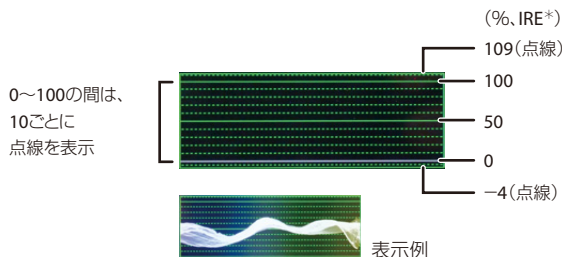
WAVE	ウェーブフォームを表示します。
VECTOR	ベクトルスコープを表示します。
OFF	—

3 表示する位置を選ぶ

-     で選択し、 または  を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- タッチ操作でも移動できます。
-  を回すと、ウェーブフォームの大きさを変更できます。
- 位置を中央に戻すには[DISP.]ボタンを押してください。ウェーブフォームの場合は、もう一度[DISP.]ボタンを押すと大きさを初期設定に戻すことができます。



❖ 画面の表示 ウェーブフォーム



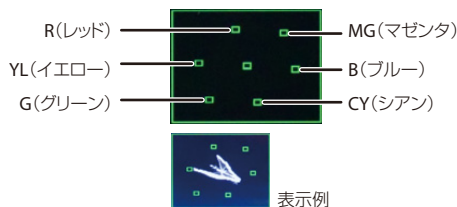
* IRE: Institute of Radio Engineers

- 本機のウェーブフォームでは、輝度値を以下として表示します。

0% (IRE) = 輝度値 16 (8 bit)

100% (IRE) = 輝度値 235 (8 bit)

ベクトルスコープ



- 撮影画面上でドラッグしても位置を移動できません。
- ウェーブフォームとベクトルスコープは、HDMI 出力されません。
- [WFM/ ベクトルスコープ表示]を設定しているときは、[ヒストグラム表示]は働きません。



- Fn ボタンに機能を登録できます：

[] ➡ [] ➡ [Fn ボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [WFM/ ベクトルスコープ表示](➡ 313)

スポット輝度メーター

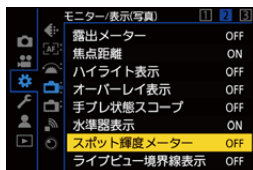
iA P A S M



被写体の任意の位置を指定し、狭い範囲の輝度を測定します。

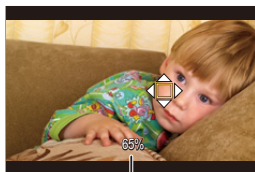
1 [スポット輝度メーター]を設定する

- → [設定] → [カメラ] →
[スポット輝度メーター] → [ON]



2 輝度を測る位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で選択し、 または を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 撮影画面上で枠をドラッグしても位置を移動できます。
- 位置を中央に戻すには [DISP.] ボタンを押してください。



輝度値

❖ 測定範囲

−7%～109%(IRE)の範囲を測定できます。

- [フォトスタイル]を[V-Log]に設定しているときは、Stopの単位で測定します。
(0 Stop=42%(IRE)で換算します)



- Fnボタンに機能を登録できます：

[設定] → [撮影] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [スポット輝度メーター]
(→ 313)

ゼブラパターン表示

iA P A S M



基準値より明るい部分をしま模様で表示します。

また、基準と幅を設定して、指定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示することもできます。



ゼブラ1



ゼブラ2



ゼブラ1+2

MENU SET → [設定] → [カメラ] → [ゼブラパターン表示] を選ぶ

ゼブラ1	基準値より明るい部分をゼブラ1のしま模様で表示します。		
ゼブラ2	基準値より明るい部分をゼブラ2のしま模様で表示します。		
ゼブラ1+2	[ゼブラ1]、[ゼブラ2]の両方を表示します。		
OFF	—		
設定	ゼブラ1	50%～105%／基準／幅	基準の明るさを設定します。
	ゼブラ2	50%～105%／基準／幅	

❖ [設定]で[基準/幅]を選択したとき

[基準]で設定した明るさを中心に、[幅]で設定した範囲の明るさの部分をしま模様で表示します。

- [基準]は0%～109%(IRE)の範囲で設定できます。
- [幅]は±1%～±10%(IRE)の範囲で設定できます。
- [フォトスタイル]を[V-Log]に設定しているときは、Stopの単位で設定します。
(0 Stop=42%(IRE)で換算します)



- [基準/幅]設定時は、[ゼブラ1+2]は選択できません。



- Fnボタンに機能を登録できます：

[設定] → [Fn] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [ゼブラパターン表示] (→ 313)

動画フレーム表示設定

iA P A S M 

設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。
後工程でトリミング(クロップ)するときの画角をイメージしながら撮影
できます。

 ➡  ➡  ➡ [動画フレーム表示設定] を選ぶ

ON		撮影画面に枠を表示します。
OFF		—
設定	フレーム横縦比	枠の横縦比を設定します。 [2.39:1] / [2.35:1] / [2.00:1] / [1.85:1] / [16:9] / [4:3] / [1:1] / [4:5]
	フレーム色	枠の色を設定します。
	フレームマスク	枠の外側の不透明度を設定します。 [100%] / [75%] / [50%] / [25%] / [OFF]



• Fn ボタンに機能を登録できます：

[] ➡ [] ➡ [Fn ボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [動画フレーム表示設定]
(➡ 313)

カラーバー／テストトーン

iA P A S M



撮影画面にカラーバーを表示します。カラーバー表示中は、テストトーンが出力されます。



SMPTE



EBU



ARIB

⇒ [設定] ⇒ [カメラ] ⇒ [カラーバー] を選ぶ

設定: [SMPTE] / [EBU] / [ARIB]

• 表示を終了するには、 を押してください。

❖ テストトーンの調整

テストトーンのレベルは、4段階(−12 dB、−18 dB、−20 dB、MUTE)から選択できます。

、 または を回してテストトーンのレベルを選択する



- カラーバーの表示中に動画の記録を開始すると、カラーバーとテストトーンが動画に記録されます。
- 本機のモニター／ファインダーに表示される明るさや色合いは、外部モニターと異なる場合があります。



- Fn ボタンに機能を登録できます:

[設定] ⇒ ⇒ [Fn ボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [カラーバー] (→ 313)

11. 特殊な動画撮影

バリエブルフレームレート

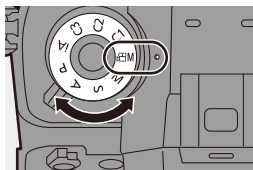
iA P A S M 



記録フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、滑らかなスローモーション動画、クイックモーション動画を撮影します。

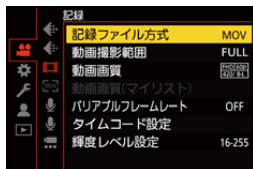
スローモーション動画 (オーバー crank 撮影)	フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより多く設定してください。 例) 24.00pの[動画画質]に設定しているときに48 fpsで撮影すると、1/2 倍速になります。
クイックモーション動画 (アンダー crank 撮影)	フレーム数を[動画画質]の記録フレームレートより少なく設定してください。 例) 24.00pの[動画画質]に設定しているときに12 fpsで撮影すると、2 倍速になります。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



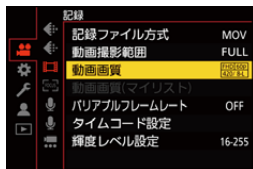
2 [記録ファイル方式]を[AVCHD] または[MOV]に設定する

-  → [] → [] →
[記録ファイル方式] →
[AVCHD] / [MOV]



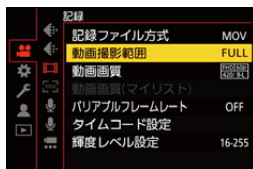
3 [バリアブルフレームレート]を使用できる動画画質を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [動画画質]
- [バリアブルフレームレート]を使用できる項目には、[VFR可能]と表示されます。
- [バリアブルフレームレート]を使用できる動画画質: → 276



4 [バリアブルフレームレート]を使用できる[動画撮影範囲]を選ぶ

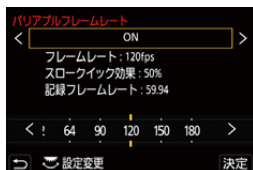
-  ⇒  ⇒  ⇒ [動画撮影範囲]
- 以下の[動画画質]と[動画撮影範囲]の組み合わせでは、[バリアブルフレームレート]を使用できません。必要に応じて[動画撮影範囲]を変更してください。



動画画質	動画撮影範囲
4K動画、C4K動画	FULL
FHD/60p/420/8-L FHD/50p/420/8-L	PIXEL/PIXEL

5 [バリアブルフレームレート]を設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [バリアブルフレームレート] ⇒ [ON]
- ◀▶ で [ON]/[OFF] を切り換えます。



6 フレームレートを設定する

- 、 または  を回して数値を選び、 または  を押します。
- 150 fps を超えるフレームレートに設定すると、画角が狭くなります。

❖ フレームレートの設定可能範囲

[記録ファイル方式]と[動画画質]の設定によって、設定できるフレームレートが異なります。

記録ファイル方式	動画画質	フレームレート
AVCHD	FHD 動画	2 fps～60 fps
MOV	アナモフィック(4:3)動画	2 fps～50 fps ^{*1}
	C4K動画／4K動画	2 fps～60 fps
	FHD 動画	2 fps～180 fps ^{*2}

*1 23.98pまたは24.00pの[動画画質]に設定したときは、48 fpsを超えるフレームレートは設定できません。

*2 [動画撮影範囲]を[PIXEL/PIXEL]に設定したときは、60 fpsを超えるフレームレートは設定できません。



- [記録ファイル方式]を[MOV]に設定したときは、[バリエابلフレームレート]を使用できる動画画質に絞り込むことができます。(→ 225)
- [バリエابلフレームレート]で撮影するときは、三脚の使用をお勧めします。



- フォーカスモードはMFに切り換わります。
- バリエابلフレームレート撮影中は、音声は記録されません。
- 60 fpsを超えるフレームレートに設定すると、画質が劣化する場合があります。
- 以下の機能を使用中は、[バリエابلフレームレート]は使用できません。
 - [フィルター設定]
 - [ライブクロップ]



- Fnボタンに機能を登録できます：
 [設定] → [撮影] → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [バリエابلフレームレート](→ 313)

ハイフレームレート動画

iA P A S M



高フレームレートのMOV動画をカードに記録できます。対応したソフトウェアでフレームレートを変換することで、スローモーション動画に仕上げるができます。[バリアブルフレームレート]ではできない、AF撮影や音声記録が可能です。

❖ ハイフレームレート動画用の動画画質

記録方式	システム周波数	動画画質	記録フレームレート
MOV	59.94Hz(NTSC)	[4K-A/48p/420/10-L] [C4K/48p/420/10-L] [4K/48p/420/10-L] [FHD/48p/420/10-L]	47.95p
		[FHD/120p/420/10-L]	119.88p
	50.00Hz(PAL)	[FHD/100p/420/10-L]	100.00p
	24.00Hz(CINEMA)	[4K-A/48p/420/10-L] [C4K/48p/420/10-L] [4K/48p/420/10-L] [FHD/48p/420/10-L]	48.00p



- [動画画質]をフレームレートで絞り込むと、条件に合ったフレームレートの動画画質だけを表示できます。詳しくは、[225](#)ページをお読みください。

絞り込み条件	
フレームレート	すべて
画素数	119.88p
圧縮形式	59.94p
バリアブルフレームレート	59.94i
ハイブリッドログガンマ	47.95p
絞り込み結果: 42	29.97p
	23.98p



- HDMI出力時は、フレームレートを59.94p、23.98p、50.00pまたは24.00pにダウンコンバートして出力します。詳しくは、[286](#)ページをお読みください。

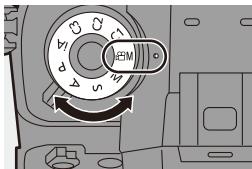
フォーカストランジション

iA P A S M



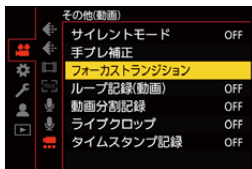
フォーカス位置を、現在の位置から事前に登録した位置に滑らかに移動します。

1 モードダイヤルを[MF]に合わせる



2 [フォーカストランジション]を選ぶ

- → → →
[フォーカストランジション]

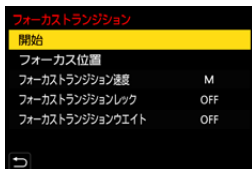


3 撮影の設定をする

開始	撮影を開始します。
フォーカス位置	フォーカス位置を登録します。 • [1]、[2]または[3]を選択すると、フォーカス位置の設定画面が表示されます。MF(→ 110)と同じ操作でピントを確認し、 または を押してフォーカス位置を登録してください。
フォーカストランジション速度	フォーカス位置を移動する速さを設定します。 • 移動速度:[SH] (速い)～[SL] (遅い)
フォーカストランジションレック	撮影開始と同時にフォーカストランジションを開始します。 • [フォーカス位置]で登録した位置を選んでください。
フォーカストランジションウェイト	フォーカストランジションを開始するまでの時間を設定します。

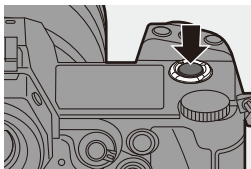
4 メニューを終了する

- [開始]を選び、 または  を押します。
- 撮影画面が表示されます。
- 設定画面に戻るには、[DISP.] ボタンを押してください。



5 撮影を開始する

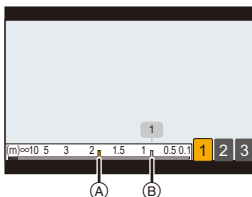
- 動画記録ボタンを押します。
- [フォーカストランジションレック]を設定したときは、撮影開始と同時に、フォーカストランジションを開始します。



6 フォーカストランジションを開始する

-  で [1]、[2] または [3] を選び、 または  を押します。

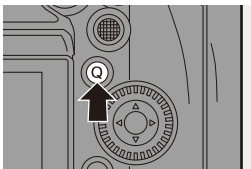
- (A) 現在のフォーカス位置
- (B) 登録したフォーカス位置



- [フォーカストランジションウエイト]を設定したときは、設定した時間が経過したあと、フォーカストランジションを開始します。

7 フォーカストランジションを終了する

- [Q] ボタンを押します。



8 撮影を終了する

- もう一度、動画記録ボタンを押します。



- フォーカス位置の設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。
- フォーカス位置が移動する速さは、使用するレンズによって異なります。
- [フォーカストランジション]使用中は、登録したフォーカス位置以外にピントを合わせられません。
- 以下の操作をすると、フォーカス位置の登録が解除されます。
 - 電源スイッチの操作
 - ズーム操作
 - フォーカスモードの切り換え
 - 撮影モードの切り換え
 - レンズの交換
- 以下の機能を使用中は、[フォーカストランジション]は使用できません。
 - [バリアブルフレームレート]
 - [ライブクロップ]
- フォーカスモードの[AFC]に対応していない交換レンズを装着しているときは、[フォーカストランジション]は使用できません。



- Fnボタンに機能を登録できます：
[] ➡ [] ➡ [Fnボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [フォーカストランジション](➡ [313](#))

ライブクロップ

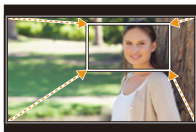
iA P A S M



ライブビューで表示される画像の範囲から一部を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームの動作を加えたFHD動画を記録できます。



パン

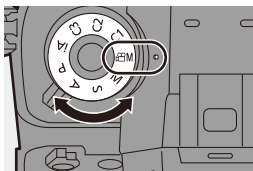


ズームイン



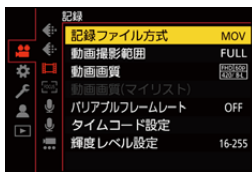
• カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

1 モードダイヤルを[**M**]に合わせる



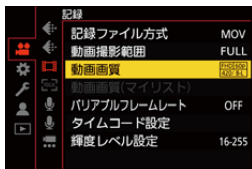
2 [記録ファイル方式]を[MP4]または[MOV]に設定する

- **MENU/SET** → [人] → [映画] →
[記録ファイル方式] →
[MP4] / [MOV]



3 ライブクロップを撮影できる動画画質を選ぶ

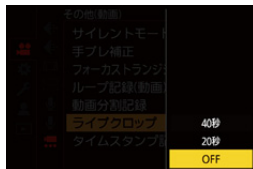
- **MENU/SET** → [人] → [映画] →
[動画画質]
- [ライブクロップ]を使用できる動画画質: → [276](#)



4 パンやズームが動作する時間を設定する

- **MENU/SET** → [人] → [] →
[ライブクロップ] →
[40秒] / [20秒]

- ライブクロップ撮影できない記録ファイル方式や動画画質を選んでいる場合は、撮影できる記録ファイル方式やFHD動画の動画画質に切り換わります。(→ 276)



5 切り出し開始枠を設定する

- 切り出す範囲を選び、**MENU/SET** または を押します。

6 切り出し終了枠を設定する

- 切り出す範囲を選び、**MENU/SET** または を押します。

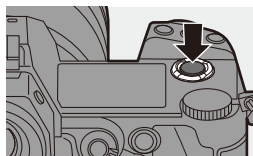
- 開始枠、終了枠の位置／大きさを設定し直すには、◀を押してください。

切り出し開始枠 切り出し終了枠

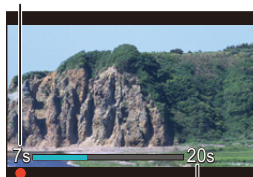


7 ライブクロップ撮影を開始する

- 動画記録ボタンを押します。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画記録ボタンを押してください。



記録経過時間



設定した動作時間

❖ 切り出し枠の設定操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	枠の移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 / 	ピンチアウト／ピンチイン	枠を細かく拡大／縮小
	—	枠を拡大／縮小
[DISP.]	[リセット]	開始枠: 枠の位置と大きさを初期設定に戻す 終了枠: 枠の位置と大きさの設定を解除する
	[決定]	枠の位置と大きさの決定



- AFモードは、[] (顔認識) に切り換わります。(人の体は検知できません。ピントを合わせる人の指定はできません)
- 切り出す範囲内で明るさの測定とピント合わせを行います。ピント位置を固定する場合は、[AF連続動作] を [OFF] にするか、フォーカスモードを [MF] に設定してください。
- [測光モード] は [] (マルチ測光) に固定されます。



- Fn ボタンに機能を登録できます:
[] ➡ [] ➡ [Fn ボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [ライブクロップ]
(➡ 313)

Log 撮影する

iA P A S M 



[フォトスタイル]を[V-Log]に設定すると、Log撮影ができます。ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に上げることができます。

 →  →  → [フォトスタイル] → [V-Log]を選ぶ



- LUT(ルックアップテーブル)を使ってポストプロダクション処理ができます。LUTデータは、下記サポートサイトからダウンロードできます。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html>

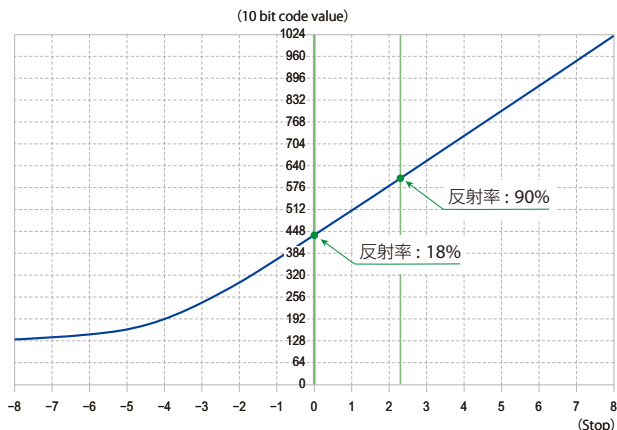
❖ [V-Log]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は640([拡張ISO感度]設定時:320)、上限は51200までになります。

- [Dual Native ISO設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
- ISO感度が変化する場合は、必要に応じて露出を設定し直してください。

❖ [V-Log]設定時の露出

[V-Log]のカーブ特性は、「V-Log/V-Gamut REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠しています。[V-Log]に設定した場合は、反射率18%のグレーを撮像したときの標準露出が、IREで42%になります。



[フォトスタイル]を[V-Log]に設定時				
反射率(%)	IRE(%)	Stop	10 bit code value	12 bit code value
0	7.3	—	128	512
18	42	0.0	433	1732
90	61	2.3	602	2408

- Stopの単位で輝度を表示する場合、本機はIRE 42%を0 Stopに換算します。



- Stopの単位で輝度を確認できます：

[設定] → [カメラ] → [スポット輝度メーター] (→ 249)

[設定] → [カメラ] → [ゼブラパターン表示] (→ 250)

V-Logビューアシスト

[フォトスタイル]を[V-Log]に設定すると、撮影画面やHDMI出力された映像は暗く表示されます。[V-Logビューアシスト]を使用すると、LUTデータを適用した映像をモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりできます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [V-Logビューアシスト]を選ぶ

LUTファイル読み込み	LUTデータをカードから読み込みます。
LUT選択	プリセット([Vlog_709])または登録したLUTデータから適用するLUTデータを選びます。
LUTビューアシスト(モニター)	LUTデータを適用した映像を本機のモニター／ファインダーに表示します。
LUTビューアシスト(HDMI)	LUTデータを適用した映像をHDMI出力します。



- LUTデータを適用しているときは、撮影画面に[LUT]が表示されます。
- LUTデータは、4ファイルまで登録できます。



- Fnボタンに機能を登録できます：
 ⇒  ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [LUTビューアシスト(モニター)]／[LUTビューアシスト(HDMI)]／[LUT選択] (→ 313)

❖ LUTファイル読み込み



- 使用できるLUTデータ：
 - 「VARICAM 3DLUT REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠した「.vlt」形式
 - ファイル名は8文字までの英数字(拡張子除く)
- LUTデータは、カードのルートディレクトリ(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)に、拡張子を「.vlt」にして保存してください。

① LUTデータを保存したカードをカメラに入れる

② [LUTファイル読み込み]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [V-Logビューアシスト] ⇒ [LUTファイル読み込み] ⇒ [スロット1]／[スロット2]

③ ▲▼で読み込むLUTデータを選び、 または  を押す

④ ▲▼で登録先を選び、 または  を押す

- 登録済みの項目を選択すると、上書きします。

HLG動画

iA P A S M 

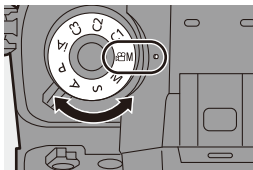


HLG方式のダイナミックレンジの広い動画を撮影します。白飛びしやすいまぶしい光や黒つぶれしやすい暗部を、肉眼で見たようなこまやかで豊かな色彩で記録できます。

撮影した動画は、HLG方式に対応した機器(テレビなど)にHDMI出力したり、対応した機器で直接再生したりすることで観賞できます。

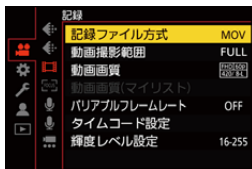
- 「HLG(ハイブリッドログガンマ)」とは、HDRIに関する国際標準規格(ITU-R BT.2100)の方式です。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



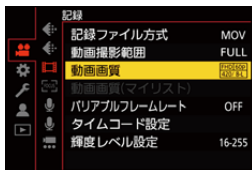
2 [記録ファイル方式]を[MP4]または[MOV]に設定する

-  → [] → [] →
[記録ファイル方式] →
[MP4] / [MOV]



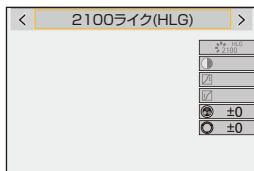
3 HLG動画を撮影できる動画画質を選ぶ

-  → [] → [] → [動画画質]
- HLG動画を撮影できる項目には、[HLG可能]と表示されます。
- HLG動画を撮影できる動画画質: →276



4 [フォトスタイル]を[2100ライク(HLG)]に設定する

-  ⇒ [人] ⇒ [◀] ⇒ [フォトスタイル] ⇒ [2100ライク(HLG)]



- [記録ファイル方式]を[MOV]に設定したときは、HLG動画を撮影できる動画画質だけを表示できます。(→ 225)
- 本機のモニター／ファインダーは、HLG方式での表示に対応していません。カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[モニター]で、確認用に変換した映像を、本機のモニター／ファインダーに表示できます。(→ 268)
- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[HDMI]で、確認用に表示する映像の変換方法を設定できます。(→ 268)

❖ [2100ライク(HLG)]設定時のISO感度

使用できるISO感度の下限は400になります。

- [Dual Native ISO設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
- ISO感度が変化する場合は、必要に応じて露出を設定し直してください。

HLGビューアシスト

[HLG フォト]やHLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりします。

 ➡  ➡  ➡ [HLGビューアシスト] ➡ [モニター]／[HDMI]を選ぶ

AUTO*	HDR(HLG方式)非対応の機器に接続したときだけ、[MODE2]の設定でHDMI出力する映像を変換します。
MODE1	空などの明るさを重視して変換します。 • 撮影画面に[MODE1]が表示されます。
MODE2	主要な被写体の明るさを重視して変換します。 • 撮影画面に[MODE2]が表示されます。
OFF	色域と明るさを変換せずに表示します。 • HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。

* [HDMI]選択中にだけ設定できます。

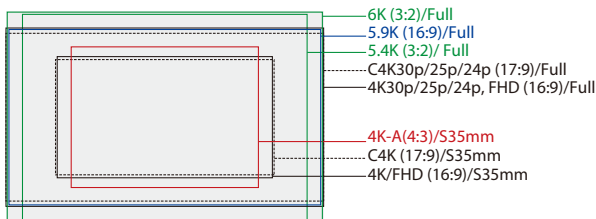
➡ • Fnボタンに機能を登録できます：
 ➡  ➡ [Fnボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡
 [HLGビューアシスト(モニター)]／[HLGビューアシスト(HDMI)](➡ 313)

アナモフィック撮影

iA P A S M



本機は、横縦比 4:3 のアナモフィック撮影に対応した、4K-A 解像度の動画（アナモフィック（4:3）動画）を記録できます。横縦比 3:2 の 6K 解像度や 5.4K 解像度の動画も記録できます。多様な映像フォーマット（動画画質）から、アナモフィック撮影に応じた動画画質を選択できます。



- 上記は、フルサイズ用レンズを装着したときに使用できる動画画質の一部です。動画画質について詳しくは、[218 ページ](#)をお読みください。

アナモフィック撮影時に、デスクイーズした映像の表示や、デスクイーズ編集後にクロップする画角の表示ができます。アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることもできます。

- アナモフィック撮影に適した手ブレ補正については、[157 ページ](#)をお読みください。



- ・[記録ファイル方式]を[MOV]に設定したときは、[動画画質]を画素数で絞り込むと、条件に合った解像度と横縦比の動画画質だけを表示できます。詳しくは、[225 ページ](#)をお読みください。
- ・アナモフィック（4:3）動画は、[動画画質]の設定画面に[ANAMOR]と表示されます。

絞り込み条件	すべて
フレームレート	6K(3:2)
画素数	5.9K(16:9)
圧縮形式	5.4K(3:2)
バリエーションフレームレート	4K-A(4:3)
ハイブリッドログガンマ	C4K(17:9)
絞り込み結果	4K(16:9)
	FHD(16:9)



- ・本機は、アナモフィック撮影で記録した動画のデスクイーズ編集に対応していません。対応したソフトウェアをお使いください。



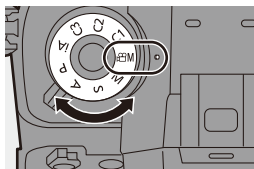
- ・横縦比 4:3 でアナモフィック撮影用の動画画質：[→ 276](#)

アナモフィック デスクイーズ表示



アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。[動画フレーム表示設定]を使って、デスクイーズ編集後にクロップする画角の枠を重ねて表示することもできます。

1 モードダイヤルを[ⓂM]に合わせる



2 [アナモフィック デスクイーズ表示]を設定する

- → → →

[アナモフィック デスクイーズ表示]

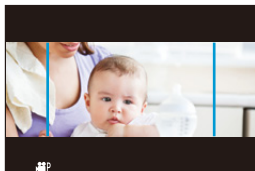
設定: $[2.0\times]$ (2.0×) / $[1.8\times]$ (1.8×) /
 $[1.5\times]$ (1.5×) / $[1.33\times]$ (1.33×) /
 $[1.30\times]$ (1.30×) / [OFF]

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて設定してください。



3 [動画フレーム表示設定]を設定する

-  ➡  ➡  ➡
[動画フレーム表示設定]
- 詳しくは、[251](#)ページをお読みください。



- HDMI出力する映像はデスクイーズされません。



- Fnボタンに機能を登録できます：
 ➡  ➡ [Fnボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [アナモフィック デスクイーズ表示](➡ [313](#))

シンクロスキャン

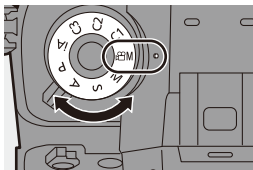
iA P A S M



シャッタースピードを微調整することで、映像のちらつきや横しみを軽減します。

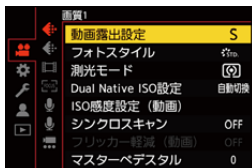
シンクロスキャンで設定したシャッタースピードは、通常撮影したシャッタースピードとは別に保存されます。シンクロスキャンの設定画面で、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出して調整できます。

1 モードダイヤルを[**M**]に合わせる



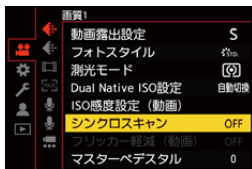
2 露出モードを[S]または[M]に設定する

- **MENU/SET** → [] → [] → []
[動画露出設定] → [S] / [M]



3 [シンクロスキャン]を設定する

- **MENU/SET** → [] → [] → []
[シンクロスキャン] → [ON]



4 シャッタースピードを設定する

- ☀️、☂️ または ⚙️ を回して数値を選び、 または  を押します。
- [DISP.] ボタンを押すと、現在の通常撮影時のシャッタースピードを呼び出すことができます。
- 画面を見ながら、ちらつきや横しみが目立たないように、シャッタースピードを合わせてください。



- [シンクロスキャン] 設定時、設定できるシャッタースピードの範囲が狭くなります。



- Fn ボタンに機能を登録できます：

[⚙️] ➡ [☀️] ➡ [Fn ボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [シンクロスキャン]
(➡ 313)

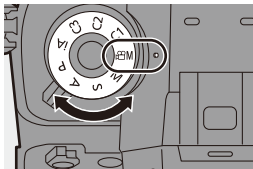
ループ記録(動画)

iA P A S M 



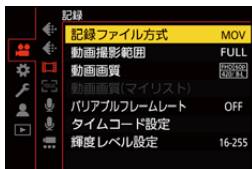
カードの容量いっぱいまで記録したときに、古いデータを消去しながら記録を続けます。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



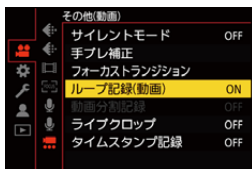
2 [記録ファイル方式]を[MOV]に設定する

-  →  →  →
[記録ファイル方式] → [MOV]



3 [ループ記録(動画)]を設定する

-  →  →  →
[ループ記録(動画)] → [ON]
- 撮影画面にが表示されます。
- カードの容量いっぱいまで記録するとループ記録を開始し、動画記録時間が非表示になります。



-  ● 撮影中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- カードの空き容量が不足する場合、ループ記録を開始できません。
- 記録時間が12時間を超えた場合は、記録開始時点から順にデータを消去しながら記録を続けます。
- 以下の機能を使用中は、[ループ記録(動画)]は使用できません。
 - ビットレートが400 Mbpsの[動画画質]
 - [バリアブルフレームレート]
 - [ライブクロップ]

動画分割記録

iA P A S M

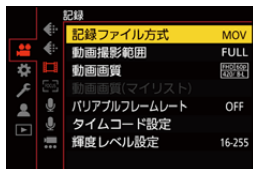


予期しない電源供給の停止による動画の消失を避けるため、撮影した動画を1分ごとに分割しながらMOV動画を記録します。

- 分割した動画は1つのグループ画像として保存されます。

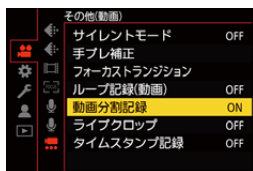
1 [記録ファイル方式]を[MOV]に設定する

- MENU/SET → [人] → [映画] →
[記録ファイル方式] → [MOV]



2 [動画分割記録]を設定する

- MENU/SET → [人] → [映画] →
[動画分割記録] → [ON]



- 以下の機能を使用中は、[動画分割記録]は使用できません。
- [ループ記録(動画)]

特殊な動画を撮影できる動画画質一覧

VFR : [バリアブルフレームレート]を使用できる動画画質

HFR : ハイフレームレート動画用の動画画質

Live Crop : [ライブクロップ]を使用できる動画画質

HLG : HLG動画を撮影できる動画画質

ANAMOR 4:3 : 横縦比4:3でアナモフィック撮影用の動画画質

❖ 記録ファイル方式:[AVCHD]

システム周波数	動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ANAMOR 4:3
59.94Hz(NTSC)	FHD/28M/60p					
	FHD/17M/60i					
	FHD/24M/30p	✓				
	FHD/24M/24p	✓				
50.00Hz(PAL)	FHD/28M/50p					
	FHD/17M/50i					
	FHD/24M/25p	✓				

❖ 記録ファイル方式:[MP4]

システム周波数	動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ANAMOR 4:3
59.94Hz(NTSC)	4K/10bit/100M/60p				✓	
	4K/8bit/100M/30p					
	4K/10bit/72M/30p				✓	
	4K/8bit/100M/24p					
	4K/10bit/72M/24p				✓	
	FHD/8bit/28M/60p			✓		
	FHD/8bit/24M/24p					
	FHD/8bit/20M/30p			✓		

システム周波数	動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ANAMOR 4:3
50.00Hz(PAL)	4K/10bit/100M/50p				✓	
	4K/8bit/100M/25p					
	4K/10bit/72M/25p				✓	
	FHD/8bit/28M/50p			✓		
	FHD/8bit/20M/25p			✓		

❖ 記録ファイル方式:[MOV]

システム周波数	動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ANAMOR 4:3
59.94Hz(NTSC)	6K/24p/420/10-L				✓	
	5.9K/30p/420/10-L				✓	
	5.9K/24p/420/10-L				✓	
	5.4K/30p/420/10-L				✓	
	4K-A/48p/420/10-L		✓		✓	✓
	4K-A/30p/422/10-I				✓	✓
	4K-A/30p/422/10-L				✓	✓
	4K-A/30p/420/8-L	✓				✓
	4K-A/24p/422/10-I				✓	✓
	4K-A/24p/422/10-L				✓	✓
	4K-A/24p/420/8-L	✓				✓
	C4K/60p/420/10-L				✓	
	C4K/60p/420/8-L					
	C4K/48p/420/10-L		✓		✓	
	C4K/30p/422/10-I				✓	
	C4K/30p/422/10-L				✓	
	C4K/30p/420/8-L	✓				
	C4K/24p/422/10-I				✓	
	C4K/24p/422/10-L				✓	
	C4K/24p/420/8-L	✓				

システム周波数	動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ANAMOR 4:3
59.94Hz(NTSC)	4K/60p/420/10-L				✓	
	4K/60p/420/8-L					
	4K/48p/420/10-L		✓		✓	
	4K/30p/422/10-I				✓	
	4K/30p/422/10-L				✓	
	4K/30p/420/8-L	✓				
	4K/24p/422/10-I				✓	
	4K/24p/422/10-L				✓	
	4K/24p/420/8-L	✓				
	FHD/120p/420/10-L		✓		✓	
	FHD/60p/422/10-I				✓	
	FHD/60p/422/10-L				✓	
	FHD/60p/420/8-L	✓		✓		
	FHD/60i/422/10-I				✓	
	FHD/60i/422/10-L				✓	
	FHD/48p/420/10-L		✓		✓	
	FHD/30p/422/10-I			✓	✓	
	FHD/30p/422/10-L			✓	✓	
	FHD/30p/420/8-L	✓		✓		
	FHD/24p/422/10-I			✓	✓	
	FHD/24p/422/10-L			✓	✓	
	FHD/24p/420/8-L	✓		✓		

システム周波数	動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ANAMOR 4:3
50.00Hz(PAL)	5.9K/25p/420/10-L				✓	
	5.4K/25p/420/10-L				✓	
	4K-A/50p/420/10-L				✓	✓
	4K-A/50p/420/8-L					✓
	4K-A/25p/422/10-I				✓	✓
	4K-A/25p/422/10-L				✓	✓
	4K-A/25p/420/8-L	✓				✓
	C4K/50p/420/10-L				✓	
	C4K/50p/420/8-L					
	C4K/25p/422/10-I				✓	
	C4K/25p/422/10-L				✓	
	C4K/25p/420/8-L	✓				
	4K/50p/420/10-L				✓	
	4K/50p/420/8-L					
	4K/25p/422/10-I				✓	
	4K/25p/422/10-L				✓	
	4K/25p/420/8-L	✓				
	FHD/100p/420/10-L		✓		✓	
	FHD/50p/422/10-I				✓	
	FHD/50p/422/10-L				✓	
	FHD/50p/420/8-L	✓		✓		
	FHD/50i/422/10-I				✓	
	FHD/50i/422/10-L				✓	
	FHD/25p/422/10-I			✓	✓	
	FHD/25p/422/10-L			✓	✓	
	FHD/25p/420/8-L	✓		✓		

システム周波数	動画画質	VFR	HFR	Live Crop	HLG	ANAMOR 4:3
24.00Hz(CINEMA)	6K/24p/420/10-L				✓	
	5.9K/24p/420/10-L				✓	
	4K-A/48p/420/10-L		✓		✓	✓
	4K-A/24p/422/10-I				✓	✓
	4K-A/24p/422/10-L				✓	✓
	4K-A/24p/420/8-L	✓				✓
	C4K/48p/420/10-L		✓		✓	
	C4K/24p/422/10-I				✓	
	C4K/24p/422/10-L				✓	
	C4K/24p/420/8-L	✓				
	4K/48p/420/10-L		✓		✓	
	4K/24p/422/10-I				✓	
	4K/24p/422/10-L				✓	
	4K/24p/420/8-L	✓				
	FHD/48p/420/10-L		✓		✓	
	FHD/24p/422/10-I			✓	✓	
	FHD/24p/422/10-L			✓	✓	
	FHD/24p/420/8-L	✓		✓		

12. 外部機器との接続(動画)

HDMI機器(HDMI出力)

iA P A S M



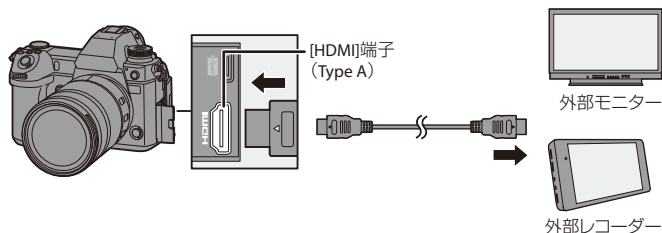
HDMIケーブルで接続した外部モニターや外部レコーダーに、カメラの映像を出力しながら撮影できます。

- HDMI出力制御は撮影時と再生時で異なります。再生時のHDMI出力の設定については、[389](#)ページをお読みください。

準備:

- カメラと外部モニター／外部レコーダーの電源を切る

市販のHDMIケーブルでカメラと外部モニターや外部レコーダーをつなぐ



- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



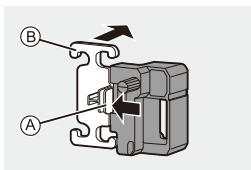
- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIケーブル(Type A—Type Aプラグ、1.5 mまで)をお使いください。

ケーブルホルダーを取り付ける

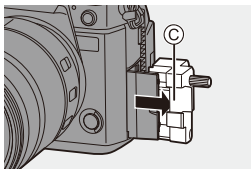
付属のケーブルホルダーを使用すると、ケーブルの脱落や端子の破損を防ぐことができます。

- カメラを安定したところに置いて作業してください。

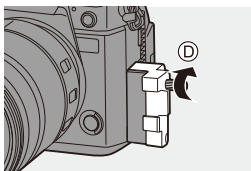
- 1** ①を押しながらケーブルホルダーのクランプ部②をスライドさせて取り外す



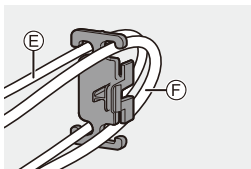
- 2** 端子部の扉を開き、③の部分に扉を差し込む



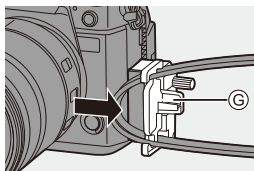
- 3** ケーブルホルダーをカメラの取り付け部に合わせて仮固定し、矢印の方向にねじを回して取り付ける④



- 4** USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)⑤とHDMIケーブル⑥をクランプ部に取り付ける

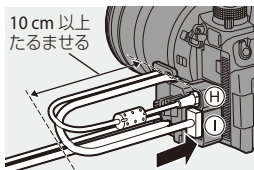


- ⑤ クランプ部⑨をスライドさせてケーブルホルダーに取り付ける



- ⑥ USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)をUSB端子⑨に接続する

- ⑦ HDMIケーブルを[HDMI]端子⑩に接続する

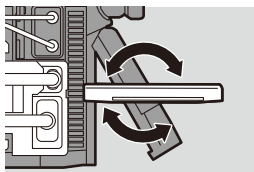


取り外すとき

取り付けるときと逆の順番で外してください。

❖ モニターの角度を調整する

モニターをチルトした状態(→ 56)で回転すると、接続したケーブルに干渉することなく、モニターの角度を調整できます。



- 付属のUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)以外は使用しないでください。
- HDMIケーブルの太さは直径6.5 mm以下のものを推奨します。
- HDMIケーブルの形状によっては、取り付けることができない場合があります。

HDMI出力する映像

HDMI出力する映像は、撮影モードによって異なります。

❖ [iM]モード

横縦比、解像度、およびフレームレートは、動画メニュー(記録)の[動画画質]の設定に合わせて出力します。解像度とフレームレートは、用途に合わせてダウンコンバートして出力できます。

YUVおよびビット数は、右記のように

YUVを4:2:2にして出力します。

カード記録	HDMI出力
4:2:2 10 bit	4:2:2 10 bit
4:2:0 10 bit	4:2:2 10 bit
4:2:0 8 bit	4:2:2 8 bit

解像度、フレームレート

以下のメニューの組み合わせに応じた解像度とフレームレートで出力します。

- 動画メニュー(記録)の[動画画質]
- カスタムメニュー(IN/OUT)の[撮影時HDMI出力]の[ダウンコンバート]
- 6K動画、5.9K動画、5.4K動画は、4KまたはFHD解像度で出力します。記録中は出力できません。
- アナモフィック(4:3)動画は、4KまたはFHD解像度で出力します。
- ハイフレームレート動画用の動画画質に設定しているときは、フレームレートをダウンコンバートして出力します。
- 詳しくは、[287](#)～[288](#)ページの「HDMI出力時の画質」をお読みください。



- 4:3または3:2の[動画画質]に設定しているときは、映像に帯を付けて16:9の横縦比で出力します。
- 10 bitに非対応の機器に出力すると、8 bitで出力する場合があります。

❖ [iA] / [P] / [A] / [S] / [M]モード

動画撮影中や[動画優先表示]を[ON]に設定しているときは、[iM]モードと同様に出力します。

撮影待機中は、横縦比は16:9で出力します。解像度、フレームレート、YUVおよびビット数は接続する機器に合わせて出力します。



- 16:9以外の[画像横縦比]に設定しているときは、映像に帯を付けて16:9の横縦比で出力します。

❖ HDMI出力についてのお知らせ

- 出力方法が切り換わる時、切り換わるまでに時間がかかる場合があります。
- 撮影中、HDMI出力画像が遅れて表示されることがあります。
- HDMI出力中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。
- 本機をテレビに接続して映像や音声を確認するとき、テレビのスピーカーから出る音声を本機のマイクが拾い、異常音(ハウリング)が発生することがあります。その場合は本機をテレビから離すか、テレビの音量を下げてください。
- 一部の設定画面はHDMI出力されません。
- 以下の機能を使用中は、HDMI出力されません。
 - 6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]

HDMI出力の画質(解像度、フレームレート)

ダウンコンバート設定

[M]モード時、HDMI出力する解像度とフレームレートのダウンコンバート設定をします。

 ➔  ➔  ➔ [撮影時HDMI出力] ➔ [ダウンコンバート]を選ぶ

AUTO	接続する機器に合わせてダウンコンバートして出力します。
4K/30p (4K/25p)	解像度を4Kに、フレームレートを29.97pまたは25.00pにダウンコンバートして出力します。
1080p	解像度をFHD(1080)にダウンコンバートし、プログレッシブ方式で出力します。
1080i	解像度をFHD(1080)にダウンコンバートし、インターレース方式で出力します。
OFF	[動画画質]の解像度、記録フレームレートで出力します。



- [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。
- 6K動画、5.9K動画、5.4K動画は、4KまたはFHD解像度で出力します。(➔ 287)
記録中は出力できません。
- アナモフィック(4:3)動画は、4KまたはFHD解像度で出力します。(➔ 287)
- ハイフレームレート動画用の[動画画質]に設定しているときは、フレームレートをダウンコンバートして出力します。(➔ 287)
- ダウンコンバートしている場合、通常よりAFでのピント合わせに時間がかかったり、連続したピント合わせの追従性が低下したりすることがあります。

❖ HDMI出力時の画質

[動画画質]と[ダウンコンバート]設定の組み合わせに応じた解像度とフレームレートで出力します。

- [ダウンコンバート]を[AUTO]に設定しているときは、接続する機器に合わせて出力します。
- 以下の表で[—]となっている組み合わせを設定しているときは、HDMI出力しません。

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	6K/23.98p 5.9K/23.98p 4K-A/47.95p 4K-A/23.98p 4K/47.95p 4K/23.98p	5.9K/29.97p 5.4K/29.97p 4K-A/29.97p 4K/29.97p	C4K/59.94p	C4K/47.95p C4K/23.98p
4K/30p	—	4K/29.97p	4K/29.97p	—
1080p	1080/23.98p	1080/29.97p ^{*1}	1080/59.94p	1080/23.98p
1080i	—	1080/59.94i	1080/59.94i	—
OFF	4K/23.98p	4K/29.97p	C4K/59.94p	C4K/23.98p

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	C4K/29.97p	4K/59.94p	1080/119.88p 1080/59.94p
4K/30p	4K/29.97p	4K/29.97p	—
1080p	1080/29.97p ^{*1}	1080/59.94p	1080/59.94p
1080i	1080/59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i
OFF	C4K/29.97p	4K/59.94p	1080/59.94p

[ダウンコンバート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	1080/59.94i	1080/47.95p 1080/23.98p	1080/29.97p
4K/30p	—	—	—
1080p	—	1080/23.98p	1080/29.97p ^{*1}
1080i	1080/59.94i	—	1080/59.94i
OFF	1080/59.94i	1080/23.98p	1080/29.97p

*1 接続先が対応していない場合は、1080/59.94pで出力します。

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート			
	5.9K/25.00p 5.4K/25.00p 4K-A/25.00p 4K/25.00p	4K-A/50.00p 4K/50.00p	C4K/50.00p	C4K/25.00p
4K/25p	4K/25.00p	4K/25.00p	4K/25.00p	4K/25.00p
1080p	1080/25.00p*2	1080/50.00p	1080/50.00p	1080/25.00p*2
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	4K/25.00p	4K/50.00p	C4K/50.00p	C4K/25.00p

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	1080/100.00p 1080/50.00p	1080/50.00i	1080/25.00p
4K/25p	—	—	—
1080p	1080/50.00p	—	1080/25.00p*2
1080i	1080/50.00i	1080/50.00i	1080/50.00i
OFF	1080/50.00p	1080/50.00i	1080/25.00p

*2 接続先が対応していない場合は、1080/50.00p で出力します。

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]

[ダウンコン パート]	[動画画質]の解像度、記録フレームレート		
	6K/24.00p 5.9K/24.00p 4K-A/48.00p 4K-A/24.00p 4K/48.00p 4K/24.00p	C4K/48.00p C4K/24.00p	1080/48.00p 1080/24.00p
1080p	1080/24.00p	1080/24.00p	1080/24.00p
OFF	4K/24.00p	C4K/24.00p	1080/24.00p

HDMI出力の設定

iA P A S M 



カメラの情報表示をHDMI出力する

HDMI接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力します。

 → [設定] → [] → [撮影時HDMI出力] → [情報表示]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

外部レコーダーに制御情報を出力する

HDMI接続した外部レコーダーに、記録開始、停止の制御情報を出力します。

 → [設定] → [] → [撮影時HDMI出力] → [HDMI記録制御]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

- [M]モードで、[HDMIタイムコード出力]が[ON]の場合に設定できます。
- 動画が記録できない状態(本機にカードが入っていない場合など)でも、動画記録ボタンやシャッターボタンを押すことで、制御情報を出力できます。
- 対応した外部機器だけ制御できます。

音声をダウンコンバートしてHDMI出力する

XLR マイクロホンアダプター(別売: DMW-XLR1)装着時、接続する外部機器に合わせてHDMI出力する音声をダウンコンバートします。

 → [設定] → [] → [撮影時HDMI出力] → [HDMI音声ダウンコンバート]を選ぶ

AUTO	接続する機器に合わせてダウンコンバートして出力します。
OFF	[XLRマイクアダプター設定]の設定に合わせて出力します。

音声をHDMI出力する

HDMI 接続した外部機器に、音声を出力します。

 →  →  → [撮影時HDMI出力] → [HDMI音声出力]を選ぶ
設定: [ON]／[OFF]

外部マイク(別売)

iA P A S M



ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)を使用すると、内蔵マイクよりも高音質の音声を記録できます。

1 接続する機器に合わせて[マイク端子]を設定する

- → → → [マイク端子]

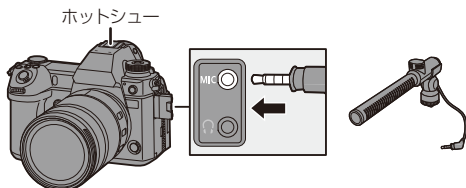
MIC	マイク入力 (Plug-in Power)	カメラの[MIC]端子から電源供給が必要な外部マイクを接続するとき
MIC	マイク入力	カメラの[MIC]端子から電源供給が不要な外部マイクを接続するとき
LINE	ライン入力	ライン出力する外部音声機器を接続するとき

- ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)装着時は、[MIC]に固定されます。
- [MIC]設定時に、電源供給が不要な外部マイクを接続すると、接続した外部マイクが故障する場合があります。接続前にご確認ください。

2 電源スイッチを[OFF]にする

3 カメラと外部マイクをつなぐ

- 外部マイクをカメラのホットシューに取り付ける場合は、ホットシューカバーを取り外してください。(→ 196)



- ステレオマイクロホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。

❖ 收音範囲の設定(別売:DMW-MS2)

ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)使用時、マイクの收音範囲を設定できます。

① [専用マイク設定]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [専用マイク設定]

ステレオ	広い範囲の音を收音します。
レンズ連動	レンズの画角に合わせて自動で設定された範囲の音を收音します。
ガン	周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を收音します。
スーパーガン	[ガン]よりもさらに收音範囲を絞ります。
マニュアル	範囲を手動で設定し、收音します。

② ([マニュアル]選択時)

- ◀▶ で收音範囲を調整し、 または  を押す



- Fnボタンに[マニュアル]の收音範囲の設定を登録できます:
[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [マイク指向性調整](→ 313)

❖ 風雑音の低減

外部マイク接続時の風雑音を低減します。

-  ⇒  ⇒  ⇒ [風音低減]を選ぶ

設定: [強]/[中]/[弱]/[OFF]



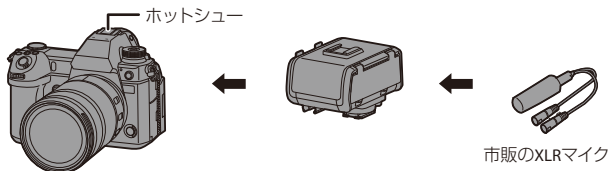
- 外部マイク接続中は、画面に[EXT.MIC]が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- [音声入力ミュート]を[ON]に設定すると、外部マイクからの音声入力がミュートされます。
- 外部マイク装着時は、外部マイクを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- ステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)接続時は、[専用マイク設定]は[ステレオ]に固定されます。
- [風音低減]を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。
- 詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

XLRマイクロホンアダプター(別売)

iA P A S M



XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR1)を装着すると、市販のXLRマイクを使用して、高音質なハイレゾ音声やステレオ音声を記録できます。



準備:

- カメラの電源を切り、ホットシューカバーを取り外す(→ 196)

- 1 ホットシューにXLRマイクロホンアダプターを取り付ける
- 2 電源スイッチを[ON]にする
- 3 [XLRマイクアダプター設定]を選ぶ
 - → → → [XLRマイクアダプター設定]

96kHz/24bit	96 kHz/24 bitのハイレゾ音声で記録します。	[記録ファイル方式]が[MOV]のときに設定できます。
48kHz/24bit	48 kHz/24 bitの高音質な音声で記録します。	
48kHz/16bit	48 kHz/16 bitの標準的な音声で記録します。	
OFF	カメラの内蔵マイクの音声を記録します。	



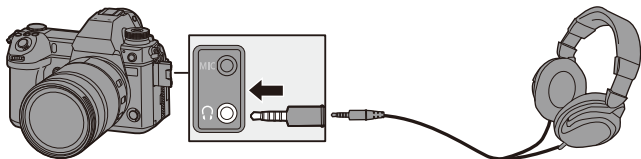
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、画面に[XLR]が表示されます。
- [XLRマイクアダプター設定]を[OFF]以外に設定すると、以下の設定が固定されます。
 - [録音レベルリミッター]:[OFF]
 - [風音キャンセラー]:[OFF]
 - [音声モニタリング]:[記録音]
- [XLRマイクアダプター設定]を[OFF]以外に設定すると、[録音ゲイン切換]や[録音レベル設定]は使用できません。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- [音声入力ミュート]を[ON]に設定すると、XLRマイクロホンアダプターからの音声入力がミュートされます。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、XLRマイクロホンアダプターを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- 詳しくは、XLRマイクロホンアダプターの取扱説明書をお読みください。

ヘッドホン

iA P A S M



カメラに市販のヘッドホンを接続して、動画の音声をモニターしながら撮影できます。



- ヘッドホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- ヘッドホン接続中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。

❖ 音声の出力方法の切り換え

→ [] → [] → [音声モニタリング]を選ぶ

リアルタイム	遅延のない音声。動画に記録される音声とは異なる場合があります。
記録音	動画に記録される音声。実際の音より遅れて出力される場合があります。



- 以下の場合、[記録音]に固定されます。
 - 音声をHDMI出力中
 - [専用マイク設定]を[レンズ連動]、[ガン]、[スーパーガン]または[マニュアル]に設定時
 - XLR マイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR1)使用時

❖ ヘッドホンの音量の調整

ヘッドホン接続中に  を回す

 : 音量を下げる

 : 音量を上げる

- 再生画面では、[] / [] をタッチしても音量を調整できます。

メニューで調整する場合:

- ① [ヘッドホン音量] を選ぶ
 -  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [ヘッドホン音量]
- ② ▲▼ でヘッドホン音量を調整し、 または  を押す
 - 0～LEVEL15の範囲で調整できます。

13. 画像の再生／編集

本章では、写真や動画の再生、消去方法を説明します。

[RAW 現像](→ 307)、[動画分割](→ 311)を使った編集についても説明しています。

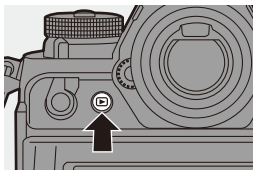


- [RAW 現像]、[動画分割]以外の再生メニューについては、393 ページからの「再生メニュー」をお読みください。

写真の再生

1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



カードスロット

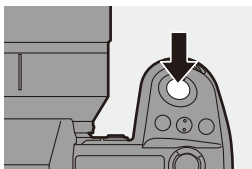
2 写真を選ぶ

- ◀▶ で写真を選びます。
 - ◀: 前の画像へ
 - ▶: 次の画像へ
- ◀▶ を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- ☀ または ⦿ を回しても選ぶことができます。
- 画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。



3 再生を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [▶] ボタンを押しても再生を終了できます。

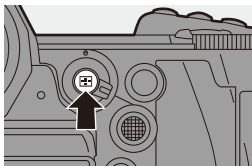


❖ 表示するカードの切り換え

画像はカードスロットごとに表示されます。再生時にFnボタンを押すと、表示するカードを切り換えることができます。

- [スロット切換]を登録したFnボタンで操作します。初期設定では[] ボタンに登録されています。Fnボタンについては、313ページをお読みください。

- ① [] ボタンを押す
- ② ▲▼で[スロット1]または[スロット2]を選び、 または  を押す

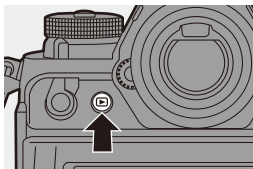


- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)によって制定された統一規格DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。Exifとは、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです。
- 本機以外で撮影された画像は、本機で正しく再生、編集できない場合があります。

動画の再生

1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



2 動画を選ぶ

- 画像の選び方については、[297](#)ページをお読みください。
- 動画には動画アイコン[👤]が表示されます。
- 画面に動画の記録時間が表示されます。
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。



3 動画を再生する

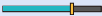
- ▲ を押します。
- 画面中央の[▶]をタッチしても再生できます。



4 再生を終了する

- ▼ を押します。

❖ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶ / ⏸	再生 / 一時停止
▼	—	停止
◀	—	早戻し再生 • もう一度 ◀ を押すと、早戻し速度が速くなります。 コマ戻し(一時停止中) • AVCHD 動画の再生中は、◀ を押すと約0.5秒ごとのコマ戻しになります。
▶	—	早送り再生 • もう一度 ▶ を押すと、早送り速度が速くなります。 コマ送り(一時停止中)
—		表示するコマの選択
 / 	保存	写真の切り出し(一時停止中)(→ 301)
	—	音量を下げる
	+	音量を上げる



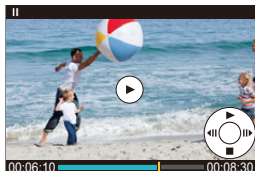
- 本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHD、MP4およびMOVです。
- AVCHD動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。
- 現在の設定と異なる[システム周波数]で記録した動画は再生できません。
- パソコンで動画を再生するには、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。

写真の切り出し

動画の1フレームをJPEG画像として切り出して保存します。

1 写真を切り出す位置で再生を一時停止する

- ▲ を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。



2 写真を保存する

- [MENU/SET] または [OK] を押します。
- [保存] をタッチしても写真を保存できます。



- 動画から作成された写真は、写真画質[FINE]で保存されます。画像サイズは[動画画質]の解像度に応じたサイズで保存されます。
- 動画から作成された写真は、通常より画質が粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、詳細情報表示画面に[6]が表示されます。

表示方法の切り換え

撮影画像を拡大表示したり、複数の画像を同時に表示するサムネイル表示(マルチ再生)に切り換えたりできます。撮影日を選んで表示するカレンダー表示に切り換えることもできます。

拡大表示

再生画像を拡大表示(再生ズーム)できます。

再生画面を拡大する

-  を右側に回します。
- 2倍 ⇨ 4倍 ⇨ 8倍 ⇨ 16倍の順で拡大表示します。
-  を左側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- [写真画質]を[RAW]で撮影した写真は16倍で拡大表示できません。
- [ハイレゾモード]で撮影した画像の端は拡大表示できません。



❖ 拡大表示中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	—	画面を拡大／縮小
—	ピンチアウト／ ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	—	拡大倍率、拡大位置を保持したまま画像を送る



- AFでピントの合った位置を表示できます。その位置から拡大表示できます：
[] ➡ [] ➡ [AF位置から拡大](➡ 395)

サムネイル表示

1 サムネイル表示に切り換える

-  を左側に回します。
- 12画面 ⇨ 30画面の順に表示が切り換わります。
- 選択されている画像にオレンジ色の枠が付きます。
- 30画面表示中に  を左側に回すと、カレンダー表示に切り換わります。(→ 304)
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- アイコンをタッチして表示を切り換えることもできます。

[]: 1 画面

[]: 12 画面

[]: 30 画面

[ CAL]: カレンダー(→ 304)



2 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押します。

❖ 表示するカードの切り換え

画像はカードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、サムネイル表示中に[] ボタンを押してください。



- サムネイル表示を上下にドラッグすると、画面をスクロールできます。



- [] と表示される画像は再生できません。

カレンダー表示

1 カレンダー表示に切り換える

-  を左側に回します。
- サムネイル表示(12画面) ⇨ サムネイル表示(30画面) ⇨ カレンダー表示の順に表示が切り換わります。
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。



2 撮影日を選ぶ

- ▲▼◀▶ で日付を選び、 または  を押します。
- 選択されている日付がオレンジ色で表示されます。

3 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押します。
-  を左側に回すと、カレンダー表示に戻ります。



- カレンダー表示中は、表示するカードを切り換えることができません。
- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。

グループ画像

インターバル撮影やコマ撮り撮影で撮影した画像は、本機ではグループ画像として扱われ、グループ単位で消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)
また、グループ内の画像ごとに消去や編集もできます。

❖ 本機でグループ画像として扱われる画像

	[6K/4Kフォト括保存]で保存したグループ画像
	フォーカスブラケット撮影したグループ画像
	インターバル撮影したグループ画像
	コマ撮り撮影したグループ画像
	[動画分割記録]で撮影したグループ画像



❖ グループ内の画像を1枚ずつ再生／編集する

グループ内の画像に対して、サムネイル表示、画像の消去など通常の再生時と同じ操作ができます。

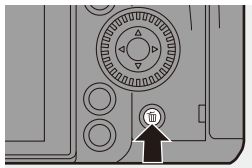
- 1 再生状態でグループ画像を選ぶ(→ 297)
- 2 ▼を押してグループ内の画像を表示する
 - グループ画像のアイコンをタッチしても同じ操作ができます。
- 3 ◀▶で画像を選ぶ
 - 通常の再生画面に戻るには、もう一度 ▼を押す、または[◀▶]をタッチしてください。

画像の消去

- ❗ 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- 選択しているカードスロットの画像だけ消去できます。
- グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます。

❖ 1枚消去

- 1 再生状態で[]を押す
- 2 ▲▼で[1枚消去]を選び、 または を押す



❖ 複数消去／全画像消去

- 1 再生状態で[]を押す
- 2 ▲▼で消去方法を選び、 または を押す

複数消去	複数枚の画像を選んで消去します。 1 ▲▼◀▶で消去する画像を選び、 または を押す • 選択した画像に[]が表示されます。 • もう一度 または を押すと、選択が解除されます。 • 画像は100枚まで選択できます。 2 [DISP.]ボタンを押して選択した画像を消去する
全画像消去	カード内のすべての画像を消去します。 • [全画像消去]を選択すると、カード内のすべての画像を消去します。 • [レーティング以外全消去]を選択すると、レーティング設定した画像以外のすべての画像を消去します。

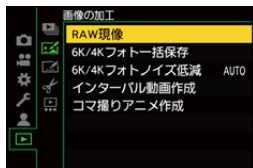
- 💡 画像を消去するカードを切り換えるには、[]ボタンを押してカードスロットを選択してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- [全画像消去]は、[再生モード]を[通常再生]に設定しているときに使用できます。
- ➡ Fnボタンに機能を登録できます：
[] ➡ [] ➡ [Fnボタン設定] ➡ [再生時設定] ➡ [1枚消去](→ 313)
- 消去時の確認画面で、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定できます：
[] ➡ [] ➡ [消去確認画面](→ 400)

RAW現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。[HLGフォト]で撮影したRAW画像を、HLG形式で保存することもできます。

1 [RAW現像]を選ぶ

- **MENU/SET** → [] → [] → [RAW現像]



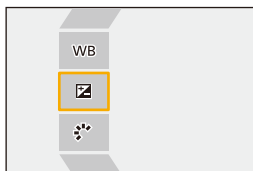
2 RAW画像を選ぶ

- ◀▶ で画像を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- グループ画像を選んだ場合は、▲を押してから、グループ内の画像を選択してください。もう一度▲を押すと、通常の見出し画面に戻ります。
- 表示される画像には、撮影時の設定が反映されています。



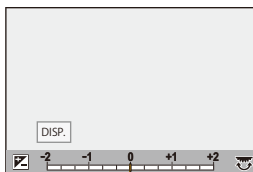
3 設定項目を選ぶ

- ▲▼ で項目を選び、**MENU/SET** または  を押します。



4 設定を変更する

- 、 または  を回します。
- 画面をピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小できます。

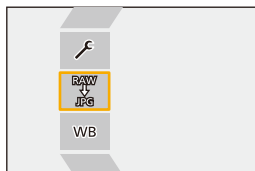


5 設定内容を決定する

-  または  を押します。
- 手順3の画面に戻ります。続けて他の項目を設定するときは、手順3から5を繰り返してください。

6 画像を保存する

- ▲▼で[RAW現像実行]を選び、
 または  を押します。



❖ 設定項目(RAW現像)

RAW 現像実行	画像を保存します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを選んで調整できます。[]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。 ● [ホワイトバランス]の選択画面で▼を押すと、ホワイトバランスの調整画面が表示されます。 ● []～[]を選択中に▲を押すと、色温度の設定画面が表示されます。
明るさ補正	明るさの補正ができます。 ● [明るさ補正]の効果は、撮影時の露出補正と異なります。
フォトスタイル	フォトスタイルを選択できます。 ● [709ライク]を選択中に[Q]ボタンを押すと、二設定画面が表示されます。(→ 239) ● [V-Log]で撮影した画像は、フォトスタイルを選択できません。[V-Log]以外で撮影した画像では、[V-Log]を選択できません。 ● [シネライク D2]、[シネライク V2]で撮影した画像は、[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルを選択できません。[シネライク D2]、[シネライク V2]以外のフォトスタイルで撮影した画像では、[シネライク D2]、[シネライク V2]を選択できません。 ● [詳細設定]の[ファイル形式]で[HLG]を選択している場合は、[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]だけの選択になります。

iダイナミックレンジ* ¹	iダイナミックレンジの設定を選択できます。
コントラスト* ¹	コントラストを調整できます。
ハイライト* ¹	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ* ¹	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度* ² / 色調* ³	彩度または色調を調整できます。
色相* ²	色相を調整できます。
フィルター効果* ³	フィルター効果を選択できます。
粒状* ⁴	粒状感の設定を選択できます。
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
シャープネス	解像感を調整できます。
詳細設定	[調整前に戻す]: 撮影時の設定に戻すことができます。 [ファイル形式]: ファイル形式を[JPG]または[HLG]から選択できます。[HLG]を選択すると、JPEG形式とHSP形式両方の写真が保存されます。([HLG フォト]で撮影した画像のみ) [色空間]: 色空間を[sRGB]または[AdobeRGB]から選択できます。([ファイル形式]で[JPG]を選択しているときのみ) [画像サイズ]: 保存時の画像サイズを選択できます。 [HLGビューアシスト(モニター)]、[HLGビューアシスト(HDMI)]: [HLG フォト]で撮影した画像の色域と明るさを変換して、本機のモニター／ファインダーまたはHDMI機器に表示します。詳しくは、カスタムメニューの[HLGビューアシスト]をお読みください。(→ 268) • [HLGビューアシスト(モニター)]および[HLGビューアシスト(HDMI)]は、[ファイル形式]で[HLG]を選択しているときだけ設定できます。

*1 [フォトスタイル]で[709ライク]、[V-Log]を選択した場合、または[詳細設定]の[ファイル形式]で[HLG]を選択した場合は、調整できません。

*2 [フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]、[V-Log]、[モノクローム(HLG)]以外を選択したときに使用できます。

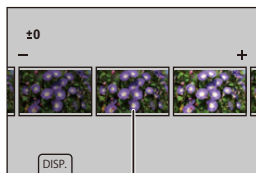
*3 [フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]、[モノクローム(HLG)]を選択したときに使用できます。

*4 [フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]を選択したときに使用できます。

❖ 比較画面を表示する

設定値を反映した画像を並べて表示することで、効果を確認しながら設定を変更できます。

- ① 手順4の画面で、[DISP.]ボタンを押す
 - 現在の設定の画像が中央に表示されます。
 - 現在の設定の画像をタッチすると拡大表示します。[↶]をタッチすると元の表示に戻ります。
 - [ノイズリダクション]、[シャープネス]選択中は、比較画面の表示ができません。
- ② 、 または  を回して設定を変更する
- ③  または  を押して決定する



現在の設定



- 本機で撮影したRAW画像は常に[3:2]の[L]サイズで記録されます。本機能では撮影時の画像横縦比や[EXテレコン(写真)]の画角で現像されます。
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。
- 本機能と、ソフトウェア「SILKYPiX Developer Studio」のRAW現像の結果は、完全には一致しません。
- 以下のRAW画像はRAW現像できません。
 - [ハイレゾモード]で撮影した画像
 - 本機以外で撮影した画像



- Fnボタンに機能を登録できます：
[] → [] → [Fnボタン設定] → [再生時設定] → [RAW現像](→ 313)

動画分割

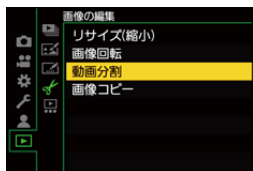
撮影した動画や6K/4K連写ファイルを2つに分割します。



- 分割した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから分割の操作をしてください。
- 分割処理中にカードやバッテリーをカメラから取り出さないでください。画像が消失するおそれがあります。

1 [動画分割]を選ぶ

- → → →
[動画分割]



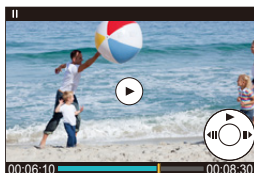
2 画像を選び、再生する

- ◀▶ で画像を選び、 または を押します。



3 分割する位置で再生を一時停止する

- ▲ を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶ (コマ戻し、コマ送り)をお使いください。



4 動画を分割する

- または を押します。
- [分割]をタッチしても動画を分割できます。



- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い場合は分割できません。
- [動画分割記録]を使用して撮影した画像には、[動画分割]は使用できません。

14. カメラのカスタマイズ

本章では、カメラをお好みに合わせて設定できるカスタマイズ機能について説明します。

ボタンやダイヤルなど、カメラの操作方法を変更する



Fn ボタン設定

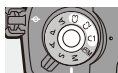
→313



ダイヤル動作切換設定

→322

現在のカメラの設定内容を登録する



カスタムモード

→329

メニューの表示内容を変更する

クイックメニュー

→324

マイメニュー

→333

カメラの設定情報を別のカメラに読み込む

カメラ設定の保存/読み込み

→335

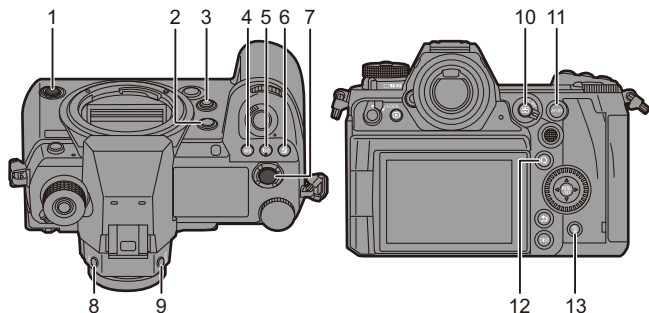


- カスタムメニューでカメラの操作や画面表示の詳細な設定ができます。
(→ 362)

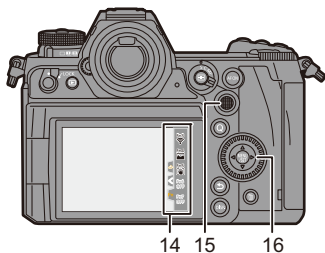
Fnボタン

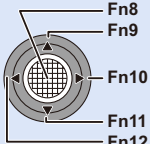
Fn(ファンクション)ボタンに機能を登録できます。また、[WB]ボタンなどの専用機能ボタンにも、Fnボタンと同じように、別の機能を登録できます。撮影時と再生時でそれぞれ異なる機能を設定できます。

❖ Fnボタンの初期設定



	Fn ボタン	撮影時設定	再生時設定
1	サブ動画記録ボタン	動画撮影	動画撮影
2	Fn1	ステータスLCD切換(動画)	設定なし
3	Fn2	プレビュー	設定なし
4	WB	ホワイトバランス	設定なし
5	ISO	ISO感度	設定なし
6		露出補正	設定なし
7	動画記録ボタン	動画撮影	動画撮影
8	LVF	LVF/モニター切換	LVF/モニター切換
9	V.MODE	ファインダー表示倍率切換	設定なし
10		AFモード	スロット切換
11	AF ON	AF-ON	レーティング★3
12	Q	Q.MENU	スマートフォンに画像を送る
13		水準器表示	再生時はFnボタンとして使用できません。



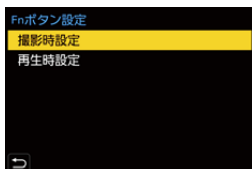
	Fn ボタン	撮影時設定	再生時設定
14	Fn3	Wi-Fi	• 再生時はFn ボタンとして使用できません。
	Fn4	ヒストグラム表示	
	Fn5	手ブレ補正ブースト(動画)	
	Fn6	設定なし	
	Fn7	設定なし	
15		設定なし	
	Fn8		
	Fn9		
	Fn10		
	Fn11		
16		設定なし	
	Fn13		
	Fn14		
	Fn15		
	Fn16		

Fn ボタンへの機能の登録

- ❗ 初期設定ではジョイスティックの[Fn8]～[Fn12]が使用できません。機能を使用する場合は、カスタムメニュー(操作)の[ジョイスティック設定]を[Fn]に設定してください。(→ 371)

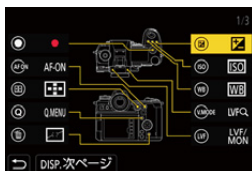
1 [Fn ボタン設定]を選ぶ

-  →  →  →
[Fn ボタン設定] →
[撮影時設定] / [再生時設定]



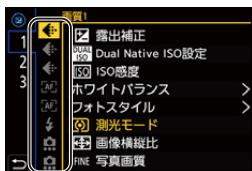
2 ボタンを選ぶ

- ▲▼でボタンを選び、 または  を押します。
-  または  を回しても選択できます。
- ページを切り換えるには、[DISP.]ボタンを押してください。



3 登録する機能を探す

-  を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→ 317、320)を選び、 または  を押します。
- ◀を押してサブタブの選択状態にしてから ▲▼を押す、または  を回し、▶を押しても選択できます。
- [Q]ボタンを押すと、[1]～[3]のタブが切り換わります。



4 機能を登録する

- ▲▼で機能を選び、 または  を押します。
-  または  を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。
- ボタンによっては、登録できない機能があります。



- コントロールパネル(→ 67)で[Fn Ψ]をタッチしても、手順2の画面を表示できます。
- Fnボタンの長押し(2秒)でも、手順4の画面を表示できます。(登録した機能やボタンの種類によっては表示されません)

❖ 設定項目(Fnボタン設定／撮影時設定)

[1]タブ

画質	[AF] フォーカス/リリース
露出補正 →170	AFモード →93
Dual Native ISO 設定 →175	AFカスタム設定(写真) →91
ISO感度 →173	AFカスタム設定(動画) →236
ホワイトバランス →176	ピーキング →347
フォトスタイル →180	ピーキング感度 →347
測光モード →159	1点AF枠の移動速度 →348
画像横縦比 →80	フォーカスリングロック →366
写真画質 →82	AE LOCK →172
画像サイズ →81	AF LOCK →172
HLGフォト →194	AF/AE LOCK →172
ハイレゾモード →191	AF-ON →89
ワンショットスポット測光	AF-ON:近側
• 1回だけ測光モードを[ (スポット)にして撮影します。	• 近くの被写体を優先してAFが働きます。
長秒ノイズ除去 →343	AF-ON:遠側
下限シャッター速度 →344	• 遠くの被写体を優先してAFが働きます。
ワンショット RAW+JPG	AFポイントスコープ →90
• 1回だけRAW画像とJPEG画像を同時に撮影します。	フォーカスエリア選択
iダイナミックレンジ →344	• AFエリア／MFアシストの移動画面を表示します。
フィルター効果 →185	フラッシュ
ワンブッシュAE	フラッシュモード →198
• 絞り値やシャッタースピードを、カメラが決めた適正露出に合う設定にします。	フラッシュ光量調整 →202
タッチAE →79	ワイヤレスフラッシュ設定 →204
動画露出設定 →213	
シンクロスキャン →272	

 その他(静止画)	
ドライブモード	→117
ワンショット6K/4Kフォト	
• 1回だけ6K/4Kフォトの撮影をします。	
ブラケット	→141
サイレントモード	→151

手ブレ補正	→154
シャッター方式	→152
EXテレコン(写真)	→115
フリッカー軽減(写真)	→351
フォーカスセレクト	→146

[2] タブ

 記録	
動画記録ファイル方式	→217
動画画質設定	→218
動画画質(マイリスト)	→226
バリエーションフレームレート	→253
タイムコード表示	→229
 音	
録音レベル表示	→242
音声入力ミュート	→358
録音レベル設定	→243
録音レベルリミッター	→244
XLRマイクアダプター設定	→293
マイク指向性調整	→292
 その他(動画)	
手ブレ補正	→155
電子補正(動画)	→155
手ブレ補正ブースト(動画)	→155
動画撮影範囲	→227
フォーカストラッキング	→257
ライブクロップ	→260

 操作	
Q.MENU	→70
撮影/再生切換	
• 再生画面に切り換えます。	
動画撮影	→208
LVF/モニター切換	→66
ファインダー表示倍率切換	→65
ダイヤル動作切換	→323
 モニター/表示	
プレビュー	→169
常時プレビュー(Mモード)	→372
水準器表示	→377
ヒストグラム表示	→373
スポット輝度メーター	→249
動画フレーム表示設定	→251
写真グリッドライン表示	→373
ライブビューブースト	→374
モノクロライブビュー	→378
ナイトモード	→375

LVF/モニター表示スタイル
 • 表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換えます。

動画優先表示	→379
ステータスLCD切換(動画)	→212
ゼブラパターン表示	→379
LUTビューアシスト(モニター)	→265
LUTビューアシスト(HDMI)	→265
LUT選択	→265
HLGビューアシスト(モニター)	→268
HLGビューアシスト(HDMI)	→268
オーバーレイ表示	→376
手ブレ状態スコープ	→376
WFM/ベクトルスコープ表示	→247
アナモフィック デスクイーズ表示	→270
カラーバー	→252

 レンズ/その他	
フォーカスリング制御	→381
ズーム操作	→115

[3] タブ

 カード/ファイル	
記録先スロット	
優先して記録するカードを変更します。 [ダブルスロット機能](→83)を[リレー記録]にすると使用できます。	
 IN/OUT	
Wi-Fi	→402
ファン動作モード	→380

 その他	
設定なし	
Fnボタンとして使用しないときに設定します。	
デフォルトに戻す	
Fnボタンを初期設定に戻します。(→313)	

❖ 設定項目(Fnボタン設定／再生時設定)

[1] タブ

 表示方法	 操作
AF位置から拡大 →395	撮影/再生切換 • 撮影画面に切り換えます。
LUTビューアシスト(モニター) →265	
HLGビューアシスト(モニター) →378	LVF/モニター切換 →66
アナモフィック デスクイーズ表示 →270	動画撮影 →208
 画像の加工	 モニター/表示
RAW現像 →307	ナイトモード →375
6K/4Kフォト一括保存 →131	
 情報の付与・削除	 カード/ファイル
1枚消去 →306	スロット切換 →298
プロテクト →397	
レーティング★1 →397	 IN/OUT
レーティング★2 →397	Wi-Fi →402
レーティング★3 →397	ファン動作モード →380
レーティング★4 →397	スマートフォンに画像を送る →429
レーティング★5 →397	LUTビューアシスト(HDMI) →265
	HLGビューアシスト(HDMI) →378
 画像の編集	
画像コピー →399	

[2] タブ

 その他
6K/4Kフォト再生 • 6K/4K連写ファイルから保存する写真の選択画面を表示します。
設定なし • Fnボタンとして使用しないときに設定します。
デフォルトに戻す • Fnボタンを初期設定に戻します。(→ 313)

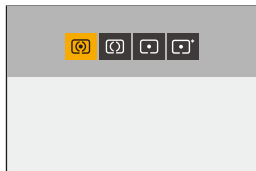
Fnボタンを使う

Fnボタンを押すと、撮影時は[撮影時設定]で登録した機能を、再生時は[再生時設定]で登録した機能を使うことができます。

1 Fnボタンを押す

2 設定項目を選ぶ

- ◀▶で設定項目を選び、 または  を押します。
- 、 または  を回しても選択できます。
- 設定項目の表示、選び方はメニュー項目によって異なります。



❖ [Fn3]～[Fn7]ボタンを使う(タッチアイコン)

撮影時は、タッチタブ内のFnボタンを使うことができます。



- 初期設定ではタッチタブが表示されません。カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 368)

- 1  をタッチする
- 2 [Fn3]～[Fn7]のいずれかをタッチする



ダイヤル動作切換

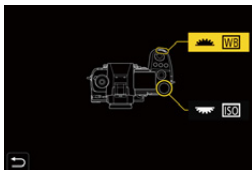
☀ (前ダイヤル)と ☿ (後ダイヤル)で動作する機能を一時的に変更します。

ダイヤルへの機能の登録

☀ と ☿ それぞれに機能を登録します。

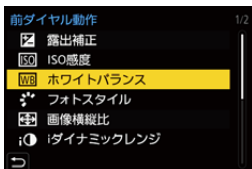
1 [ダイヤル動作切換設定]を選ぶ

- MENU/SET → [設定] → [☀] →
[ダイヤル設定] →
[ダイヤル動作切換設定] →
[☀]/[☿]



2 機能を登録する

- ▲▼で機能を選び、MENU/SET または
🔄を押します。



❖ 登録できる機能

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">- 露出補正 (→ 170)- ISO感度*1 (→ 173)- ホワイトバランス*2 (→ 176)- フォトスタイル (→ 180)- 画像横縦比 (→ 80)- iダイナミックレンジ (→ 344) | <ul style="list-style-type: none">- フィルター効果 (→ 185)- AFモード (→ 93)- フラッシュモード (→ 198)- フラッシュ光量調整 (→ 202)- 6K/4Kフォト (→ 121) |
|---|--|

*1 ☿ の初期設定

*2 ☀ の初期設定

ダイヤルの動作を一時的に変更する

Fnボタンを使って、ダイヤルの動作を一時的に変更します。

1 Fnボタンに[ダイヤル動作切換]を設定する(→ 313)

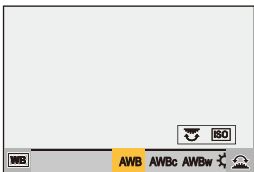
2 ダイヤルの動作を切り換える

- 手順1で設定したFnボタンを押します。
-  と  に登録した機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしないと、数秒後にガイドの表示が消えます。



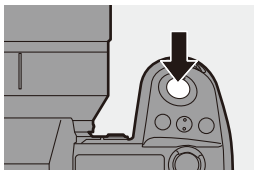
3 登録した機能を設定する

- ガイドが表示されている間に、 または  を回します。



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



クイックメニューのカスタマイズ

撮影モードによってクイックメニューの項目を変えることができます。また、クイックメニューに表示する項目や順番を、お好みに合わせて配置できます。

クイックメニューの操作方法については、[70](#)ページをお読みください。

クイックメニューへの登録

クイックメニューに表示させるメニューを変更します。

[ⒻM]モード(動画)とそれ以外の撮影モード(静止画)で別々に設定できます。

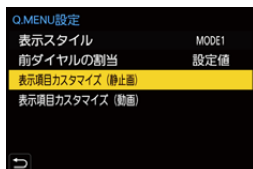
1 [Q.MENU 設定]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒

[Q.MENU 設定] ⇒

[表示項目カスタマイズ(静止画)]／

[表示項目カスタマイズ(動画)]



2 項目の位置(①～⑫)を選ぶ

- ▲▼◀▶ で位置を選び、 または  を押します。
-  を回しても選択できます。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。



3 登録する機能を探す

- ☀️ を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→ 326)を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ◀️ を押してサブタブの選択状態にしてから ▲▼ を押す、または  を回し、▶️ を押しても選択できます。
- [Q] ボタンを押すと、[1]～[2]のタブが切り換わります。



4 メニュー項目を登録する

- ▲▼ で項目を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ☀️ または  を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。



❖ 登録できるメニュー項目

[1] タブ

 画質	 その他(静止画)
露出補正 →170	ドライブモード →117
Dual Native ISO 設定 →175	ブラケット →141
ISO 感度 →173	サイレントモード →151
ホワイトバランス →176	手ブレ補正 →154
フォトスタイル →180	シャッター方式 →152
測光モード →159	EX テレコン(写真) →115
画像横縦比 →80	フリッカー軽減(写真) →351
写真画質 →82	フォーカスセレクト →146
画像サイズ →81	
HLG フォト →194	 記録
長秒ノイズ除去 →343	動画記録ファイル方式 →217
下限シャッター速度 →344	動画画質設定 →218
i ダイナミックレンジ →344	動画画質(マイリスト) →226
フィルター効果 →185	バリエーションフレームレート →253
動画露出設定 →213	タイムコード表示 →229
シンクロスキャン →272	 音
 フォーカス/リリース	録音レベル表示 →242
AF モード →93	録音レベル設定 →243
AF カスタム設定(写真) →91	録音レベルリミッター →244
AF カスタム設定(動画) →236	XLR マイクアダプター設定 →293
ピーキング →347	マイク指向性調整 →292
ピーキング感度 →347	 その他(動画)
1 点 AF 枠の移動速度 →348	手ブレ補正 →155
 フラッシュ	電子補正(動画) →155
フラッシュモード →198	手ブレ補正ブースト(動画) →155
フラッシュ光量調整 →202	動画撮影範囲 →227
ワイヤレスフラッシュ設定 →204	フォーカストラッキング →257
	ライブクロップ →260

[2] タブ

 モニター/表示	 レンズ/その他
常時プレビュー(Mモード) →372	フォーカスリング制御 →381
水準器表示 →377	 カード/ファイル
ヒストグラム表示 →373	記録先スロット →298
スポット輝度メーター →249	 IN/OUT
動画フレーム表示設定 →251	Wi-Fi →402
写真グリッドライン表示 →373	ファン動作モード →380
ライブビューブースト →374	 その他
モノクロライブビュー →378	設定なし
ナイトモード →375	• 使用しないときに設定します。
LVF/モニター表示スタイル →375	
動画優先表示 →379	
ゼブラパターン表示 →379	
LUTビューアシスト(モニター) →265	
LUTビューアシスト(HDMI) →389	
HLGビューアシスト(モニター) →378	
HLGビューアシスト(HDMI) →378	
オーバーレイ表示 →376	
手ブレ状態スコープ →376	
WFM/ベクトルスコープ表示 →247	
アナモフィック デスクイーズ表示 →270	
カラーバー →252	

❖ クイックメニューの詳細な設定

クイックメニューの見た目の変更や、メニュー表示中の  の動作の変更ができます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Q.MENU 設定] を選ぶ

表示スタイル	クイックメニューの見た目を変更します。 [MODE1]: ライブビューとメニューを同時に表示します。 [MODE2]: メニューを画面全体に表示します。
前ダイヤルの割当	クイックメニューでの  の動作を変更します。 [項目]: メニュー項目の選択をします。 [設定値]: 設定値の選択をします。
表示項目カスタマイズ (静止画)	モードダイヤルを[iA] / [P] / [A] / [S] / [M] に合わせたときに表示されるクイックメニューをカスタマイズします。
表示項目カスタマイズ (動画)	モードダイヤルを[PM] に合わせたときに表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

カスタムモード

C1 C2 C3



お好みに合わせた撮影モードやメニューの設定内容を、カスタムモードに登録できます。登録した設定はモードダイヤルの[C1]～[C3]モードに切り換えることで使用できます。

カスタムモードへの登録

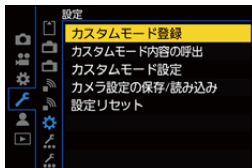
現在のカメラの設定内容を登録できます。

お買い上げ時のすべてのカスタムモードには、[P]モードのメニューの初期設定が登録されています。

1 保存したい状態の撮影モードと、メニュー設定にする

2 [カスタムモード登録]を選ぶ

- → [] → [] →
[カスタムモード登録]



3 登録する

- 登録先の番号を選び、 または を押します。
- 確認画面が表示されます。[DISP.]ボタンを押すと、カスタムモードの名前を変更できます。
文字の入力方法については、[401](#) ページをお読みください。



● [iA]モードはカスタムモードに登録できません。



● カスタムモードに登録できる設定の一覧(→ [511](#))

❖ カスタムモードの詳細な設定

カスタムモードの使いやすさの設定をします。

カスタムモードのセット数を増やしたり、一時的に変更した設定内容をどのタイミングまで維持させるかを設定したりできます。

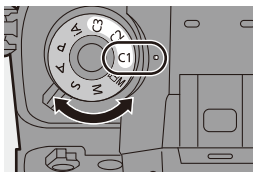
 ➡  ➡  ➡ [カスタムモード設定]を選ぶ

カスタムモード 表示の制限	[C3]に登録できるカスタムモードの数を設定します。 最大10セットを登録できますが、初期設定では3セットです。
名称変更	カスタムモードの名前を変更します。 入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。 • 文字の入力方法については、 401 ページをお読みください。
登録内容の呼出 タイミング	カスタムモード使用中に一時的に変更した設定内容を、登録時の状態に復帰させるタイミングを設定します。 [撮影モードの変更時]／[スリープモード解除時]／ [電源ON時]
カスタムモード の呼出範囲	[カスタムモード内容の呼出]で呼び出す設定内容の範囲を設定します。 [絞り値/SS/ISO感度]:絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定内容を呼び出すことができます。 [ホワイトバランス]:ホワイトバランスの設定内容を呼び出すことができます。

カスタムモードを使う

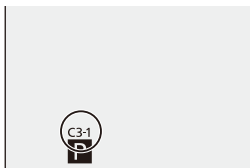
モードダイヤルを[C1]～[C3]のいずれかに合わせる

- [C3]の場合は、最後に使ったカスタムモードが呼び出されます。



❖ [C3]のカスタムモードの選択

- 1 モードダイヤルを[C3]に合わせる
- 2  を押す
 - カスタムモードの選択メニューが表示されます。
- 3 ▲▼でカスタムモードを選び、 または  を押す
 - 選択中のカスタムモードアイコンが撮影画面に表示されます。



❖ 登録内容の変更

モードダイヤルを[C1]～[C3]に合わせた状態で一時的にカメラの設定内容を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニュー(設定)の[カスタムモード登録]で登録内容を上書きしてください。

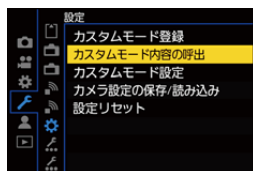
設定内容の呼び出し

登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。

1 使用するモードダイヤルに合わせる

2 [カスタムモード内容の呼出]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒
[カスタムモード内容の呼出]



3 呼び出すカスタムモードを選ぶ

- カスタムモードを選び、 または  を押します。



- [P]／[A]／[S]／[M]モードから作成したカスタムモードと、[M]モードから作成したカスタムモードの間では、カスタムモードの呼び出しができません。

マイメニュー

よく使うメニューをマイメニューとして登録します。最大で23項目登録できます。

登録したメニューは[人₁]～[人₃]から呼び出すことができます。

マイメニューへの登録

メニューを選んでマイメニューに登録します。

1 [登録]を選ぶ

-  ⇒ [人] ⇒  ⇒ [登録]



2 登録する

- 登録するメニューを選び、 または  を押します。



❖ マイメニューの呼び出し

登録したマイメニューを呼び出します。

 ⇒ [人] ⇒ [人₁] / [人₂] / [人₃] ⇒ 登録したメニュー

マイメニューの編集

マイメニューの表示順を並べ換えたり、不要なメニューを消去したりできます。

 ⇒  ⇒  を選ぶ

登録	マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。
並べ換え	マイメニューの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。
消去	マイメニューに登録したメニューを消去します。 [項目消去] : メニューを選び、消去します。 [全消去] : マイメニューに登録したメニューをすべて消去します。
マイメニューから表示	メニューを表示するとき、最初にマイメニューを表示します。 [ON] : マイメニューを表示します。 [OFF] : 最後に使ったメニューを表示します。

カメラ設定の保存/読み込み

カメラの設定情報をカードに保存します。保存した設定情報はカメラに読み込みできるため、複数のカメラを同じ設定にできます。



⇒ [🔧] ⇒ [⚙️] ⇒ [カメラ設定の保存/読み込み]を選ぶ

保存	カメラの設定情報をカードに保存します。 - 新規で保存する場合は[新規保存]を、既存のファイルに上書きする場合は既存のファイルを選んでください。 [新規保存]を選択した場合は、保存するファイル名が画面に表示されます。	
	OK	画面に表示されたファイル名で保存します。
	ファイル名変更	ファイル名を変更して保存します。 - 設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、8文字まで - 文字の入力方法については、401ページをお読みください。
読み込み	カード内の設定情報を読み込んで、カメラにコピーします。	
消去	カード内の設定情報を消去します。	
カードフォーマット時に保持	カードをフォーマットする際に、カードに保存したカメラの設定情報を残してフォーマットできます。	



- 設定情報を読み込むことができるのは、同じ機種だけです。
- 1枚のカードに保存できる設定情報は10件までです。



- 設定情報の保存が可能な機能の一覧(→ [511](#))

15. メニューガイド

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。本章では、メニューの一覧と詳細について説明しています。他の章に詳細な説明があるメニューについては、ページ番号を記載しています。

- メニューの操作方法については、[72](#)ページをお読みください。

メニューを探す

メニュー一覧 [→337](#)

メニューの働きと初期設定を知る



写真メニュー [→342](#)

動画メニュー [→355](#)

カスタムメニュー [→362](#)

セットアップメニュー [→382](#)

マイメニュー [→333](#)

再生メニュー [→393](#)

文字を入力する

文字の入力 [→401](#)



- 以下の一覧資料は、「18. 資料」の章をお読みください。
 - 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧：[→511](#)
 - 各撮影モードで設定できる機能一覧：[→523](#)

メニュー一覧

: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。
設定は連動しています。

写真メニュー

 画質	→342	マニュアル発光量設定	→348
フォトスタイル 	→342	露出補正連動	→348
測光モード 	→342	デジタル赤目補正	→349
画像横縦比	→342	ワイヤレスモード	→349
写真画質	→342	ワイヤレスチャンネル	→349
画像サイズ	→342	ワイヤレスFP	→349
HLG フォト	→342	ワイヤレス通信光量	→349
ハイレゾモード	→343	ワイヤレス設定	→349
長秒ノイズ除去	→343	 その他(静止画)	→349
Dual Native ISO 設定 	→343	ブラケット	→349
ISO感度設定(写真)	→343	サイレントモード 	→349
下限シャッター速度	→344	手ブレ補正 	→350
iダイナミックレンジ 	→344	連写1 設定	→350
周辺光量補正 	→345	連写2 設定	→350
回折補正 	→345	シャッター方式	→350
フィルター設定 	→345	シャッターディレイ	→350
 フォーカス	→346	EXテレコン(写真)	→351
AF カスタム設定(写真)	→346	インターバル/コマ撮り撮影	→351
AF 補助光 	→346	セルフタイマー	→351
ピーキング 	→347	フリッカー軽減(写真)	→351
1点AF枠の移動速度 	→348	6K/4K フォト	→352
 フラッシュ	→348	フォーカスセレクト	→352
フラッシュモード	→348	多重露出	→353
発光モード	→348	タイムスタンプ記録 	→354
フラッシュ光量調整	→348		
フラッシュシンクロ	→348		

動画メニュー

 画質	→355
動画露出設定	→355
フォトスタイル 	→355
測光モード 	→355
Dual Native ISO 設定 	→355
ISO感度設定(動画)	→355
シンクロスキャン	→355
フリッカー軽減(動画)	→356
マスターペDESTAL	→356
SS/ゲイン操作	→356
iダイナミックレンジ 	→356
周辺光量補正 	→356
回折補正 	→356
フィルター設定 	→356
 記録	→357
記録ファイル方式	→357
動画撮影範囲	→357
動画画質	→357
動画画質(マイリスト)	→357
バリアブルフレームレート	→357
タイムコード設定	→357
輝度レベル設定	→357
 フォーカス	→358
AF カスタム設定(動画)	→358
AF 連続動作	→358
AF 補助光 	→358
ピーキング 	→358
1点 AF 枠の移動速度 	→358

 音	→358
録音レベル表示	→358
音声入力ミュート	→358
録音ゲイン切換	→358
録音レベル設定	→358
録音レベルリミッター	→359
風音キャンセラー／	→359
風音低減	→359
マイク端子	→359
専用マイク設定	→359
XLR マイクアダプター設定	→359
音声モニタリング	→359
ヘッドホン音量	→359
 その他(動画)	→359
サイレントモード 	→359
手ブレ補正 	→360
フォーカストランジション	→360
ループ記録(動画)	→360
動画分割記録	→360
ライブクロップ	→361
タイムスタンプ記録 	→361

⚙️ カスタムメニュー

 画質	→362	ISO感度画面の操作	→369
フォトスタイル設定	→362	露出補正画面の操作	→369
ISO感度ステップ	→362	ダイヤル設定	→370
拡張ISO感度	→362	ジョイスティック設定	→371
基準露出レベル調節	→363	ボタンイルミネーション	→371
色空間	→363	リモコンの動画ボタン	→372
露出補正リセット	→363	 モニター/表示(写真)	→372
P/A/S/M 動画の露出自動制御	→363	オートレビュー	→372
クリエイティブ動画の設定値	→364	常時プレビュー(Mモード)	→372
 フォーカス/リリース	→364	ヒストグラム表示	→373
フォーカス/リリース優先	→364	写真グリッドライン表示	→373
縦/横位置フォーカス切換	→364	AFエリア表示	→374
AF/AEロック維持	→364	ライブビューブースト	→374
AF+MF	→365	ナイトモード	→375
MFアシスト	→365	LVF/モニター表示設定	→375
MFガイド	→365	露出メーター	→375
フォーカスリングロック	→366	焦点距離	→376
AFモード表示の制限	→366	ハイライト表示	→376
ピンポイントAF設定	→366	オーバーレイ表示	→376
AFポイントスコープ設定	→367	手ブレ状態スコープ	→376
シャッター半押しAF	→367	水準器表示	→377
シャッター半押しリリース	→367	スポット輝度メーター	→377
クイックAF	→367	ライブビュー境界線表示	→377
アイセンサーAF	→367	撮影画面の遷移(モニター)	→377
フォーカス枠のループ移動	→367	 モニター/表示(動画)	→372
AFCの開始位置指定(225点AF)	→367	V-Logビューアシスト	→378
 操作	→368	HLGビューアシスト	→378
Q.MENU 設定	→368	アナモフィックデスクイーズ表示	→378
タッチ設定	→368	モノクロライブビュー	→378
ロックレバー設定	→368	センターマーカー表示	→378
Fn ボタン設定	→369	動画フレーム表示設定	→379
WB/ISO/露出補正ボタン	→369	ゼブラパターン表示	→379
		WFM/ベクトルスコープ表示	→379

⚙️ カスタムメニュー(続き)

カラーバー	→379
動画優先表示	→379
動画記録中の赤枠表示	→380
 IN/OUT	→380
撮影時HDMI出力	→380
ファン動作モード	→380

タリーランプ設定	→380
 レンズ/その他	→381
レンズ位置メモリー	→381
フォーカスリング制御	→381
レンズ情報	→381
レンズ情報確認表示	→381

🔧 セットアップメニュー

 カード/ファイル	→382
フォーマット	→382
ダブルスロット機能	→382
フォルダー/ファイル設定	→382
ファイル番号リセット	→382
著作権情報	→382
 モニター/表示	→383
エコモード	→383
モニター表示速度	→383
LVF表示速度	→383
モニター調整/LVF調整	→384
モニター輝度/LVF輝度	→384
バッテリー残量表示	→384
ステータスLCD	→385
アイセンサー	→385
水準器調整	→385
 IN/OUT	→386
電子音	→386
ヘッドホン音量	→386
Wi-Fi	→386
Bluetooth	→386
USB	→387
バッテリー情報	→388
バッテリー使用順序	→388

テレビ接続設定	→389
カードアクセスランプ	→390
 設定	→390
カスタムモード登録	→390
カスタムモード内容の呼出	→390
カスタムモード設定	→390
カメラ設定の保存/読み込み	→390
設定リセット	→391
 その他	→391
時計設定	→391
タイムゾーン	→391
システム周波数	→391
ピクセルリフレッシュ	→391
センサークリーニング	→392
バージョン表示	→392
取扱説明書のWebサイト	→392
CLUB Panasonic 登録	→392
認証情報	→392

マイメニュー

 ページ1	→333
 ページ2	→333
 ページ3	→333

 マイメニュー編集	→334
登録	→334
並べ換え	→334
消去	→334
マイメニューから表示	→334

再生メニュー

 表示方法	→394
再生モード	→394
スライドショー	→394
縦位置自動回転	→394
画像表示順	→394
AF 位置から拡大	→395
LUTビューアシスト(モニター)	→395
HLGビューアシスト(モニター)	→395
アナモフィックデスクイーズ表示	→395
 画像の加工	→395
RAW 現像	→395
6K/4K フォト一括保存	→396
6K/4K フォトノイズ低減	→396
インターバル動画作成	→396
コマ撮りアニメ作成	→396

 情報の付与・削除	→397
プロテクト	→397
レーティング	→397
 画像の編集	→398
リサイズ(縮小)	→398
画像回転	→398
動画分割	→398
画像コピー	→399
 その他	→400
消去確認画面	→400

写真メニュー

: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。
設定は連動しています。

▶: 初期設定

写真メニュー → 画質

 フォトスタイル	▶スタンダード／ヴィヴィッド／ナチュラル／ フラット／風景／人物／モノクローム／ L.モノクローム／L.モノクロームD／ シネライク D2／シネライク V2／709ライク／ V-Log／スタンダード(HLG)／モノクローム (HLG)／MY PHOTO STYLE 1～MY PHOTO STYLE 10 被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設 定を選択できます。	→180
 測光モード	▶  ／  ／  ／  * 明るさを測る方式を切り換えることができます。	→159
画像横縦比	4:3／▶3:2／16:9／1:1／65:24／2:1 画像の横縦比(アスペクト比)を選択できます。	→80
写真画質	▶FINE／STD.／RAW+FINE／RAW+STD.／RAW 写真を保存するときの圧縮率を設定します。	→82
画像サイズ	▶L／M／S 写真の画像サイズを設定します。	→81
HLG フォト	Full-Res.／4K-Res.／▶OFF HLG方式のダイナミックレンジの広い写真を撮影 します。	→194

 写真メニュー → 画質

ハイレゾモード	開始		→ 191
	通常撮影同時記録	▶ON / OFF	
	シャッターディレイ	30秒～1/8秒(▶2秒) / OFF	
	被写体ブレの処理	▶MODE1 / MODE2	
	複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。		
長秒ノイズ除去	▶ON / OFF		—
	iA P A S M  遅いシャッタースピードで撮影したときに発生するノイズを、カメラが自動で取り除きます。 - ノイズ除去中は撮影できません。 - 以下の機能を使用中は、[長秒ノイズ除去]は動きません。 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] - 電子シャッター([電子シャッター+NR]使用時を除く)、[サイレントモード]、[ハイレゾモード] - このメニューはFnボタンに登録できます。 (→ 313)		
 Dual Native ISO設定	▶自動切換 / 低感度 / 高感度		→ 175
	ベース感度を自動切換するか、固定するかを設定します。		
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定	▶100～25600	—
	ISOオート上限設定	▶AUTO / 200～51200	
	iA P A S M  ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。		

 写真メニュー → 画質

下限シャッター速度	▶AUTO / 1/8000 ~ 1/1 iA P A S M  ISO感度[AUTO]時のシャッタースピードの下限を設定します。 - 適正な露出が得られない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなることがあります。 - このメニューはFnボタンに登録できます。 (→ 313)	—
 iダイナミックレンジ	AUTO / 強 / 中 / 弱 / ▶OFF iA P A S M  背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を補正します。 - 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 - 以下の機能を使用中は、[iダイナミックレンジ]は使用できません。 – [フォトスタイル]の[709ライク]、[V-Log]、[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]、[2100ライク(HLG)] – [フィルター設定] - このメニューはFnボタンに登録できます。 (→ 313)	—

 写真メニュー → 画質

周辺光量補正	▶ON / OFF iA P A S M レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。 - 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 - 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。 - 以下の機能を使用中は、写真メニュー(画質)の[周辺光量補正]は使用できません。 – [EXテレコン(写真)] - 以下の機能を使用中は、動画メニュー(画質)の[周辺光量補正]は使用できません。 – [動画撮影範囲]の[S35mm]*、[PIXEL/PIXEL] – [バリアブルフレームレート] * フルサイズ用レンズ使用時のみ	—				
回折補正	AUTO / ▶OFF iA P A S M 絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。 - 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 - 高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。	—				
フィルター設定	<table><tr><td>フィルター効果</td><td>ON / ▶OFF / 設定</td></tr><tr><td>フィルターなし同時記録</td><td>ON / ▶OFF</td></tr></table> 画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。	フィルター効果	ON / ▶OFF / 設定	フィルターなし同時記録	ON / ▶OFF	→ 185
フィルター効果	ON / ▶OFF / 設定					
フィルターなし同時記録	ON / ▶OFF					

📷 写真メニュー → [FOCUS] フォーカス

AF カスタム設定 (写真)	▶設定1／設定2／設定3／設定4 [AFC] で写真を撮影するときのAF動作の特性を、被写体や撮影状況に合わせて選択できます。	→91
 AF補助光	▶ON／OFF  暗い場所で撮影するときにはシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。 - 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。 - 交換レンズ(S-R24105)使用、W端時： 約1.0 m～約3.0 m - レンズフードは外してください。 - 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、ピントが合いにくい場合があります。 [サイレントモード]使用中は、[AF補助光]は[OFF]に固定されます。	—

写真メニュー → FOCUS フォーカス



ピーキング

▶ ON / OFF

設定

ピーキング感度

表示色

AFS時の表示

i A P A S M 

MF動作中に、ピントが合っている部分(画面上で輪郭がはっきりした部分)に色を付けて表示します。

- [ピーキング感度]をマイナス方向に設定すると、色を付けて表示される範囲が狭くなるため、より厳密なピント合わせができます。
- [表示色]でピントが合っている部分に表示する色を設定できます。
- [AFS時の表示]を[ON]に設定すると、フォーカスモードの[AFS]でシャッターボタンを半押ししたときにも、ピーキング表示ができます。
- タッチタブを表示すると(→ 368)、[]をタッチして[ON] / [OFF]を切り換えることができます。
- [フィルター設定]の[ラフモノクローム]を使用中は、[ピーキング]は使用できません。
- [ライブビューブースト]使用中は、[ピーキング]は働きません。
- このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 313)

📷 写真メニュー → フォーカス

 1点AF枠の移動速度	▶高速／標準	—
	 1点のAFエリアを移動させるときの速度を設定します。 AFモードを[]、[]、[]に設定しているときに働きます。 ・このメニューはFnボタンに登録できます。 (→ 313)	

📷 写真メニュー → フラッシュ

フラッシュモード	 /  /  /  / 	→ 198
	フラッシュの発光方法を設定します。	
発光モード	▶TTL／マニュアル	→ 201
	フラッシュの発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。	
フラッシュ光量調整	-3 EV～+3 EV (▶±0 EV) [発光モード]を[TTL]に設定したときに、フラッシュの発光量を調整できます。	→ 202
フラッシュシンクロ	▶先幕／後幕	→ 203
	フラッシュの発光方法を後幕シンクロに設定できます。	
マニュアル発光量設定	1/128～▶1/1 [発光モード]を[マニュアル]に設定したときに、フラッシュの発光量を設定します。	→ 201
露出補正連動	ON／▶OFF 露出補正の値に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。	→ 203

📷 写真メニュー → ⚡ フラッシュ

デジタル赤目補正	ON／▶OFF		→200
	[フラッシュモード]を[⚡☉]または[⚡s☉]に設定しているときに、赤目を自動で検出して画像データを補正します。		
ワイヤレスモード	ON／▶OFF		→205
	ワイヤレスフラッシュ撮影を可能にします。		
ワイヤレスチャンネル	▶1CH／2CH／3CH／4CH		→205
	ワイヤレスフラッシュ撮影に使用するチャンネルを設定します。		
ワイヤレスFP	ON／▶OFF		→207
	ワイヤレスフラッシュ撮影時に、外部フラッシュがFP発光します。		
ワイヤレス通信光量	▶強／中／弱		→207
	通信発光の強さを設定します。		
ワイヤレス設定	外部フラッシュ	発光モード／ フラッシュ光量調整／ マニュアル発光量設定	→206
	Aグループ／ Bグループ／ Cグループ	発光モード／ フラッシュ光量調整／ マニュアル発光量設定	
	ワイヤレスフラッシュ撮影時の詳細設定をします。		

📷 写真メニュー → 📷 その他(静止画)

ブラケット	ブラケット種類	 /  / FOCUS / WB  / WB  / ▶OFF	→ 141
	詳細設定		
	設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影できます。		
	ON / ▶OFF	→ 151	
サイレントモード	カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。		

 写真メニュー → その他(静止画)

 手ブレ補正	動作設定	▶  /  /  /  / OFF	→ 154
	ボディ/レンズ選択	BODY  / LENS 	
	動作開始設定	常時 / ▶ 半押し	
	電子補正(動画)	ON / ▶ OFF	
	手ブレ補正ブースト(動画)	ON / ▶ OFF	
	アナモフィック(動画)	A2.0  / A1.8  / A1.5  / A1.33  / A1.30  / ▶ OFF	
	レンズ情報	Lens1 ~ Lens12 (▶ Lens1)	
	手ブレ補正の設定をします。		
連写1設定	 / ▶ H / M / L	→ 118	
	ドライブモード[]の連写動作を設定します。		→ 121
連写2設定	▶  / H / M / L	→ 118	
	ドライブモード[]の連写動作を設定します。		→ 121
シャッター方式	自動切換 / ▶ メカシャッター / 電子先幕 / 電子シャッター / 電子シャッター + NR	→ 152	
	写真撮影時のシャッター方式を選びます。		
シャッターディレイ	8秒 / 4秒 / 2秒 / 1秒 / ▶ OFF	—	
	      手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。 - 以下の機能を使用中は、[シャッターディレイ]は使用できません。 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] [ハイレゾモード]		

写真メニュー → その他(静止画)

EXテレコン(写真)	ZOOM / TELE CONV. / ▶OFF		→115
	画質を劣化させることなく、光学ズームよりさらに拡大して撮ることができます。		
インターバル/コマ撮り撮影	撮影方法	▶インターバル撮影	→132 →135
		コマ撮りアニメ	
	インターバル撮影は、一定の撮影間隔で自動的に撮影を開始/終了します。コマ撮りアニメは、被写体を少しずつ動かしながら撮影します。		
セルフタイマー	▶  10 /  10 /  2		→139
	セルフタイマーの時間を設定します。		
フリッカー軽減(写真)	ON / ▶OFF		—
	 蛍光灯などのちらつき(フリッカー)を検知して、ちらつきによる影響が少ないタイミングで撮影します。 - 撮影条件によっては、軽減効果が得られない場合があります。 - フリッカー軽減が働いたときは、撮影画面の[FLICKER]アイコンが黄色になります。 - 以下の機能使用中は、[フリッカー軽減(写真)]は使用できません。 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] - 電子シャッター、[サイレントモード] - このメニューはFnボタンに登録できます。 (→313)		

 写真メニュー → その他(静止画)

6K/4Kフォト	画像サイズ/連写速度	▶6K 18M / 4K H 8M / 4K 8M	→ 121
	撮影方法	▶6K/4K連写 / 6K/4K連写 (S/S) / 6K/4K プリ連写	
	プリ記録	ON / ▶OFF	
	6K/4K フォトの設定をします。高速連写した連写ファイルから、写真を選び出し保存できます。		
フォーカスセレクト	6K 18M / 4K 8M / ▶OFF		→ 146
	自動でピント位置を変化させながら、6K/4K フォトと同じ画質の連写をします。撮影後にピント位置を選んで写真を保存できます。		

写真メニュー → その他(静止画)

多重露出

開始

自動ゲイン補正

▶ON / OFF

再生画像と多重

ON / ▶OFF



1枚の画像に最大4回の露光をした効果を得ることができます。

開始: 多重露出の露出を開始します。

自動ゲイン補正: 撮影枚数に応じて自動で明るさを調整します。

再生画像と多重: 撮影済みのRAW画像に多重露出できます。[開始]を選択後に、重ねる画像の選択画面が表示されます。

- [開始]を選択後、シャッターボタンを全押しすると、多重露出を開始します。
- 撮影するごとにプレビューが表示され、以下の操作ができます。
 - [次の撮影](シャッターボタンを半押ししても同じ操作ができます)
 - [撮り直し]
 - [完了]: 写真を記録し、多重露出の撮影を終了します。
- 写真を記録すると、多重露出の撮影は自動で終了します。
- 記録前に多重露出の撮影を終了するには、撮影画面で[Q]ボタンを押してください。



 写真メニュー → その他(静止画)

多重露出 (続き)	• 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。 • [再生画像と多重]を設定できるのは、本機で撮影したRAW画像だけです。 • 以下の機能を使用して撮影したRAW画像には、[再生画像と多重]は設定できません。 – [画像横縦比]の[65:24]、[2:1] – [HLGフォト] – [ハイレゾモード] • 以下の機能を使用中は、[多重露出]は使用できません。 – インターバル撮影 – コマ撮りアニメ – [ハイレゾモード] – [フィルター設定] • スーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時は、[多重露出]は使用できません。	—
 タイムスタンプ記録	ON / ▶ OFF 画像に撮影日時を重ねて記録します。	→ 361



動画メニュー

：写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。
設定は連動しています。

▶：初期設定

動画メニュー → 画質

動画露出設定	▶P / A / S / M	→213
	[M]モードで使用する露出モードを設定します。	
フォトスタイル	▶スタンダード / ヴィヴィッド / ナチュラル / フラット / 風景 / 人物 / モノクローム / L.モノクローム / L.モノクロームD / シネライク D2 / シネライク V2 / 709ライク / V-Log / スタンダード(HLG) / モノクローム(HLG) / 2100ライク(HLG) / MY PHOTO STYLE 1 ~ MY PHOTO STYLE 10	→180
	被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。	
測光モード	▶[M] / [A] / [S] / [M]	→159
	明るさを測る方式を切り換えることができます。	
Dual Native ISO設定	▶自動切換 / 低感度 / 高感度	→175
	ベース感度を自動切換するか、固定するかを設定します。	
ISO感度設定(動画)	ISOオート下限設定 ▶100 ~ 25600	→241
	ISOオート上限設定 ▶AUTO / 200 ~ 51200	
	ISO感度[AUTO]時のISO感度の下限と上限を設定します。	
シンクロスキャン	ON / ▶OFF	→272
	シャッタースピードを微調整することで、映像のちらつきや横しまを軽減します。	

 動画メニュー → 画質

フリッカー軽減 (動画)	1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / ▶OFF		—
	iA P A S M  動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定できます。 • [P/A/S/M動画の露出自動制御]が[ON]のときに設定できます。		
マスターペDESTAL	-15 ~ 15 (▶0)		→238
	映像の基準となる黒を調整します。		
SS/ゲイン操作	▶秒/ISO / 角度/ISO / 秒/dB		→245
	シャッタースピードやゲイン(感度)の設定値の単位を切り換えます。		
 iダイナミックレンジ	AUTO / 強 / 中 / 弱 / ▶OFF		→344
	背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を補正します。		
 周辺光量補正	▶ON / OFF		→345
	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。		
 回折補正	AUTO / ▶OFF		→345
	絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。		
 フィルター設定	フィルター効果	ON / ▶OFF / 設定	→185
	フィルターなし同時記録	ON / ▶OFF	
	画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。		

 動画メニュー → 記録

記録ファイル方式	AVCHD／▶MP4／MOV		→217
	動画撮影の記録ファイル方式を設定します。		
動画撮影範囲	▶FULL／S35mm／PIXEL/PIXEL		→227
	動画撮影時の撮影範囲を設定します。		
動画画質	動画撮影の画質を設定します。		→218
動画画質(マイリスト)	マイリストに登録済みの動画画質を呼び出します。		→226
バリアブルフレームレート	ON／▶OFF		→253
	撮影フレームレートを変化させて、スローモーション動画、クイックモーション動画を撮影します。		
タイムコード設定	タイムコード表示	ON／▶OFF	→229
	カウントアップ方式	▶レックラン／フリーラン	
	タイムコード値設定	リセット	
		手動入力	
		現時刻	
	タイムコードモード	▶DF／NDF	
	HDMIタイムコード出力	ON／▶OFF	
	外部タイムコード設定	タイムコード同期	
		タイムコード出力基準	
タイムコードの記録や表示、出力を設定します。			
輝度レベル設定	0-255／16-235／▶16-255		→237
	動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。		

 動画メニュー → フォーカス

AF カスタム設定 (動画)	ON / ▶OFF		→236
	設定	AF 駆動速度 / AF 追従感度	
	[AF連続動作]を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。		
AF連続動作	▶MODE1 / MODE2 / OFF		→235
	動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。		
 AF補助光	▶ON / OFF		→346
	暗い場所で撮影するときシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。		
 ピーキング	▶ON / OFF		→347
	設定	ピーキング感度	
		表示色	
		AFS時の表示	
		MF動作中に、ピントが合っている部分(画面上で輪郭がはっきりした部分)に色を付けて表示します。	
 1点AF枠の移動速度	▶高速 / 標準		→348
	1点のAFエリアを移動させるときの速度を設定します。		

 動画メニュー → 音

録音レベル表示	ON / ▶OFF	→242
	録音レベルを撮影画面に表示します。	
音声入力ミュート	ON / ▶OFF	→242
	音声入力をミュートにします。	
録音ゲイン切換	▶標準 / 低	→243
	音声入力ゲインを切り換えます。	
録音レベル設定	MUTE、-18dB ~ +12dB (▶0dB)	→243
	録音レベルを手動で調整します。	

 動画メニュー → 音

録音レベルリミッター	▶ON / OFF	→244
	録音レベルを自動で調整し、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。	
風音キャンセラー	強 / ▶標準 / OFF	→244
	音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。	
風音低減	強 / 中 / 弱 / ▶OFF	→292
	外部マイク接続時の風雑音を低減します。	
マイク端子	▶MIC▼ / MIC / LINE	→291
	接続する機器に合わせて、[MIC]端子の入力方法を設定します。	
専用マイク設定	▶ステレオ / レンズ連動 / ガン / スーパーガン / マニュアル	→292
	ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)接続時の收音範囲を設定します。	
XLRマイクアダプター設定	96kHz/24bit / 48kHz/24bit / ▶48kHz/16bit / OFF	→293
	XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR1)装着時の音声入力を設定します。	
音声モニタリング	▶リアルタイム / 記録音	→295
	ヘッドホンを接続したときの音声出力方法を設定します。	
ヘッドホン音量	0 ~ LEVEL15 (▶LEVEL3)	→296
	ヘッドホンを接続したときの音量を調整します。	

 動画メニュー → その他(動画)

 サイレントモード	ON / ▶OFF	→151
	カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。	

 動画メニュー → その他(動画)

 手ブレ補正	動作設定	▶  /  /  /  / OFF	→154
	ボディ/レンズ選択	BODY  / LENS 	
	動作開始設定	常時 / ▶半押し	
	電子補正(動画)	ON / ▶OFF	
	手ブレ補正ブースト(動画)	ON / ▶OFF	
	アナモフィック(動画)	A2.0  / A1.8  / A1.5  / A1.33  / A1.30  / ▶OFF	
	レンズ情報	Lens1 ~ Lens12 (▶Lens1)	
	手ブレ補正の設定をします。		
フォーカストランジション	開始		→257
	フォーカス位置	1 / 2 / 3	
	フォーカストランジション速度	SH / H / ▶M / L / SL	
	フォーカストランジションレック	1 / 2 / 3 / ▶OFF	
	フォーカストランジションウエイト	10秒 / 5秒 / ▶OFF	
	フォーカス位置を、現在の位置から事前に登録した位置に滑らかに移動します。		
ループ記録(動画)	ON / ▶OFF		→274
	カードの容量いっぱいまで記録したときに、古いデータを消去しながら記録を続けます。		
動画分割記録	ON / ▶OFF		→275
	動画を1分ごとに分割しながら記録します。		

 動画メニュー → その他(動画)

ライブクロップ	40秒／20秒／▶OFF ライブビューで表示される範囲から一部を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームの動作を加えたFHD動画を記録します。	→260
 タイムスタンプ記録	ON／▶OFF  画像に撮影日時を重ねて記録します。 - 記録した撮影日時は消去できません。 6K/4K連写ファイル、RAW 画像には撮影日時が記録されません。 - 以下の機能を使用中は、[タイムスタンプ記録]は使用できません。 － [フォーカスセレクト] － [ハイレゾモード] － 6K動画／5.9K動画／5.4K動画／アナモフィック(4:3)動画 － [バリアブルフレームレート]	—

カスタムメニュー

▶: 初期設定

カスタムメニュー ➡ 画質

フォトスタイル設定	フォトスタイル表示の制限	ヴィヴィッド／ナチュラル／フラット／風景／人物／L.モノクローム／L.モノクロームD／シネライク D2／シネライク V2／709ライク／V-Log／2100ライク(HLG)／MY PHOTO STYLE 1～MY PHOTO STYLE 10
	メニューに表示するフォトスタイルの項目を設定します。	
	マイフォトスタイル設定	調整項目の追加
		登録された設定の呼出
	マイフォトスタイルの画質調整に関する詳細設定ができます。 調整項目の追加 : 画質調整で [Dual Native ISO 設定] や [ISO 感度]、[ホワイトバランス] の設定を可能にします。 登録された設定の呼出 : マイフォトスタイルで変更した画質調整値を、登録時の状態に戻すタイミングを設定します。	
	フォトスタイルのリセット	
	[フォトスタイル]と[フォトスタイル設定]で変更した内容を、初期設定に戻します。	
ISO感度ステップ	▶1/3 EV／1 EV	
	ISO 感度の調整値の刻みを変更します。	
拡張ISO感度	ON／▶OFF	
	ISO 感度の設定範囲を拡張します。 • [Dual Native ISO設定](→ 175)により、拡張範囲が異なります。 － [自動切換]設定時: 下限値を 50、上限値を 204800まで拡張 － [低感度]設定時: 下限値を 50まで拡張 － [高感度]設定時: 下限値を 320、上限値を 204800まで拡張	

カスタムメニュー → 画質

基準露出レベル調節	マルチ測光	-1 EV ~ +1 EV (▶ ±0 EV)
	中央重点	-1 EV ~ +1 EV (▶ ±0 EV)
	スポット	-1 EV ~ +1 EV (▶ ±0 EV)
	ハイライト重点	-1 EV ~ +1 EV (▶ ±0 EV)
	[測光モード]の設定項目ごとに、適正露出の基準となる露出レベルを調整します。露出補正值(→ 170)に本機能の調整値を加えて記録します。 動画撮影、6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]の場合は、±3 EVの範囲を超えて調整値を加えることはできません。	
色空間	▶ sRGB / AdobeRGB	
	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターで再現する場合に、正しく色再現するための方式を設定します。 sRGB: パソコンを中心とした機器で広く使われています。 AdobeRGB: AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いいため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。 - AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。 - 以下の機能を使用中は、[sRGB]に固定されます。 - 動画撮影、6K/4K フォト、[フォーカスセレクト] [フォトスタイル]の[709ライク]、[V-Log] [フィルター設定]	
露出補正リセット	ON / ▶ OFF	
	撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正值をリセットします。	
P/A/S/M 動画の露出自動制御	▶ ON / OFF	
	[P] / [A] / [S] / [M] モードで動画撮影中の絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定方法を選びます。 ON: カメラが自動で設定した値で撮影します。 OFF: 手動で設定した値で撮影します。	

⚙️ カスタムメニュー ➡ 📷 画質

クリエイティブ動画 の設定値	絞り値/SS/ISO/露出 補正	▶ 📷 / 👤
	ホワイトバランス	▶ 📷 / 👤
	フォトスタイル	▶ 📷 / 👤
	測光モード	▶ 📷 / 👤
	AFモード	▶ 📷 / 👤
	[M]モードで設定した内容を、写真撮影時と分けることができます。 • 詳しくは、 215 ページをお読みください。	

⚙️ カスタムメニュー ➡ [AF] フォーカス/リリース

フォーカス/リリース優先	AFS	▶フォーカス／バランス／リリース
	AFC	フォーカス／▶バランス／リリース
	AF時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。 フォーカス：ピントが合っていないときは撮影できません。 バランス：ピント合わせとリリースタイミングのバランスをとり撮影します。 リリース：ピントが合っていないなくても撮影できます。	
縦/横位置フォーカス切換	ON／▶OFF	
	カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置(MF時はMFアシストの位置)を別々に記憶します。 ・詳しくは、109ページをお読みください。	
AF/AEロック維持	ON／▶OFF	
	AF／AEロック時のボタン動作を設定します。[ON]にすると、ボタンを離れたあと、もう一度押すまでロックを維持します。	

カスタムメニュー ➡ フォーカス/リリース

AF+MF	ON / ▶OFF	
	AFロック中にフォーカスリングを回して手動でピントを微調整できます。 - フォーカスモードを[AFS]にして、シャッターボタンを半押ししたとき [AF ON]ボタンを押したとき - Fnボタンの[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]でロックしたとき	
MFアシスト	フォーカスリング	▶ON / OFF
	AFモード	▶ON / OFF
	ジョイスティックを押す	ON / ▶OFF
	MFアシスト表示	全画面 / ▶PIP
	MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。 フォーカスリング: レンズでピント合わせをすると拡大表示されます。 AFモード:  ボタンを押すと拡大表示されます。 ジョイスティックを押す: ジョイスティックを押すと拡大表示されます。([ジョイスティック設定]を[ダイレクトフォーカス]に設定したとき)(→ 371) MFアシスト表示: MFアシスト(拡大画面)の表示方法(画面全体/画面の一部)を設定します。 - 以下の機能を使用中は、MFアシストは表示されません。 - 動画撮影 [6K/4Kプリ連写]	
	▶  /  / OFF	
MFガイド	MF時に、撮影距離の目安を示すMFガイドを画面に表示します。表示単位をメートルとフィートから選択できます。	

⚙ カスタムメニュー ➡ [AF] フォーカス/リリース

フォーカスリング ロック	ON / ▶OFF	
	MF中のフォーカスリング操作を無効にし、ピントを固定します。 - フォーカスリングのロック中は、撮影画面に[MFL]が表示されます。 - このメニューはFnボタンに登録できます。(➡ 313)	
AFモード表示の制限	自動認識(顔・瞳・人体・動物)	▶ON / OFF
	追尾	▶ON / OFF
	225点	▶ON / OFF
	ゾーン(縦・横)	▶ON / OFF
	ゾーン(四角)	ON / ▶OFF
	ゾーン(楕円)	▶ON / OFF
	1点+補助	▶ON / OFF
	ピンポイント	▶ON / OFF
	カスタム1	ON / ▶OFF
	カスタム2	ON / ▶OFF
	カスタム3	ON / ▶OFF
	AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定します。	
ピンポイントAF設定	ピンポイントAF時間	LONG / ▶MID / SHORT
	ピンポイントAF表示	全画面 / ▶PIP
	AFモードが[+]の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。	
	ピンポイントAF時間: シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。 ピンポイントAF表示: 拡大画面の表示方法(画面全体/画面の一部)を設定します。	

カスタムメニュー ➡ [AF] フォーカス/リリース

AFポイントスコープ 設定	拡大表示維持	ON / ▶OFF
	PIP表示	全画面 / ▶PIP
AFポイントスコープ(➡ 90)の拡大表示の設定を変更します。 拡大表示維持: [ON]に設定すると、Fnボタンを押したあと、もう一度押すまで拡大表示を維持します。 PIP表示: 拡大画面の表示方法(画面全体/画面の一部)を設定します。		
シャッター半押しAF	▶ON / OFF	
	シャッターボタン半押し時に、自動でピントを合わせます。	
シャッター半押し リリース	ON / ▶OFF	
	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。	
クイックAF	ON / ▶OFF	
	カメラのブレが小さくなると、カメラが自動でピントを合わせます。シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。 • バッテリーの消費が早くなる場合があります。 • 以下の場合、[クイックAF]は動きません。 – プレビューモード時 – 低照度時	
アイセンサーAF	ON / ▶OFF	
	ファインダーをのぞいてアイセンサーが動作したとき、AFが働きます。 • 低照度時は、[アイセンサーAF]が働かない場合があります。	
フォーカス枠の ループ移動	ON / ▶OFF	
	AFエリアやMFアシスト移動時に、画面の端から逆の端にループできるようにします。	
AFCの開始位置指定 (225点AF)	ON / ▶OFF	
	AFモードの[]でフォーカスモードを[AFC]にしているとき、どのエリアで[AFC]を開始するかを指定できます。 • 詳しくは、98ページをお読みください。	

⚙ カスタムメニュー ➡ 🖱 操作

Q.MENU設定	表示スタイル	▶MODE1 / MODE2
	前ダイヤルの割当	項目 / ▶設定値
	表示項目カスタマイズ(静止画)	
	表示項目カスタマイズ(動画)	
	クイックメニューのカスタマイズができます。 ・詳しくは、 324 ページをお読みください。	
タッチ設定	タッチパネル	▶ON / OFF
	タッチタブ	ON / ▶OFF
	タッチAF	▶AF / AF+AE
	タッチパッドAF	絶対位置 / 相対位置1～相対位置7 / ▶OFF
	モニター画面のタッチ操作を有効にします。 タッチパネル :すべてのタッチ操作。 タッチタブ :画面右に表示される[]などのタブ操作。 タッチAF :タッチした被写体にピントを合わせる操作([AF])。またはピントと明るさを合わせる操作([AF+AE])。 (→ 106) タッチパッドAF :ファインダー表示中のタッチパッド操作。 (→ 108)	
ロックレバー設定	カーソル	▶  / 
	ジョイスティック	▶  / 
	タッチパネル	▶  / 
	ダイヤル	▶  / 
	操作ロックレバーで操作を無効にする操作部を設定します。 (撮影画面のみ) カーソル :カーソルボタン、[MENU/SET]ボタン、および  ジョイスティック :ジョイスティック タッチパネル :タッチパネル ダイヤル :  、  および 	

カスタムメニュー ➡ 操作

Fn ボタン設定	撮影時設定
	再生時設定
	Fn ボタンに機能を登録できます。 • 詳しくは、 315 ページをお読みください。
WB/ISO/露出補正 ボタン	押している間／押した後1／▶押した後2
	[WB] (ホワイトバランス) ボタン、[ISO] (ISO 感度) ボタン、および [] (露出補正) ボタンを押したときの動作を設定します。 押している間: ボタンを押している間、設定の変更ができます。ボタンを離すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。 押した後1: ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。再度ボタンを押すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。 押した後2: ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。ボタンを押すごとに設定値が切り換わります。(露出補正を除く) 決定して撮影画面に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。
ISO 感度画面の操作	前/後ダイヤルの割当
	▶  ISO /  ISO /  ISO LIMIT /  ISO / OFF /  ISO /  ISO /  ISO LIMIT /  ISO / OFF ISO 感度の設定画面でのダイヤル動作を設定します。 [] を割り当てると、[ISO オート上限設定] を変更できます。
露出補正画面の操作	上/下ボタンの割当
	 / ▶ OFF 露出補正画面での ▼▲ ボタン動作を設定します。 [] を割り当てると、露出ブラケットの設定ができます。
	前/後ダイヤルの割当 ▶  /  /  /  / OFF /  /  /  / OFF 露出補正画面でのダイヤル動作を設定します。 [] を割り当てると、フラッシュ発光量を調整できます。

⚙ カスタムメニュー ➡ 🌞 操作

ダイヤル設定

F/SSダイヤルの割当

▶ 設定1 / 設定2 / 設定3 / 設定4 / 設定5

[P] / [A] / [S] / [M]モード時のダイヤルに割り当てる操作を設定します。

P↗: プログラムシフト、F: 絞り値、SS: シャッタースピード

		P	A	S	M
設定1		P↗	F	SS	F
		P↗	F	SS	SS
設定2		—	F	—	F
		P↗	—	SS	SS
設定3		—	—	SS	SS
		P↗	F	—	F
設定4		—	—	—	F
		P↗	F	SS	SS
設定5		P↗	F	SS	F
		—	—	—	SS

F/SSダイヤルの回転

▶   /  

絞り値とシャッタースピードを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。

コントロールダイヤルの割当

▶  (ヘッドホン音量) /
 /  (露出補正/絞り) /
 (露出補正) /  (ISO感度) /
 (フォーカス枠サイズ)

撮影画面で  に割り当てる機能を設定します。

[ / ]: [M]モード時は、絞り値を調整する操作を割り当てます。[M]モード以外の場合は、露出補正の操作を割り当てます。

カスタムメニュー ➡ 操作

ダイヤル設定 (続き)	露出補正のダイヤル割当	 /  / ▶OFF
	露出補正の操作を  または  に割り当てます。([M]モード時を除く) • [F/SSダイヤルの割当]の設定が優先されます。	
	ダイヤル動作切替設定	 
	Fnボタンの[ダイヤル動作切替]で、  または  に一時的に登録する機能を設定します。(➔ 322)	
	メニュー操作のダイヤル回転	▶   /   /   /  
メニューを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。		
ジョイスティック 設定	▶ダイレクトフォーカス / Fn / MENU / OFF	
	撮影画面でのジョイスティックの動作を設定します。 ダイレクトフォーカス : AFエリアやMFアシストを移動します。(➔ 105、110) Fn : Fnボタンとして動作します。 MENU :  として動作します。傾ける操作は無効になります。 OFF : ジョイスティックの操作を無効にします。	
ボタンイルミネーション	ON1 / ▶ON2 / OFF	
	イルミネーションボタンの点灯タイミングを設定します。以下のボタンがイルミネーションボタンとして点灯します。 - [▶]ボタン / [Q]ボタン /  ボタン /  ボタン / [DISP.]ボタン	
	ON1 : 電源が入っているときは常にボタンが点灯します。 ON2 : 電源スイッチを[:  :]にしたときにボタンが点灯します。 一定時間カメラを何も操作しないと消灯します。 OFF : ボタンは点灯しません。	

⚙ カスタムメニュー ➡ 📷 操作

リモコンの動画ボタン	シャッターリモコン(別売)の動画ボタンにお好みの機能を登録できます。 - 初期設定では、[動画撮影]が登録されています。 - 詳しくは、468ページをお読みください。
------------	---

⚙ カスタムメニュー ➡ 📺 モニター/表示(写真)

オートレビュー	時間(写真)	ホールド／5秒～1秒／▶OFF
	時間(6K/4K フォト)	▶ホールド／OFF
	時間(フォーカスセレクト)	▶ホールド／OFF
	再生操作優先	ON／▶OFF
	写真撮影後に撮影画像を表示します。 時間(写真): 写真撮影時のオートレビュー時間を設定します。 時間(6K/4K フォト): 6K/4K フォト撮影時のオートレビューを設定します。 時間(フォーカスセレクト): フォーカスセレクト撮影時のオートレビューを設定します。 再生操作優先: [ON]に設定すると、オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。 [時間(写真)]を[ホールド]に設定した場合、シャッターボタン半押しまで画像を表示します。[再生操作優先]は[ON]に固定されます。	
常時プレビュー (Mモード)	ON／▶OFF	
	設定	MFアシスト中のプレビュー
	[M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果やシャッタースピード効果を確認できます。 [MFアシスト中のプレビュー]を[ON]に設定すると、MFアシスト画面でもプレビューが働きます。 - フラッシュ使用時は働きません。 - このメニューはFnボタンに登録できます。(➡ 313)	

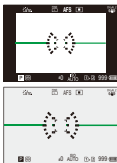
設定 カスタムメニュー → 表示/モニター/表示(写真)

ヒストグラム表示	ON / OFF ヒストグラムを表示します。 [ON]にすると、ヒストグラムの移動画面が表示されます。 ▲▼◀▶で位置を設定できます。ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。 - 撮影画面上でヒストグラムをドラッグしても位置を移動できます。 - ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。グラフの分布を見ることによって、現在の露出状況を判断できます。  暗い ← → 明るい - 以下の条件で撮影画像とヒストグラムが一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。 - 露出補正時 - フラッシュが発光するとき - 低照度時など適正露出にならないとき - 以下の機能を使用中は、[ヒストグラム表示]は働きません。 [WFM/ベクトルスコープ表示] - 撮影時のヒストグラムは目安です。 - このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 313)
写真グリッドライン表示	   / OFF 撮影画面に表示するグリッドラインのパターンを設定します。 [ [ - このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 313)

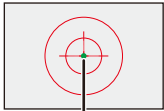
⚙️ カスタムメニュー ➡ 📺 モニター/表示(写真)

AFエリア表示	▶ON / OFF AFモードの[], [], [], [], [] ~ [] のAFエリアを表示します。 - 以下の場合は、AFエリアを表示しません。 - [] で [AFCの開始位置指定 (225点AF)] を使用していないとき - [] ~ [] で、AFエリアの形状を登録していないとき - 以下の機能を使用中は、[AFエリア表示] は動きません。 - 動画撮影 - 6K/4Kフォト		
ライブビューブースト	MODE1 / MODE2 / ▶OFF <table border="1"> <tr> <th>設定</th><th>P/A/S/M / ▶M</th></tr> </table> 暗い環境でも被写体や構図を確認しやすいように、画面を明るく表示します。 MODE1: 明るさ弱めで、滑らかに表示することを優先する設定です。 MODE2: 明るさ強めで、画像が見えることを優先する設定です。 [ライブビューブースト] が働く撮影モードは、[設定] で変更できます。 - 記録される画像に影響はありません。 - 記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。 - 以下の場合、[ライブビューブースト] は動きません。 - 露出を合わせるとき (シャッターボタンを半押ししたときなど) - 動画、6K/4Kフォト撮影中 - [フィルター設定] 使用中 - [常時プレビュー (Mモード)] 使用中 - このメニューはFnボタンに登録できます。(➡ 313)	設定	P/A/S/M / ▶M
設定	P/A/S/M / ▶M		

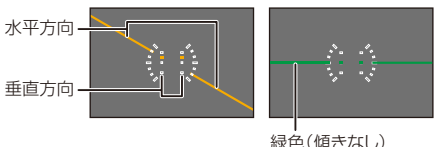
カスタムメニュー ➡ モニター/表示(写真)

ナイトモード	モニター	ON / ▶OFF
	LVF	ON / ▶OFF
	モニターやファインダーの表示を赤色にします。暗い環境で、画面のまぶしさにより周囲が見えにくくなることを軽減します。赤色で表示するときの輝度の設定もできます。	
	1 ▲▼◀▶ でモニターまたはファインダー(LVF)の[ON]を選ぶ 2 [DISP.]ボタンを押し、輝度調整の画面を表示する - モニターを調整するときはモニターを、ファインダーを調整するときはファインダーを表示してください。 3 ◀▶ で輝度を調整し、 または  を押す - HDMI出力する映像には、反映されません。 - このメニューはFnボタンに登録できます。(➡ 313)	
LVF/モニター表示設定	LVF表示設定	 / ▶ 
	モニター表示設定	 / ▶ 
	ライブビューを情報表示と重ならないように表示するか、全画面に表示するかを選択できます。	
	[]: 適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。 []: 画面いっぱいに像を表示し、画面の細部まで確認できます。 	
露出メーター	ON / ▶OFF	
	露出メーターを表示します。	
		
	[ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り、またはシャッタースピード設定時に露出メーターが表示されます。 - 一定時間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。	

⚙ カスタムメニュー ➡ 📺 モニター/表示(写真)

焦点距離	▶ON / OFF	
	ズーム操作中に、撮影画面に焦点距離を表示します。	
ハイライト表示	ON / ▶OFF	
	オートレビュー中、または画像を再生中に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。 • 再生画面で[DISP]ボタンを押したときの表示に、ハイライトなし表示が追加されます。ハイライト表示を消したいときに使います。(➡ 68)	
		
オーバーレイ表示	ON / ▶OFF	
	設定	透過度
		画像選択
		電源OFF時解除
	撮影済みの写真を撮影画面に重ねて表示します。 • [画像選択]で表示する写真を選んでください。◀▶で写真を選び、またはを押して決定します。 • 以下の機能を使用中は、[オーバーレイ表示]は働きません。 – 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] • このメニューはFnボタンに登録できます。(➡ 313)	
手ブレ状態スコープ	ON / ▶OFF	
	手ブレ状態を確認できるように、撮影画面に目安となる基準点を表示します。	
	• 以下の機能を使用中は、[手ブレ状態スコープ]は働きません。 – 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] • このメニューはFnボタンに登録できます。(➡ 313)	
		

カスタムメニュー ➡ モニター/表示(写真)

水準器表示	▶ON / OFF	
	カメラの傾きを補正するときに便利な、水準器を表示します。  - カメラが傾いていない状態では、水準器が緑色に変わります。 - 傾きが補正された状態でも、$\pm 1^\circ$程度の誤差が生じることがあります。 - カメラを大きく上や下に向けると、水準器が正しく表示できないことがあります。 - このメニューはFnボタンに登録できます。(➡ 313) - セットアップメニュー(モニター/表示)の[水準器調整]で、水準器の調整や、調整値のリセットができます。(➡ 385)	
スポット輝度メーター	ON / ▶OFF	
ライブビュー境界線表示	ON / ▶OFF	
	ライブビューの境界線を表示します。	
撮影画面の遷移 (モニター)	コントロールパネル	▶ON / OFF
	消灯画面	▶ON / OFF
	[DISP.]ボタンでの表示切り換え時に、コントロールパネルと消灯画面を表示します。(➡ 67)	

⚙️ カスタムメニュー ➡ 📺 モニター/表示(動画)

V-Logビューアシスト	LUTファイル読み込み	
	LUT選択	
	LUTビューアシスト (モニター)	ON / ▶OFF
	LUTビューアシスト (HDMI)	ON / ▶OFF
	LUTデータを適用した映像をモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりできます。 • 詳しくは、 265 ページをお読みください。	
HLGビューアシスト	モニター	MODE1 / ▶MODE2 / OFF
	HDMI	▶AUTO / MODE1 / MODE2 / OFF
	[HLG フォト]やHLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター／ファインダーに表示したり、HDMI出力したりします。 • 詳しくは、 268 ページをお読みください。	
アナモフィック デスクイーズ表示	2.0x / 1.8x / 1.5x / 1.33x / 1.30x / ▶OFF	
	アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。 • 詳しくは、 270 ページをお読みください。	
モノクロライブビュー	ON / ▶OFF	
	撮影画面を白黒で表示できます。 • 撮影時にHDMI出力する映像は、白黒表示になりません。 • [ナイトモード]使用中は、[モノクロライブビュー]は使用できません。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(➡ 313)	
センターマーカー表示	ON / ▶OFF	
	撮影画面の中心を示す[+]を表示します。	

カスタムメニュー ➡ モニター/表示(動画)

動画フレーム表示 設定	ON／▶OFF	
	設定	フレーム横縦比
		フレーム色
		フレームマスク
設定した横縦比のフレームを撮影画面に表示します。 • 詳しくは、 251 ページをお読みください。		
ゼブラパターン表示	ゼブラ 1／ゼブラ 2／ゼブラ 1+2／▶OFF	
	設定	ゼブラ 1
		ゼブラ 2
基準値より明るい部分をしま模様で表示します。 • 詳しくは、 250 ページをお読みください。		
WFM/ ベクトルス コープ表示	WAVE／VECTOR／▶OFF	
	撮影画面にウェーブフォーム、ベクトルスコープを表示します。 • 詳しくは、 247 ページをお読みください。	
カラーバー	SMPTE／EBU／ARIB	
	撮影画面にカラーバーを表示します。 • 詳しくは、 252 ページをお読みください。	
動画優先表示	ON／▶OFF	
	[iA]／[P]／[A]／[S]／[M]モード時に、撮影画面、ステータスLCDの表示やライブビューの画角を、[M]モードと同じように動画撮影に適したものに切り換えます。再生画面も動画を優先した表示に切り換わります。	
	• [フォーカスセレクト]設定時など、動画撮影できない設定にしているときは、[動画優先表示]が[OFF]に固定されます。	
	• 以下の機能を使用中は、[動画優先表示]は動画撮影中だけ働きます。 – 6K/4Kフォト – インターバル撮影 – コマ撮りアニメ – [画像横縦比]の[65:24]、[2:1] – [多重露出] • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 313)	

⚙️ カスタムメニュー ➡ 📺 モニター/表示(動画)

動画記録中の赤枠表示	ON / ▶OFF 撮影画面に、動画記録中であることを示す赤色の枠を表示します。
------------	---

⚙️ カスタムメニュー ➡ 📡 IN/OUT

撮影時 HDMI 出力	情報表示 (➡ 289)	▶ON / OFF
	ダウンコンバート (➡ 286)	▶AUTO / 4K/30p (4K/25p) / 1080p / 1080i / OFF
	HDMI記録制御 (➡ 289)	ON / ▶OFF
	HDMI音声ダウンコンバート (➡ 289)	AUTO / ▶OFF
	HDMI音声出力 (➡ 290)	▶ON / OFF
撮影中のHDMI出力を設定します。		
ファン動作モード	▶AUTO1 / AUTO2 / 標準 / 低速	
	ファンの動作を設定します。 AUTO1 : カメラの温度に応じて、ファンの動作を自動で切り換えます。カメラの温度上昇を抑えることを優先します。 AUTO2 : カメラの温度に応じて、ファンの動作を自動で切り換えます。ファンの動作音を抑えることを優先します。 標準 : 標準的な速度で、常にファンが動作します。 低速 : 低速で、常にファンが動作します。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(➡ 313)	
タリーランプ設定	▶前方/後方 / 前方のみ / 後方のみ / OFF	
	動画撮影時のタリーランプの点灯方法を選びます。	

カスタムメニュー ➡ レンズ/その他

レンズ位置メモリー	ON / ▶OFF 電源を切ったときのピントの位置を記憶します。	
フォーカスリング 制御	▶ノンリニア / リニア	
	設定	90度～360度 (▶150度) / 最大
	フォーカスリングでピントを移動する量を設定します。(対応レンズ使用時) ノンリニア: フォーカスリングの回転速度に応じて、加速度をつけてピントを移動します。 リニア: フォーカスリングの回転角度に応じた一定の量でピントを移動します。 設定: [リニア]選択時、フォーカスリングの回転角度を設定します。	
	このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 313)	
レンズ情報	Lens1～Lens12 (▶Lens1)	
	本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、レンズ情報を登録します。 写真メニュー(その他(静止画))の[手ブレ補正]の[レンズ情報]と連動しています。詳しくは、158ページをお読みください。	
レンズ情報確認表示	▶ON / OFF 本機との通信機能がないレンズを取り付けてカメラの電源を入れると、レンズ情報の確認メッセージを表示します。	

セットアップメニュー

▶: 初期設定

セットアップメニュー ➡ カード/ファイル

フォーマット	スロット1 / スロット2	
	カードをフォーマット(初期化)します。 ・詳しくは、 53 ページをお読みください。	
ダブルスロット機能	記録方法	 /  / 
	カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定します。 ・詳しくは、 83 ページをお読みください。	
フォルダー/ファイル設定	フォルダー選択 / 新規フォルダー作成 / ファイル名設定	
	画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。 ・詳しくは、 84 ページをお読みください。	
ファイル番号リセット	スロット1 / スロット2	
	次に撮影する画像のファイル番号を0001にします。 ・詳しくは、 86 ページをお読みください。	
著作権情報	撮影者	ON /  OFF / 設定
	著作権者	ON /  OFF / 設定
	著作権情報の表示	
	登録した撮影者、著作権者の名称を、画像のExif情報に記録します。 ・[撮影者]、[著作権者]の[設定]から、それぞれの名称を登録できます。 文字の入力方法については、 401 ページをお読みください。	
	・入力できる文字数は最大63文字です。 ・登録した著作権情報は、[著作権情報の表示]で確認できます。 ・AVCHD動画には著作権情報を記録できません。	

🔧 セットアップメニュー ➡ 📺 モニター/表示

エコモード	スリープモード	10分／▶5分／2分／1分／OFF
	スリープモード(Wi-Fi)	▶ON／OFF
	LVF/モニター自動OFF	▶5分／2分／1分／OFF
	省電力ファインダー撮影	スリープするまでの時間
		動作する条件
	一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。 • 詳しくは、 49ページ をお読みください。	
モニター表示速度	30fps／▶60fps	
	写真撮影時におけるモニターのライブビュー表示速度を設定します。 30fps ：電力消費を抑え、使用時間が長くなります。 60fps ：動きを滑らかに表示できます。 • 以下の機能を使用中は、[モニター表示速度]は動きません。 － 6K/4Kフォト － HDMI出力	
LVF表示速度	▶60fps／120fps	
	写真撮影時におけるファインダーのライブビュー表示速度を設定します。 60fps ：電力消費を抑え、使用時間が長くなります。 120fps ：動きを滑らかに表示できます。 • [120fps]で表示中は、ファインダーに[LVF120]が表示されます。 • 以下の機能を使用中は、[LVF表示速度]は動きません。 － 6K/4Kフォト － HDMI出力	

 セットアップメニュー ➡ モニター/表示

モニター調整／ LVF調整	明るさ／コントラスト／彩度／赤み／青み モニター／ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整します。 ▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する  または  を押して決定する - モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。
モニター輝度／ LVF輝度	▶AUTO／-3～+3 モニター／ファインダーの輝度を調整します。 AUTO:周囲の明るさに応じて、自動で明るさを調整します。 - モニター表示時はモニターの、ファインダー表示時はファインダーの輝度を調整します。 [AUTO]または調整値をプラス側に設定中は、使用時間が減少します。 [ナイトモード]使用中は、[モニター輝度]／[LVF輝度]は使用できません。
バッテリー残量表示	▶ / % バッテリー残量を、目盛り表示または%表示に切り換えます。

 セットアップメニュー → モニター/表示

ステータスLCD	文字/背景色	▶  / 
	ステータスLCDの文字色、背景色を変更します。	
	 : 文字を白色、背景を黒色にします。	
	 : 文字を黒色、背景を白色にします。	
	バックライト	▶ H / L / OFF
アイセンサー	ステータスLCDバックライトの点灯方法を設定します。	
	H : ステータスLCDバックライトを明るめにします。	
	L : ステータスLCDバックライトを暗めにします。	
	OFF : ステータスLCDバックライトを点灯しません。	
	電源OFF中の表示	▶ ON / OFF
水準器調整	[ON]に設定すると、電源が切れているときでも、ステータスLCDに以下を表示します。	
	- バッテリー残量	
	- カードスロット	
	- 静止画撮影枚数/動画記録時間	
	- Wi-Fi / Bluetooth接続状態	
水準器調整	- 充電中/充電完了/充電エラーの表示	
	感度	▶ 強 / 弱
	アイセンサーの感度を設定します。	
	LVF/モニター切換	▶ LVF/MON AUTO (ファインダー/モニター自動切換) / LVF (ファインダー表示) / MON (モニター表示)
	ファインダー表示/モニター表示の切り換えを設定します。	
水準器調整	調整	
	カメラを水平な状態にし、  または  を押してください。水準器が調整されます。	
	調整値リセット	
水準器調整	水準器の調整値を初期設定に戻します。	

🔧 セットアップメニュー ➡ 📶 IN/OUT

電子音	電子音音量	🔊 (大) / 🔊 (小) / 🚫 (OFF)
	合焦音音量	🎵 (大) / 🎵 (小) / 🚫 (OFF)
	合焦音音色	🎵① (パターン1) / 🎵② (パターン2) / 🎵③ (パターン3)
	電子シャッター音音量	🔊 (大) / 🔊 (小) / 🚫 (OFF)
	電子シャッター音音色	🎵① (パターン1) / 🎵② (パターン2) / 🎵③ (パターン3)
	電子音や合焦音、電子シャッター音を設定します。 • [サイレントモード]使用中は、[電子音音量]、[合焦音音量]、[電子シャッター音音量]は[OFF]に固定されます。	
ヘッドホン音量	0～LEVEL15 (▶LEVEL3)	
	ヘッドホンを接続したときの音量を調整します。 • 動画メニュー (音) の[ヘッドホン音量]と連動します。 • 詳しくは、296ページをお読みください。	
Wi-Fi	Wi-Fi機能 (➡ 402)	
	Wi-Fi設定 (➡ 446)	
Bluetooth	Bluetooth (➡ 405)	
	スマートフォンに画像を送る (➡ 427)	
	リモート起動 (➡ 422)	
	スリープモードからの復帰動作 (➡ 417)	
	自動画像転送 (➡ 419)	
	位置情報記録 (➡ 421)	
	自動時刻合わせ (➡ 423)	
	Wi-Fiネットワーク設定	
	Wi-Fiネットワーク設定: Wi-Fiの無線アクセスポイントを登録します。Wi-Fi接続で無線アクセスポイントを使用すると、自動で登録されます。	

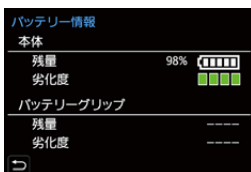
🔧 セットアップメニュー → 📶 IN/OUT

USB	USBモード	▶ 🖨️ 接続時に選択／ 🖥️ PC(Storage)／ 📶 PC(Tether)／ 🖨️ PictBridge(PTP)
	USB接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。 🖨️ 接続時に選択 ：機器と接続したときにUSB通信方式を選びます。 🖥️ PC(Storage) ：パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。 📶 PC(Tether) ：「LUMIX Tether」をインストールしたパソコンでカメラを操作する場合に設定します。 🖨️ PictBridge(PTP) ：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。	
	USB給電	▶ ON／OFF
	USB接続ケーブルから給電します。(→ 46) • ACアダプターに接続したときは、[OFF]に設定していても給電されます。	

🔑 セットアップメニュー → 📶 IN/OUT

バッテリー情報

バッテリーの残量と劣化度を表示します。
満充電してもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、
バッテリーの寿命です。バッテリーの状態を確認して、新しい
バッテリーと交換してください。



残量: バッテリーの残量をパーセント(1%単位)と目盛りで表示します。

劣化度:

■■■■ (緑) 劣化なし

■■■ (緑) 劣化度低

■■ (緑) 劣化度中

■ (赤) 劣化度高。新しいバッテリーと交換してください。

- バッテリーの特性として、周囲の温度が低いと、バッテリーに充電できる容量が少なくなります。新品のバッテリーでも、約5℃以下の低温で充電した場合、[バッテリー情報]で劣化度が高く表示されることがあります。10℃～30℃で再度充電すると、劣化度の表示は「劣化なし」に戻ります。

バッテリー使用順序

本体優先／▶BG優先

カメラとバッテリーグリップの両方にバッテリーを装着している場合に、どちらのバッテリーを先に使用するかを選択します。

- 詳しくは、[467](#)ページをお読みください。

 セットアップメニュー → IN/OUT

テレビ接続設定	HDMI 出力解像度 (再生時)	▶AUTO / C4K/60p / C4K/50p / C4K/30p / C4K/25p / C4K/24p / 4K/60p / 4K/50p / 4K/30p / 4K/25p / 4K/24p / 1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p
	再生時のHDMI出力解像度を設定します。	
	AUTO :接続したテレビに合わせた解像度で出力します。	
	• [システム周波数]の設定により、選択できる項目が異なります。 • [AUTO]に設定して映像がテレビに出ない場合は、テレビが表示できる[AUTO]以外の設定に切り換えてください。(テレビの取扱説明書もお読みください)	
	LUTビューアシスト (HDMI)	ON / ▶OFF
	[フォトスタイル]を[V-Log]に設定して記録した動画を再生するときに、LUT(ルックアップテーブル)データを適用した映像をHDMI出力します。 • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[V-Logビューアシスト]の[LUTビューアシスト(HDMI)]と連動しています。詳しくは、265ページをお読みください。	
	HLGビューアシスト (HDMI)	▶AUTO / MODE1 / MODE2 / OFF
	[HLG フォト]やHLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。 • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[HDMI]と連動しています。詳しくは、268ページをお読みください。	
	ピエラリンク	ON / ▶OFF
HDMI ケーブルを使ってカメラをピエラリンク対応機器に接続すると、機器側のリモコンで操作ができます。 • 詳しくは、453ページをお読みください。		

 セットアップメニュー → IN/OUT

テレビ接続設定 (続き)	画像背景色(再生時)	 / 
	テレビなどに出力する際に画像の上下や左右に付く帯の色を設定します。 • 出力先画面の焼き付き防止のため、  に設定することをお勧めします。	
	写真出力輝度レベル	0-255 /  16-255
カードアクセスランプ	▶ON / OFF	
	カードアクセス中に、カードアクセスランプを点灯します。	

 セットアップメニュー → 設定

カスタムモード登録	C1 / C2 / C3-1 ~ C3-10
	現在のカメラの設定内容を登録できます。 • 詳しくは、 329 ページをお読みください。
カスタムモード内容の呼出	C1 / C2 / C3-1 ~ C3-10
	登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。 • 詳しくは、 332 ページをお読みください。
カスタムモード設定	カスタムモード表示の制限
	名称変更
	登録内容の呼出タイミング
	カスタムモードの呼出範囲
カメラ設定の保存 / 読み込み	カスタムモードの使いやすさの設定をします。 • 詳しくは、 330 ページをお読みください。
	保存 / 読み込み / 消去 / カードフォーマット時に保持 カメラの設定情報をカードに保存します。保存した設定情報はカメラに読み込みできるため、複数のカメラを同じ設定にできます。 詳しくは、 335 ページをお読みください。

🔧 セットアップメニュー ➡ ⚙️ 設定

設定リセット	カメラの設定を初期設定に戻します。 詳しくは、74ページをお読みください。
--------	--

🔧 セットアップメニュー ➡ ⋮ その他

時計設定	日付や時刻を設定します。 詳しくは、57ページをお読みください。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。 ◀▶ でタイムゾーンを選び、 または  を押して決定してください。  サマータイム [] (夏時間)を採用している場合は、▲を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度▲を押してください。
システム周波数	▶59.94Hz(NTSC) / 50.00Hz(PAL) / 24.00Hz(CINEMA) 本機で撮影、再生する動画のシステム周波数を切り換えます。 詳しくは、216ページをお読みください。
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化を行います。 - 撮像素子と画像処理は、初期設定で最適な状態になっています。被写体でない明るい点が記録される場合に、本機能をお使いください。 - 終了後は、電源を入れ直してください。

 セットアップメニュー → その他

センサークリーニング	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。 ダストリダクション機能は電源スイッチを[ON]にすると自動で働きます。特にごみが気になるときに、本機能をお使いください。
バージョン表示	ファームウェアアップデート／ソフト情報 カメラ本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。ファームウェアアップデートの実行や、カメラのソフトウェア情報の表示もできます。 ファームウェアアップデート:アップデートを実行します。 26ページのサイトからファームウェアをダウンロードする - カードのルートディレクトリー(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)にファームウェアを保存し、カメラに挿入する [ファームウェアアップデート]を選んで  または  を押し、[はい]を選んでアップデートを実行する ソフト情報:カメラのソフトウェアに関する情報を表示します。 - XLRマイクロホンアダプターなどの対応別売品を装着中は、別売品のファームウェアバージョンも確認できます。
取扱説明書のWebサイト	URL表示／QRコード表示 「取扱説明書」(PDF形式)をダウンロードするためのURLまたはQRコードを表示します。
CLUB Panasonic登録	URL表示／QRコード表示 CLUB Panasonicに登録するためのURLまたはQRコードを表示します。 詳しくは、545ページをお読みください。
認証情報	電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

再生メニュー



・本機以外で撮影された画像は、本機で正しく再生、編集できない場合があります。

❖ 再生メニューでの画像の選び方

画像を選ぶ画面が表示されたときは、以下の手順で選択してください。

- ・[1枚設定]または[複数設定]が選べない場合は、[1枚設定]と同じ選び方になります。
- ・カードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、[>]ボタンを押してカードスロットを選択してください。
- ・一度に選択できるのは、1枚のカード内の画像だけです。

[1枚設定]選択中

- 1  で画像を選ぶ
- 2  または  を押す
 - ・画面右下に[設定/解除]と表示される場合、もう一度  または  を押すと設定が解除されます。



[複数設定]選択中

- 1     で画像を選び、 または  を押す(繰り返す)
 - ・設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。
- 2 [DISP.]ボタンを押して実行する



[プロテクト]を選んだとき

-     で画像を選び、 または  で設定する(繰り返す)
- ・設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。



▶: 初期設定

▶ 再生メニュー → 表示方法

再生モード	▶ 通常再生 / 写真のみ / 動画のみ / HLGのみ 再生する画像の種類を絞り込みます。
スライドショー	全画像 / 写真のみ / 動画のみ / HLGのみ 画像の種類を選び、一定間隔で順番に再生します。 開始: スライドショー再生を開始します。 再生間隔: 画像を再生する間隔を選びます。 リピート: リピート再生を設定します。 スライドショー中の操作 ▲: 再生 / 一時停止 [▶] / [⏸] をタッチしても同じ操作ができます。 ◀: 前の画像へ ▶: 次の画像へ ▼: スライドショーを終了する ⚙️: 音量の調整 [−] / [+] をタッチしても同じ操作ができます。 • [動画のみ] を設定したときは、[再生間隔] は使用できません。
縦位置自動回転	▶ ON / OFF カメラを縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。
画像表示順	ファイル名 / ▶ 撮影日時 本機で画像を再生するときの表示順を設定します。 ファイル名: フォルダー名 / ファイル名の順番で表示します。 撮影日時: 画像が撮影された日時の順番で表示します。 • 別のカードを入れたときは、すべてのデータを読み込むまで時間がかかるため、設定した順番で表示されない場合があります。

▶ 再生メニュー → 表示方法

AF位置から拡大	ON / ▶OFF AFでピントの合った位置を表示します。画像を拡大するときにAFでピントの合った位置を中心に拡大します。 • [ハイレゾモード]で撮影した場合や、ピントが合っていない場合は、画像の中央を拡大します。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 313)
LUTビューアシスト (モニター)	ON / ▶OFF [フォトスタイル]を[V-Log]に設定して記録した動画を再生するときに、LUTデータを適用した映像をモニター/ファインダーに表示します。 • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[V-Logビューアシスト]の[LUTビューアシスト(モニター)]と連動しています。詳しくは、265ページをお読みください。
HLGビューアシスト (モニター)	MODE1 / ▶MODE2 / OFF [HLG フォト]やHLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。 • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[HLGビューアシスト]の[モニター]と連動しています。詳しくは、268ページをお読みください。
アナモフィックデスクイーズ表示	2.0x / 1.8x / 1.5x / 1.33x / 1.30x / ▶OFF アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。 • カスタムメニュー(モニター/表示(動画))の[アナモフィックデスクイーズ表示]と連動しています。詳しくは、270ページをお読みください。

▶ 再生メニュー → 画像の加工

RAW現像	RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。[HLG フォト]で撮影したRAW画像を、HLG形式で保存することもできます。 • 詳しくは、307ページをお読みください。
-------	---

▶ 再生メニュー ➡ 画像の加工

6K/4Kフォト一括保存	6K/4K連写ファイルから、5秒分の写真を一括で保存できます。 詳しくは、131ページをお読みください。
6K/4Kフォトノイズ低減	▶AUTO / OFF 写真を保存するときに、高いISO感度によって発生したノイズを低減します。 詳しくは、128ページをお読みください。
インターバル動画作成	[インターバル撮影]で撮影したグループ画像から動画を作成します。 ◀▶で[インターバル撮影]のグループを選び、 または  を押す - 動画の作成方法を選び、動画化する - 詳しくは、138ページをお読みください。 [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[インターバル動画作成]は使用できません。
コマ撮りアニメ作成	[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。 ◀▶でコマ撮りグループを選び、 または  を押す - 動画の作成方法を選び、動画化する - 詳しくは、138ページをお読みください。 [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、[コマ撮りアニメ作成]は使用できません。

▶ 再生メニュー → 情報の付与・削除

プロテクト	1枚設定／複数設定／全解除
	誤って消去することがないように、画像にプロテクトを設定できます。ただし、カードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。 • 画像の選び方については、393ページをお読みください。 • [全解除]で一度に設定を解除できるのは、1枚のカード内の画像だけです。 • [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合があるためお気をつけください。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 313)
レーティング	1枚設定／複数設定／全解除
	画像に5段階のレベルに分けたレーティングを設定すると、以下のことができます。 • レーティングを設定した画像以外を消去する。 • Windows 10、Windows 8.1、Windows 8などのファイルの詳細表示で、レーティングのレベルを確認する。(JPEG画像のみ) 1 画像を選ぶ(→ 393) 2 ◀▶ でレーティングのレベル(1～5)を選び、 または  を押す • [複数設定]を選択したときは、手順1、2を繰り返してください。 • 設定を解除するには、レーティングのレベルを[OFF]にしてください。 • [全解除]で一度に設定を解除できるのは、1枚のカード内の画像だけです。 • AVCHD動画は、「5」にだけ設定できます。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 313)

▶ 再生メニュー → ✂ 画像の編集

リサイズ(縮小)	1枚設定／複数設定 ホームページ用やメール添付で送信しやすいように、JPEG 画像の容量(画像サイズ)を小さくして、別の画像として保存します。 • 画像の選び方については、393ページをお読みください。 – [1枚設定]選択時は、画像を選んだあとに、▲▼でサイズを選んで  または  を押してください。 – [複数設定]選択時は、画像を選ぶ前に、▲▼でサイズを選んで  または  を押してください。 • [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。 • リサイズ(縮小)すると画質が粗くなります。 • 以下の機能を使用して撮影した画像には、[リサイズ(縮小)]は使用できません。 – 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] – グループ画像 – [画像横縦比]の[65:24]、[2:1] – [写真画質]の[RAW] – [HLGフォト] – [ハイレゾモード] – C4K動画から作成した写真
画像回転	画像を手動で90°ずつ回転させます。  :時計回りに90°回転します。  :反時計回りに90°回転します。 • 画像の選び方については、393ページをお読みください。
動画分割	撮影した動画や6K/4K連写ファイルを2つに分割します。 • 詳しくは、311ページをお読みください。

再生メニュー ➡ ✂ 画像の編集

画像コピー

コピー方向

▶ **1**→**2** / **2**→**1**

画像選択コピー／フォルダー内全画像コピー／
カード内全画像コピー

カード内の画像をもう一方のカードにコピーできます。

- コピーするときは、新しいフォルダーを作成し保存します。

画像選択コピー：画像を選んでコピーします。

1 コピーする画像の入ったフォルダーを選ぶ

2 画像を選ぶ(➡ 393)

フォルダー内全画像コピー：フォルダー内のすべての画像をコピーします。

1 コピーするフォルダーを選ぶ

2 コピーする画像を確認し、 または  を押して実行する

カード内全画像コピー：カード内のすべての画像をコピーします。

FN ボタンで画像をコピーする

1枚再生中に[画像コピー]を登録したFnボタンを押すと、再生中の画像をもう一方のカードにコピーします。

- 以下の選択肢からコピー先のフォルダーを選んでください。グループ画像の場合は[新規作成]が自動で選ばれます。

コピー元と同じフォルダー番号：コピーする画像と同じ名前のフォルダーにコピーします。

新規作成：フォルダー番号を繰り上げて新規フォルダーを作成し、コピーします。

フォルダー選択：保存するフォルダーを選んでコピーします。

- [画像選択コピー]で一度に設定できるのは100枚までです。
- [プロテクト]の設定内容はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- AVCHD動画はコピーできません。

▶ 再生メニュー ➡ 画像の編集

画像コピー (続き)	- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画、6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]で撮影した画像のコピーはできません。 – SDXC メモリーカードから、SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードへのコピー
---------------	---

▶ 再生メニュー ➡ その他

消去確認画面	「はい」がはじめ／▶「いいえ」がはじめ
	画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい]／[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。 「はい」がはじめ：最初に[はい]が選ばれます。 「いいえ」がはじめ：最初に[いいえ]が選ばれます。

文字の入力

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 文字を入力する

- ▲▼◀▶ で文字を選び、入力する文字が表示されるまで  または  を押します。(繰り返す)
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、 または  を右側に回して入力位置を移動してください。
- 項目を選んで  または  を押すと、以下の操作ができます。
 - [切換]:  (ひらがな)、 (カタカナ)、 /  (アルファベット)、 (数字)、 (記号)に文字を切り換え
 - []: 空白を入力
 - [消去]: 文字を消去
 - [<]: 入力位置を左に移動
 - [>]: 入力位置を右に移動
- パスワードを入力するときは、入力した文字数／入力できる文字数  が表示されます。



2 入力を終了する

- [決定]を選び、 または  を押します。

16. Wi-Fi / Bluetooth

本章では、カメラのWi-Fi® / Bluetooth®機能について説明します。

スマートフォンからリモート操作する



スマートフォン用アプリ
「LUMIX Sync」を使って
リモート撮影や画像の転送が
できます。

→403

カメラから画像を転送する



カメラを操作してスマート
フォンやパソコンなどへ画像
の転送ができます。

→424

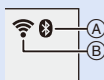
本書ではスマートフォンとタブレットを併せて**スマートフォン**と表記します。



● Wi-Fi / Bluetooth機能の動作確認

Wi-Fi / Bluetooth機能の動作を、ステータスLCDやモニターの[] / []で確認できます。

ステータスLCD表示 モニター表示



- ① Bluetooth機能をオンに設定しているとき、または接続中
- ② Wi-Fi機能をオンに設定しているとき、または接続中
カメラ操作による画像データ送信時は、ステータスLCDの[]が点滅し、モニターに[]が表示されます。

- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。
- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に通信が切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォンと接続する

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Sync」(以降は「LUMIX Sync」と表記)をインストールしたスマートフォンと接続します。「LUMIX Sync」を使うと、リモート撮影や画像の転送ができます。

スマートフォン接続の流れ

1	スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする(→ 404) ネットワークに接続して、「LUMIX Sync」  をインストールします。	
2	スマートフォンと接続する スマートフォンに合った接続方法で、カメラとスマートフォンを接続します。 Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンの場合 • Bluetooth接続(→ 405) 簡単な接続設定(ペアリング)で接続します。	Bluetooth Low Energyに非対応のスマートフォンの場合 • Wi-Fi接続(→ 409) Wi-Fiで接続します。QRコードを使って簡単に接続することもできます。
3	スマートフォンでカメラを操作する(→ 414) 「LUMIX Sync」を使って、以下の操作ができます。 • リモート撮影(→ 415) • シャッターリモコン(→ 416) • 画像取り込み(→ 417) • 自動画像転送(→ 419) • 位置情報記録(→ 421) • リモート起動(→ 422) • 自動時刻合わせ(→ 423) • カメラ設定コピー(→ 423) 	

- カメラを操作してスマートフォンに画像を転送することもできます。詳しくは、424ページの「カメラから画像を送る」をお読みください。

「LUMIX Sync」のインストール

「LUMIX Sync」はパナソニック株式会社が提供するスマートフォン用アプリケーションです。



対応OS

Android™: Android 5以上

iOS: iOS 11以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ストア」を選ぶ
(iOS)「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic LUMIX Sync」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic LUMIX Sync」を選び、インストールする



- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2019年8月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 対応OSや「LUMIX Sync」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容がお使いの機器と一部異なる場合があります。
- 操作方法などについて詳しくは、「LUMIX Sync」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「LUMIX Sync」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>
- 4G (LTE) や 3G などの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)

簡単な接続設定(ペアリング)で、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続します。ペアリング設定をすると、スマートフォンとのWi-Fi接続も自動で行います。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。2回目以降の接続については、[407ページ](#)をお読みください。

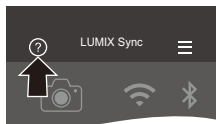
対応スマートフォン

Android™: Android 5以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載
(Bluetooth Low Energy非対応の一部の端末を除く)

iOS: iOS 11以上

1 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- 機器(カメラ)登録についてのメッセージが表示されます。「次へ」を選んでください。
- メッセージを閉じた場合は、**[?] (①)**を選び、[カメラの登録(ペアリング)]からカメラを登録してください。
- スマートフォンのBluetooth機能がオフになっている場合は、メッセージが表示されます。
(Android機器)Bluetooth機能をオンにすることを許可してください。
(iOS機器)メッセージに従って、スマートフォンの設定画面でBluetooth機能をオンにしてから、「LUMIX Sync」を表示してください。



2 表示されるガイドの内容を確認し、カメラを登録する画面が表示されるまで、「次へ」を選ぶ

スマートフォンのガイドに従って、カメラを操作します。

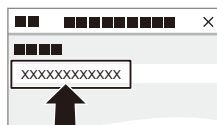
3 カメラを Bluetooth のペアリング待機状態にする

-  ⇒  ⇒  ⇒
[Bluetooth] ⇒ [Bluetooth] ⇒
[設定] ⇒ [ペアリング]
- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名 **A** が表示されます。



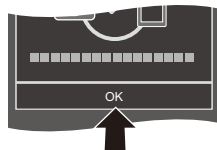
4 スマートフォンでカメラのデバイス名を選ぶ

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。



5 機器の登録が完了したメッセージが表示されたら、[OK]を選ぶ

- カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されます。



- ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。
- Bluetooth 接続中は、撮影画面に  が表示されます。Bluetooth 機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、 が半透明で表示されます。
- スマートフォンは16台まで登録できます。16台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。
- (iOS 機器) Bluetooth 接続中の Wi-Fi 接続に失敗する場合は、表示されるメッセージに従ってカメラとの接続を許可してください。それでも接続できない場合は、スマートフォンの Wi-Fi 設定画面でカメラの SSID を選択して接続してください。SSID が表示されない場合は、カメラの電源を入れ直してから、もう一度 Bluetooth 接続の設定をしてください。

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [OFF] を選ぶ



• 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリング済みスマートフォンとの接続

ペアリング済みのスマートフォンとは、以下の手順で接続できます。

① カメラのBluetooth機能を有効にする

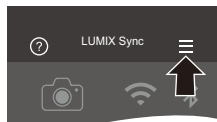
•  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ON]

② スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

• カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

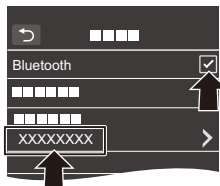
③ [] を選ぶ

④ [Bluetooth設定] を選ぶ



⑤ Bluetooth をオンにする

⑥ [登録済みの機器] の項目からカメラのデバイス名を選ぶ



- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは1つです。
- ペアリングに時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペアリング設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。

❖ ペ어링の解除

① カメラのペアリング設定を解除する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [設定] ⇒ [解除]

② ペ어링を解除するスマートフォンを選ぶ



- スマートフォン側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続)

カメラとBluetooth Low Energyに非対応のスマートフォンをWi-Fiで接続します。初期設定では、パスワードを入力せずに、簡単にスマートフォンと接続できます。パスワード認証を使って、セキュリティを強化して接続することもできます。

- Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンでも、同じ操作でWi-Fi接続できます。

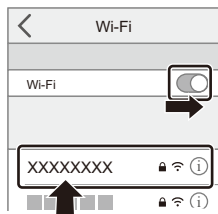
1 カメラをWi-Fiの接続待機状態にする

-  →  →  →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] →
[新規に接続する] →
[スマートフォンとつないで使う]
- 画面にカメラのSSID(A)が表示されます。
- [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。Fnボタンについては、[313](#)ページをお読みください。



2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をオンにする

3 カメラに表示されたSSIDを選ぶ



4 スマートフォンで 「LUMIX Sync」を起動する



5 (初回接続時) カメラに表示される機器名称を 確認して[はい]を選ぶ



- 実際に接続したい機器とは別の機器が表示されている場合でも、[はい]を選ぶとそのまま接続されます。お近くに別のWi-Fi接続機器がある場合などは、QRコードまたは手動入力によるパスワード認証での接続をお勧めします。
(→ 411)

❖ パスワード認証を使って接続する

QRコードまたは手動入力によるパスワード認証を使うと、Wi-Fi接続のセキュリティを強化できます。

QRコードを読み取って接続する

① カメラの[Wi-Fiパスワード]を[ON]にする

- → → [Wi-Fi] → [Wi-Fi設定] → [Wi-Fiパスワード] → [ON]

② QRコード(A)を表示する

- → → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]
- [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。Fnボタンについては、[313ページ](#)をお読みください。
- または を押すと、QRコードが拡大表示されます。



③ スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

④ を選ぶ

⑤ [Wi-Fi接続]を選ぶ

⑥ [QRコード]を選ぶ

⑦ カメラの画面に表示されているQRコードを「LUMIX Sync」で読み取る

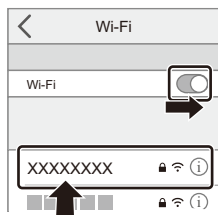
- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。



- (iOS機器)Wi-Fi接続に失敗する場合は、表示されるメッセージに従ってカメラとの接続を許可してください。それでも接続できない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定画面でカメラのSSIDを選択して接続してください。SSIDが表示されない場合は、カメラの電源を入れ直してから、もう一度Wi-Fi接続の設定をしてください。

パスワードを手動入力して接続する

- ① 411 ページ手順 ② の画面を表示する
- ② スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする



- ③ Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID ⑧ を選ぶ
- ④ (初回接続時) カメラに表示されたパスワード ⑧ を入力する
- ⑤ スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する



❖ 初期設定以外の接続方法

[ネットワーク経由]や[直接接続]の[WPS接続]で接続する場合は、以下の操作をしてください。

- ① カメラの接続方法の設定画面を表示する
 - **MENU/SET** ⇒ **[]** ⇒ **[Wi-Fi]** ⇒ **[Wi-Fi機能]** ⇒ **[新規に接続する]** ⇒ **[スマートフォンとつないで使う]**
- ② **[DISP.]** ボタンを押す

ネットワーク経由で接続する

- 1 [ネットワーク経由]を選び、**MENU/SET** または **[]** を押す
 - 438 ページの接続方法に従ってカメラを無線アクセスポイントに接続してください。
- 2 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- 3 カメラが接続している無線アクセスポイントに、スマートフォンを接続する
- 4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

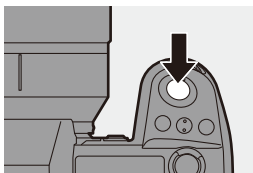
直接接続で接続する

- 1 [直接接続]を選び、**MENU/SET** または  を押す
 - [WPS接続]を選び、441ページの接続方法に従って、カメラをスマートフォンに接続してください。
- 2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

Wi-Fi接続を終了する

カメラとスマートフォンのWi-Fi接続を終了するには、以下の操作をしてください。

- 1 カメラを撮影モードにする
 - シャッターボタンを半押しします。



- 2 Wi-Fi接続を終了する
 - **MENU/SET** ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [はい]
 - [Wi-Fi]を登録したFnボタンを押しても同じ操作ができます。Fnボタンについては、313ページをお読みください。



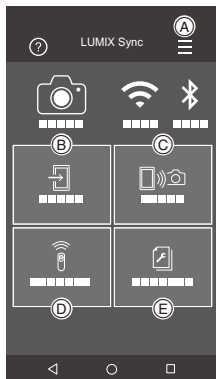
- 3 スマートフォンで「LUMIX Sync」を終了する

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンからカメラを操作する機能について説明します。本書で **Bluetooth** の記号を付けて説明している機能は、Bluetooth Low Energy に対応したスマートフォンが必要です。

❖ ホーム画面

「LUMIX Sync」を起動すると、ホーム画面が表示されます。



(A) 	アプリ設定(→407、411、422) 接続の設定やカメラの電源操作、ヘルプの表示などをします。
(B) 	画像取り込み(→417)
(C) 	リモート撮影(→415)
(D) 	シャッターリモコン(→416)
(E) 	カメラ設定コピー(→423)

リモート撮影

離れた場所のカメラのライブビュー映像を確認しながら、スマートフォンで撮影できます。

準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→405、409)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

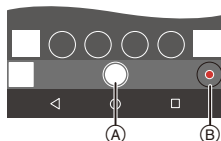
1 ホーム画面で[(リモート撮影)を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。

2 撮影する

(A)	写真撮影
(B)	動画撮影開始／終了

- 撮影した画像はカメラに保存されます。



- 設定など一部利用できないものがあります。

❖ リモート撮影中の操作方法

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。



⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定] ⇒ [リモート優先操作設定]を選ぶ

 カメラ	カメラとスマートフォンの両方で操作できます。 • ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できません。
 スマートフォン	スマートフォンでだけ操作できます。 • ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できます。 • リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了]を選んでください。

- 初期設定は[カメラ]に設定されています。



- 接続中は、設定を変更できません。

シャッターリモコン

Bluetooth

スマートフォンをシャッターリモコンとして使うことができます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 405)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で[](シャッターリモコン)を選ぶ

2 撮影する

	動画撮影開始／終了
	写真撮影 • バルブ撮影(→ 416)



❖ バルブ撮影

撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるため、星空や夜景の撮影に便利です。

準備:

- カメラを[M]モードにする(→ 166)
- カメラのシャッタースピードをB(バルブ)に設定する(→ 168)

① []をタッチして、撮影を開始する(タッチしたまま、指を離さない)

② []から指を離して、撮影を終了する

- []をLOCK方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。([])を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します)
- B(バルブ)撮影中にBluetooth接続が切れた場合は、再度Bluetooth接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。

❖ [スリープモード]からの復帰時間を短くする

[シャッターリモコン]を使ってカメラが[スリープモード]から復帰するときにかかる時間を短くできます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→405)
- [Bluetooth]の[リモート起動]を[ON]に設定する(→422)

 ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [スリープモードからの復帰動作]を選ぶ

 画像取り込み/リモート撮影優先	[画像取り込み]や[リモート撮影]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。
 シャッターリモコン優先	[シャッターリモコン]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

-  • [シャッターリモコン]を使ってカメラの[スリープモード]を解除するには、セットアップメニュー(IN/OUT)の[Bluetooth]で下記のとおり設定してから、Bluetooth接続してください。
- [リモート起動]:[ON](→422)
 - [自動画像転送]:[OFF](→419)
- [シャッターリモコン]を使ってカメラの電源を入れることはできません。

画像取り込み

カードに保存した画像をWi-Fi接続したスマートフォンに転送します。

準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→405、409)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で (画像取り込み)を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。

2 転送する画像を選ぶ

- (A)をタッチすると、表示するカードを切り換えることができます。



3 画像を転送する

- [→]を選びます。
- 動画の場合、画面中央の[▶]をタッチすると再生できます。



- RAW形式の写真をAndroid機器に保存するには、Android 7.0以上のOSが必要です。スマートフォンまたはOSのバージョンによっては正しく表示されない場合があります。
- 動画再生時は、データサイズを小さくして「LUMIX Sync」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に画質劣化や音飛びが発生する場合があります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [AVCHD]の動画、[MP4]の4K動画、[MOV]の動画
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [HLGフォト](HLG方式の写真)

自動画像転送

Bluetooth

写真を撮影するたびに、撮影画像をスマートフォンに自動転送できます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 405)

1 カメラの[自動画像転送]を有効にする



[Bluetooth] ⇒ [自動画像転送] ⇒ [ON]

- カメラにWi-Fi接続の終了確認画面が表示されたら、[はい]を選んで終了してください。

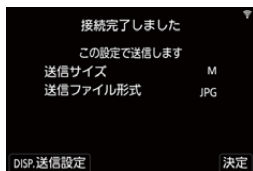


2 スマートフォンで [はい](Android機器)または [接続](iOS機器)を選ぶ

- Wi-Fi接続を自動で行います。

3 カメラで送信設定を確認し、 MENU/SET または 電源ボタンを押す

- 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(→ 444)
- 自動画像転送ができる状態になり、カメラの撮影画面に[Wi-Fi]が表示されます。(表示されないときは自動画像転送ができません。スマートフォンとのWi-Fi接続状況をご確認ください)



4 カメラで撮影する

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[送信中]が表示されます。

❖ 自動画像転送を終了する

 ➡  ➡  ➡ [Bluetooth] ➡ [自動画像転送] ➡ [OFF] を選ぶ

- Wi-Fi接続の終了確認画面が表示されます。



- カメラの[Bluetooth]と[自動画像転送]を[ON]に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンとWi-Fi／Bluetoothの接続を自動で行います。スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動して、カメラと接続してください。自動画像転送ができる状態になり、カメラの撮影画面にが表示されます。



- [自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。
- 画像転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
 - 未送信のファイルの保存状況が変化すると送信できないことがあります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを送信できないことがあります。
- RAW形式の写真をAndroid機器に保存するには、Android 7.0以上のOSが必要です。スマートフォンまたはOSのバージョンによっては正しく表示されない場合があります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、自動画像転送ができません。
 - 動画撮影、6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]
 - [HLG フォト](HLG方式の写真)

位置情報記録

Bluetooth

スマートフォンの位置情報を Bluetooth でカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。

準備:

- スマートフォンのGPS機能を有効にする
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 405)

1 カメラの[位置情報記録]を有効にする



[Bluetooth] → [位置情報記録] → [ON]

- 位置情報の記録ができる状態になり、カメラの撮影画面に[GPS]が表示されます。



2 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。



- 撮影画面の[GPS]が半透明で表示されるときは、位置情報が未取得のため書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンのGPSが測位できない場合があります。空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試しください。スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消費が早くなります。
- AVCHD動画には、位置情報は書き込まれません。

リモート起動

Bluetooth

カメラの電源を切っている、スマートフォン操作でカメラを起動して撮影したり、撮影画像を確認したりできます。

準備:

- 1 スマートフォンとBluetooth接続する(→ 405)
- 2 カメラの[リモート起動]を有効にする
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [リモート起動] ⇒ [ON]
- 3 カメラの電源スイッチを[OFF]にする
- 4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

❖ カメラの電源を入れる

「LUMIX Sync」のホーム画面で[リモート撮影]を選ぶ

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。
- カメラの電源が入り、自動でWi-Fi接続を行います。

❖ カメラの電源を切る

- 1 「LUMIX Sync」のホーム画面でを選ぶ
- 2 [電源OFF操作]を選ぶ
- 3 [電源を切る]を選ぶ



- [リモート起動]を設定しているときは、カメラの電源スイッチを[OFF]にしてもBluetooth機能が働くため、バッテリーを消費します。

自動時刻合わせ

Bluetooth

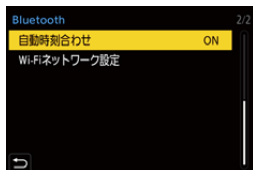
カメラの時刻とタイムゾーン(時間帯)の設定をスマートフォンに合わせます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 405)

カメラの[自動時刻合わせ]を有効にする

-  →  →  → [Bluetooth] → [自動時刻合わせ] → [ON]



カメラ設定コピー

Bluetooth

カメラの設定情報をスマートフォンに保存します。保存した設定情報をカメラに読み込んで、複数のカメラを同じ設定にできます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 405)

1 「LUMIX Sync」のホーム画面で (カメラ設定コピー) を選ぶ

2 設定情報の保存、読み込みをする

- 「LUMIX Sync」の操作について詳しくは、「LUMIX Sync」の「ヘルプ」をお読みください。

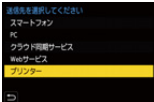
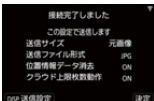


- 設定情報の読み込みができるのは、同じ機種だけです。
- 設定情報を転送するときに、Wi-Fi接続を自動で行います。
(iOS機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。
- セットアップメニュー(設定)の[カメラ設定の保存/読み込み]と同じ項目の設定情報を保存、読み込みできます。(→ 511)

カメラから画像を送る

カメラを操作して、Wi-Fi接続した機器に撮影画像を送信します。

操作の流れ

1	送信方法を選ぶ カメラのメニューの[撮影中に画像を送る]と[カメラ内の画像を送る]から、送信方法を選びます。	
2	送信先(送信する機器の種類)を選ぶ - スマートフォン(→ 427) - PC(→ 430) - クラウド同期サービス(→ 436) - Webサービス(→ 434) - プリンター(→ 432)	
3	接続方法を選び、Wi-Fi接続する - [ネットワーク経由](→ 438) - [直接接続](→ 441)	
4	送信設定を確認する 必要に応じて、送信設定を変更します。 - 送信設定の変更(→ 444)	
5	撮影中に画像を送る 写真を撮る 写真を撮るたびに、自動で画像を送信します。	カメラ内の画像を送る 画像を選ぶ 選択した画像を送信します。 - 画像の選択(→ 445)

送信先ごとの詳細については、427～437 ページで説明しています。

共通の操作については、下記のページをお読みください。

- Wi-Fi接続：ネットワーク経由(→ 438)／直接接続(→ 441)
- 送信設定の変更(→ 444)
- 画像の選択(→ 445)



- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができません場合があります。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。

❖ 送信できる画像

送信できる画像は送信先機器によって異なります。

送信先機器	送信できる画像	
	撮影中に画像を送る	カメラ内の画像を送る
スマートフォン(→ 427)	JPEG / RAW	JPEG / RAW / MP4
PC(→ 430)	JPEG / RAW	JPEG / RAW / MP4 / MOV / AVCHD / 6K/4K連写ファイル / フォーカスセレクト画像
クラウド同期サービス (→ 436)	JPEG	JPEG / MP4
Webサービス(→ 434)	JPEG / RAW*	JPEG / MP4 / RAW*
プリンター(→ 432)	—	JPEG

* 送信先のWebサービスが、本機からのRAW画像転送に対応しているときに送信できます。

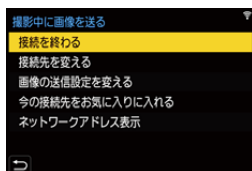
- Android機器をご使用の場合、[スマートフォン]にRAW画像を送信するには、Android 7.0以上のOSが必要です。
- [PC]にファイルサイズが4 GBを超えるAVCHD動画は送信できません。
- [スマートフォン]、[クラウド同期サービス]、[Webサービス]に4K動画は送信できません。
- [HLGフォト]で撮影したHLG方式の写真は送信できません。[スマートフォン]、[PC]、[クラウド同期サービス]、[Webサービス]には同時に記録されるRAW / JPEG画像が送信されます。



- お使いの機器によっては送信できない場合があります。
- 本機以外で撮影した画像、パソコンで編集・加工した画像は送信できない場合があります。

❖ [Wi-Fi]を登録したFnボタン

Wi-Fi接続後に[Wi-Fi]を登録したFnボタンを押すと、以下の操作ができます。Fnボタンについては、[313](#)ページをお読みください。



接続を終わる	Wi-Fi接続を終了します。
接続先を変える	Wi-Fi接続を終了し、別のWi-Fi接続先を選択します。
画像の送信設定を変える	画像を送信する際の画像のサイズやファイル形式などを設定します。(→ 444)
今の接続先をお気に入りに入れる	現在の接続先や接続方法を登録すると、次回以降、同じ接続設定で接続できます。
ネットワークアドレス表示	本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。(→ 447)

- お使いのWi-Fi機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

スマートフォン

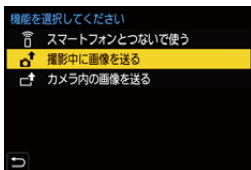
Wi-Fi接続したスマートフォンに撮影画像を転送します。

準備:

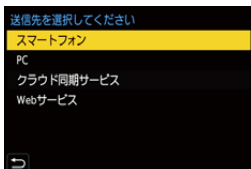
- スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする(→ 404)

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒
[Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒
[新規に接続する] ⇒
[撮影中に画像を送る] /
[カメラ内の画像を送る]

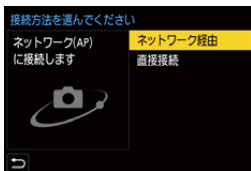


2 送信先を[スマートフォン]に設定する



3 カメラとスマートフォンをWi-Fi接続する

- [ネットワーク経由](→ 438)または
[直接接続](→ 441)を選び、接続してください。



4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

5 カメラで送信先のスマートフォンを選ぶ

6 送信設定を確認し、 または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。(→ 444)

7 [撮影中に画像を送る]選択時

写真を撮る

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送信します。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 ⇒ [

[カメラ内の画像を送る]選択時

画像を選ぶ

- [1枚選択]または[複数選択]を選び、画像を選んでください。(→ [445](#))
- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。

❖ カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る

再生時にFnボタンを押すだけで、Bluetooth接続したスマートフォンに画像を転送できます。メニューから簡単に転送することもできます。

- [スマートフォンに画像を送る]を登録したFnボタンで操作します。初期設定では[Q]ボタンに登録されています。Fnボタンについては、[313](#)ページをお読みください。

準備:

- スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする(→ [404](#))
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ [405](#))
- カメラの[▶]ボタンを押して再生画面を表示する

写真を1枚送る

- 1 ◀▶ で画像を選ぶ
- 2 [Q]ボタンを押す
- 3 [1枚選択]を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.]ボタンを押してください。(→ [444](#))
- 4 スマートフォンで[はい] (Android機器)または [接続](iOS機器)を選ぶ
 - Wi-Fi接続を自動で行います。

複数枚の写真を送る

- 1 [Q]ボタンを押す
- 2 [複数選択]を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.]ボタンを押してください。(→ [444](#))
- 3 画像を選び、転送する

◀▶ : 画像の選択
 または  : 設定/解除
 [DISP.] : 転送の実行
- 4 スマートフォンで[はい] (Android機器)または [接続](iOS機器)を選ぶ
 - Wi-Fi接続を自動で行います。



- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、本機能が使用できません。

メニュー操作で簡単に転送する

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [スマートフォンに画像を送る]
 設定: [1枚選択] / [複数選択]

- [1枚選択]のときは、◀▶ で画像を選び、 または  を押して実行します。
- [複数選択]のときは、「複数枚の写真を送る」の場合と同じ操作で実行できます。

パソコン

Wi-Fi接続したパソコンに撮影画像を送信します。



対応OS

Windows: Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7

Mac: OS X v10.5 ~ v10.11, macOS 10.12 ~ 10.14

準備:

- パソコンの電源を入れる
- 画像を受信するフォルダーを作成する
- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合は、[PC接続設定]でカメラの設定も変更する(→ [446](#))

❖ 画像を受信するフォルダーを作成する

Windowsをお使いの場合(Windows 10の例)

- ① 受信するフォルダーを選択し、右クリックする
 - ② 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする
- 「PHOTOfunSTUDIO」でもフォルダーを作成できます。
詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書をお読みください。

Macをお使いの場合(OS X v10.14の例)

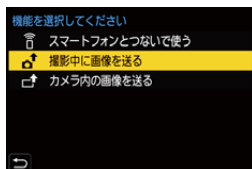
- ① 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする
「ファイル」⇒「情報を見る」
- ② フォルダーに共有の設定をする



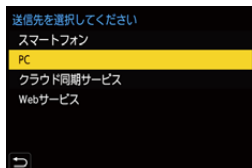
- パソコンのアカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内)は半角英数字で設定してください。半角英数字以外で設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。
- コンピューター名(Macの場合はNetBIOS名)にスペース(空白文字)などが入っていると、認識できないことがあります。その場合は、15文字以内の英数字だけに変更することをお勧めします。
- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書やOSのヘルプをご参照ください。

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

- **MENU SET** ⇒ **[設定]** ⇒ **[Wi-Fi]** ⇒
[Wi-Fi] ⇒ **[Wi-Fi 機能]** ⇒
[新規に接続する] ⇒
[撮影中に画像を送る] /
[カメラ内の画像を送る]



2 送信先を[PC]に設定する



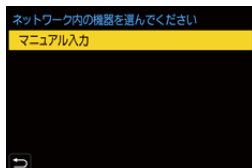
3 カメラとパソコンを Wi-Fi 接続する

- **[ネットワーク経由]** (→ 438) または
[直接接続] (→ 441) を選び、接続してください。



4 接続したいパソコンのコンピューター名(Macの場合はNetBIOS名)を入力する

- 文字の入力方法については、401 ページをお読みください。



5 画像を保存するフォルダーを選ぶ

- 選択したフォルダーの中に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。



6 送信設定を確認し、 または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。(→ 444)

7 [撮影中に画像を送る] 選択時

写真を撮る

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送信します。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面に  が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [はい]

[カメラ内の画像を送る] 選択時

画像を選ぶ

- [1枚選択] または [複数選択] を選び、画像を選んでください。(→ 445)
- 接続を終了する場合は、[終了] を選んでください。



- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

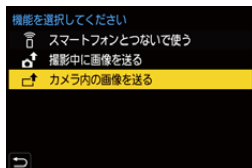
プリンター

Wi-Fi接続した PictBridge(ワイヤレス LAN)* 対応プリンターに画像を送信して印刷できます。

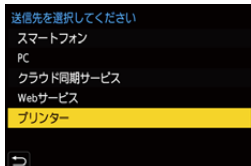
* DPS over IP 規格準拠

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [新規に接続する] ⇒ [カメラ内の画像を送る]

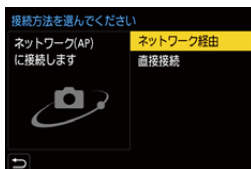


2 送信先を[プリンター]に設定する



3 カメラとプリンターをWi-Fi接続する

- [ネットワーク経由](→ 438)または[直接接続](→ 441)を選び、接続してください。



4 送信先のプリンターを選ぶ

5 画像を選んでプリントする

- 画像の選び方はUSB接続ケーブルで接続する場合と同じです。(→ 463)
- 接続を終了するには、[↶]ボタンを押してください。



- PictBridge(ワイヤレスLAN)対応のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。

Web サービス

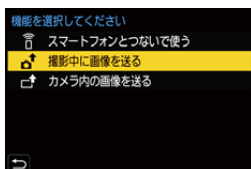
撮影した画像を、LUMIX CLUB (PicMate) 経由で SNS などの Web サービスにアップできます。

準備:

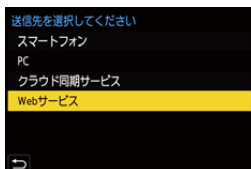
- LUMIX CLUB (PicMate) に登録する (→ 447)
- LUMIX CLUB (PicMate) 以外の Web サービスに画像を送信するには、その Web サービスに登録する (→ 449)

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  →  →  →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] →
[新規に接続する] →
[撮影中に画像を送る] /
[カメラ内の画像を送る]



2 送信先を [Web サービス] に設定する



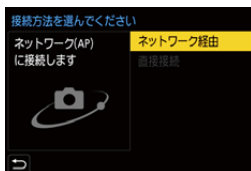
3 Web サービスに接続する

- [ネットワーク経由] を選び、接続してください。(→ 438)

4 Web サービスを選ぶ

5 送信設定を確認し、 または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。(→ 444)



6 [撮影中に画像を送る]選択時

写真を撮る

- 写真を撮るたびに、指定したサービスに自動で画像を送信します。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 ⇒ [

[カメラ内の画像を送る]選択時

画像を選ぶ

- [1枚選択]または[複数選択]を選び、画像を選んでください。(→ 445)
- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。



- 画像の送信に失敗すると、LUMIX CLUB (PicMate) に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。
- Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスにアップロードした画像は、本機で表示または消去できません。
- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認ください。

クラウド同期サービス

撮影した画像を、LUMIX CLUB (PicMate) 経由でクラウド同期サービスへ自動転送し、パソコンやスマートフォンに送ることができます。

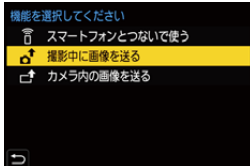


【クラウド同期サービス】を利用するには(2019年8月現在)

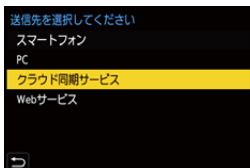
- クラウドフォルダーに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate) への登録(→ 447)とクラウド同期設定が必要です。クラウド同期設定は、「PHOTOfunSTUDIO」で設定してください。
- 送信した画像はクラウドフォルダーに一時保存されます。パソコンやスマートフォンなど、お使いの機器と同期できます。
- クラウドフォルダーに送信した画像は30日間(最大1000枚まで)保存されます。以下の場合は、自動で消去されます。
 - 送信後30日を超えた場合(30日以内であっても指定した機器すべてにダウンロードされた場合は消去されることがあります)
 - 1000枚を超えた場合([クラウド上限枚数動作](→ 444)の設定によります)

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

- → → →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] →
[新規に接続する] →
[撮影中に画像を送る] /
[カメラ内の画像を送る]



2 送信先を【クラウド同期サービス】に設定する



3 クラウド同期サービスに接続する

- [ネットワーク経由]を選び、接続してください。(→ 438)

4 送信設定を確認し、 または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.]ボタンを押してください。(→ 444)

5 [撮影中に画像を送る]選択時 写真を撮る

- 写真を撮るたびに、クラウド同期サービスに自動で画像を送信します。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面にが表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [はい]



[カメラ内の画像を送る]選択時

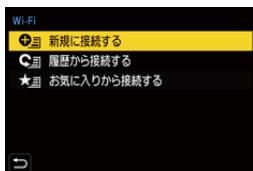
画像を選ぶ

- [1枚選択]または[複数選択]を選び、画像を選んでください。(→ 445)
- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。

Wi-Fi接続

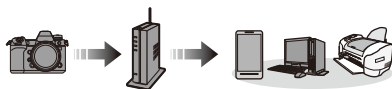
セットアップメニュー(IN/OUT)の[Wi-Fi]の[Wi-Fi機能]で[新規に接続する]を選んだ場合、接続方法を[ネットワーク経由]と[直接接続]から選んで接続します。

[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]の場合、以前と同じ設定で接続します。

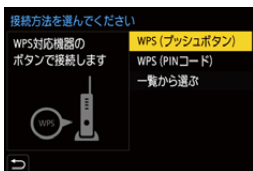


ネットワーク経由

カメラと送信先機器を無線アクセスポイント経由で接続します。



無線アクセスポイントとの接続方法を選ぶ



WPS (プッシュボタン) (→ 439)	無線アクセスポイントのWPSボタンを押して接続します。
WPS (PINコード) (→ 439)	無線アクセスポイントにPINコードを入力して接続します。
一覧から選ぶ (→ 439)	利用する無線アクセスポイントを検索して接続します。



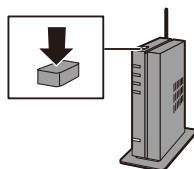
- 2回目以降に[ネットワーク経由]を選んだときは、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続する無線アクセスポイントを変更する場合は、[DISP]ボタンを押して、接続先を変更してください。

❖ WPS (プッシュボタン)

無線アクセスポイントのWPSボタンを押して接続します。

無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す

(例)



❖ WPS (PINコード)

無線アクセスポイントにPINコードを入力して接続します。

- ① カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ
- ② カメラの画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する
- ③ カメラの  または  を押す



- WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティの設定を簡単にできる機能です。操作方法やWPSに対応しているかどうかについて詳しくは、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

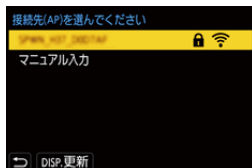
❖ 一覧から選ぶ

利用する無線アクセスポイントを検索して接続します。



- 無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。

- ① 接続する無線アクセスポイントを選ぶ
 - [DISP.]ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
 - 無線アクセスポイントが見つからない場合は [440](#) ページの「マニュアル入力で接続する」をお読みください。
- ② (ネットワーク認証が暗号化されている場合)暗号化キーを入力する
 - 文字の入力方法については、[401](#) ページをお読みください。



❖ マニュアル入力で接続する



- お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

- ① 「一覧から選ぶ」手順①の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ(→ 439)
- ② 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ
 - 文字の入力方法については、401 ページをお読みください。
- ③ ネットワークの認証方式を選ぶ

WPA2-PSK	対応する暗号化方式:TKIP、AES
WPA2/WPA-PSK	
暗号化なし	—

- ④ ([暗号化なし]以外選択時)
暗号化キーを入力して[決定]を選ぶ



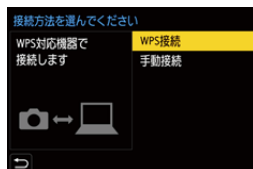
- 無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。
詳しくは、「メッセージ表示」(→ 481)、「Q&A 故障かな?と思ったら」(→ 484)をご確認ください。
- お使いの環境によっては、無線アクセスポイントとの通信速度が低下する場合や、無線アクセスポイントが利用できない場合があります。

直接接続

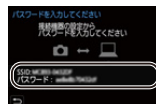
カメラと送信先機器を直接接続します。



送信先機器との接続方法を選ぶ



WPS接続	WPS (プッシュボタン)	送信先機器のWPSボタンを押して接続します。 • カメラの[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	WPS (PINコード)	カメラにPINコードを入力して接続します。
手動接続	送信先機器でカメラを検索して接続します。カメラに表示されているSSIDとパスワードを、機器に入力してください。 • 接続先が[スマートフォン]の場合は、パスワードは表示されません。SSIDを選んで接続してください。(→ 409)	



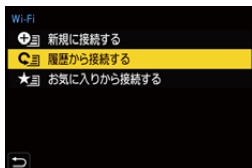
- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

以前と同じ設定でWi-Fi接続する

Wi-Fiの接続履歴を使って、以前と同じ設定で接続できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する

-  →  →  →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] →
[履歴から接続する] /
[お気に入りから接続する]



2 接続する履歴を選ぶ

- [DISP.]ボタンを押すと接続履歴の詳細を確認できます。



- 接続する機器の設定が変更されていると、接続できない場合があります。

❖ お気に入り登録

Wi-Fiの接続履歴をお気に入り登録できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する

-  →  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [履歴から接続する]

2 登録する履歴を選び、▶を押す

3 登録名を入力して[決定]を選ぶ

- 文字の入力方法については、[401](#) ページをお読みください。
- 入力できる文字数は最大30文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

❖ お気に入り登録した項目の編集

① お気に入り登録した履歴を表示する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [お気に入りから接続する]

② 編集する履歴を選び、▶ を押す

お気に入りを消す	—
お気に入りの順番を変える	移動先を選び、表示する順番を変更します。
登録名を変える	文字を入力し、登録名を変更します。 • 文字の入力方法については、 401 ページをお読みください。



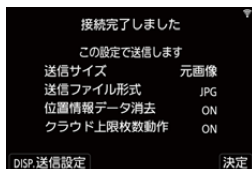
- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う接続設定はお気に入りに登録してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、履歴とお気に入り登録した内容が消去されます。
- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続]を使って本機と接続できません。接続する機器側のWi-Fi設定のアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する]で接続し直してください。(→ [409](#))
- 多くの機器が使用しているネットワークには接続しにくい場合があります。その場合は、[新規に接続する]で接続してください。

送信設定、画像の選択

画像の送信設定

接続先機器に送信する画像のサイズやファイル形式などを設定します。

- 1 Wi-Fi接続後に送信設定の確認
画面が表示されたら、**[DISP.]** ボタンを押す
- 2 送信設定を変更する



送信サイズ	送信する画像のサイズを変更します。 [元画像] / [自動] / [変更] ([M]、[S]または[VGA]) • [自動]の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。(送信先が[Webサービス]の場合に設定できます)
送信ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 [JPG] / [RAW+JPG] / [RAW] • 送信先が本機からのRAW画像転送に対応している場合に設定できます。(→ 425)
位置情報データ消去	送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。 • 送信先が[クラウド同期サービス]または[Webサービス]の場合に設定できます。 • 位置情報が消去されるのは送信した画像だけです。
クラウド上限枚数動作	クラウドフォルダーの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。 [ON]: 画像を送信しません。 [OFF]: 古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。 • 送信先が[クラウド同期サービス]の場合に設定できます。

画像の選択

[カメラ内の画像を送る]で送信するときは、以下の手順で画像を選択してください。

1 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

2 画像を選ぶ

[1枚選択]を選択したとき

- 1 ◀▶ で画像を選ぶ
- 2  または  を押す



[複数選択]を選択したとき

- 1 ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押す(繰り返す)
 - 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。
 - カードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、[] ボタンを押してください。
 - 一度に選択できるのは、1枚のカード内の画像だけです。



- 2 [DISP.] ボタンを押して実行する

Wi-Fi設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定ができます。Wi-Fi接続中は設定を変更できません。

Wi-Fi設定メニューを表示する

●  ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定]

リモート優先操作 設定	リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。(→ 415)
Wi-Fiパスワード	パスワードを利用して接続することで、セキュリティをより強化できます。(→ 411)
PicMate設定	「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDの取得や変更ができます。(→ 448)
PC接続設定	ワークグループ名を設定できます。パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。 (初期設定では「WORKGROUP」に設定されています) ● ワークグループ名を変更するには、  または  を押してからワークグループ名を入力してください。 文字の入力方法については、401 ページをお読みください。 ● 初期設定に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。
機器名称	カメラの名前(SSID)を変更できます。 ● SSID 名を変更するには、[DISP.] ボタンを押してから SSID 名を入力してください。 文字の入力方法については、401 ページをお読みください。 ● 入力できる文字数は最大 32 文字です。

Wi-Fi機能ロック	誤操作や第三者によるWi-Fi機能の使用を防止し、カメラ内および撮影した画像に含まれる個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護します。 【設定】: 数字4桁で任意のパスワードを設定します。 - 文字の入力方法については、401 ページをお読みください。 【解除】: パスワードを解除します。 - パスワードを設定すると、Wi-Fi機能を使用する際にパスワードの入力が必要になります。 - パスワードを忘れた場合、セットアップメニュー（設定）の【設定リセット】でネットワーク設定をリセットすると、パスワードをリセットできます。
ネットワークアドレス表示	カメラのMACアドレスとIPアドレスを表示します。

LUMIX CLUB (PicMate)

「LUMIX CLUB (PicMate)」は、デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。

詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。

<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

カメラとの連携サービスを利用する場合は、下記のサイトにアクセスしてください。

<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/>



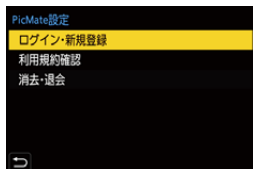
- 本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

❖ カメラで新規ログインIDを取得する

カメラのメニューから「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDを取得します。

① メニューを設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒
[Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定] ⇒ [PicMate 設定] ⇒
[ログイン・新規登録] ⇒ [新規登録]
- ネットワークに接続します。[次へ]を選ぶと、次のページへ進みます。



② 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する(→ 438)

- 初回接続時以外は、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続先を変更する場合は、[DISP] ボタンを押してください。
- [次へ]を選ぶと、次のページへ進みます。

③ LUMIX CLUB (PicMate)の利用規約を読み、[同意する]を選ぶ

- ページを切り換える：▲▼
- 拡大表示する： を右に回す(元に戻す： を左に回す)
- 拡大位置を移動する：▲▼◀▶
- 登録せずに中止する： ボタン

④ パスワードを入力する

- 英数字交じり8～16桁で任意のパスワードを入力してください。
- 文字の入力方法については、401 ページをお読みください。

⑤ ログインIDを確認し、[OK]を選ぶ

- ログインIDとパスワードは必ず控えを取ってください。
- ログインID(数字12桁)は自動で発行されます。



❖ Webサービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録する



- 「LUMIX CLUB (PicMate)」が対応するWebサービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。
https://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/

準備:

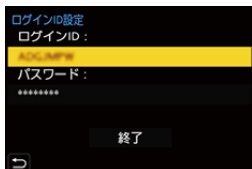
- 利用するWebサービスでアカウントを作成し、ログイン情報を用意する
- 1 スマートフォンまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスする
<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/>
 - 2 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDとパスワードを入力し、ログインする
 - 「LUMIX CLUB (PicMate)」にメールアドレスを登録していない場合は、メールアドレスを登録してください。
 - 3 「Webサービス連携設定」で利用するWebサービスを選び、登録する
 - 画面の指示に従って操作してください。

❖ ログインIDやパスワードの確認／変更

準備:

- 取得済みのログインIDを使う場合は、IDとパスワードを確認する
- パスワードを変更する場合は、パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更する

- 1 メニューを設定する
 - MENU/SET ➡ [] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi] ➡ [Wi-Fi設定] ➡ [PicMate設定] ➡ [ログイン・新規登録] ➡ [ログインID設定]
 - ログインIDとパスワードが表示されます。
 - パスワードは「＊」で表示されます。
- 2 変更する項目を選ぶ
- 3 ログインIDまたはパスワードを入力する
 - 文字の入力方法については、[401](#)ページをお読みください。
- 4 [終了]を選ぶ



❖ 「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合に内容を確認できます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定] ⇒ [PicMate設定] ⇒
[利用規約確認]を選ぶ

❖ ログインIDの消去／「LUMIX CLUB (PicMate)」の退会

本機を譲渡／廃棄する場合に、本機のログインIDを消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会もできます。

 • 変更、消去できるのは、本機で取得したログインIDだけです。

① メニューを設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定] ⇒ [PicMate設定] ⇒ [消去・退会]
- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。

② ログインID消去の確認画面で[はい]を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。

③ 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で[はい]を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。
- 退会しない場合は、[いいえ]を選ぶとログインIDの消去だけが実行されます。

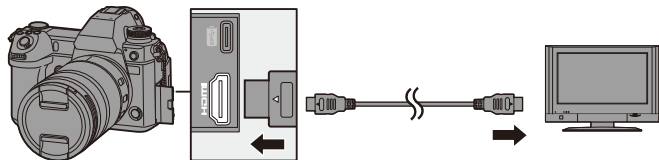
④ [OK]を選ぶ

17. 他機器との接続

本章では、テレビやパソコンなどの他機器との接続について説明します。接続にはカメラの[HDMI]端子またはUSB端子を使用します。接続については、以下をお読みください。

[HDMI]端子

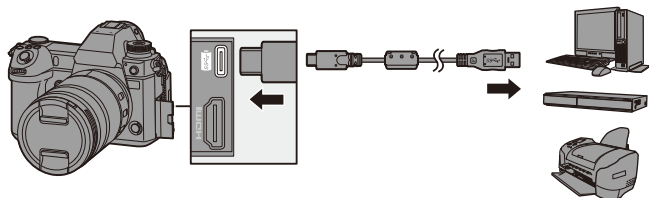
市販のHDMIケーブルでカメラとテレビをつなぐ



- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIケーブル(Type A—Type Aプラグ、1.5 mまで)をお使いください。

USB 端子

USB接続ケーブル(C—CまたはA—C)でカメラとパソコン、レコーダー、またはプリンターをつなぐ



- プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 付属のUSB接続ケーブル(C—CおよびA—C)以外は使用しないでください。



• 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

テレビで見る

カメラをテレビに接続して、撮影した写真や動画をテレビで見ることができます。

準備:

- カメラとテレビの電源を切る

1 市販のHDMIケーブルでカメラとテレビをつなぐ(→ 451)

2 テレビの電源を入れる

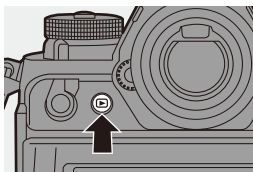
3 テレビの入力を切り換える

- HDMIケーブルを接続した端子に合わせてテレビの入力を切り換えます。

4 カメラの電源を入れる

5 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。
- 撮影した画像がテレビに表示されます。(カメラのモニターやファインダーは消灯します)



- 初期設定では、接続したテレビに合わせて最適な解像度で出力されます。[HDMI出力解像度(再生時)]で出力解像度の変更もできます。(→ 389)
- 画像の横縦比によっては、上下左右にグレーの帯が表示されることがあります。セットアップメニュー(IN/OUT)の[テレビ接続設定]の[画像背景色(再生時)]で帯の色を変更できます。(→ 390)
- [USBモード]を[PC(Storage)]または[PictBridge(PTP)]に設定しているときは、USB接続ケーブルと同時に接続すると、HDMI出力できません。
- 画像の上下が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

❖ ビエラリンク(HDMI)を使う

비에라링크(HDMI) (HDAVI Control™)とは、カメラとHDMIケーブルを使って接続した비에라링크対応機器を自動で連動させて、비에라의リモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)



- 비에라링크(HDMI)を使うにはテレビ側でも設定が必要です。設定方法については、テレビの取扱説明書をお読みください。

- ① 市販のHDMIケーブルで、カメラと비에라링크(HDMI)に対応した当社製テレビ(비에라)をつなぐ(→ 451)
- ② カメラの電源を入れる
- ③ 비에라링크をオンにする
 - ⇒ ⇒ ⇒ [テレビ接続設定] ⇒ [비에라링크] ⇒ [ON]
- ④ 再生画面を表示する
 - ボタンを押します。
- ⑤ テレビのリモコンで操作する

電源オフ連動

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、カメラの電源も連動して切れます。

自動入力切換

カメラの電源を入れ、 ボタンを押すと、テレビの入力が自動でカメラを接続した入力に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)



- 비에라링크(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。
- 本機は、비에라링크(HDMI) Ver.5に対応しています。비에라링크(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製비에라링크機器にも対応した当社基準です。
- 本機のボタンを使っでの操作は制限されます。

パソコンに画像を取り込む

カメラをパソコンと接続すると、撮影した画像をパソコンにコピーできます。Windowsの場合は、LUMIX用ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」でもコピーできます。

また、撮影した画像の整理や補正、RAW現像、動画編集などを行うためのソフトウェアをご利用いただけます。(→ [457](#))

パソコンに画像をコピーする

パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップして、撮影した画像をコピーできます。



- Windows: AVCHD動画は「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込むことをお勧めします。
「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込む場合は、[456](#)ページをお読みください。
 - ドラッグアンドドロップして取り込んだAVCHD動画は、「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生・編集できません。
- Mac: 「Final Cut Pro X」に対応しています。
「Final Cut Pro X」の詳細は、Appleにお問い合わせください。
- マスストレージデバイス(大容量記憶装置)が認識可能な以下のパソコンに接続できます。

対応OS

Windows: Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7

Mac: OS X v10.5 ~ v10.11、macOS 10.12 ~ 10.14

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる

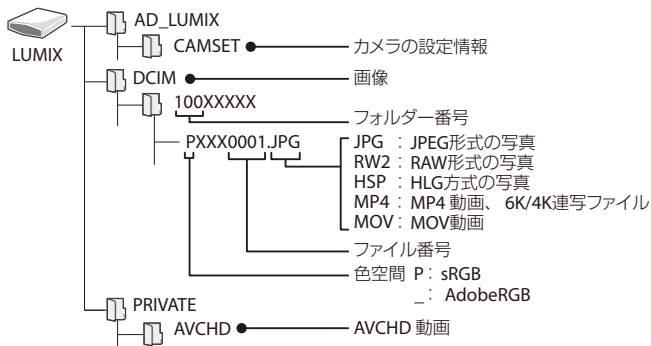
1 USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でカメラとパソコンをつなぐ(→ **451**)

2 ▲▼で[PC(Storage)]を選び、 または  を押す

- Windows: 「PC」にドライブ(「LUMIX」)が表示されます。
- Mac: デスクトップ上にドライブ(「LUMIX」)が表示されます。
- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 カメラのファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップする

❖ カード内のフォルダー構造



❖ 「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする(→ 457)

- ① USB接続ケーブル(C－CまたはA－C)でカメラとパソコンをつなぐ(→ 451)
- ② ▲▼で[PC(Storage)]を選び、 または  を押す
 - 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。
- ③ 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする
 - コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去したり移動したりしないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生や編集ができなくなります。



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(→ 387)



- 画像の取り込み中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- 画像の取り込み後は、パソコンを操作してUSB接続ケーブルを安全に取り外してください。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

ソフトウェアのインストール

撮影した画像の整理や補正、RAW 現像、動画編集などを行うためのソフトウェアをインストールします。



- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 対応 OS は 2019 年 8 月現在のもので、対応 OS は変更する場合があります。

❖ PHOTOfunSTUDIO 10.1 PE

写真や動画をパソコンに取り込み、撮影日や機種名で分類して整理するなど、画像を管理できるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集もできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs101pe.html

ダウンロード有効期限：2024 年 9 月

動作環境

対応 OS	Windows 10 (32 bit / 64 bit) Windows 8.1 (32 bit / 64 bit) Windows 7 (32 bit / 64 bit) SP1 • 4K 動画、10 bit の動画、6K/4K フォトをご利用の場合、 Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 の 64 bit 版 OS が 必要です。
CPU	Pentium® 4 2.8 GHz 以上
ディスプレイ	1024×768 以上 (1920×1080 以上を推奨)
搭載メモリ	1 GB 以上 (32 bit)、2 GB 以上 (64 bit)
ハードディスク	インストールに 450 MB 以上の空き容量

- 4K 動画、10 bit の動画の再生・編集機能や、6K/4K フォトの写真切り出し機能をご利用の場合、高性能なパソコン環境が必要です。詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書をお読みください。
- 「PHOTOfunSTUDIO」は Mac では使用できません。

❖ SILKYPIX Developer Studio SE

RAW画像を現像、編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

動作環境

対応OS	Windows	Windows 10(64 bit推奨) Windows 8.1(64 bit推奨) Windows 7(64 bit推奨)
	Mac	OS X v10.10～v10.11 macOS 10.12～10.14

- SILKYPIX Developer Studioの使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトウェアラボラトリーのサポートサイトをお読みください。

❖ LoiLoScope-30日間フル体験版

簡単に動画編集できるソフトウェアです。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<http://loilo.tv/product/20>

動作環境

対応OS	Windows	Windows 10 Windows 8.1 Windows 8 Windows 7
------	---------	---

- 30日間の無料体験版をダウンロードできます。
- LoiLoScopeの詳しい使い方は、サイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
- 「LoiLoScope」はMacでは使用できません。

レコーダーにダビングする

カメラを当社製ブルーレイディスクレコーダーまたはDVDレコーダーに接続すると、写真や動画をレコーダーに残すことができます。

準備:

- カメラとレコーダーの電源を入れる
- カードスロット1にカードを入れる

1 USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でカメラとレコーダーをつなぐ(→ 451)

2 ▲▼で[PC(Storage)]を選び、 または を押す

- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 レコーダーを操作してダビングする



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でレコーダーと接続します。(→ 387)



- ダビング中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- レコーダーによっては、4K動画などに対応していない場合があります。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- ダビングや再生の方法について詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

テザー撮影

パソコンにカメラ制御ソフトウェア「LUMIX Tether」をインストールすると、USB接続したパソコンからカメラを制御し、パソコンの画面でライブビューを確認しながら撮影できます（テザー撮影）。また、テザー撮影中に別の外部モニターやテレビにHDMI出力することもできます。

ソフトウェアのインストール

❖ LUMIX Tether

カメラをパソコンから制御するためのソフトウェアです。各種設定の変更やリモート撮影ができ、リモート撮影後に画像をパソコンに保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html

動作環境

対応OS	Windows	Windows 10、Windows 8.1、Windows 7
	Mac	OS X v10.10～v10.11、macOS 10.12～10.14
インターフェース	USB端子（SuperSpeed USB（USB3.0））	



- 対応OSは2019年8月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 操作方法については、「LUMIX Tether」の「操作ガイド」をお読みください。

パソコンからカメラを操作する



- 外部モニターやテレビにHDMI出力する場合は、HDMIケーブルでカメラとつないでください。(→ 452)

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

1 USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でカメラとパソコンをつなぐ(→ 451)

2 ▲▼で[PC(Tether)]を選び、またはを押す

- カメラの画面に- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 「LUMIX Tether」を使ってパソコンからカメラを操作する



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC(Tether)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(→ 387)



- [PC(Tether)]でパソコンと接続しているときは、Wi-Fi／Bluetooth機能は使用できません。

プリントする

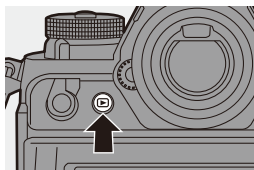
PictBridge対応のプリンターに接続すると、カメラのモニターで写真を選択してプリントできます。

準備:

- カメラとプリンターの電源を入れる
- プリンター側で印刷品質などを設定する

1 再生画面を表示する

- **[▶]** ボタンを押します。
- 画像はカードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、**[⏮]** ボタンを押したあと、**▲▼** で[スロット1]または[スロット2]を選び、**[MENU/SET]** または **[⏪]** を押します。
- プリンター接続後は、プリントするカードを切り換えることはできません。



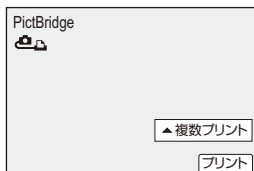
2 USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でカメラとプリンターをつなぐ(→ 451)

3 ▲▼で[PictBridge(PTP)]を選び、**[MENU/SET]** または **[⏪]** を押す

- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

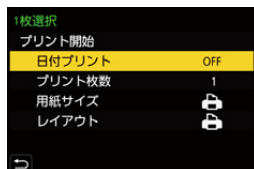
4 ◀▶ で写真を選び、 または を押す

- 複数枚の写真をプリントするには、
▲を押したあと、写真の選択方法を
設定して写真を選んでください。



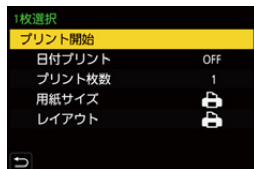
複数選択	プリントする写真を選びます。 1 ▲▼◀▶ で写真を選び、 または  を押す ●設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。 2 [DISP.] ボタンを押して選択を終了する
全画像	保存されているすべての写真をプリントします。
レーティング	[★1]～[★5]に[レーティング]設定されたすべての写真をプリントします。

5 プリント設定をする



6 プリントを開始する

- [プリント開始]を選び、 または  を押します。



❖ 設定項目(プリント設定)

プリント開始	プリントを開始します。
日付プリント	日付プリントを設定します。 • プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントできません。
プリント枚数	プリントする枚数(最大999枚まで)を設定します。
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
レイアウト	縁あり、縁なしや複数印刷の設定をします。



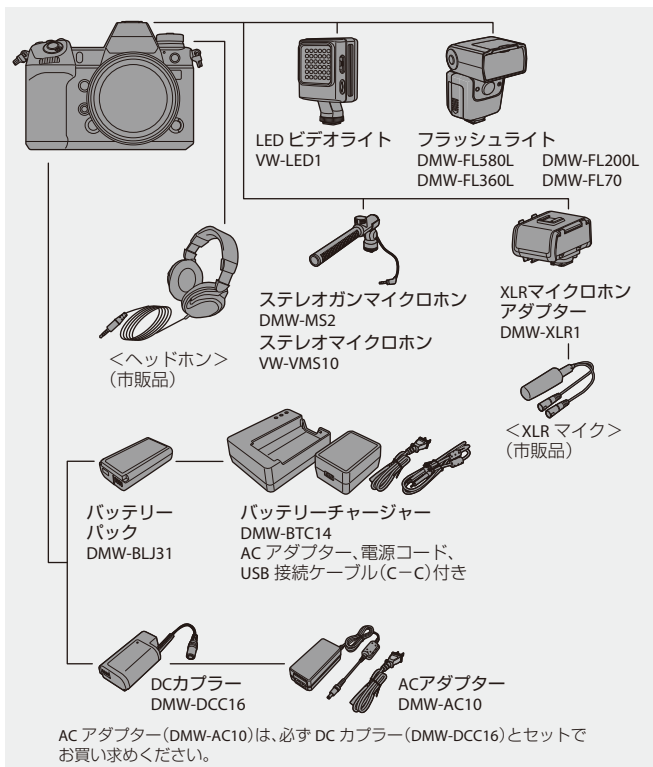
- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でプリンターと接続します。(→ 387)

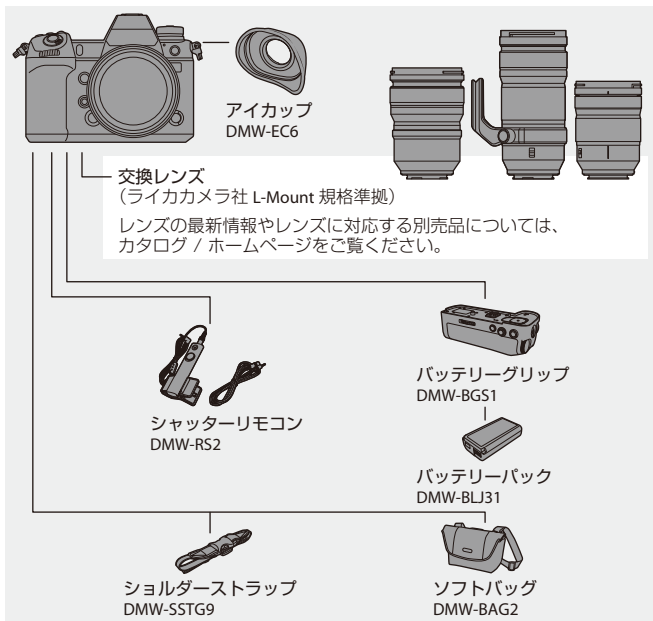


- プリント中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- プリンターと接続できないときは、[USB給電]を[OFF]にし、再度接続してください。(→ 387)
-  (ケーブル切断禁止アイコン)表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- カメラが対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには、[用紙サイズ]および[レイアウト]の設定をにして、プリンター側で設定してください。(詳しくは、プリンターの取扱説明書をお読みください)
- 黄色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多いと、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAW画像をプリントすると、同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像が記録されていない場合は、プリントできません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、プリントできません。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [HLGフォト]

18. 資料

別売品のご紹介





- 別売品の最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。

記載の品番は2019年8月現在のものです。変更されることがあります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

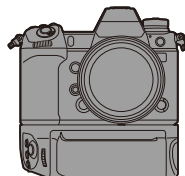
別売品を使う

- 外部フラッシュについては、196ページをお読みください。
- 外部マイクについては、291ページをお読みください。
- XLRマイクロホンアダプターについては、293ページをお読みください。

バッテリーグリップ(別売)

バッテリーグリップ(別売:DMW-BGS1)をカメラに装着すると、縦位置撮影の操作性やホールド感を向上できます。また、バッテリーグリップにバッテリーを装着することで、長時間の撮影でも安定して電源を供給できます。

- このバッテリーグリップは防じん防滴に対応しています。



❖ 優先的に使用するバッテリーを選ぶ

カメラとバッテリーグリップの両方にバッテリーを装着している場合に、どちらのバッテリーを先に使用するかを選択します。

カメラ本体でバッテリーを充電するときの順番も、この設定に従います。

準備:

- カメラの電源を切り、バッテリーグリップ接点カバーを外す

- ① カメラにバッテリーグリップを取り付ける
- ② カメラの電源を入れる
- ③ バッテリーの使用順序を設定する

- ⇒ ⇒ ⇒ [バッテリー使用順序]

本体優先	カメラ側のバッテリーを先に使用します。
BG 優先	バッテリーグリップ側のバッテリーを先に使用します。

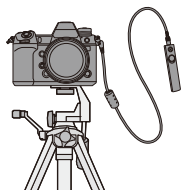


- バッテリーグリップ側のバッテリーを使用中は、モニターに[BG]が表示されます。
- バッテリーグリップの[Fn] ボタンに、お好みの機能を登録できます。(→ 313)
[WB] ボタン、[ISO] ボタン、[] ボタン、[AF ON] ボタン、ジョイスティックは、カメラ本体のボタンやジョイスティックと同じ働きをします。
- 詳しくは、バッテリーグリップの取扱説明書をお読みください。

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)をカメラにつないで、以下の使い方ができます。

- シャッターボタン全押し時の手ブレを防止する
- バルブ撮影や連写時にシャッターボタンを固定する
- 動画撮影を開始／終了する
- シャッターリモコンの動画ボタンに登録した機能を使う



❖ 動画ボタンへの機能の登録

シャッターリモコンの動画ボタンにお好みの機能を登録できます。登録できる機能はFnボタンの撮影時設定(→ 317)と同じです。初期設定では、[動画撮影]が登録されています。

 ⇒  ⇒  ⇒ [リモコンの動画ボタン]を選ぶ

- [Fnボタン設定]と同じ操作で機能を登録します。(→ 313)



- 詳しくは、シャッターリモコンの取扱説明書をお読みください。

ACアダプター(別売)／DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC16)を使うと、バッテリー残量を気にせずに撮影や再生ができます。



- ACアダプターとDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。
- DCカプラー装着時、DCカプラー扉が開くため、防じん防滴構造ではなくなります。砂やほこり、水滴がカメラ内部に付着、侵入しないようにしてください。使用後は、DCカプラー扉に異物が付着していないことを確認し、しっかりと閉じてください。
- 詳しくは、ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書をお読みください。

海外旅行先で使う

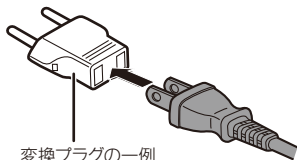
ACアダプターは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。



- 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、電源プラグと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

❖ 変換プラグの付け方

図の向きに差し込む



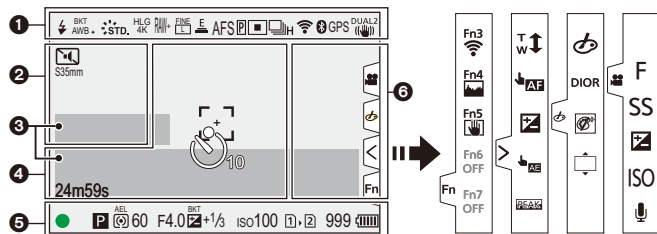
❖ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ 合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A		
ヨーロッパ							
イギリス	BF,B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2),SE	オランダ	C(C2),SE
ギリシャ	A,B,B3, C(C2),SE	スイス	A,B,C(C2),SE	スウェーデン	B,C(C2),SE	スペイン	A,C(C2),SE
デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2),SE	ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2),SE	ベルギー	B,C(C2),SE	ロシア	A,C(C2),SE
アジア							
インド	B,BF,B3,C(C2)	インドネシア	B,B3,C(C2),SE	シンガポール	B,BF,B3	タイ	A,BF,C(C2)
大韓民国	A,C(C2),SE	台湾	A,C(C2),O	中華人民 共和国	すべて	フィリピン	A,O
ベトナム	A,BF, C(C2),SE	香港特別 行政区	B,BF,B3, C(C2)	マカオ特別 行政区	B,BF,B3, C(C2)	マレーシア	B,BF,B3, C(C2)
オセアニア							
オースト ラリア	O	グアム島	A	サイパン島	A	トンガ	O
ニュージ ランド	O	フィジー	A,B, C(C2),O				
中南米							
アルゼンチン	BF,C(C2),SE	プエルトリコ	A,BF,C(C2)	ブラジル	A,C(C2),SE	メキシコ	A,C(C2),SE
中東・アフリカ							
アラブ首長 国連邦	B,BF,B3	エジプト	BF,B3, C(C2),SE	クウェート	B,B3, C(C2)	トルコ	A,B, C(C2),SE
南アフリカ 共和国	B,BF,B3, C(C2)	モロッコ	A,C(C2), SE				
タイプ	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	O
	アメリカン タイプ	U.K.タイプ			ヨーロッパ タイプ		オーストラリアン タイプ
コンセント 形状							
プラグ 形状	不要です						

モニター／ファインダーの表示

- 画面は[LVF/モニター表示設定]を[

撮影画面



	フラッシュモード(→ 198)
	フラッシュ設定(→ 203、204)
AWBc AWBw 	ホワイトバランス(→ 176)
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケット(→ 145)
AWB + AWB -	ホワイトバランス調整(→ 178)
	フォトスタイル(→ 180)
*POP	フィルター設定(→ 185)／フィルター効果調整(→ 185)
HLG 4K	HLG フォト(→ 194)

MON LUT HDMI V-Log	LUTビューアシスト(→ 265)
MON MODE2 HDMI HLG	HLGビューアシスト(→ 268)
RAW+ FINE STD M	写真画質(→ 82) 画像サイズ(→ 81)
EXM	EXテレコン(写真)(→ 115)
MOV 420/8-L FHD 24p	記録ファイル方式(→ 217)／動画画質(→ 218)
MOV FHD 420/8-L	記録ファイル方式(→ 217)／動画画質(→ 218)
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート(→ 218)／バリエーションフレームレート(→ 253)
	電子シャッター(→ 152)
AFS AFC MF	フォーカスモード(→ 87、110)
BKT AFS	フォーカスブラケット(→ 144)

AFL	AFロック(→172)
	ピーキング(→347)
FULL S35mm PIXEL PIXEL	動画撮影範囲(→227)
	AFモード(→93)
	ドライブモード(→117)
	フォーカスセレクト(→146)
	Wi-Fi接続状態(→402)
	Bluetooth接続状態 (→406)
GPS	位置情報記録(→421)
DUAL2 ()	手ブレ補正(→154)
DUAL2 ()	
()	手ブレ警告(→154)

2

PRE	プリ記録(→124)
	多重露出(→353)
	サイレントモード(→151)
S35mm PIXEL PIXEL	動画撮影範囲(→227)
2.0x 	アナモフィック デスクイーズ表示(→270)

Flicker	フリッカー軽減(写真) (→351)
	ハイレゾモード(→191)
	オーバーレイ表示(→376)
MON LUT HDMI V4.0g	LUTビューアシスト (→265)
MON MODE2 HDMI HLG	HLGビューアシスト (→268)
	ループ記録(→274)

3

TC 00:00:00:00	タイムコード(→229)
INT. MIC	内蔵マイク、外部マイク (→242、291)
EXT. MIC	
96kHz/24bit XLR	XLRマイクアダプター設定 (→293)
LMT ON	録音レベルリミッター (→244)
LMT OFF	
	ミュート(→242、243)
録音レベル(→242)	
露出メーター(→375)	

4

	ヒストグラム(→373)
	AFエリア(→105)
+	スポット測光ターゲット (→159)
+	センターマーカー(→378)
	セルフタイマー(→139)
	ロックレバー(→64)
XXmXXs	記録経過時間(→208)
	画像送信中(→419)

5

2019.12.1 10:00:00	タイムスタンプ記録(→361)
●	フォーカス(緑点灯)(→60)／ 記録動作表示(赤点灯) (→192, 208)
LOW ●	フォーカス(低照度AF時) (→89)
STAR ●	フォーカス(星空AF時) (→89)
	フラッシュ光量調整 (→202)
iA P A S M P C3-1 P	撮影モード(→61)
P	プログラムシフト(→161)
	測光モード(→159)
	AEロック(→172)
60	シャッタースピード(→60)
F4.0	絞り値(→60)
BKT F4.0	絞りブラケット(→143)
BKT +1/3	露出補正值(→170) 露出ブラケット(→143)
MM+1	マニュアル露出アシスト (→167)
ISO100	ISO感度(→173)／ Dual Native ISO 設定 (→175)
	カードアクセス表示 (赤点灯)(→208)

	カードスロット(→51)／ ダブルスロット機能 (→83)
	カードなし
	カード残量なし
999	静止画撮影枚数(→506)
r20	連続撮影可能枚数(→119)
XXmXXs	動画記録時間(→507)
	バッテリー残量(→47)
	給電(→46)
BG	バッテリーグリップ (→467)

6

	温度上昇警告アイコン(→485)
	ファン異常アイコン(→493)

タッチタブ(→368)

Fn	
Fn3 	Fn ボタン(→321)
T W ↑↓	タッチズーム(→116)
↓ AF	タッチAF、タッチシャッター (→78)
	露出補正(→170)
↓ AE	タッチAE(→79)
BEAK	ピーキング(→347)
	(→214)
	ばかし方(ジオラマ)(→188)

	ワンポイントカラー(→ 189)
	光源の位置(サンシャイン) (→ 189)
	フィルター効果調整(→ 185)
	フィルターの入／切(→ 187)
DIOR	フィルター設定(→ 185)
F	絞り値(→ 214)
SS	シャッタースピード(→ 214)
	露出補正(→ 214)
ISO	ISO感度(→ 214)
	録音レベル設定(→ 214)

❖ コントロールパネル



1

	撮影モード(→ 61)
1/60	シャッタースピード(→ 60)
F4.0	絞り値(→ 60)
	バッテリー残量(→ 47) 給電(→ 46)
	バッテリー残量(バッテリーグリップ)(→ 47)
	Wi-Fi / Bluetooth 接続状態(→ 402)

2

 100	ISO感度(→ 173) / Dual Native ISO 設定(→ 175)
	露出補正值(→ 170) / マニュアル露出アシスト(→ 167)
	フラッシュ設定(→ 202、203、204) / フラッシュモード(→ 198)

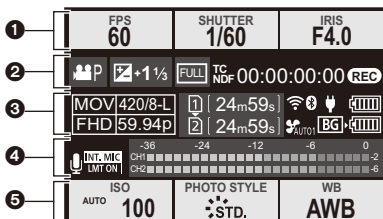
3

	ドライブモード(→ 117) / フォーカスセレクト(→ 146) / ハイレゾモード(→ 191)
AFS	フォーカスモード(→ 87、110)
	AFモード(→ 93)
FINE	写真画質(→ 82)
S35mm 	動画撮影範囲(→ 227) / 記録ファイル方式(→ 217) / 動画画質(→ 218)
3:2 	画像サイズ／画像横縦比(→ 81)
HLG OFF	HLG フォト(→ 194)
Fn	Fn ボタン設定(→ 313)

4

	フォトスタイル(→ 180)
AWB	ホワイトバランス(→ 176)
iOFF	iダイナミックレンジ(→ 344)
	測光モード(→ 159)
 	カードスロット(→ 51)／ ダブルスロット機能 (→ 83)
 	カードなし
 	カード残量なし
999	静止画撮影枚数(→ 506)
r20	連続撮影可能枚数(→ 119)
残XXmXXs	動画記録時間(→ 507)
----	カードなし

❖ コントロールパネル([M]モード)



①

FPS 60	記録フレームレート (→ 218)／バリエーション フレームレート(→ 253)
SHUTTER 1/60	シャッタースピード(→ 60)
IRIS F4.0	絞り値(→ 60)

②

P	動画露出設定(→ 213)
+1 1/3	露出補正値(→ 170)／ マニュアル露出アシスト (→ 167)
MM+1	
FULL	動画撮影範囲(→ 227)
TC NDF 00:00:00:00	タイムコード(→ 229)
REC	記録動作表示(→ 208)

③

MOV/420/8-L FHD/59.94p	記録ファイル方式(→ 217)／ 動画画質(→ 218)
1 2	カードスロット(→ 51)／ ダブルスロット機能(→ 83)
24m59s	動画記録時間(→ 507)
Wi-Fi Bluetooth	Wi-Fi／Bluetooth接続状態 (→ 402)

AUTO1	ファン動作モード(→ 380)
Battery Level	バッテリー残量(→ 47) 給電(→ 46)
BG Battery Level	バッテリー残量(バッテ リーグリップ)(→ 47)

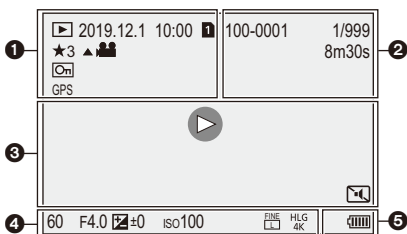
④

INT. MIC EXT. MIC	内蔵マイク、外部マイク (→ 242、291)
96kHz/24bit XLR	XLRマイクアダプター設定 (→ 293)
LMT ON LMT OFF	録音レベルリミッター (→ 244)
Mute	ミュート(→ 242、243)
Audio Level	録音レベル(→ 242)

⑤

ISO AUTO 100	ISO感度(→ 173)／ Dual Native ISO設定(→ 175)
PHOTO STYLE STD. MON LUT HDMI VLog MON MODE2 HDMI HLG	フォトスタイル(→ 180)／ LUTビューアシスト(→ 265)／ HLGビューアシスト(→ 268)
WB AWB	ホワイトバランス(→ 176)

再生画面



①

	再生モード(→ 394)
2019.12.1 10:00	撮影日時(→ 57)
[1] [2]	カードスロット(→ 51)
★3	レーティング(→ 397)
	動画再生(→ 299)
	プロテクト(→ 397)
GPS	位置情報記録(→ 421)
	情報取得中
	ケーブル切断禁止アイコン (→ 464)
	マーカーあり (→ 128、130)
	ローリングシャッター低減 (→ 127)
	6K/4K連写ファイルから 写真を保存(→ 126)
	フォーカスセレクト画像から 写真を保存(→ 148)
XXmXXs	再生経過時間(→ 299)

②

100-0001	フォルダー・ファイル番号 (→ 455)
1/999	画像番号／トータル枚数
9枚 9ファイル	グループ画像枚数／ファイル数
XXmXXs	動画記録時間(→ 299)
XXmXXs XXs	バリアブルフレームレート (→ 253)
XXmXXs	ループ記録(→ 274)
MON MODE2	HLGビューアシスト(→ 268)
MON LUT	LUTビューアシスト(→ 265)

③

	再生(動画)(→ 299)
 	グループ画像(→ 305)
TC 00:00:00:00	タイムコード(→ 229)

96kHz/24bit 	XLRマイクアダプター設定 (→ 293)
MOV FHD 420/8-L	記録ファイル方式(→ 217)／ 動画画質(→ 218)
59.94p 60/59.94p	記録フレームレート (→ 218)／ バリエーションフレームレート (→ 253)
FULL S35mm PIXEL PIXEL	動画撮影範囲(→ 227)
 	Wi-Fi／Bluetooth接続状態 (→ 402)
	サイレントモード(→ 151)

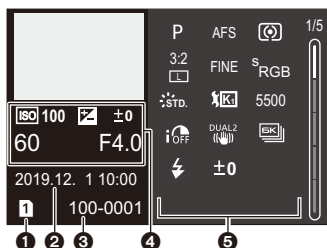
4

撮影情報

5

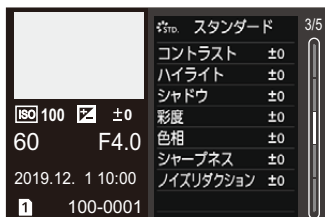
	バッテリー残量(→ 47)
	給電(→ 46)
	バッテリーグリップ (→ 467)

詳細情報表示

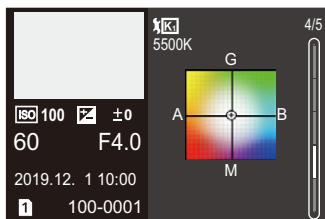


- ① カードスロット(→51)
- ② 撮影日時(→57)
- ③ フォルダ・ファイル番号(→455)
- ④ 撮影情報(基本)
- ⑤ 撮影情報(詳細)

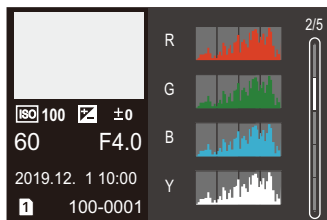
フォトスタイル表示



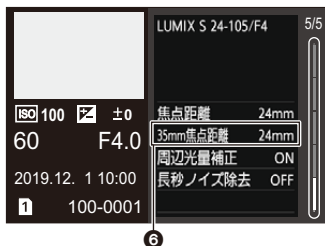
ホワイトバランス表示



ヒストグラム表示



レンズ情報表示



- ⑥ フルサイズ用レンズを使用し、[画像横縦比]を[3:2]に設定したときの画角に相当する焦点距離

メッセージ表示

カメラの画面に表示される主なメッセージの意味と対処法です。

❖ カード

メモリーカードエラー／フォーマットしますか？

- 本機では使用できないフォーマットです。別のカードをご使用いただくか、必要なデータをバックアップしてから本機でフォーマットしてください。(→ 53)

メモリーカードエラー／このカードは使用できません

- 本機に対応したカードをお使いください。(→ 31)

カードを入れ直してください／別のカードでお試しください

- カードにアクセスできませんでした。カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー／ライトエラー／カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。カメラの電源を切り、カードを入れ直してから、もう一度、電源を入れてください。
- カードが壊れている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試しください。

現在の設定と異なるシステム周波数で撮影されたAVCHDがSDカードに存在するため、AVCHDを撮影できません。SDカードを交換するか、システム周波数を変更してください。

- [システム周波数]を変更すると、同じカードに動画を撮影できない場合があります。
[システム周波数]を元の設定に戻すか、別のカードを入れてお試しください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画、6K/4Kフォトおよびフォーカスセレクトの撮影時に、カードの書き込み速度が不足しています。対応するスピードクラスのカードをお使いください。(→ 32)
- 指定されたスピードクラスのカードを使用しても撮影が停止する場合は、カードのデータ書き込み速度が低下しています。データのバックアップを取り、フォーマット(→ 53)することをお勧めします。
- カードの種類によっては、途中で撮影が終了することがあります。

書込み中です。

- カード書き込み中に、カード扉やバッテリー扉を開くと表示されます。書き込みが終わるのを待って、カメラの電源を切ってから取り出してください。

❖ レンズ

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

- レンズを一度取り外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。(→ 54)
電源を入れ直し、それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

- レンズをカメラから取り外し、レンズとカメラ両方の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

❖ バッテリー

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみやほこりを取り除いてください。

❖ Wi-Fi

アクセスポイントの接続に失敗しました／接続できませんでした／送信先が見つかりませんでした

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化キーをご確認ください。(→ 440)
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できないことがあります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、他の無線機器の使用状況をご確認ください。

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。／ネットワークが切断されました。送信を中止しました。

- 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動で接続が切断されることがあります。接続し直してください。

通信できませんでした

- スマートフォン側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

❖ その他

消去できない画像があります／この画像は消去できません

- DCF規格に準拠していない画像は消去できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(→ 53)

この画像には設定できません

- DCF規格に準拠していない画像は編集できません。

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号の上限に達したため、新しいフォルダーを作成できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(→ 53) フォーマットしたあとにセットアップメニュー(カード/ファイル)の[ファイル番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(→ 86)

電源を入れ直してください／システムエラー

- 電源を入れ直してください。数回繰り返してもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ファンが正常に動作していません。

- ファンが停止しています。カメラの電源を入れ直してください。電源を入れ直してもファンが動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ファンが停止したまま使用を続けると、カメラの温度が上昇します。長時間使用しないでください。

Q&A 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず **1** の内容をお試ください。
それでも解決できない場合は、**2、3、4** の順にお試ください。

1 本項目(Q&A)の内容を試す

- 「電源、バッテリー」 →485
- 「撮影」 →485
- 「動画」 →488
- 「再生」 →488
- 「モニター／ファインダー」 →489
- 「フラッシュ」 →489
- 「Wi-Fi機能」 →490
- 「テレビ、パソコン、プリンター」 →492
- 「その他」 →493



2 カメラを初期設定に戻す

- → → → [設定リセット]



3 パナソニックのサポートサイトを確認する

https://panasonic.jp/support/dsc/

- 最新のサポート情報を掲載しています。



4 ご相談窓口にお問い合わせ

本書の「保証とアフターサービス」(→ 546)をお読みください。

電源、バッテリー

電源が勝手に切れる。

- [エコモード]が働いています。(→ 49)

バッテリーの消費が早い。

- [6K/4K プリ連写]や[プリ記録]を設定しているときは、バッテリーの消費が早くなります。撮影するときだけ設定してください。
- Wi-Fi接続中はバッテリーの消費が早くなります。[エコモード](→ 49)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- 周囲の温度が高い場合や、連続で撮影した場合は、カメラの温度が上昇します。温度上昇からカメラを保護するため、[△]が表示されたあと、撮影が停止することや、以下の機能が一時的に使用できないことがあります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
 - 6K/4K フォト
 - フォーカスセレクト
 - 動画撮影
 - AFポイントスコープ

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/リリース優先]が[フォーカス]に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影できません。(→ 364)

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと、画像が白っぽくなる場合があります。レンズが汚れたときは、カメラの電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。撮像素子のお手入れについては、495ページをお読みください。

撮影した画像が明るすぎる、暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロックがかかっていないか確認してください。(→ 172)

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを[**I**](連写1)または[**II**](連写2)に合わせているときは、シャッターボタンを押したままにすると連写されます。(→ 117)
- [ブラケット]を設定しているときは、シャッターボタンを押すと自動で設定を変えて複数枚の画像を撮影します。(→ 141)

ピントが合わない。

- 以下の内容を確認してください。
 - ピントが合う範囲から外れていないか。
 - [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていないか。(→ 367)
 - [フォーカス/リリース優先]が[リリース]になっていないか。(→ 364)
 - 不適切な状態でAFロック(→ 172)がかかっているか。

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下の内容をお試してください。
 - ISO感度を低くする(→ 173)
 - [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整する(→ 182)
 - [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定する(→ 343)

被写体が曲がって撮影される。

- 以下の機能を使用中は、動いている被写体を撮影すると被写体が曲がって撮影される場合があります。
 - 電子シャッター
 - 動画撮影
 - 6K/4Kフォト
- これは、本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しが出ます。

- 本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター(→ 152)使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しみが軽減されることがあります。
- 写真撮影中にちらつきが目立つ場合は、[フリッカー軽減(写真)]を設定してください。(→ 351)
- 動画撮影中にちらつきや横しみが目立つ場合は、シャッタースピードを固定することで軽減できます。[フリッカー軽減(動画)](→ 356)を設定するか、[M]モード(→ 211)で撮影してください。

**ISO感度が高いとき、横しが出ます。**

- ISO感度が高いとき、使用するレンズによっては横しみが撮影されることがあります。ISO感度を低くしてください。(→ 173)

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するもので、異常ではありません。
- 極端に明るい場所や、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しみが現れたりすることがあります。

被写体がない明るい点が画像に記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性があります。[ピクセルリフレッシュ](→ 391)を実行してください。

動画

動画が撮影できない。

- [システム周波数]を変更すると、同じカードに動画を撮影できない場合があります。
[システム周波数]を元の設定に戻すか、別のカードを入れてお試しください。
- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 動画撮影には、対応したスピードクラスのカードが必要です。対応したカードをお使いください。(→ 32)

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が記録される。記録される音声が非常に小さい。

- 撮影環境や使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に記録されることがあります。動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](→ 235)で[OFF]に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を塞がないでください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になるときは、[P/M]モードに設定し、タッチ操作で撮影することをお勧めします。(→ 214)

再生

再生できない。撮影した画像がない。

- パソコンでフォルダーや画像を加工すると、本機で再生できません。パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。
- [再生モード]を設定すると、一部の画像が表示されません。[通常再生]に設定してください。(→ 394)
- [システム周波数]が異なる設定で記録した動画は再生できません。[システム周波数]を撮影したときの設定に戻してください。(→ 216)

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正([, [])が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。フラッシュモードを[]に変更するか、または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(→ 200)

モニター／ファインダー

電源が入っているときに、モニター／ファインダーが消える。

- 設定した時間内に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF](→ 49)が働き、モニター／ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化して発生する現象です。故障ではありません。

[LVF]ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンやプリンターと接続しているときは、ファインダー表示に切り換えられません。

ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付きが発生します。記録される画像に影響はありません。

ファインダーの色合いが実際とは異なる。

- これは本機のファインダーの表示方式の特徴であり、異常ではありません。記録される画像に影響はありません。

フラッシュ

フラッシュが発光しない。

- 以下の機能使用中は、フラッシュは発光しません。
 - 動画撮影(→ 208)、6K/4Kフォト(→ 121)、[フォーカスセレクト](→ 146)
 - 電子シャッター(→ 152)、[サイレントモード](→ 151)、[ハイレゾモード](→ 191)
 - [フィルター設定](→ 185)

Wi-Fi機能

Wi-Fi接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用すると、電波が途切れることがあります。それらの機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- カメラを金属製のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続する無線アクセスポイントが使用可能であることを確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
 - カメラと無線アクセスポイントを近づけてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの電源を入れ直してください。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で本機に対応したチャンネルに設定してください。
 - 無線アクセスポイントのSSIDが非通知に設定されていると、検出されない場合があります。SSIDを入力して接続してください。(→ 440)

スマートフォンのWi-Fi設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンのWi-Fi機能を一度オフにしてから、再度オンにしてお試しください。

パソコンとWi-Fi接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- OSのバージョンによっては2種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoftアカウント)があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。パソコンのワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi設定]メニューの[PC接続設定]で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。(→ 446)
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。
- カメラと接続するパソコンの時計設定が大きくずれていると、OSによっては接続できないことがあります。

Web サービスに画像を送信できない。

- ログイン情報(ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード)が間違っていないか確認してください。

**Web サービスに画像を送信するのに時間がかかる。
画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。**

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
 - [送信サイズ](→ 444)で画像サイズを小さくして送信してください。
 - [動画分割](→ 311)で動画を分割して送信してください。
- 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。無線アクセスポイントの近くで送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。(→ 425)

LUMIX CLUB (PicMate)の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。

- パソコンで画像を編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットしてください。(→ 74)ただし、[Wi-Fi設定]や[Bluetooth]で設定した情報もすべてリセットされます。([PicMate設定]は除く)

テレビ、パソコン、プリンター

テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れる、色が付かない。

- テレビとの接続を確認してください。(→ 452)
- テレビの入力をHDMI入力にしてください。

テレビの画像にグレーの帯が付いて表示される。

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右にグレーの帯が付いて表示されることがあります。セットアップメニュー(IN/OUT)の[テレビ接続設定]の[画像背景色(再生時)]で帯の色を変更できます。(→ 390)

ビエラリンク(HDMI)が働かない。

- カメラの[ビエラリンク]が[ON]になっていることを確認してください。(→ 389)
- 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。
- カメラの電源を入れ直してください。

パソコンとの通信ができない。

- カメラの[USBモード]を[PC(Storage)]に設定してください。(→ 387)
- カメラの電源を入れ直してください。

プリンターに接続してもプリントができない。

- PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。
- カメラの[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(→ 387)

プリントすると、画像の端が切れる。

- プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。(プリンターの取扱説明書をお読みください)
- お店によっては、横縦比を16:9に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合があります。事前にお店にお尋ねください。

その他

画面にが表示される。

- ファンが停止しています。カメラの電源を入れ直してください。電源を入れ直してもファンが動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ファンが停止したまま使用を続けると、カメラの温度が上昇します。長時間使用しないでください。

カード扉やバッテリー扉を開くと警告音が鳴る。

- カード書き込み中に扉を開くと、警告音が鳴る場合があります。書き込みが終わるのを待って、カメラの電源を切ってからカードやバッテリーを取り出してください。

カメラを振ると「カタカタ」音がする。

- この音はボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

電源を入れたときに、カメラから音がする。

- ダストリダクション機能(→ 496)が動作する音で、故障ではありません。

カメラの電源を入/切したとき、またはカメラを振ったときに、レンズから「カタカタ」音がする。

撮影するときに、レンズから音がする。

- これはレンズ移動や絞り動作の音です。故障ではありません。

シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。

- 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(→ 346)が赤く点灯します。

カメラが熱くなる。

- ご使用中、カメラの表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- カメラを長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。再度時計を設定してください。(→ 57)

使用上のお願い

❖ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声がかかります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声がかかります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出し、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

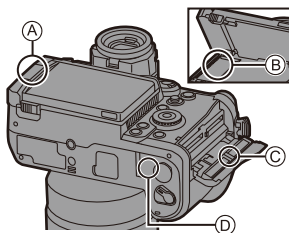
- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

磁石部①、②、③、④に磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。

- 磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。



殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- 外装ケースが変質したり塗装がはがれたりするおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品を長期間接触したままにしないでください。

❖ 寒冷地や低温下でのご使用について

- 寒冷地(スキー場などの0℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。
- -10℃～0℃の環境では、一時的にバッテリーの性能(撮影可能枚数/時間)が低下します。バッテリーを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。内部の温度が上がると性能が回復します。
- 0℃未満ではバッテリーを充電できません。充電できないときは、チャージャーまたはカメラ本体にエラー表示が出ます。
 - チャージャーで充電時:50%の充電ランプが速く点滅します。
 - カメラ本体で充電時:ステータスLCDに[ERROR]が表示されます。
- 寒冷地で使用する場合、雪や水滴が付いたまま放置しないでください。放置すると、電源スイッチ、スピーカーやマイクの間隙などの雪や水滴が凍り、カメラの各部が動きにくくなったり、音が小さくなったりする場合があります。これは故障ではありません。

❖ お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれたりするおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾を使用する場合は、その注意書きに従ってください。

❖ 撮像素子のごみの付着について

レンズ交換の際に、マウント内部にごみが入り込むと、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップに付着したごみは必ず取り除いてください。

ダストリダクション機能

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は電源を入れると自動で働きます。特にごみが気になる場合は、セットアップメニュー(その他)の[センサークリーニング]を実行してください。

撮像素子のごみの除去

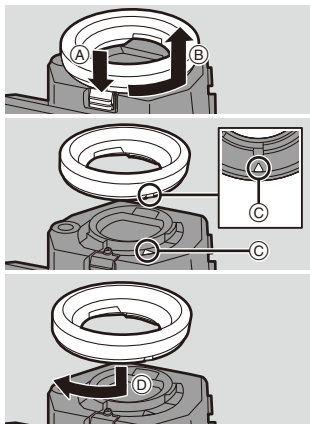
撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいため、やむをえずご自身でクリーニングする場合は、以下のことを必ずお守りください。

- 市販のプロワーで撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにしてください。
- プロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- プロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、プロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- プロワー以外のものは使用しないでください。
- プロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ ファインダーのお手入れについて

ファインダーが汚れた場合は、アイカップを取り外してお手入れできます。アイカップロックレバーを押しながら①、アイカップを矢印の方向に回して取り外します②。市販のプロワーでファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

- お手入れ後は、△の取り付けマーク③を合わせて、アイカップを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押しながら回して取り付けてください④。
- アイカップの紛失にお気をつけください。



❖ モニター／ファインダー

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出ることや、故障の原因になることがあります。
- モニター／ファインダーは、精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点や白い点が現れることや、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。モニター／ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。また、これらの点は、カードの画像には記録されないためご安心ください。

❖ バッテリー

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど性能への影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。

- 取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- 端子部が変形したバッテリーをカメラに入れると、カメラを傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>



充電式

**リチウムイオン
電池使用**

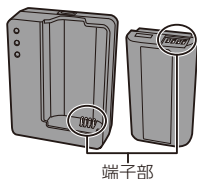
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

❖ チャージャー、ACアダプター

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波の影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中にACアダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いてください。(接続したままにすると、最大約0.3 Wの電力を消費します)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



❖ カード

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。

カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。

カードに強い振動を与えないでください。

- カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カードの端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

カードを廃棄／譲渡するときのお願い

カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。

廃棄／譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

❖ 個人情報について

カメラ内および撮影した画像には個人情報が含まれます。個人情報の保護のため、Wi-FiパスワードやWi-Fi機能ロックを設定してセキュリティを強化することをお勧めします。(→446、447)

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡／廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、カメラ内にお客様が登録または設定した無線LAN接続設定等の個人情報を含む情報を、[設定リセット](→ 74)および[PicMate 設定]の[消去・退会](→ 450)を実行して必ず消去してください。
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(→ 74)
- カメラからカードを取り出してください。
- 修理をすると、カメラが初期設定状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、カメラの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

カードを譲渡／廃棄する際は、**498**ページの「カードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。

画像をWebサービスにアップロードするとき

- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。よくご確認のうえ、Webサービスに画像をアップロードしてください。

❖ 長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ずカメラから取り出してください。バッテリーを入れたままにすると、カメラの電源を切っていても、絶えず微小電流が流れています。そのままにすると過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度: 15℃～25℃、推奨湿度: 40%RH～60%RH)
- 長期間保管する場合、1年に1回はバッテリーを充電し、カメラでバッテリーを使い切ってから、カメラから取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

❖ 画像データ

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖ 三脚

- カメラを取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、バッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようにしてください。
無理な力で回すと、カメラの三脚取り付け部を傷つけるおそれがあります。また、ねじを締めすぎるとカメラに傷がつくことや、定格ラベルがはがれることがあるためお気をつけください。
- 三脚の取扱説明書もよくお読みください。

❖ ショルダーストラップ

- カメラに重いレンズを取り付けた場合は、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。カメラとレンズを持って持ち運んでください。

❖ Wi-Fi機能

本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがあるため接続しないでください。

- * SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

-
- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製 (コピー) したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
 - 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz/5 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、[MENU]ボタン ➡  [セットアップ] ➡  [その他]の[認証情報]で確認できます。

本機の無線LAN機能/Bluetooth機能(2.4 GHz帯)が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4DS4/OF4/XX1

2.4: 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX: 変調方式がDSSS、OFDM、その他の方式であることを示します。

1: 想定される与干渉距離が約10 mであることを示します。

4: 想定される与干渉距離が約40 mであることを示します。

無線LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

LUMIX (ルミックス) ・ムービーご相談窓口

フリーダイヤル



パナは ロクサンハチ

0120-878-638

受付時間
9:00~18:00 (年中無休)

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■ FAXフリーダイヤル
 **0120-878-236**

■ 5 GHz帯使用時の注意事項

5150 MHz～5350 MHzの周波数帯域は電波法により屋外での使用は禁じられています。5 GHz帯対応の無線アクセスポイントを屋外で使用する場合、無線アクセスポイントのチャンネル設定を確認してください。詳しくは、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報は、メニュー画面で確認できます。

- 1  [セットアップ]メニューの  [その他]タブを選ぶ
- 2 [認証情報]を選んで決定する

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間

付属のバッテリーを使用して撮影できる枚数と時間は下記のとおりです。

- 写真の撮影可能枚数は、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による。
- 当社製 SDHC メモリーカード使用。
- 交換レンズ (S-R24105) 使用。
- 記載している数値は目安です。

❖ 写真記録(モニター使用時)

撮影可能枚数(枚)	400
-----------	-----

❖ 写真記録(ファインダー使用時)

撮影可能枚数(枚)	380 (1150)
-----------	------------

- () 内は[省電力ファインダー撮影]の[スリープするまでの時間]を[1秒]に設定し、[省電力ファインダー撮影]が働いた場合の数値です。(CIPA 規格をベースにした当社測定条件による)

❖ 動画撮影(モニター使用時)

記録方式	動画画質	連続撮影可能時間(分)		実撮影可能時間(分)	
		動画撮影範囲		動画撮影範囲	
		FULL	S35mm	FULL	S35mm
AVCHD	FHD/17M/60i	160	140	80	70
MP4	4K/10bit/100M/60p	—	120	—	60
	4K/8bit/100M/30p	140	130	70	65
	FHD/8bit/28M/60p	160	140	80	70
MOV	5.9K/30p/420/10-L	120	—	60	—
	4K/60p/420/10-L	—	120	—	60
	4K/30p/422/10-L	120	120	60	60
	FHD/120p/420/10-L	140	130	70	65
	FHD/60p/422/10-L	140	130	70	65
	FHD/60p/420/8-L	140	130	70	65

- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]／[OFF]切り換え、撮影の開始／終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

❖ 再生(モニター使用時)

再生使用時間(分)	270
-----------	------------



- 撮影可能枚数と撮影可能時間は、周囲の環境や使用条件によって変わります。例えば、以下の場合は減少します。
 - スキー場などの低温下
- 満充電してもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。バッテリーの状態を確認して、新しいバッテリーと交換してください。(→ 388)

カードの静止画撮影枚数、動画記録時間

カードに記録できる写真の枚数と動画の時間は下記のとおりです。

- 記載している数値は目安です。

❖ 静止画撮影枚数(枚)

- 画像横縦比[3:2]、写真画質[FINE]の場合

画像サイズ	カードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
L(24M)	2470	4940	9780
M(12M)	4520	8980	17790
S(6M)	7950	15440	30580
Full-Res.*	970	1940	3840

- 画像横縦比[3:2]、写真画質[RAW+FINE]の場合

画像サイズ	カードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
L(24M)	650	1310	2590
M(12M)	740	1480	2940
S(6M)	790	1590	3160
Full-Res.*	460	930	1840

- * [HLGフォト]を[Full-Res.]に設定し、[L]サイズのJPEG画像を同時に記録した場合の枚数です。

❖ 動画記録時間(h:時間、m:分、s:秒)

• 動画記録時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

• 記録ファイル方式[AVCHD]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]			
動画画質	カードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
[FHD/28M/60p]	2h25m	5h00m	9h55m
[FHD/17M/60i]	4h05m	8h10m	16h20m
[FHD/24M/30p] / [FHD/24M/24p]	2h50m	5h45m	11h35m

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]			
動画画質	カードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
[FHD/28M/50p]	2h25m	5h00m	9h55m
[FHD/17M/50i]	4h05m	8h10m	16h20m
[FHD/24M/25p]	2h50m	5h45m	11h35m

• 記録ファイル方式[MP4]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]			
動画画質	カードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
[4K/10bit/100M/60p] / [4K/8bit/100M/30p] / [4K/8bit/100M/24p]	41m00s	1h25m	2h45m
[4K/10bit/72M/30p] / [4K/10bit/72M/24p]	58m00s	1h55m	3h55m
[FHD/8bit/28M/60p]	2h25m	4h55m	9h45m
[FHD/8bit/24M/24p]	2h50m	5h40m	11h25m
[FHD/8bit/20M/30p]	3h15m	6h30m	13h00m

システム周波数:[50.00Hz(PAL)]			
動画画質	カードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
[4K/10bit/100M/50p] / [4K/8bit/100M/25p]	41m00s	1h25m	2h45m
[4K/10bit/72M/25p]	58m00s	1h55m	3h55m
[FHD/8bit/28M/50p]	2h25m	4h55m	9h45m
[FHD/8bit/20M/25p]	3h15m	6h30m	13h00m

● 記録ファイル方式[MOV]の場合

システム周波数:[59.94Hz(NTSC)]			
動画画質	カードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
[4K-A/30p/422/10-I] / [4K-A/24p/422/10-I] / [C4K/30p/422/10-I] / [C4K/24p/422/10-I] / [4K/30p/422/10-I] / [4K/24p/422/10-I]	10m00s	21m00s	42m00s
[6K/24p/420/10-L] / [5.9K/30p/420/10-L] / [5.9K/24p/420/10-L] / [5.4K/30p/420/10-L] / [4K-A/48p/420/10-L] / [C4K/60p/420/10-L] / [C4K/48p/420/10-L] / [4K/60p/420/10-L] / [4K/48p/420/10-L] / [FHD/60p/422/10-I] / [FHD/30p/422/10-I] / [FHD/24p/422/10-I]	20m00s	42m00s	1h20m
[4K-A/30p/422/10-L] / [4K-A/24p/422/10-L] / [C4K/60p/420/8-L] / [C4K/30p/422/10-L] / [C4K/24p/422/10-L] / [4K/60p/420/8-L] / [4K/30p/422/10-L] / [4K/24p/422/10-L] / [FHD/120p/420/10-L]	27m00s	56m00s	1h50m
[4K-A/30p/420/8-L] / [4K-A/24p/420/8-L] / [C4K/30p/420/8-L] / [C4K/24p/420/8-L] / [4K/30p/420/8-L] / [4K/24p/420/8-L] / [FHD/60p/422/10-L] / [FHD/60p/420/8-L] / [FHD/60i/422/10-I] / [FHD/48p/420/10-L] / [FHD/30p/422/10-L] / [FHD/30p/420/8-L] / [FHD/24p/422/10-L] / [FHD/24p/420/8-L]	41m00s	1h25m	2h45m
[FHD/60i/422/10-L]	1h20m	2h50m	5h35m

システム周波数: [50.00Hz(PAL)]			
動画画質	カードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
[4K-A/25p/422/10-I] / [C4K/25p/422/10-I] / [4K/25p/422/10-I]	10m00s	21m00s	42m00s
[5.9K/25p/420/10-L] / [5.4K/25p/420/10-L] / [4K-A/50p/420/10-L] / [C4K/50p/420/10-L] / [4K/50p/420/10-L] / [FHD/50p/422/10-I] / [FHD/25p/422/10-I]	20m00s	42m00s	1h20m
[4K-A/50p/420/8-L] / [4K-A/25p/422/10-L] / [C4K/50p/420/8-L] / [C4K/25p/422/10-L] / [4K/50p/420/8-L] / [4K/25p/422/10-L] / [FHD/100p/420/10-L]	27m00s	56m00s	1h50m
[4K-A/25p/420/8-L] / [C4K/25p/420/8-L] / [4K/25p/420/8-L] / [FHD/50p/422/10-L] / [FHD/50p/420/8-L] / [FHD/50i/422/10-I] / [FHD/25p/422/10-L] / [FHD/25p/420/8-L]	41m00s	1h25m	2h45m
[FHD/50i/422/10-L]	1h20m	2h50m	5h35m

システム周波数:[24.00Hz(CINEMA)]			
動画画質	カードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
[4K-A/24p/422/10-I] / [C4K/24p/422/10-I] / [4K/24p/422/10-I]	10m00s	21m00s	42m00s
[6K/24p/420/10-L] / [5.9K/24p/420/10-L] / [4K-A/48p/420/10-L] / [C4K/48p/420/10-L] / [4K/48p/420/10-L] / [FHD/24p/422/10-I]	20m00s	42m00s	1h20m
[4K-A/24p/422/10-L] / [C4K/24p/422/10-L] / [4K/24p/422/10-L]	27m00s	56m00s	1h50m
[4K-A/24p/420/8-L] / [C4K/24p/420/8-L] / [4K/24p/420/8-L] / [FHD/48p/420/10-L] / [FHD/24p/422/10-L] / [FHD/24p/420/8-L]	41m00s	1h25m	2h45m



- 撮影条件、カードの種類により静止画撮影枚数、動画記録時間は変動します。
- 静止画撮影枚数の残り枚数が10000枚以上の場合、撮影画面およびステータスLCDに[9999+]と表示されます。
- 画面には、連続して動画を記録できる時間が表示されます。

初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

: [カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 写真:  画質					
フォトスタイル		 STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
画像横縦比		3:2	✓	✓	✓
写真画質		FINE	✓	✓	✓
画像サイズ		L 24M	✓	✓	✓
HLGフォト		OFF	✓	✓	✓
ハイレゾモード	開始	—			
	通常撮影同時記録	ON	✓	✓	✓
	シャッターディレイ	2秒	✓	✓	✓
	被写体ブレの処理	MODE1	✓	✓	✓
長秒ノイズ除去		ON	✓	✓	✓
Dual Native ISO 設定		自動切換	✓	✓	✓
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
下限シャッター速度		AUTO	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
周辺光量補正		ON	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓
 写真:  フォーカス					
AFカスタム設定(写真)		設定1	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
1点AF枠の移動速度		高速	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R	C	
写真: フラッシュ					
フラッシュモード			✓	✓	✓
発光モード		TTL	✓	✓	✓
フラッシュ光量調整		±0 EV	✓	✓	✓
フラッシュシンクロ		先幕	✓	✓	✓
マニュアル発光量設定		1/1	✓	✓	✓
露出補正連動		OFF	✓	✓	✓
デジタル赤目補正		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスモード		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスチャンネル		1CH	✓	✓	✓
ワイヤレスFP		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレス通信光量		強	✓	✓	✓
ワイヤレス設定		—	✓	✓	✓
写真: その他(静止画)					
ブラケット	ブラケット種類	OFF	✓	✓	✓
	詳細設定	—	✓	✓	✓
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	LENS	✓	✓	✓
	動作開始設定	半押し	✓	✓	✓
	電子補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	OFF	✓	✓	✓
	レンズ情報	Lens1	✓		✓
連写1設定		H	✓	✓	✓
連写2設定			✓	✓	✓
シャッター方式		メカシャッター	✓	✓	✓
シャッターディレイ		OFF	✓	✓	✓
EXテレコン(写真)		OFF	✓	✓	✓
インターバル / コマ撮り撮影	撮影方法	インターバル撮影	✓	✓	✓
	撮影間隔設定	ON	✓	✓	✓
	開始時刻	即時開始	✓	✓	✓
	撮影枚数	1	✓	✓	✓
	撮影間隔	1m00s	✓	✓	✓
	露出平滑化	OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R5	C	
セルフタイマー		10	✓	✓	✓
フリッカー軽減(写真)		OFF	✓	✓	✓
6K/4K フォト	画像サイズ/連写速度	6K 18M	✓	✓	✓
	撮影方法	6K	✓	✓	✓
	プリ記録	OFF	✓	✓	✓
フォーカスセレクト		OFF	✓	✓	✓
多重露出	開始	—			
	自動ゲイン補正	ON	✓	✓	✓
	再生画像と多重	OFF	✓	✓	✓
タイムスタンプ記録		OFF	✓	✓	✓
 動画:  画質					
動画露出設定		P	✓	✓	✓
フォトスタイル		STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
Dual Native ISO 設定		自動切換	✓	✓	✓
ISO 感度設定(動画)	ISO オート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISO オート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
シンクロスキャン		OFF	✓	✓	✓
フリッカー軽減(動画)		OFF	✓	✓	✓
マスターベデスタル		0	✓	✓	✓
SS/ゲイン操作		秒/ISO	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
周辺光量補正		ON	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓
 動画:  記録					
記録ファイル方式		[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]または [50.00Hz(PAL)]に設 定時: MP4	✓	✓	✓
		[システム周波数]を [24.00Hz(CINEMA)]に 設定時: MOV			
動画撮影範囲		FULL	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
動画画質		[システム周波数]を [59.94Hz(NTSC)]に設定 時:FHD/8bit/28M/60p			
		[システム周波数]を [50.00Hz(PAL)]に設定 時:FHD/8bit/28M/50p	✓	✓	✓
		[システム周波数]を [24.00Hz(CINEMA)]に設 定時:FHD/24p/420/8-L			
動画画質(マイリスト)		—	✓	✓	✓
バリエーションフレームレート		OFF	✓	✓	✓
タイムコード設定	タイムコード表示	OFF	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	レックラン	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	—			
	タイムコードモード	DF	✓	✓	✓
	HDMIタイムコード出力	OFF	✓	✓	✓
	外部タイムコード設定	—	✓	✓	✓
輝度レベル設定		16-255	✓	✓	✓
 動画:  フォーカス					
AF カスタム設定 (動画)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF 連続動作		MODE1	✓	✓	✓
AF 補助光		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
1点AF枠の移動速度		高速	✓	✓	✓
 動画:  音					
録音レベル表示		OFF	✓	✓	✓
音声入力ミュート		OFF	✓	✓	✓
録音ゲイン切換		標準	✓	✓	✓
録音レベル設定		0dB	✓	✓	✓
録音レベルリミッター		ON	✓	✓	✓
風音キャンセラー		標準	✓	✓	✓
風音低減		OFF	✓	✓	✓
マイク端子		MIC	✓	✓	✓
専用マイク設定		ステレオ	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定		48kHz/16bit	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R5	C	
音声モニタリング		リアルタイム	✓	✓	✓
ヘッドホン音量		LEVEL3	✓		✓
 動画:  その他(動画)					
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	LENS 	✓	✓	✓
	動作開始設定	半押し	✓	✓	✓
	電子補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	OFF	✓	✓	✓
	レンズ情報	Lens1	✓		✓
フォーカストランジション	開始	—			
	フォーカス位置	—			
	フォーカストランジション速度	M	✓	✓	✓
	フォーカストランジションレック	OFF	✓	✓	✓
	フォーカストランジションウエイト	OFF	✓	✓	✓
ループ記録(動画)		OFF	✓	✓	✓
動画分割記録		OFF	✓	✓	✓
ライブクロップ		OFF	✓	✓	✓
タイムスタンプ記録		OFF	✓	✓	✓
 カスタム:  画質					
フォトスタイル設定	フォトスタイル表示の制限	—	✓	✓	✓
	マイフォトスタイル設定	—	✓	✓	✓
	フォトスタイルのリセット	—			
ISO感度ステップ		1/3 EV	✓	✓	✓
拡張ISO感度		OFF	✓	✓	✓
基準露出レベル調節	マルチ測光	±0 EV	✓	✓	✓
	中央重点	±0 EV	✓	✓	✓
	スポット	±0 EV	✓	✓	✓
	ハイライト重点	±0 EV	✓	✓	✓
色空間		sRGB	✓	✓	✓
露出補正リセット		OFF	✓		✓
P/A/S/M動画の露出自動制御		ON	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R ₅	C	
クリエイティブ 動画の設定値	絞り値/SS/ISO/露出補正		✓	✓	✓
	ホワイトバランス		✓	✓	✓
	フォトスタイル		✓	✓	✓
	測光モード		✓	✓	✓
	AFモード		✓	✓	✓
カスタム: [AF] フォーカス/リリース					
フォーカス/リリース優先	AFS	フォーカス	✓	✓	✓
	AFC	バランス	✓	✓	✓
縦/横位置フォーカス切換		OFF	✓	✓	✓
AF/AEロック維持		OFF	✓	✓	✓
AF+MF		OFF	✓	✓	✓
MFアシスト	フォーカスリング	ON	✓	✓	✓
	AFモード	ON	✓	✓	✓
	ジョイスティックを押す	OFF	✓	✓	✓
	MFアシスト表示	PIP	✓	✓	✓
MFガイド			✓	✓	✓
フォーカスリングロック		OFF	✓	✓	✓
AFモード表示の 制限	自動認識(顔・瞳・人体・動物)	ON	✓	✓	✓
	追尾	ON	✓	✓	✓
	225点	ON	✓	✓	✓
	ゾーン(縦・横)	ON	✓	✓	✓
	ゾーン(四角)	OFF	✓	✓	✓
	ゾーン(楕円)	ON	✓	✓	✓
	1点+補助	ON	✓	✓	✓
	ピンポイント	ON	✓	✓	✓
	カスタム1	OFF	✓	✓	✓
	カスタム2	OFF	✓	✓	✓
	カスタム3	OFF	✓	✓	✓
ピンポイントAF 設定	ピンポイントAF時間	MID	✓	✓	✓
	ピンポイントAF表示	PIP	✓	✓	✓
AFポイントスコ ープ設定	拡大表示維持	OFF	✓	✓	✓
	PIP表示	PIP	✓	✓	✓
シャッター半押しAF		ON	✓	✓	✓
シャッター半押しリリース		OFF	✓	✓	✓
クイックAF		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
アイセンサーAF		OFF	✓	✓	✓
フォーカス枠のループ移動		OFF	✓	✓	✓
AFCの開始位置指定(225点AF)		OFF	✓	✓	✓
 カスタム:  操作					
Q.MENU設定	表示スタイル	MODE1	✓	✓	✓
	前ダイヤルの割当	設定値	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ (静止画)	—	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ (動画)	—	✓	✓	✓
タッチ設定	タッチパネル	ON	✓	✓	✓
	タッチタブ	OFF	✓	✓	✓
	タッチAF	AF	✓	✓	✓
	タッチパッドAF	OFF	✓	✓	✓
ロックレバー設定	カーソル		✓	✓	✓
	ジョイスティック		✓	✓	✓
	タッチパネル		✓	✓	✓
	ダイヤル		✓	✓	✓
Fnボタン設定	撮影時設定	—	✓	✓	✓
	再生時設定	—	✓	✓	✓
WB/ISO/露出補正ボタン		押した後2	✓	✓	✓
ISO感度画面の操作	前/後ダイヤルの割当	 	✓	✓	✓
	上/下ボタンの割当	OFF	✓	✓	✓
露出補正画面の操作	前/後ダイヤルの割当	 	✓	✓	✓
ダイヤル設定	F/SSダイヤルの割当	設定1	✓	✓	✓
	F/SSダイヤルの回転	 	✓	✓	✓
	コントロールダイヤルの割当		✓	✓	✓
	露出補正のダイヤル割当	OFF	✓	✓	✓
	ダイヤル動作切替設定	—	✓	✓	✓
	メニュー操作のダイヤル 回転	 	✓	✓	✓
ジョイスティック設定		ダイレクトフォーカス	✓	✓	✓
ボタンイルミネーション		ON2	✓	✓	✓
リモコンの動画ボタン		動画撮影	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
 カスタム:  モニター/表示(写真)					
オートレビュー	時間(写真)	OFF	✓	✓	✓
	時間(6K/4K フォト)	ホールド	✓	✓	✓
	時間(フォーカスセレクト)	ホールド	✓	✓	✓
	再生操作優先	OFF	✓	✓	✓
常時プレビュー(Mモード)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ヒストグラム表示		OFF	✓	✓	✓
写真グリッドライン表示		OFF	✓	✓	✓
AFエリア表示		ON	✓	✓	✓
ライブビュー ブースト	MODE1 / MODE2 / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	M	✓	✓	✓
ナイトモード	モニター	OFF	✓	✓	✓
	LVF	OFF	✓	✓	✓
LVF/モニター表示 設定	LVF表示設定		✓	✓	✓
	モニター表示設定		✓	✓	✓
露出メーター		OFF	✓	✓	✓
焦点距離		ON	✓	✓	✓
ハイライト表示		OFF	✓	✓	✓
オーバーレイ表示	ON / OFF	OFF	✓		
	設定	—	✓		
手ブレ状態スコープ		OFF	✓	✓	✓
水準器表示		ON	✓	✓	✓
スポット輝度メーター		OFF	✓	✓	✓
ライブビュー境界線表示		OFF	✓	✓	✓
撮影画面の遷移 (モニター)	コントロールパネル	ON	✓	✓	✓
	消灯画面	ON	✓	✓	✓
 カスタム:  モニター/表示(動画)					
V-Logビューアシスト	LUTファイル読み込み	—			
	LUT選択	Vlog_709	✓	✓	
	LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	
	LUTビューアシスト(HDMI)	OFF	✓	✓	
HLGビューアシスト	モニター	MODE2	✓	✓	✓
	HDMI	AUTO	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R5	C	□
アナモフィック デスクイーズ表示		OFF	✓	✓	✓
モノクロライブビュー		OFF	✓	✓	✓
センターマーカー表示		OFF	✓	✓	✓
動画フレーム表示 設定	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
ゼブラパターン表示	ゼブラ 1 / ゼブラ 2 / ゼブラ 1+2 / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
WFM/ ベクトルスコープ表示		OFF	✓	✓	✓
カラーバー		—	✓	✓	✓
動画優先表示		OFF	✓	✓	✓
動画記録中の赤枠表示		OFF	✓	✓	✓
 カスタム:  IN/OUT					
撮影時 HDMI 出力	情報表示	ON	✓	✓	✓
	ダウンコンバート	AUTO	✓	✓	✓
	HDMI 記録制御	OFF	✓	✓	✓
	HDMI 音声ダウンコンバート	OFF	✓	✓	✓
	HDMI 音声出力	ON	✓	✓	✓
ファン動作モード		AUTO1	✓	✓	✓
タリーランプ設定		前方/後方	✓	✓	✓
 カスタム:  レンズ/その他					
レンズ位置メモリー		OFF	✓	✓	✓
フォーカスリング 制御	ノンリニア / リニア	ノンリニア	✓	✓	✓
	設定	150度	✓	✓	✓
レンズ情報		Lens1	✓		✓
レンズ情報確認表示		ON	✓	✓	✓
 セットアップ:  カード/ファイル					
フォーマット		—			
ダブルスロット機能	記録方法		✓		✓
	記録先スロット	1 → 2	✓		✓
フォルダー/ファイル 設定	フォルダー選択	—			
	新規フォルダー作成	—			
	ファイル名設定	フォルダー番号連動	✓		✓
ファイル番号リセット		—			

メニュー		初期設定	R ₅	C	
著作権情報	撮影者	OFF	✓		✓
	著作権者	OFF	✓		✓
	著作権情報の表示	—			
セットアップ: モニター/表示					
エコモード	スリープモード	5分	✓		✓
	スリープモード(Wi-Fi)	ON	✓		✓
	LVF/モニター自動OFF	5分	✓		✓
	省電力ファインダー撮影	—	✓		✓
モニター表示速度		60fps	✓		✓
LVF表示速度		60fps	✓		✓
モニター調整／LVF調整		—	✓		
モニター輝度／LVF輝度		AUTO	✓		✓
バッテリー残量表示			✓		✓
ステータスLCD	文字/背景色	A	✓		✓
	バックライト	H	✓		✓
	電源OFF中の表示	ON	✓		✓
アイセンサー	感度	強	✓		✓
	LVF/モニター切換	LVF/MON AUTO	✓		✓
水準器調整	調整	—	✓		
	調整値リセット	—			
セットアップ: IN/OUT					
電子音	電子音音量		✓		✓
	合焦音音量		✓		✓
	合焦音音色		✓		✓
	電子シャッター音音量		✓		✓
	電子シャッター音音色		✓		✓
ヘッドホン音量		LEVEL3	✓		✓
Wi-Fi		—	✓		
Bluetooth		—	✓		
USB	USBモード	接続時に選択	✓		✓
	USB給電	ON	✓		✓
バッテリー情報		—			
バッテリー使用順序		BG優先	✓		✓

メニュー		初期設定	R ₅	C	□
テレビ接続設定	HDMI出力解像度(再生時)	AUTO	✓		✓
	LUTビューアシスト(HDMI)	OFF	✓	✓	
	HLGビューアシスト(HDMI)	AUTO	✓	✓	✓
	ピエラリンク	OFF	✓		✓
	画像背景色(再生時)		✓		✓
	写真出力輝度レベル	16-255	✓		✓
カードアクセスランプ		ON	✓		✓
 セットアップ:  設定					
カスタムモード登録		—	✓		✓
カスタムモード内容の呼出		—	✓		✓
カスタムモード設定	カスタムモード表示の制限	3	✓		✓
	名称変更	—	✓		✓
	登録内容の呼出タイミング	—	✓		✓
	カスタムモードの呼出範囲	—	✓		✓
カメラ設定の保存/ 読み込み	保存	—			
	読み込み	—			
	消去	—			
	カードフォーマット時に保持	OFF	✓		✓
設定リセット		—			
 セットアップ:  その他					
時計設定		2019. 1. 1. 0:00:00			
タイムゾーン		GMT + 9:00			✓
システム周波数		59.94Hz(NTSC)	✓		✓
ピクセルリフレッシュ		—			
センサークリーニング		—			
バージョン表示		—			
取扱説明書のWebサイト		—			
CLUB Panasonic登録		—			
認証情報		—			
 マイメニュー:  マイメニュー編集					
登録		—	✓		✓
並べ換え		—			
消去		—			
マイメニューから表示		OFF	✓		✓

メニュー	初期設定			
 再生メニュー:  表示方法				
再生モード	通常再生	✓		✓
スライドショー	—	✓		✓
縦位置自動回転	ON	✓		✓
画像表示順	撮影日時	✓		✓
AF位置から拡大	OFF	✓		✓
LUTビューアシスト(モニター)	OFF	✓	✓	
HLGビューアシスト(モニター)	MODE2	✓	✓	✓
アナモフィック デスクイーズ表示	OFF	✓	✓	✓
 再生メニュー:  画像の加工				
RAW現像	—			
6K/4K フォト一括保存	—			
6K/4K フォトノイズ低減	AUTO	✓		✓
インターバル動画作成	—			
コマ撮りアニメ作成	—			
 再生メニュー:  情報の付与・削除				
プロテクト	—			
レーティング	—			
 再生メニュー:  画像の編集				
リサイズ(縮小)	—			
画像回転	—			
動画分割	—			
画像コピー	—			
 再生メニュー:  その他				
消去確認画面	「いいえ」がはじめ	✓		✓

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	MM
写真: 画質							
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓	
測光モード			✓	✓	✓	✓	
画像横縦比		✓	✓	✓	✓	✓	
写真画質		✓	✓	✓	✓	✓	
画像サイズ		✓	✓	✓	✓	✓	
HLG フォト			✓	✓	✓	✓	
ハイレゾモード	開始		✓	✓	✓	✓	
	通常撮影同時記録		✓	✓	✓	✓	
	シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	
	被写体ブレの処理		✓	✓	✓	✓	
長秒ノイズ除去			✓	✓	✓	✓	
Dual Native ISO 設定			✓	✓	✓	✓	
ISO 感度設定 (写真)	ISO オート下限設定		✓	✓	✓	✓	
	ISO オート上限設定		✓	✓	✓	✓	
下限シャッター速度			✓	✓			
i ダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓	
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓	
回折補正			✓	✓	✓	✓	
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓	
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓	
写真: フォーカス							
AF カスタム設定 (写真)			✓	✓	✓	✓	
AF 補助光			✓	✓	✓	✓	
ピーキング	ON / OFF	✓	✓	✓	✓	✓	
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	
1 点 AF 枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓	
写真: フラッシュ							
フラッシュモード		✓	✓	✓	✓	✓	
発光モード			✓	✓	✓	✓	
フラッシュ光量調整			✓	✓	✓	✓	
フラッシュシンクロ			✓	✓	✓	✓	
マニュアル発光量設定			✓	✓	✓	✓	
露出補正連動			✓	✓	✓	✓	
デジタル赤目補正			✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスモード			✓	✓	✓	✓	

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	📷
ワイヤレスチャンネル			✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスFP			✓	✓	✓	✓	
ワイヤレス通信光量			✓	✓	✓	✓	
ワイヤレス設定			✓	✓	✓	✓	
 写真:  その他(静止画)							
ブラケット	ブラケット種類	✓	✓	✓	✓	✓	
	詳細設定	✓	✓	✓	✓	✓	
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓	
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓	
	ボディ/レンズ選択	✓	✓	✓	✓	✓	
	動作開始設定	✓	✓	✓	✓	✓	
	電子補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	
	手ブレ補正ブースト(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	
	アナモフィック(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	
	レンズ情報	✓	✓	✓	✓	✓	
連写1設定		✓	✓	✓	✓	✓	
連写2設定		✓	✓	✓	✓	✓	
シャッター方式		✓	✓	✓	✓	✓	
シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	✓	
EXテレコン(写真)		✓	✓	✓	✓	✓	
インターバル/コマ撮り撮影		✓	✓	✓	✓	✓	
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓	
フリッカー軽減(写真)		✓	✓	✓	✓	✓	
6K/4Kフォト	画像サイズ/連写速度	✓	✓	✓	✓	✓	
	撮影方法	✓	✓	✓	✓	✓	
	プリ記録	✓	✓	✓	✓	✓	
フォーカスセレクト		✓	✓	✓	✓	✓	
多重露出	開始		✓	✓	✓	✓	
	自動ゲイン補正		✓	✓	✓	✓	
	再生画像と多重		✓	✓	✓	✓	
タイムスタンプ記録		✓	✓	✓	✓	✓	
 動画:  画質							
動画露出設定							✓
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓	✓	✓
Dual Native ISO設定			✓	✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M	M
ISO感度設定(動画)	ISOオート下限設定						✓
	ISOオート上限設定						✓
シンクロスキャン							✓
フリッカー軽減(動画)			✓	✓	✓	✓	
マスターベデスタル							✓
SS/ゲイン操作							✓
iダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓	✓
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓	✓
回折補正			✓	✓	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓	
動画: 記録							
記録ファイル方式		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画撮影範囲		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画画質		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画画質(マイリスト)		✓	✓	✓	✓	✓	✓
バリアブルフレームレート							✓
タイムコード設定	タイムコード表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコードモード	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDMIタイムコード出力						✓
	外部タイムコード設定						✓
輝度レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画: フォーカス							
AFカスタム設定(動画)	ON/OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF連続動作		✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF補助光			✓	✓	✓	✓	✓
ピーキング	ON/OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
1点AF枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画: 音							
録音レベル表示		✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声入力ミュート		✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音ゲイン切換		✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	M
録音レベルリミッター		✓	✓	✓	✓	✓	✓
風音キャンセラー		✓	✓	✓	✓	✓	✓
風音低減		✓	✓	✓	✓	✓	✓
マイク端子		✓	✓	✓	✓	✓	✓
専用マイク設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声モニタリング		✓	✓	✓	✓	✓	✓
ヘッドホン音量		✓	✓	✓	✓	✓	✓
👤 動画: 📺 その他(動画)							
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	動作開始設定	✓	✓	✓	✓	✓	
	電子補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	アナモフィック(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
レンズ情報		✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカストランジション							✓
ループ記録(動画)							✓
動画分割記録		✓	✓	✓	✓	✓	✓
ライブクロップ							✓
タイムスタンプ記録		✓	✓	✓	✓	✓	✓

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	9.0 V ===
消費電力	6.3 W (モニター撮影時)、4.8 W (モニター再生時) [交換レンズ(S-R24105)使用時]

型式	
型式	レンズ交換式デジタル一眼カメラ
記録メディア	SDメモリーカード／SDHCメモリーカード*／SDXCメモリーカード* * UHS-I／UHS-II UHS Speed Class 3対応、UHS-II Video Speed Class 90対応 ダブルスロット記録機能あり
レンズマウント	ライカカメラ社L-Mount
撮像素子	
撮像素子	35 mm フルサイズ(35.6 mm×23.8 mm)CMOSセンサー、総画素数 2528万画素、原色カラーフィルター
カメラ有効画素数	2420万画素
ラチチュード	
14+ストップ(V-Log)	
静止画記録形式	
静止画ファイル形式	JPEG(DCF準拠、Exif2.31準拠)／RAW／HLG Photo (CTA-2072準拠)
6K/4K フォト ファイル形式	6K フォト: MP4(H.265/HEVC、AAC(2ch)) 4K フォト: MP4(H.264/MPEG-4 AVC、AAC(2ch))
画像サイズ (画素)	画像横縦比[4:3]設定時 L: 5328×4000 (3536×2656)* M: 3792×2848 (2560×1920)* S: 2688×2016 (1840×1376)* ハイレゾモード: 10656×8000 6K フォト: 4992×3744 4K フォト: 3328×2496 (3328×2496)* HLG フォト(Full-Res.): 5312×3984 HLG フォト(4K-Res.): 2880×2160 (2880×2160)* * ()内はスーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時

画像サイズ (画素)	画像横縦比[3:2]設定時 L:6000×4000 (3888×2592)* M:4272×2848 (2784×1856)* S:3024×2016 (1968×1312)* ハイレゾモード:12000×8000 6Kフォト:5184×3456 4Kフォト:3504×2336 (3504×2336)* HLG フォト (Full-Res.):5984×4000 HLG フォト (4K-Res.):3232×2160 (3232×2160)* 画像横縦比[16:9]設定時 L:6000×3368 (4064×2288)* M:4272×2400 (2816×1584)* S:3024×1704 (1920×1080)* ハイレゾモード:12000×6736 4K フォト:3840×2160 (3840×2160)* HLG フォト (Full-Res.):5888×3312 HLG フォト (4K-Res.):3840×2160 (3840×2160)* 画像横縦比[1:1]設定時 L:4000×4000 (2656×2656)* M:2848×2848 (1920×1920)* S:2016×2016 (1376×1376)* ハイレゾモード:8000×8000 4K フォト:2880×2880 (2880×2880)* HLG フォト (Full-Res.):4000×4000 HLG フォト (4K-Res.):2144×2144 (2144×2144)* 画像横縦比[65:24]設定時 L:6000×2208 画像横縦比[2:1]設定時 L:6000×3000 * ()内はスーパー35 mm用／APS-C用レンズ使用時
写真画質	ファイン／スタンダード／RAW+ ファイン／ RAW+ スタンダード／RAW

動画記録形式		
動画フォーマット	AVCHD Progressive / AVCHD / MP4 (H.264/MPEG-4 AVC、H.265/HEVC) / MOV (H.264/MPEG-4 AVC、H.265/HEVC)	
音声フォーマット	AVCHD	Dolby Audio(2ch)
	MP4	AAC(2ch)
	MOV	LPCM (2ch、48 kHz/16 bit)* * XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR1)装着時、LPCM(2ch、48 kHz/24 bit、96 kHz/24 bit)選択可能
システム周波数	59.94 Hz / 50.00 Hz / 24.00 Hz	
動画画質	解像度や記録フレームレートなど、動画画質については本書218ページをお読みください。	
ファインダー		
方式	アスペクト比 4:3、0.5型、約576万ドット、有機EL(OLED)ライブビューファインダー	
視野率	約100%	
倍率	約0.78倍(−1.0 m ⁻¹ 50 mm無限遠時、画像横縦比[3:2]設定時)	
アイポイント	約21 mm(−1.0 m ⁻¹ 時)	
視度調整範囲	−4.0 ~ +2.0 diopter	
アイセンサー	あり	
モニター		
型式	アスペクト比 3:2、3.2型、約233万ドットモニター、静電容量方式タッチパネル	
視野率	約100%	
ステータスLCD		
1.8型、303×230ドット、モノクロ液晶モニター		
フォーカス		
AF方式	映像検出によるTTL方式(コントラストAF)	
フォーカスモード	AFS / AFC / MF	
AFモード	自動認識(顔・瞳・人体・動物) / 追尾 / 225点 / ゾーン(縦・横) / ゾーン(四角) / ゾーン(楕円) / 1点+補助 / 1点 / ピンポイント / カスタム1・2・3、タッチおよびジョイスティックによるフォーカスエリア選択可能	

露出制御		
測光方式、測光モード	1728分割測光、マルチ測光／中央重点測光／スポット測光／ハイライト重点測光	
測光範囲	EV 0～EV 18(F2.0レンズ、ISO100換算)	
露出	プログラムAE(P)／絞り優先AE(A)／シャッター優先AE(S)／マニュアル露出(M)	
露出補正	1/3 EVステップ、±5 EV	
ISO感度 (標準出力感度)	オート／100～51200、 [拡張ISO感度]設定時：オート／50～204800、 1/3 EVステップ	
Dual Native ISO	自動切換	ベース感度 100／640(dB表示値は100を基準とする) オート／100～51200 [拡張ISO感度]設定時：オート／50～204800
	低感度	ベース感度 100 オート／100～800 [拡張ISO感度]設定時：オート／50～800
	高感度	ベース感度 640 オート／640～51200 [拡張ISO感度]設定時：オート／320～204800
Dual Native ISO (V-Log)	自動切換	ベース感度 640／4000(dB表示値は640を基準とする) オート／640～51200 [拡張ISO感度]設定時：オート／320～51200
	低感度	ベース感度 640 オート／640～5000 [拡張ISO感度]設定時：オート／320～5000
	高感度	ベース感度 4000 オート／4000～51200 [拡張ISO感度]設定時：オート／2000～51200
Dual Native ISO (シネライク D2／ シネライク V2)	自動切換	ベース感度 200／1250(dB表示値は200を基準とする) オート／200～51200 [拡張ISO感度]設定時：オート／100～204800
	低感度	ベース感度 200 オート／200～1600 [拡張ISO感度]設定時：オート／100～1600
	高感度	ベース感度 1250 オート／1250～51200 [拡張ISO感度]設定時：オート／640～204800
Dual Native ISO (HLG動画／HLGフォト)	自動切換	ベース感度 400／2500(dB表示値は400を基準とする) オート／400～51200 [拡張ISO感度]設定時：オート／400～204800
	低感度	ベース感度 400 オート／400～3200
	高感度	ベース感度 2500 オート／2500～51200 [拡張ISO感度]設定時：オート／2500～204800

手ブレ補正		
手ブレ補正方式	撮像素子シフト方式、5軸補正、Dual I.S.2対応	
手ブレ補正効果	ボディ内手ブレ補正:6.0段 [焦点距離 f=50 mm、交換レンズ(S-X50)使用時] Dual I.S.2:6.5段 [焦点距離 f=105 mm、交換レンズ(S-R24105)使用時]* (CIPA規格準拠、Yaw / Pitch方向) * レンズのファームウェアバージョン1.1以上	
ホワイトバランス		
ホワイトバランスモード	AWB / AWBc / AWBw / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / フラッシュ / セットモード1・2・3・4 / 色温度1・2・3・4	
シャッター		
形式	フォーカルプレーンシャッター	
シャッター速度	写真: メカシャッター:バルブ(最大約30分)、60～1/8000秒 電子先幕:バルブ(最大約30分)、60～1/2000秒 電子シャッター:バルブ(最大約60秒)、60～1/8000秒 動画: 1/25*～1/16000秒 * [M]モードで[動画露出設定]を[M]、フォーカスモードを[MF]に設定しているときは、1/2まで設定可能	
連写撮影		
メカシャッター／電子先幕	高速	9コマ/秒(AFS、MF)／6コマ/秒(AFC)
	中速	5コマ/秒
	低速	2コマ/秒
電子シャッター	高速	9コマ/秒(AFS、MF)／5コマ/秒(AFC)
	中速	5コマ/秒
	低速	2コマ/秒
最大撮影可能コマ数	[FINE] / [STD.]: 999コマ以上 [RAW+FINE] / [RAW+STD.] / [RAW]: 60コマ以上 (当社測定条件による撮影時)	

最低被写体照度	
約 6 lx (システム周波数 59.94 Hz、シャッタースピード 1/30 秒)	
約 6 lx (システム周波数 50.00 Hz、シャッタースピード 1/25 秒)	
[交換レンズ (S-R24105) 使用時]	
フラッシュ (外部フラッシュ使用時)	
フラッシュモード	オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減強制発光 / スローシンクロ / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
フラッシュ同調速度	1/320 秒 * 以下 * 1/320 秒はガイドナンバーが減少、 [S] / [M] モード時のみ
ズーム	
EX テレコン (写真)	最大 2 倍 * (画像サイズ [S] 選択時) * スーパー 35 mm 用 / APS-C 用レンズ使用時は、最大 1.9 倍
表示言語	
日本語	
マイク / スピーカー	
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
インターフェース	
USB	USB Type-C™、SuperSpeed USB 3.1 GEN1、 USB Power Delivery 対応 (9.0 V / 3.0 A)
HDMI	HDMI Type A
[REMOTE]	Ø2.5 mm ジャック
[MIC]	Ø3.5 mm ステレオミニジャック、 マイク入力 Plug-in Power / マイク入力 / ライン入力 (メニューによる切り換え)、 入力基準レベル: -55 dBV (マイク入力) / -10 dBV (ライン入力)
ヘッドホン	Ø3.5 mm ステレオミニジャック
フラッシュシンクロ	あり
TC IN/OUT	あり (フラッシュシンクロ端子に BNC 変換ケーブル (付属) を接続) 入力: 1.0 V ~ 4.0 V [p-p] 10 kΩ 出力: 2.0 V ± 0.5 V [p-p] ローインピーダンス

防じん防滴	
あり	
外形寸法／質量	
外形寸法	約 幅 151.0 mm×高さ 114.2 mm×奥行き 110.4 mm (突起部除く)
質量	約 1164 g(本体、バッテリー、カード1枚含む) 約 1052 g(本体のみ)
動作環境	
推奨使用温度	−10℃～40℃ • 低温(−10℃～0℃)では、一時的にバッテリーの性能が低下し、撮影可能枚数、撮影可能時間が減少します。
許容相対湿度	10%RH～80%RH
Wi-Fi	
準拠規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac(無線LAN標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412 MHz～2472 MHz(1～13ch) 5180 MHz～5320 MHz(36/40/44/48/52/56/60/64ch) 5500 MHz～5700 MHz(100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch)
暗号化方式	WPA™／WPA2™、Wi-Fi 準拠
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
Bluetooth	
準拠規格	Bluetooth v4.2、Bluetooth Low Energy (BLE)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402 MHz～2480 MHz

専用バッテリーチャージャー: **DMW-BTC14**

入力	9.0 V	===	3.0 A
出力	8.4 V	===	3.1 A
使用温度	0 °C ~ 40 °C		

ACアダプター: **DVLV1001Z**

入力	100—240 V	～	50/60 Hz	0.7 A
	55 VA (100 V)		79 VA (240 V)	
出力	5 V	===	3.0 A、	9 V === 3.0 A
使用温度	0 °C ~ 40 °C			

リチウムイオンバッテリーパック: **DMW-BLJ31**

電圧／容量	7.4 V／3050 mAh
-------	----------------

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

～	AC(交流)
===	DC(直流)
	クラスII 機器(二重絶縁構造)

商標、ライセンス



- L-Mountはライカカメラ社の登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- USB Type-C™ およびUSB-C™ はUSB Implementers Forumの商標です。
- USB Type-C™ Charging TridentロゴはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。
- SuperSpeed USB TridentロゴはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Final Cut Pro、Mac、OS X、macOS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Google、Android、およびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。



- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™”ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。
- “Wi-Fi®”は“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”は“Wi-Fi Alliance®”の商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0(GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1(LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET]→[セットアップ]→[その他]→[バージョン表示]→[ソフト情報]で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0またはLGPL V2.1に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口: oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/index.html>

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

あ行

アイカップ	496
アイセンサー	385
アイセンサーAF	367
圧縮率	82, 342
アナモフィック撮影	269
アナモフィック デスクイーズ表示	270, 378, 395
アナモフィック(動画)	157, 350
位置情報記録	386, 421
位置情報データ消去	444
色空間	363, 455
インターバル撮影	132, 351
インターバル動画作成	396
インテリジェントオートモード	75
後ダイヤル	62
エコモード	49, 383
お気に入り登録(Wi-Fi接続)	442
お手入れ	495
音声入力ミュート	242, 358
音声モニタリング	295, 359
オートフォーカス	88
オートホワイトバランス	177
オートレビュー	372
オーバーレイ表示	376

か行

回折補正	345
外部タイムコード設定	230
外部フラッシュ	196
外部マイク	291
外部モニター/外部レコーダー	281
拡大表示	302
拡張ISO感度	362

下限シャッター速度	344
画質調整	182
カスタムメニュー	362
カスタムモード	329
カスタムモード設定	330, 390
カスタムモード登録	329, 390
カスタムモード内容の呼出	332, 390
カスタム(AF)	103
風音キャンセラー	244, 359
風音低減	292, 359
画像回転	398
画像コピー	399
画像サイズ	81, 342
画像表示順	394
画像横縦比	80, 342
カメラ設定の保存/読み込み	335, 390
カラーバー	252, 379
カレンダー表示	304
ガンマ設定(フォトスタイル)	180, 342
カード	31, 51, 83, 498
カードアクセスランプ	52, 390
機器名称	446
基準露出レベル調節	363
輝度レベル設定	237, 357
逆光補正	76
吸気口	59
給電	46
記録先スロット	83, 319
記録ファイル方式	217, 357
クイックメニュー	70, 324
クイックAF	367
クラウド上限枚数動作	444
クラウド同期サービス	436
クリエイティブ動画の設定値	215, 364

クリエイティブ動画モード	211	写真画質	82, 342
グループ画像	305	写真グリッドライン表示	373
ゲイン	245	写真再生	297
ケーブルホルダー	282	写真メニュー	342
光学ズーム	114	シャッターディレイ	350
コマ撮りアニメ	135, 351	シャッター半押しリリース	367
コマ撮りアニメ作成	396	シャッター半押しAF	367
コントラスト	182	シャッター方式	152, 350
コントロールダイヤル	63	シャッター優先AEモード	164
コントロールパネル	67, 71, 475	シャッターリモコン	416, 468
さ行		シャドウ	182
再生	297	シャープネス	182
再生メニュー	393	充電	40
再生モード	394	周辺光量補正	345
彩度	182	ジョイスティック	63
サイレントモード	151, 349	ジョイスティック設定	371
撮影可能時間	504	消去	306
撮影可能枚数	504	消去確認画面	400
撮影画面の遷移(モニター)	377	常時プレビュー(Mモード)	372
撮影距離基準	113	焦点距離	376
撮影時HDMI出力	286, 289, 380	省電力ファインダー撮影	49, 383
撮影モード	61	情報表示(HDMI出力時)	289, 380
撮影/再生切換	318, 320	ショルダーストラップ	39
サブ動画記録ボタン	61, 208	シンクロスキャン	272, 355
サムネイル表示	303	水準器調整	385
三脚	500	水準器表示	377
色相	182	ステレオガンマイクホン	291, 359
色調	182	ステータスLCD	38, 212, 385
システム周波数	216, 391	ステータスLCDバックライト	69, 385
自動画像転送	386, 419	スポット輝度メーター	249, 377
自動時刻合わせ	386, 423	スポット測光	159
自動シーン判別	76	スマートフォンに画像を送る	386, 427, 429
自動認識(顔・瞳・人体・動物)	77, 94	スライドショー	394
視度調整	65	スリープモード	49, 383
絞りブラケット	143	スリープモードからの復帰動作	386, 417
絞り優先AEモード	162		

スリープモード(Wi-Fi)	49, 383	縦位置自動回転	394
スロット切換	298, 320, 327	縦/横位置フォーカス切換	109, 364
ズーム	114	ダビング	459
静止画撮影枚数	506	ダブルスロット機能	83, 382
設定リセット	74, 391	タリーランプ	208
セットアップメニュー	382	タリーランプ設定	380
ゼブラパターン表示	250, 379	中央重点測光	159
セルフタイマー	139, 351	長秒ノイズ除去	343
センサークリーニング	392	著作権情報	382
センターマーカー表示	378	追尾(AF)	77, 97
専用マイク設定	292, 359	露付き	27
操作ロックレバー	64	低照度AF	89
送信サイズ	444	テザー撮影	460
送信ファイル形式	444	デジタル赤目補正	200, 349
測光モード	159, 342	デフォルトに戻す	319, 320
ゾーン(AF)	99	手ブレ状態スコープ	376
た行		手ブレ補正	154, 350
タイムコード	229	手ブレ補正ブースト(動画)	157, 350
タイムコード設定	229, 357	テレビ再生	452
タイムスタンプ記録	354	テレビ接続設定	389
タイムゾーン	391	電子音	386
ダイヤル設定	370	電子先幕	152, 350
ダイヤル動作切換設定	322, 371	電子シャッター	152, 350
ダウンコンバート(HDMI出力時)	286, 380	電子補正(動画)	155, 350
多重露出	353	動画画質	218, 357
ダストリダクション機能	496	動画画質(マイリスト)	226, 357
タッチシャッター	78	動画から写真を作成	301
タッチズーム	116	動画記録時間	507
タッチ設定	368	動画記録中の赤枠表示	380
タッチタブ	368	動画記録ボタン	61, 208
タッチパッドAF	108, 368	動画再生	299
タッチパネル	64	動画撮影	208
タッチAE	79	動画撮影範囲	227, 357
タッチAF	78, 107, 368	動画フレーム表示設定	251, 379
縦位置検出機能	59	動画分割	311, 398
		動画分割記録	275, 360
		動画メニュー	355

動画優先表示.....	379	ピンポイント(AF)	102
動画露出設定.....	213, 355	ピーキング	347
時計設定.....	57, 391	ファイル番号	84, 455, 478, 480
ドライブモード.....	117	ファイル番号リセット	86, 382
取扱説明書のWebサイト.....	392	ファインダー	65, 471
な行		ファン動作モード.....	380
ナイトモード.....	375	ファームウェアアップデート	26, 392
認証情報.....	392	フィルター効果.....	185, 345
ニー	239	フィルター設定.....	185, 345
ネットワークアドレス表示	447	フィルターなし同時記録	190, 345
ノイズリダクション	182	フォトスタイル.....	180, 342
は行		フォトスタイル設定	362
排気口	59	フォルダー番号.....	84, 86, 455, 478, 480
ハイフレームレート動画	256	フォルダー/ファイル設定.....	84, 382
ハイライト	182	フォーカスエリア選択	317
ハイライト重点測光.....	159	フォーカス合成.....	149
ハイライト表示	376	フォーカスセレクト	146, 352
ハイレゾモード.....	191, 343	フォーカストランジション.....	257, 360
パソコン接続.....	430, 454, 460	フォーカスブラケット	144
発光禁止.....	198	フォーカスモード	87
発光モード	201, 348	フォーカスリング制御	381
バッテリー	40, 42, 497	フォーカスリングロック	366
バッテリーグリップ	467	フォーカス枠のループ移動.....	367
バッテリー残量表示.....	384	フォーカス/リリース優先	364
バッテリー使用順序.....	388, 467	フォーマット	53, 382
バッテリー情報	388	ブラケット.....	141, 349
バリアブルフレームレート	253, 357	フラッシュ.....	196
バルブ	168, 416	フラッシュ光量調整	202, 348
バージョン表示	392	フラッシュシンクロ	203, 348
ピエラリンク	389, 453	フラッシュシンクロ端子	197
ピクセルリフレッシュ.....	391	フラッシュモード	198, 348
ヒストグラム表示.....	373	プリ記録	124, 352
日付プリント.....	464	フリッカー軽減(写真).....	351
ピント	88, 235	フリッカー軽減(動画).....	356
ピンポイントAF設定.....	366	プリント	432, 462
		プリント枚数	464
		プレビュー	169

プログラムシフト	161	ライブビュー境界線表示	377
プログラムAEモード	160	ライブビューブースト	374
プロテクト	397	リサイズ(縮小)	398
ヘッドホン音量	296, 359, 386	リモコンの動画ボタン	372, 468
ヘッドホン端子	295	リモート起動	386, 422
星空AF	89	リモート撮影	415
ポストリファイン	127	ループ記録(動画)	274, 360
ボタンイルミネーション	371	レイアウト	464
ホットシューカバー	196	連写	118
ホワイトバランス	176	連写速度	119
ホワイトバランス調整	178	連写1設定	118, 121, 350
ホワイトバランスブラケット	145	連写2設定	118, 121, 350
ホワイトバランス(色温度)		レンズ	30, 54
ブラケット	145	レンズ位置メモリー	381

ま行

マイク端子	291, 359	レンズ情報	158, 350, 381
マイメニュー	333	レンズ情報確認表示	381
マイリスト登録	226	連続撮影可能時間	505
前ダイヤル	62	連続撮影可能枚数	119
マスターペダスタル	238, 356	レーティング	397
マニュアル発光量設定	201, 206, 348	録音ゲイン切換	243, 358
マニュアルフォーカス	110	録音レベル設定	243, 358
マニュアル露出モード	166	録音レベル表示	242, 358
マルチ測光	159	録音レベルリミッター	244, 359
メカシャッター	152, 350	露出ブラケット	143
文字入力	401	露出補正	170
モニター	56, 471	露出補正画面の操作	369
モニター輝度	384	露出補正リセット	363
モニター調整	384	露出補正連動	203, 348
モニター表示速度	383	露出メーター	375
モノクロライブビュー	378	ロックレバー設定	368
		ローリングシャッター低減	127

や行

用紙サイズ	464
-------	-----

ら行

ライブクロップ	260, 361
---------	----------

わ行

ワイヤレス設定	206, 349
ワイヤレスチャンネル	205, 349
ワイヤレス通信光量	207, 349
ワイヤレスフラッシュ	204

ワイヤレスプリント	432	AFCの開始位置指定(225点AF)	98, 367
ワイヤレスモード	205, 349	AFS	87
ワイヤレスFP	207, 349	AF/AEロック	172
ワンショット スポット測光	317	AF/AEロック維持	364
ワンショット 6K/4K フォト	318	AF+AE	107
ワンショット RAW+JPG	317	AF+MF	365
ワンブッシュAE	317	Android	404
英数字		AVCHD	217, 357
1点AF枠の移動速度	348	AVCHD Progressive	218
1点(AF)	101	Bluetooth	386, 405
1点+補助(AF)	101	CLUB Panasonic 登録	392, 545
1枚消去	306	DCカプラー	468
225点(AF)	98	DCF 規格	298
6K/4K フォト	121, 352	Dual Native ISO 設定	175, 343
6K/4K フォト一括保存	131, 396	EXテレコン(写真)	115, 351
6K/4K フォト再生	320	Fn ボタン	313, 314
6K/4K フォトノイズ低減	128, 396	Fn ボタン設定	315, 369
6K/4K プリ連写	122	HDAVI Control™	453
6K/4K 連写	122	HDMI 音声出力	290, 380
6K/4K 連写ファイル	126	HDMI 音声ダウンコンバート	289, 380
6K/4K 連写(S/S)	122	HDMI 記録制御	289, 380
ACアダプター	468, 498	HDMI ケーブル	281, 451, 452, 453
AF	88	HDMI 出力	281
AF ON	89, 112	HDMI 出力解像度(再生時)	389
AF 位置から拡大	395	HDMI 端子	281, 451
AF エリア表示	374	HLG 動画	266
AF カスタム設定(写真)	91, 346	HLG ビューアシスト	268, 378
AF カスタム設定(動画)	236, 358	HLG ビューアシスト(モニター)	395
AF ポイントスコープ	90	HLG フォト	194, 342
AF ポイントスコープ設定	367	i ダイナミックレンジ	344
AF 補助光	346	iOS	404
AF モード	93	ISO 感度	173
AF モード表示の制限	366	ISO 感度画面の操作	369
AF 連続動作	235, 358	ISO 感度ステップ	362
AFC	87	ISO 感度設定(写真)	343
		ISO 感度設定(動画)	241, 355

Log撮影.....	263	USB PD(USB Power Delivery)	46
LUMIX CLUB (PicMate)	447	Videoスピードクラス	32
LUMIX Sync	404	V-Log	263
LUMIX Tether	460	V-Logビューアシスト	265, 378
LUTビューアシスト.....	265, 378	V.MODE ボタン	65
LUTビューアシスト(モニター)	395	WB/ISO/露出補正ボタン	369
LVF輝度.....	384	Webサービス.....	434
LVF調整.....	384	WFM/ベクトルスコープ表示	247, 379
LVF表示速度.....	383	Wi-Fi	386, 402
LVF/モニター切換	385	Wi-Fi機能	386, 402
LVF/モニター自動OFF.....	49, 383	Wi-Fi機能ロック	447
LVF/モニター表示スタイル	318	Wi-Fi設定メニュー.....	386, 446
LVF/モニター表示設定	375	Wi-Fiネットワーク設定.....	386
MF	110	Wi-Fiパスワード	446
MFアシスト.....	365	WPS	438, 441
MFアシスト表示.....	365	XLRマイクアダプター設定.....	293, 359
MFガイド	365	XLRマイクロホンアダプター	293
MOV	217, 357		
MP4	217, 357		
PC接続設定	446		
PHOTOfunSTUDIO	457		
PicMate設定.....	447		
PictBridge.....	462		
P/A/S/M動画の露出自動制御 ...	209, 363		
Q.MENU設定	324, 368		
RAW	82		
RAW現像	307, 395		
SDスピードクラス.....	32		
SS/ゲイン操作.....	245, 356		
TTL.....	201, 202, 348		
UHS スピードクラス.....	32		
USB.....	387		
USB給電	387		
USB接続ケーブル			
.....40, 44, 46, 451, 455, 456, 459, 461, 462			
USBモード.....	387		
USB端子	44, 451		

CLUB Panasonic

ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。

ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

＊ 皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思っておりますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典1	・お宅の家電商品、消耗品情報が一元管理できる！
ご登録特典2	・登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる！
ご登録特典3	・登録すると抽選で商品券などが当たる！

お問い合わせ先：CLUB Panasonic事務局 (club-info@panasonic.jp)

❖ ご登録手順

下記のいずれかを選んでください。

・パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

<http://club.panasonic.jp/aiyo/>

・携帯電話からの登録方法

－ QRコードを使ってアクセスする場合



－ URLを入力してアクセスする場合

<http://club.panasonic.jp/aiyo/>

- カメラのモニターに表示されるQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。以下の操作をするとQRコードを表示できます。

① [MENU]ボタンを押す

②  [セットアップ]の  [その他]から[CLUB Panasonic登録]の[QRコード表示]を選ぶ

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () —

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q&A 故障かな?と思ったら」(481～483ページと484～493ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリーと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリーも一緒に修理をご依頼ください。

●製品名	デジタルカメラ／ボディ
●品 番	DC-S1H
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保证书承诺内容, 仅限于产品在日本国内使用时有效。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このデジタルカメラ／ボディの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を！



こんな症状はありませんか

- ・ 煙が出たり、異常なおいや音をする
- ・ 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・ 内部に水や異物が入った
- ・ 本体やチャージャー、ACアダプターが破損した
- ・ その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



- カメラのモニターに表示される QR コードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。
以下の操作をすると QR コードを表示できます。

- ① [MENU] ボタンを押す
- ② [セットアップ] の [その他] から [CLUB Panasonic登録] の [QRコード表示] を選ぶ

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト
<http://www.panasonic.com/jp/support/>



LUMIX (ルミックス) ・ムービー
使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル



携帯PHS OK

パナは ロクサンハチ

0120-878-638

受付時間

9:00~18:00 (年中無休)

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合

06-6907-1187

■ FAX フリーダイヤル

0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays / national holidays)



修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル



携帯PHS OK

パナは イイヨ

0120-878-554

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合

03-6633-6700

■ FAX フリーダイヤル

0120-878-225



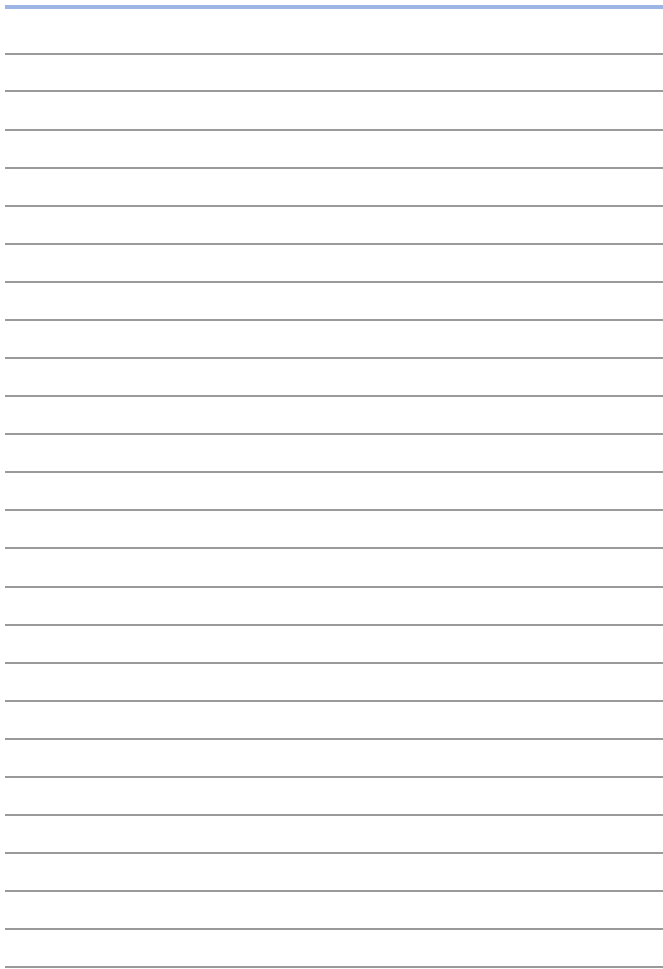
便利な修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。



パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東 2 丁目 3 番 1-1 号

© Panasonic Corporation 2019

ファームウェアアップデート

LUMIX

S1H

❖ ファームウェアアップデートを実施しました

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを実施しました。
以降では、追加および変更した機能について説明します。

取扱説明書と併せてお読みください。

- カメラのファームウェアのバージョンは、セットアップメニュー(その他)の [バージョン表示] でご確認ください。
- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

 クリックすると、「取扱説明書」の表紙に移動します。

目次

はじめに	F-4
アプリケーション／ソフトウェアについて.....F-4	
ファームウェアバージョン2.0/2.1	F-5
動画RAWデータ出力に対応	F-5
動画RAWデータをHDMI出力する	F-6
動画RAWデータ出力時のお知らせ.....	F-9
動画機能の追加／変更.....	F-10
6K／5.9K／5.4K動画記録中のHDMI出力に対応	F-10
[シャッター全押し動画記録]の追加	F-10
コントロールパネルでの [動画画質(マイリスト)]による設定に対応.....	F-11
V-Log使用時の[ノイズリダクション]調整範囲を変更	F-11
[撮影時HDMI出力]に[MFアシスト拡大表示]を追加	F-12
操作性の改善.....	F-13
全画像消去方法の変更	F-13
AF機能の変更	F-14
AFCでの[AF+MF]に対応.....	F-14
交換レンズとの互換性向上	F-15
[レンズFnボタン設定]を追加.....	F-15
他社製レンズ使用時の手ブレ補正動作を変更	F-15
その他の機能の追加／変更	F-16
[ステータスLCD]に[バックライト点灯時間]を追加.....	F-16
[RAW現像]の設定項目に[保存先スロット]を追加.....	F-17
[オートレビュー]の[時間(写真)]に[0.5秒]を追加.....	F-17
[Fnボタン設定]に[設定なし(長押し無効)]を追加	F-18
[Fnボタン設定]に[レビュー(絞りのみ)]を追加	F-18

[言語設定]を追加.....	F-19
モニター消灯時の絞り／シャッタースピード操作に対応.....	F-19
追加メニュー.....	F-20
ファームウェアバージョン2.2	F-22
AF機能の追加／変更.....	F-22
自動認識AFの性能向上.....	F-22
1点＋補助／1点に自動認識AFを追加.....	F-23
動画撮影中の[AF+MF]機能に対応.....	F-24
動画機能の追加／変更.....	F-25
動画の縦向き再生に対応.....	F-25
その他の機能の追加／変更.....	F-26
4K動画ファイルのスマートフォン転送に対応.....	F-26
[LVF/モニター表示設定]に[モニター左右反転表示]、 [モニター上下反転表示]を追加.....	F-26
追加メニュー.....	F-27

はじめに

アプリケーション／ソフトウェアについて

カメラのファームウェアをアップデートした場合は、スマートフォン用アプリケーションやパソコン用ソフトウェアは最新バージョンをご使用ください。

「LUMIX Sync」

- お使いのスマートフォンでインストール／アップデートしてください。
-

「PHOTOfunSTUDIO 10.1 PE」

- 下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

＜すでにご利用の場合＞

https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs101pe_up.html

＜初めてインストールする場合＞

https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs101pe.html

「LUMIX Tether」

- 下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html
-

ファームウェアバージョン2.0/2.1

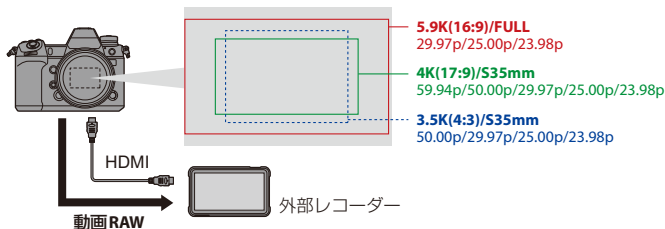
動画RAWデータ出力に対応

(ファームウェアバージョン2.1)

iA P A S M



最大5.9Kの解像度、12 bitの動画RAWデータを、対応した外部レコーダーにHDMI出力できるようになりました。



- 本機の動画RAWデータの記録は、以下の外部レコーダーで動作確認済みです。
(2020年7月現在)
 - ATOMOS製、HDMIフィールドモニター/レコーダー「Ninja V」(AtomOS 10.52以上)
詳細は、ATOMOSにお問い合わせください。
- 対応する外部レコーダーが持つ、すべての性能を保証するものではありません。
- 外部レコーダーで記録した動画RAWデータの編集には、対応したソフトウェアが必要です。編集時にV-Log/V-Gamutと色合いを合わせるには、下記サポートサイトからLUT(ルックアップテーブル)をダウンロードし、ソフトウェアに読み込んでください。
- LUTデータのダウンロードや、最新のサポート情報は下記サイトでご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>



- 動画RAWデータのHDMI出力中は、カードに動画を記録できません。
- [システム周波数]を[24.00Hz(CINEMA)]に設定したときは、動画RAWデータをHDMI出力できません。

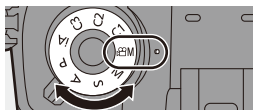
動画RAWデータをHDMI出力する

動画メニューに[HDMI RAWデータ出力]を追加しました。出力する映像の画質は[動画画質]で設定します。

準備:

- 1 カメラと外部レコーダーの電源を切る
- 2 市販のHDMIケーブルでカメラと外部レコーダーをつなぐ
 - HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIケーブル(Type A—Type A プラグ、1.5 mまで)をお使いください。
- 3 カメラと外部レコーダーの電源を入れる

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



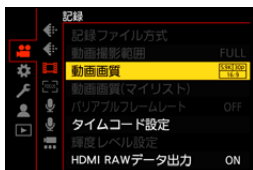
2 [HDMI RAWデータ出力]を設定する

- **MENU/SET** → [人] → [映画] →
[HDMI RAWデータ出力] → [ON]
- 撮影画面に[HDMI RAW]が表示されます。



3 動画画質を選ぶ

- **MENU/SET** → [人] → [映画] → [動画画質]



4 外部レコーダーでHDMI入力を設定する

- 接続が完了すると、外部レコーダーの画面に映像が表示されます。

**HDMI出力の動作が通常時と異なります。**

- カスタムメニュー(IN/OUT)の[撮影時HDMI出力]
 - [情報表示]は使用できません。HDMI接続した外部レコーダーに、カメラの情報表示を出力できません。
 - [ダウンコンバート]は使用できません。[動画画質]の設定に応じた解像度とフレームレートで出力します。

❖ 動画画質([HDMI RAWデータ出力]設定時)

動画画質	システム周波数	動画撮影範囲	解像度	フレームレート
5.9K/30p/16:9	59.94Hz(NTSC)	FULL	5888×3312	29.97p
5.9K/24p/16:9		FULL	5888×3312	23.98p
4K/60p/17:9		S35mm	4128×2176	59.94p
4K/30p/17:9		S35mm	4128×2176	29.97p
4K/24p/17:9		S35mm	4128×2176	23.98p
3.5K/30p/4:3*		S35mm	3536×2656	29.97p
3.5K/24p/4:3*		S35mm	3536×2656	23.98p
5.9K/25p/16:9	50.00Hz(PAL)	FULL	5888×3312	25.00p
4K/50p/17:9		S35mm	4128×2176	50.00p
4K/25p/17:9		S35mm	4128×2176	25.00p
3.5K/50p/4:3*		S35mm	3536×2656	50.00p
3.5K/25p/4:3*		S35mm	3536×2656	25.00p

* アナモフィック(4:3)動画

- ビット数: 12 bit
- 音声フォーマット: LPCM(2ch)
- [動画撮影範囲]は、[動画画質]の設定に応じた範囲に固定されます。
- XLRマイクロホンアダプター(別売: DMW-XLR1)装着時、[XLRマイクアダプター設定]を[96kHz/24bit]や[48kHz/24bit]に設定できます。

❖ 動画RAWデータ出力時のモニター／ファインダー表示

カメラのモニター／ファインダーには、確認用に、V-Log撮影時に相当する映像を表示します。[V-Logビューアシスト]は、プリセットの[Vlog_709]を適用した[LUTビューアシスト(モニター)]が使用できます。

- モニター表示用のLUTは変更できません。
- [LUTビューアシスト(モニター)]を使用したときは、画面に[709]が表示されます。画面の[LUTビューアシスト(HDMI)]の項目には、[RAW]が表示されます。
- [スポット輝度メーター]、[ゼブラパターン表示]の[基準/幅]は、Stopの単位で設定します。(0 Stop=42%(IRE)で換算します)

表示する映像のお知らせ

- カメラが表示する映像は、出力される動画RAWデータには影響しません。
- 外部レコーダーには、外部レコーダーの仕様に応じた映像が表示されます。そのため、カメラと外部レコーダーで表示される映像が異なる場合があります。
- カメラのモニター／ファインダーは、動画RAWデータの画角で映像を表示します。外部レコーダーで記録するデータの画角と異なる場合があります。

❖ HDMIタイムコード出力／HDMI記録制御

カメラのタイムコードを付加して、外部レコーダーにHDMI出力できます。カメラの動画記録ボタンやシャッターボタンで、外部レコーダーの記録開始、停止を制御することもできます。

① [HDMIタイムコード出力]を[ON]に設定する

-  ➡  ➡  ➡ [タイムコード設定] ➡ [HDMIタイムコード出力] ➡ [ON]

② [HDMI記録制御]を[ON]に設定する

-  ➡  ➡  ➡ [撮影時HDMI出力] ➡ [HDMI記録制御] ➡ [ON]
- [HDMI記録制御]は、モードで、[HDMIタイムコード出力]が[ON]の場合に設定できます。

動画RAWデータ出力時のお知らせ

動画RAWデータ出力時は、以下のように動作します。

- 使用できるISO感度の下限は640([拡張ISO感度]設定時:320)、上限は51200までになります。[Dual Native ISO 設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
- ホワイトバランスの[AWB]や[AWBc]、[AWBw]、[- [フォトスタイル]は[V-Log]に固定され、画質調整できません。
- AFモードの[+]は使用できません。
- MFアシストを使った拡大表示はできません。
- 以下の機能は使用できません。
 - [マスターペダスタル]
 - [iダイナミックレンジ]
 - [周辺光量補正]
 - [回折補正]
 - [フィルター設定]
 - [記録ファイル方式]
 - [動画画質]の[絞り込み]、[マイリスト登録]
 - [動画画質(マイリスト)]
 - [バリアブルフレームレート]
 - [輝度レベル設定]
 - [手ブレ補正]の[電子補正(動画)]
 - [ループ記録(動画)]
 - [動画分割記録]
 - [ライブクロープ]
 - [タイムスタンプ記録]
 - [カラーバー]

動画機能の追加／変更

6K／5.9K／5.4K動画記録中のHDMI出力に対応



6K動画、5.9K動画および5.4K動画の記録中に、4KまたはFHDの解像度でHDMI出力ができるようになりました。

- カスタムメニュー(IN/OUT)の[撮影時HDMI出力]の[ダウンコンバート]設定に応じた解像度とフレームレートで出力します。

[シャッター全押し動画記録]の追加

[M]モード時、動画記録の開始／終了操作にシャッターボタンを使用します。

[OFF]にすると、シャッターボタンを使用した記録開始／終了操作を無効にできるようになりました。



⇒ [設定] ⇒ [AF] ⇒ [シャッター全押し動画記録]を選ぶ

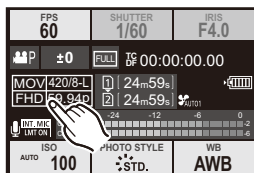
設定: [ON]／[OFF]

コントロールパネルでの [動画画質(マイリスト)]による設定に対応

[M]モード時、または[動画優先表示]設定時、コントロールパネルから、動画画質のマイリストを表示できるようになりました。

設定画面を表示する

- 動画画質の項目をタッチします。
- マイリストに登録済みの場合は、[動画画質(マイリスト)]の設定画面が表示されます。
未登録の場合は、[動画画質]の設定画面が表示されます。



- [DISP.]ボタンを押すごとに、[動画画質(マイリスト)]と[動画画質]が切り換わります。
- 次に設定画面を表示するときは、最後に使用した画面が表示されます。

V-Log使用時の[ノイズリダクション]調整範囲を変更



[フォトスタイル]を[V-Log]に設定時、[ノイズリダクション]の画質調整値に[-1]を追加しました。

MENU SET → [カメラアイコン] / [ビデオアイコン] → [ノイズリダクションアイコン] → [フォトスタイル] → [V-Log] → [ノイズリダクション]

[撮影時HDMI出力]に[MFアシスト拡大表示]を追加

HDMI接続した外部機器に、MFアシストの拡大表示を出力します。
[OFF]にすると、MFアシストの拡大表示がHDMI出力されないようになりました。

 ➡  ➡  ➡ [撮影時HDMI出力] ➡ [MFアシスト拡大表示]を選ぶ
設定: [ON]／[OFF]



- [MFアシスト拡大表示] を[OFF]に設定し、MFアシストで拡大表示しているときは、カメラの情報表示はHDMI出力されません。

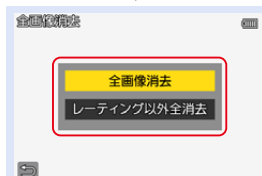
操作性の改善

全画像消去方法の変更

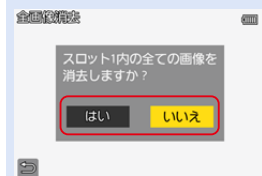
意図せず画像が消去されることを防ぐため、全画像消去時の画面の一部でタッチ操作を禁止しました。



タッチ操作可能



タッチ操作不可*



タッチ操作不可*

* [👉]はタッチ操作できます。

AF機能の変更

AFCでの[AF+MF]に対応

フォーカスモードを[AFC]に設定しているときに、[AF+MF]が使用できるようになりました。

AFの動作中は、AFロック中以外に[AF+MF]が使用できるようになりました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [AF+MF]

交換レンズとの互換性向上

[レンズFnボタン設定]を追加

交換レンズのフォーカスボタンに機能を登録します。

 ➡  ➡  ➡ [レンズFnボタン設定]を選ぶ

設定項目(レンズFnボタン設定)

- フォーカスストップ - AFモード - フォーカスリングロック - AE LOCK - AF LOCK - AF/AE LOCK - AF-ON - AF-ON:近側 - AF-ON:遠側	- AFポイントスコープ - フォーカスエリア選択 - 手ブレ補正 - プレビュー - プレビュー(絞りのみ) - 設定なし - 設定なし(長押し無効) - デフォルトに戻す
--	---

- 初期設定では[フォーカスストップ]が登録されています。
[フォーカスストップ]を使用すると、フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。
- 手ブレ補正(通常/流し撮り)の切り換えスイッチがある交換レンズを使用しているときは、[レンズFnボタン設定]の[手ブレ補正]は使用できません。

他社製レンズ使用時の手ブレ補正動作を変更

[ボディ/レンズ選択]の設定項目を変更しました。[ボディ/レンズ選択]は、手ブレ補正機能のある他社製レンズ使用時に設定できます。

 ➡  ➡  ➡ [手ブレ補正] ➡ [ボディ/レンズ選択]を選ぶ

BODY  (ボディのみ)	ボディ内手ブレ補正で上下、左右、回転のブレを補正します。
LENS  (レンズ+ボディ(回転))	レンズ内手ブレ補正で上下、左右のブレを補正し、ボディ内手ブレ補正で回転のブレを補正します。

その他の機能の追加／変更

[ステータスLCD]に[バックライト点灯時間]を追加

ステータスLCDバックライトを点灯／消灯するタイミングを設定します。

 ➡  ➡  ➡ [ステータスLCD] ➡ [バックライト点灯時間]を選ぶ

ON1	電源スイッチを[:  :]にすると、バックライトが点灯します。 もう一度[:  :]にするまで点灯し続けます。 - 点灯中に以下の機能を使用すると、消灯します。 - 連写 6K/4Kフォト [フォーカスセレクト]
ON2	電源スイッチを[:  :]にすると、バックライトが一定時間点灯します。 従来と同じタイミングで点灯／消灯します。
OFF	バックライトは点灯しません。

❖ [ステータスLCD]の[バックライト]を[バックライト輝度]に変更

バックライトの明るさを、[H](明るめ)または[L](暗め)に設定できます。

 ➡  ➡  ➡ [ステータスLCD] ➡ [バックライト輝度]を選ぶ
設定: [H]／[L]

[RAW 現像]の設定項目に[保存先スロット]を追加

RAW 現像した画像を保存するカードスロットを選択できます。

1 [RAW 現像]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [RAW 現像]

2 RAW 画像を選ぶ

3 設定項目から[詳細設定]を選ぶ

4 [保存先スロット]を選び、保存するカードスロットを設定する

AUTO	現像するRAW形式の画像と同じカードスロットに保存します。
1	カードスロット1に保存します。
2	カードスロット2に保存します。

[オートレビュー]の[時間(写真)]に[0.5秒]を追加

写真撮影後に撮影画像を約0.5秒間表示します。

-  ⇒  ⇒  ⇒ [オートレビュー] ⇒ [時間(写真)] ⇒ [0.5秒]

[Fn ボタン設定]に[設定なし(長押し無効)]を追加

Fn ボタンを長押ししても、機能の登録画面が表示されないようにする設定項目を追加しました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fn ボタン設定]を選ぶ

[撮影時設定] ⇒ [3]タブ:  その他

[再生時設定] ⇒ [2]タブ:  その他

設定なし(長押し無効)

Fn ボタンとして動作しません。

Fn ボタンを長押し(2秒)した場合に、機能の登録画面を表示しません。



- ファームウェアアップデートによって、[撮影時設定]の[FN6]と[FN7]の初期設定が、[設定なし]から[設定なし(長押し無効)]に変更されました。

[Fn ボタン設定]に[プレビュー(絞りのみ)]を追加

絞り効果を確認できる、Fn ボタンの機能を追加しました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fn ボタン設定] ⇒ [撮影時設定]を選ぶ

[2]タブ:  モニター/表示

プレビュー(絞りのみ)

Fn ボタンを押している間、絞り効果を確認できます。

- [Fn3]～[Fn7]には登録できません。

[言語設定]を追加

画面に表示する言語を変更できるようになりました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [言語設定]を選ぶ

設定: [日本語]／
[ENGLISH] (英語)／
[简体中文] (簡体字中国語)／
[繁體中文] (繁体字中国語)／
[한국어] (韓国語)



- 誤った言語に設定した場合は、のアイコンが付くメニューを選び、言語を設定し直してください。

モニター消灯時の絞り／シャッタースピード操作に対応

モニターを消灯しているときに、前ダイヤルや後ダイヤルを使って、絞り値やシャッタースピードの設定ができるようになりました。

追加メニュー

ファームウェアアップデートによって追加されるメニューの仕様情報です。

❖ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

: [カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 写真:  その他(静止画)					
手ブレ補正	ボディ/レンズ選択	LENS ()	✓	✓	✓
 動画:  記録					
HDMI RAWデータ出力		OFF	✓	✓	✓
 動画:  その他(動画)					
手ブレ補正	ボディ/レンズ選択	LENS ()	✓	✓	✓
 カスタム:  フォーカス/リリース					
シャッター全押し動画記録		ON	✓	✓	✓
 カスタム:  モニター/表示(写真)					
オートレビュー	時間(写真)	OFF	✓	✓	✓
 カスタム:  IN/OUT					
撮影時HDMI出力	MFアシスト拡大表示	ON	✓	✓	✓
 カスタム:  レンズ/その他					
レンズFnボタン設定		フォーカスストップ	✓	✓	✓
 セットアップ:  モニター/表示					
ステータスLCD	バックライト点灯時間	ON2	✓		✓
	バックライト輝度	H	✓		✓
 セットアップ:  その他					
言語設定		日本語	✓		✓

❖ 各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	MM
 写真:  その他(静止画)							
手ブレ補正	ボディ/レンズ選択	✓	✓	✓	✓	✓	
 動画:  記録							
HDMI RAW データ出力							✓
 動画:  その他(動画)							
手ブレ補正	ボディ/レンズ選択	✓	✓	✓	✓	✓	

- Ninja V / ATOMOSは、ATOMOS Limited の登録商標です。

ファームウェアバージョン2.2

AF機能の追加／変更

自動認識AFの性能向上

iA P A S M 



自動認識で、顔が正面を向いていない人の頭部を検出できるようになりました。

それに伴い、[自動認識(顔・瞳・人体)]は[自動認識(人物)]に、[自動認識(顔・瞳・人体・動物)]は[自動認識(人物・動物)]に名称を変更しました。

 自動認識(人物)	人の顔、目、人の体(全身、上半身または頭部)を認識してピントを合わせます。
 自動認識(人物・動物)	人物に加えて、鳥、イヌ科(オオカミなどを含む)、ネコ科(ライオンなどを含む)の動物などを認識できます。人物よりも動物を優先して認識します。

1点+補助／1点に自動認識AFを追加

iA P A S M



1点+補助／1点のAFモードで、自動認識が使えるようになりました。
1点+補助／1点のAFエリアに人物や動物が一部でも入ると、自動認識のAFエリアが黄色で表示されます。人の顔がAFエリア内に入ると、瞳認識が働きます。

❖ 自動認識の切り換え

- 1 [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- 2 [] または [] を選び、▲を押す
 - ▲を押すごとに自動認識が切り換わります。
 - 1点+補助／1点の自動認識の設定は連動します。

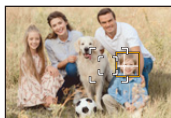
自動認識: OFF



自動認識(人物): ON



自動認識(人物・動物): ON



- AFエリア内で自動認識できる人物および動物は1つだけです。
- 自動認識中はピントを合わせる人や動物、目を切り換えることはできません。

動画撮影中の[AF+MF]機能に対応

iA P A S M 



動画撮影中に、フォーカスリングを回すとMFモードになり、フォーカスリングを止めるとAFモードになるようにしました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [AF+MF]



- [AF連続動作]を[MODE2]に設定しているときは、撮影待機中も手動でピントを調整できます。

動画機能の追加／変更

動画の縦向き再生に対応

縦に構えて撮影した動画を、スマートフォンやパソコンで自動で縦向きに再生します。



- カメラの再生画面では、サムネイル表示でだけ縦向きに再生します。

その他の機能の追加／変更

4K動画ファイルのスマートフォン転送に対応

スマートフォンにMP4の4K動画ファイルを転送できるようになりました。



- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。

[LVF/モニター表示設定]に[モニター左右反転表示]、 [モニター上下反転表示]を追加

撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する／しないを設定できるようになりました。



⇒ [設定] ⇒ [カメラ] ⇒ [LVF/モニター表示設定] ⇒

[モニター左右反転表示]／[モニター上下反転表示]を選ぶ

モニター左右反転表示	AUTO	モニターの開閉角度に合わせて、自動で左右を反転して表示します。
	ON	常に左右を反転して表示します。
	OFF	反転表示を行いません。
モニター上下反転表示	AUTO	モニターの回転角度に合わせて、自動で上下を反転して表示します。
	ON	常に上下を反転して表示します。
	OFF	反転表示を行いません。



- 本機能の設定は、再生画面には反映されません。

追加メニュー

ファームウェアアップデートによって追加されるメニューについての仕様情報です。

❖ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

: [カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 カスタム:  モニター/表示(写真)					
LVF/モニター表示 設定	モニター左右反転表示	AUTO	✓	✓	✓
	モニター上下反転表示	AUTO	✓	✓	✓